

## 令和元年度 地域学校協働本部一覧

12市町121本部

No.	市町名	本部名	学校・園名	幼稚園等	小学校	中学校
1 彦根市		東中学校区地域学校協働本部	東中学校、城東小学校、佐和山小学校、旭森小学校	7	17	7
		西中学校区地域学校協働本部	西中学校、城西小学校、城北小学校、城北幼稚園			
		中央中学校区地域学校協働本部	中央中学校、平田小学校、金城小学校、平田こども園 金城幼稚園			
		南中学校区地域学校協働本部	南中学校、城南小学校、城陽小学校、龜山小学校			
		彦根中学校区地域学校協働本部	彦根中学校、河瀬小学校、高宮小学校			
		鳥居本中学校区地域学校協働本部	鳥居本中学校、鳥居本小学校			
		稻枝中学校区地域学校協働本部	稻枝中学校、稻枝東小学校、稻枝西小学校 稻枝北小学校、稻枝東幼稚園、みづほ会みづほ保育園 ふたば会稻枝ふたば保育園、ことぶき会ことぶき保育園			
		若葉小学校地域学校協働本部	若葉小学校			
2 近江八幡市		八幡小学校地域学校協働本部	八幡小学校	9	12	4
		島小学校地域学校協働本部	島小学校			
		沖島小学校地域学校協働本部	沖島小学校			
		岡山小学校地域学校協働本部	岡山小学校			
		金田小学校地域学校協働本部	金田小学校			
		桐原小学校地域学校協働本部	桐原小学校			
		桐原東小学校地域学校協働本部	桐原東小学校			
		馬淵小学校地域学校協働本部	馬淵小学校			
		北里小学校地域学校協働本部	北里小学校			
		武佐小学校地域学校協働本部	武佐小学校			
		安土小学校地域学校協働本部	安土小学校			
		老蘇小学校地域学校協働本部	老蘇小学校			
		八幡中学校地域学校協働本部	八幡中学校			
		八幡東中学校地域学校協働本部	八幡東中学校			
		八幡西中学校地域学校協働本部	八幡西中学校			
		安土中学校地域学校協働本部	安土中学校			
		武佐こども園地域学校協働本部	武佐こども園			
		八幡幼稚園地域学校協働本部	八幡幼稚園			
		岡山幼稚園地域学校協働本部	岡山幼稚園			
		桐原幼稚園地域学校協働本部	桐原幼稚園			
		馬淵幼稚園地域学校協働本部	馬淵幼稚園			
		金田幼稚園地域学校協働本部	金田幼稚園			
		北里幼稚園地域学校協働本部	北里幼稚園			
		安土幼稚園地域学校協働本部	安土幼稚園			
		老蘇こども園地域学校協働本部	老蘇こども園			
3 草津市		志津小学校地域協働合校	志津小学校	0	14	0
		志津南小学校地域協働合校	志津南小学校			
		草津小学校地域協働合校	草津小学校			
		草津第二小学校地域協働合校	草津第二小学校			
		渋川小学校地域協働合校	渋川小学校			
		矢倉小学校地域協働合校	矢倉小学校			
		老上小学校地域協働合校	老上小学校			
		老上西小学校地域協働合校	老上西小学校			
		玉川小学校地域協働合校	玉川小学校			
		南笠東小学校地域協働合校	南笠東小学校			
		山田小学校地域協働合校	山田小学校			
		笠縫小学校地域協働合校	笠縫小学校			
		笠縫東小学校地域協働合校	笠縫東小学校			
4 栗東市		常盤小学校地域協働合校	常盤小学校	0	0	1
		栗東中学校支援地域本部	栗東中学校			
5 野洲市		中主小学校地域学校協働本部	中主小学校	0	6	3
		篠原小学校地域学校協働本部	篠原小学校			
		祇王小学校地域学校協働本部	祇王小学校			
		三上小学校地域学校協働本部	三上小学校			
		野洲小学校地域学校協働本部	野洲小学校			
		北野小学校地域学校協働本部	北野小学校			
		中主中学校地域学校協働本部	中主中学校			
		野洲中学校地域学校協働本部	野洲中学校			
		野洲北中学校地域学校協働本部	野洲北中学校			

6	湖南市	石部小地域学校協働本部	石部小学校	0	9	4
		石部南小地域学校協働本部	石部南小学校			
		みくもっ子地域学校協働本部	三雲小学校			
		東っ子地域学校協働本部	三雲東小学校			
		岩根小地域学校協働本部	岩根小学校			
		菩提寺小地域学校協働本部	菩提寺小学校			
		菩提寺北小地域学校協働本部	菩提寺北小学校			
		下田小地域学校協働本部	下田小学校			
		水戸小地域学校協働本部	水戸小学校			
		石部中地域学校協働本部	石部中学校			
		甲西中地域学校協働本部	甲西中学校			
		甲西北中地域学校協働本部	甲西北中学校			
		日枝中地域学校協働本部	日枝中学校			
7	高島市	高島学園地域学校協働本部	高島小学校、高島中学校	0	13	6
		マキノ地域学校協働本部	マキノ東小学校、マキノ西小学校、マキノ南小学校、マキノ中学校			
		今津地域学校協働本部	今津東小学校、今津北小学校、今津中学校			
		朽木地域学校協働本部	朽木東小学校、朽木西小学校、朽木中学校			
		安曇川地域学校協働本部	安曇小学校、青柳小学校、本庄小学校、安曇川中学校			
		新旭地域学校協働本部	新旭南小学校、新旭北小学校、湖西中学校			
8	東近江市	玉緒小学校地域学校協働本部	玉緒小学校	0	22	9
		御園小学校地域学校協働本部	御園小学校			
		八日市南小学校地域学校協働本部	八日市南小学校			
		箕作小学校地域学校協働本部	箕作小学校			
		八日市北小学校地域学校協働本部	八日市北小学校			
		八日市西小学校地域学校協働本部	八日市西小学校			
		布引小学校地域学校協働本部	布引小学校			
		市原小学校地域学校協働本部	市原小学校			
		山上小学校地域学校協働本部	山上小学校			
		五個荘小学校地域学校協働本部	五個荘小学校			
		愛東南小学校地域学校協働本部	愛東南小学校			
		愛東北小学校地域学校協働本部	愛東北小学校			
		湖東第一小学校地域学校協働本部	湖東第一小学校			
		湖東第二小学校地域学校協働本部	湖東第二小学校			
		湖東第三小学校地域学校協働本部	湖東第三小学校			
		蒲生東小学校地域学校協働本部	蒲生東小学校			
		蒲生西小学校地域学校協働本部	蒲生西小学校			
		蒲生北小学校地域学校協働本部	蒲生北小学校			
		能登川東小学校地域学校協働本部	能登川東小学校			
		能登川西小学校地域学校協働本部	能登川西小学校			
		能登川南小学校地域学校協働本部	能登川南小学校			
		能登川北小学校地域学校協働本部	能登川北小学校			
		玉園中学校地域学校協働本部	玉園中学校			
		聖徳中学校地域学校協働本部	聖徳中学校			
		船岡中学校地域学校協働本部	船岡中学校			
		永源寺中学校地域学校協働本部	永源寺中学校			
		五個荘中学校地域学校協働本部	五個荘中学校			
		愛東中学校地域学校協働本部	愛東中学校			
		湖東中学校地域学校協働本部	湖東中学校			
		朝桜中学校地域学校協働本部	朝桜中学校			
		能登川中学校地域学校協働本部	能登川中学校			
9	米原市	柏原学区学校協働本部	柏原保育園、柏原小学校、柏原中学校	7	9	6
		河南学区地域学校協働本部	河南小学校、河南中学校、かなん認定こども園			
		伊吹山学区学校支援地域本部 (地域学校協働本部)	伊吹山中学校、春照小学校、伊吹小学校 いぶき認定こども園			
		米原学区地域学校協働本部	米原中学校、米原小学校、まいばら認定こども園			
		大東学区地域学校協働本部	大東中学校、山東小学校、大原小学校、山東幼稚園 大原保育園			
10	日野町	双葉学区学校支援地域本部 (地域学校協働本部)	息長小学校、坂田小学校、双葉中学校、おうみ認定こども園	0	5	1
		日野・鎌掛地域学校協働本部	日野小学校			
		西大路地域学校協働本部	西大路小学校			
		南比都佐地域学校協働本部	南比都佐小学校			
		必佐地域学校協働本部	必佐小学校			
		桜谷地域学校協働本部	桜谷小学校			
11	竜王町	日野中学校地域学校協働本部	日野中学校	2	2	1
		竜王町地域学校協働本部	竜王小学校、竜王西小学校、竜王中学校 竜王幼稚園、竜王西幼稚園			
12	多賀町	多賀町地域学校協働本部	多賀中学校、多賀小学校、大滝小学校、多賀幼稚園 大滝たきのみやこども園、多賀ささゆり保育園	3	2	1

## 子どもたちの笑顔のために 「できる人が できるときに できることを」

彦根市	活動名：東中学校区地域学校協働本部	東中学校	学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>			
開始年度：平成20年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：60人			
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援	
□子どもの安全確保、見守り	■部活動支援	■学校周辺環境整備	□学びによるまちづくり
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		■地域行事への参加	■ボランティア・体験活動
■郷土学習	□その他〔 ]		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 ■その他（青少年育成協議会）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- 図書室開館・図書整備・読み聞かせ・・・毎日昼休み、当番のボランティアが図書室を開け、パソコンを立ち上げ、貸出の準備をして、図書委員のサポートをしてくださっている。昼休みが短いため、図書委員だけで開館するのは難しく、子どもを主にした臨機応変のサポートは大変ありがたい。本の整理・新刊のブッカーかけ等の整備、おすすめ本の紹介、読み聞かせなどもしている。
- 外国にルーツを持つ生徒の支援・・・日本語がわからない生徒に、日本語や数学を教えてもらっている。親の承認のもと、言葉がわからず参加しにくい教科の授業時に別室で個別に支援している。生徒にとってみれば、周りに気兼ねせずにおしゃべりしたり相談したりできる場にもなっている。担任や日本語指導教員とも情報共有し連携をしている。
- ゲストティーチャーによる授業・・・浴衣の着付け、性教育、キャリア教育、沖縄学習等、その道のプロの方が来校し、生徒に実技指導や講義、コンサート等
- 環境整備・・・地域の方が家で育てられた観葉植物を校内の各トイレに置き、環境委員の生徒が世話をしている。地域の方が自主的に校庭樹木剪定等の支援もしている。芹川を地域の方と生徒が清掃（悪天候のために3月に延期）している。
- 部活動の支援等



### ■ 実施に当たっての工夫

年度初めの職員会議で、地域コーディネーターから資料を使って事業の目的や内容について説明し、全職員が理解した上で取り組んでいる。学校には、ボランティアとの打ち合わせを丁寧におこなうよう伝え、可能な限りコーディネーターも同席してサポートしている。学校（教員）やボランティア双方の思いや考えを聞き連携できるように努めている。管理職や地域担当の教員だけでなく、その活動の主になる教員との打ち合わせをしている。打ち合わせや連絡にSNSを活用し、急な変更等にも対応できるようにしている。

### ■ 事業の成果

学校を訪れる人が増え、毎日のように地域の方が子どもたちを支援してくださっている。子どもが力を発揮できる場が増え、先生とは違った立ち位置で子どもたちに関わってくださるので、先生に見せる姿とはまた違った姿が引き出されている。授業や課外活動等に専門性を持った人が関わることで、子どもたちが深く学ぶことができた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

学校の規模が大きいため、学年や担当を超えた教員間での情報共有が難しく、地域協働についての意識差も小さくない。コーディネーターからの働きかけや丁寧な打ち合わせで、どの職員の意識も高めるようにしていきたい。協働のパートナーとして、地域の方が主体的に関わるような環境を整えていきたい。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（教員・読書支援員・日本語指導教員等）

報告書記入者（地域コーディネーター）

## 伝統を引き継ごう～城東小マーチングバンドの活動の充実に向けて～

彦根市	活動名：東中学校区地域学校協働本部	城東小学校	学校運営協議会	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有の場合 → 学校運営協議会との協働	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
<b>地域学校協働本部概要</b>					
開始年度：平成 20 年度	地域学校協働活動推進員等数：2人（兼務2人）	ボランティア登録数：80人			
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習	<input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input type="checkbox"/> □部活動支援 <input type="checkbox"/> □地域行事への参加	<input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> □学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> □学びによるまちづくり			
<input type="checkbox"/> □その他〔 〕					<input type="checkbox"/> □ボランティア・体験活動

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
  - 学 校    ■地域学校協働活動推進員    □行 政    □その他（ ）
- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
  - ・マーチングバンドの各パートの練習（毎週金曜日 6 校時）    ・東中学校吹奏楽部との連携
  - ・運動会、卒業式歓送などの校内行事への参加
  - ・市民運動会、城まつりパレードなどの地域行事への参加
- 実施に当たっての工夫
  - ・指導者確保のため、ボランティアとしてトランペットの指導をしていただいていた方に社会人講師をお願いするようにした。また、地域学校協働本部が発行する「学校支援ボランティアだより」に、指導ボランティアの募集をお願いしたところ、2名の方がトロンボーンやフラッグ等の指導をしていただけことになり、指導体制が充実した。
  - ・12月上旬から1月下旬にかけて、6年生から5年生への引き継ぎ期間を設定している。
  - ボランティアの方の指導と子ども同士の交流をうまく融合させ、演奏（演技）技能を引き継ぐとともに、本校の伝統を守っていくこうとする心も大切にしている。
  - ・毎年5月下旬頃（中体連の期間中）に東中学校吹奏楽部の演奏による音楽鑑賞会を開催している。後半には、吹奏楽部員にマーチングバンドのパート別指導をお願いしている。
- 事業の成果
  - ・地域学校協働本部との連携と小中連携をうまく重ね合わせることで、指導体制を充実させることができた。
  - ・指導ボランティアの方の熱心な指導により、子どもたちの演奏技能が著しく向上し、意欲向上へつながった。
- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
  - ・地域学校協働本部を通じて学校が支援してほしいことを地域に発信し続けていくこと。
  - ・地域コーディネーターと共に人材の発掘と情報交換に努めることが大切である。
- その他
  - 【 マーチング活動に関する児童の感想 】

日曜日、城まつりパレードでマーチングバンドをしました。1年間熱心にご指導いただいた指導ボランティアの先生や城東小学校の先生、家族、地域のみなさんなど、たくさんの方に支えられているマーチング活動。運動会や城まつりパレードでは、地域の人に対応援していただいたり、たくさんの温かい拍手をいたしたりしてうれしかったです。市役所前の通りに入ると家族もいました。これから彦根東高校まで少し疲れたけどたどり着くことができました。

後半、前半の疲れがどっと来て、1セット目からシンバルを重く感じるようになりました。でも、先輩もいたし、いろんな人たちが見てくれているので、何だか力がわいてきました。そのまま、ゴールして何だか誇らしい気分で、終えることができました。

5年生にも、この楽しさなどを伝達できるようにがんばります。

  - コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）
    - 校 長    ■教 頭    ■地域連携担当教職員    □その他（ ）



【城まつりパレードへの参加】

報告書記入者 （ 地域連携担当教職員 ）

## 地域・保護者の方々と共に ~佐和山応援隊の発足~

彦根市	活動名：東中学校区地域学校協働本部	佐和山小学校 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
地域学校協働本部概要		

開始年度：平成20年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：80人  
■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援  
■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 □学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり  
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動  
■郷土学習 □その他 [ ]

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）  
■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他（ ）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

<地域・保護者ボランティア『佐和山応援隊』を中心とした活動>

今年度、地域コーディネーターからの発信で『佐和山応援隊』を立ち上げていただき、学校生活の様々な活動に協力していただいた。

- 朝のさわやかタイムでの外国語活動【低学年】
- 英語で読み聞かせ（ペーパーサポート劇とオーボエ演奏）【2年生】
- 校外の施設見学時の見守り支援【4年生】
- 家庭科調理実習・ミシン操作の支援【5年生】
- 楽器演奏の支援【6年生】
- 長期休業前の印刷物の印刷【全校】
- クラブ活動の支援【料理クラブ、パソコンクラブなど】
- 外部学校支援団体との連携・調整



【 1年生 さわやかタイムの外国語活動 】

<応援隊以外の方の学校支援>

- オーストラリアからの来客時の通訳
- イングリッシュコンテストに向けてのスピーチ練習支援【6年生】
- 低学年の学習支援
- 音楽のリコーダー支援【6年生】
- 読み聞かせボランティア【全校】
- 図書ボランティア「ポケットさん」による図書室の環境整備、読書支援
- 彦根ユネスコ協会の子どもにほんご教室「JUMP」による外国人児童の支援

■ 実施に当たっての工夫

年度初め、ボランティアとして協力をお願いしたい学校行事や学習活動を書き出して、ボランティアの依頼時に活動項目を挙げて返事をいただくことにした。ボランティアバンク『佐和山応援隊』として、学校行事等で協力をお願いしたいときには、地域コーディネーターを通じて応援隊の方へ依頼をしていただいた。

■ 事業の成果

年度当初に、協力内容を具体的に挙げたことで、学習活動で必要な支援や協力を得やすくなつた。ボランティアで支援いただく場も広がり、来てくださる方の得意分野や専門知識を生かした支援の機会も多くなつた。依頼の窓口を地域コーディネーターにまとめたことで、支援の体制が分かりやすくなつた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

ボランティアの依頼については、文書での案内のほかに、個人携帯で連絡を取り合って調整をしていただいている。地域コーディネーターとしての公の連絡手段がないので、今後、『佐和山応援隊』が様々な教育活動に協力してくださることを考えると、連絡手段を検討する必要がある。

今年度は、地域コーディネーターを中心に、学校行事や学習活動等への協力を依頼する体制を整えることができた。今年度の成果と反省を踏まえて、地域や保護者の方に協力いただける活動の見直しや検討を行い、次年度に生かしていきたい。また、『佐和山応援隊』を地域や保護者の方に広く知っていたい、本校の子どもたちのために気軽に学校へ足を運んでもらえるような学校にしていきたい。

■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

□校 長 □教 頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（ 教務 ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

## 人・地域とのつながりを密にした旭森教育の推進

彦根市	活動名：東中学校区地域学校協働本部	旭森小学校 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 20 年度	地域学校協働活動推進員等数：2 人（兼務 2 人）	ボランティア登録数：41 人
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	□学校周辺環境整備
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		□学びによるまちづくり
■郷土学習	□その他 [ ]	■地域行事への参加
		□ボランティア・体験活動

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学 校 ■地域学校協働活動推進員
- 行 政 □その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### ○マーチング活動の演技・演奏指導ボランティア

本校の伝統的な教育活動の一つにマーチング活動がある。「運動会での団体演技」「お城まつりパレード」「卒業式での門出送り」を活動の節目として、5・6年生がマーチング活動に取り組んでいる。「お城まつりパレード」の取組後に、マーチング活動引き継ぎ式を行い、マーチング活動の伝統のバトンが6年生から5年生に渡される。3学期からは、5年生が主体となってマーチング活動に取り組み、卒業式には、マーチングの演技・演奏による門出送りを行う。マーチング活動の指導は、全教員が指導に当たっているが、楽器演奏という専門的な指導であるため、教員だけでは難しい部分もあり、地域に居住されているボランティアの方に楽器指導のご協力をいただいているところである。



【ボランティアの方による楽器指導】

#### ○学校図書ボランティア「すまいる」さんの活動

本校の図書ボランティアは、「すまいる」さんの愛称で活動をしていただいている。毎週火曜日の朝の読書タイムに全学級で読み聞かせを実施している。学年の発達段階に応じた本や、季節に合わせて選んでいただいた本を読んでもらっている。また、休み時間を利用して「お話会」を実施している。低学年、中学年、高学年という学年別に本の読み聞かせをしていただいているのも、子どもたちが本に親しむよい機会となっている。また、火曜日と木曜日に「すまいる」さんが来校して、本の整理や修理、新しい本の登録作業など、いつも子どもたちが気持ちよく本に触れるができるよう環境整備に協力していただいている。今後も「すまいる」さんとの連携を密にしながら、子どもたちの心を一層豊かにするために、読書活動を充実させていきたい。



【6年生 マイドリーム・プロジェクト】

#### ○本物に触れ、子どもたちの心を耕すためのゲストティーチャーの招聘

「本物に触ることによって、子どもたちの心を耕す」ことを目指して、多くの学年で ゲストティーチャーを招いた教育活動に取り組んでいる。1年生では、生活科「むかしからのあそび」に地域のお年寄りに来校していただき、昔からの遊びを教えてもらい、いっしょに遊ぶ楽しい時間を作っている。3年生では、地域の歴史や文化など様々な疑問に答える講師としてご協力をいただいている。また、6年生では、キャリア教育との関連を図りながら、総合的な学習の時間「マイドリーム・プロジェクト」の学習で、様々な職業に携わっておられる方をゲストティーチャーとして招いた。そして、それぞれの話を聞く中で、子どもたちは自分の将来としっかり向き合うことができた。

### ■ 実施に当たっての工夫

○4月職員会議等の場に、地域コーディネーターと地域学校協働本部の方に来ていただき、事業内容について説明をしていただいた。どんな協力ができるのか、また人材を探す場合の窓口はどこであるかなど、各教員が本事業を知ることができた。また、今年度から、保護者ボランティアの募集も行い、何名かの方に支援をしていただいた。

○ゲストティーチャーや講師として来校いただく場合には、授業時間の中でねらいとするところや1時間の授業の流れ、支援していくポイントなどをそれぞれの学年の教員と打ち合わせをして実施している。

### ■ 事業の成果

○本事業の内容を教員が理解することで、必要とする人材の確保のため、どこに相談したらよいかなど、基本的な情報を共有することができた。

○様々な教育活動の様子を学校ホームページを通じて、積極的に発信することができた。学校の様子を保護者や地域の方に知つてもうことは、保護者や地域の方との信頼関係を高める上でも重要なことであると考える。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

○学校が必要とする支援ボランティアのニーズは広がってきている。今年度、何名かの保護者ボランティアを確保できたが、学校が支援してほしい内容をいろいろな広報を通じて、さらに発信し、協力を呼びかけていきたいと考える。

○今後も学校のホームページ等を通じて、多くの情報を保護者や地域の方に発信し、次年度より全面実施となる新学習指導要領の重要なキーワードの一つである「社会に開かれた教育課程」の実現を目指していきたい。

#### ■ 旭森小学校ホームページURL <https://www.fureai-cloud.jp/asahinomori-i-hikone/>

#### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（地域連携担当教職員）

## 地域とともに創る「輝く 明るい 楽校」

彦根市	活動名：西中学校区地域学校協働本部	西中学校	学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>			
開始年度：平成21年度	地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務1人）	ボランティア登録数：30人	
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援	
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備	□学びによるまちづくり
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		■地域行事への参加	■ボランティア・体験活動
□郷土学習	□その他〔 〕		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学校 ■地域学校協働活動推進員 □行政 □その他（ ）
- ・中学校の管理職や地域連携担当教員が地域コーディネーターとしっかりと連携して方針の策定、年間計画の作成を行っている。

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・学習環境を整備するための活動
- ・読み聞かせによる読書活動の支援
- ・学校行事への支援
- ・地域の諸団体とともに地域貢献活動
- ・地域の農家の方と農業体験
- ・登下校の安全を確保するマニュアルの作成



【飛び出せ西中！（地域清掃活動）】

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・地域コーディネーターと管理職や地域連携担当教員との綿密な打ち合わせを行う。
- ・昨年度の実施内容を振り返り、改善点や変更点の確認を行う。
- ・積極的に学校の状況や情報を伝え、取組の事前打ち合わせに活かす。
- ・活動後に振り返りを行い、反省と課題を明らかにする。

### ■ 事業の成果

- ・地域の方から率直な意見や感想を聞くことにより、今後の活動に反映することができる。
- ・地域の方とのふれあいを通して、地域への愛着や地域を誇りに思う気持ちを育むことができ、地域貢献活動への意欲に繋がった。また、地域の方にとっても生徒との活動にやりがいを感じていただいている。
- ・地域の専門的な知識・技能をもった方と連携協働することにより、学校運営が円滑に進んだ。



【地域の方と一緒に農業体験】

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・校区内の小中の連携をさらに進め、系統的な取組ができるいか、人材をうまく活用できないか等を検討していく必要がある。
- ・情報のネットワークを広げ、地域の人材のさらなる発掘や活動内容の広報活動をしっかりと行うことが大切である。
- ・活動について外部から評価をしていただき、取組の改善に活かしていきたい。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・次年度の学校運営協議会の立ち上げについて準備をしているところである。地域の方にも取組の趣旨を理解してもらえるよう、また、協力してもらえるようしっかりと情報を伝えることが重要である。今後は、地域と学校でどのような子どもを育てていくかというビジョンや目標を共有し、双方向の連携・協働による活動ができるようにしていきたいと考えている。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（ 教頭 ）

## 豊かな学びを目指して、地域とともに

彦根市	活動名：西中学校区地域学校協働本部	城西小学校 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成21年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：50人		
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> □部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> □学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> □学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> □地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> □地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> □ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> ■郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/> □その他 [ ]      ]		

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
  - 学 校      ■地域学校協働活動推進員      □行 政      □その他（ ）
- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
  - (1) 世代間交流の充実
    - 1、2年生を中心に地域の高齢者が会員の「子どもらと楽しもう会」との交流に取り組んだ。1年生には交通安全の意識を高めるための「キューピー人形」を渡していただき、1、2年生合同の「七夕集会」では、ゲストティーチャーとして伝統的な行事と伝承遊びについて、指導や講話をしていただいた。
  - (2) 郷土学習の充実
    - 総合的な学習の時間を中心に地域を学習の場とした。
      - ・3年生：地域の消防団の方と一緒に町探検をし、防災の視点から積極的に町のよさや課題を見つけ、安全マップに表すことができた。
      - ・4年生：「彦根城」を題材に、彦根城の特徴を調べ、ボランティアガイドのみなさんからよりよいガイドの仕方についてアドバイスを聞き、実際に観光客をガイドしたり、城下町である校区のよさを追究したりできた。
      - ・5年生：琵琶湖の環境学習に取り組み環境問題に詳しい方にゲストティーチャーとして来ていただき、学びを深めた。
      - ・6年生：地域の偉人「井伊直弼公」に焦点を当て、その歴史的功績や文化的功績について彦根城博物館と連携し、見学や体験活動を通して学びを深めた。
    - (3) 学びを豊かにする学習支援の充実
      - 5年生の家庭科の学習では、地域コーディネーターのコーディネートによりミシンの学習支援に地域の方に来ていただき、ミシン糸のつけ方や絡まった糸の処理の仕方等を分かりやすく教えていただいた。
  - 実施に当たっての工夫
    - 地域コーディネーターにコーディネートしていただきやすいように、担当者が積極的に学校の情報を提供したり、打ち合わせ時期を調整したりした。
  - 事業の成果
    - 地域の方の生の声を聞くことで地域への愛情や大事に思う気持ちを育むことができた。また、学習支援では、学習意欲の高まりのみならず、地域の方とのつながりを深める機会にもなった。
  - 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
    - 中学校ブロック内の地域コーディネーターや学校と地域を結ぶコーディネート担当者等が集まり、地域学校協働本部「中学校区連絡会」を開き、本年度の方針や課題について協議するとともに、地域ボランティアについて情報交換する。
  - その他（学校運営協議会との協働等）
    - 中学校ブロック全体に「地域・学校協働だより」を発行することにより活動内容の発信や今後の学校運営協議会発足に向けた情報の提供に努めた。
  - コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）
    - 校 長      □教 頭      ■地域連携担当教職員      □その他（ ）



報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

## 地域から学び、地域の人、もの、ことへの愛着心を育てる『ふるさと探訪オリエンテーリング』

彦根市	活動名：西中学校区地域学校協働本部	城北小学校 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		

開始年度：平成 21 年度 地域学校協働活動推進員等数：1 人 ボランティア登録数：40 人  
**■学習支援（授業補助、学力補充等）** ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援  
**■子どもの安全確保、見守り** □部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり  
**■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）** ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動  
**■郷土学習** □その他 [ ]

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員  
□行 政 □その他（ ）



【 縦割り班に説明する 6 年生 】

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

8：50～9：00 出発式  
9：00～ オリエンテーリング（各班並んで 5 分ごとに出発）  
（埋木舎→馬屋→天秤櫓→天守閣広場→黒門）  
※半分のグループは逆コース

12：10～ 終わりの式（体育館）

児童会の縦割りグループ毎に、地図を参考にして訪ね、6 年生や地域・施設の方から説明を受けて学習する。その交通見守りや安全のサポートを行う。

### ■ 実施に当たっての工夫

事前に教師で下見を行い、危険箇所の点検やチェックポイントの確認を行った。その内容を、地域学校協働本部のリーダーに伝えた。当日は、地域学校協働本部のリーダーから、子どもの活動内容と注意事項をスタート前に説明していただき、教師とボランティアが連携して安全確保ができるようにした。

また、地域コーディネーターと年度当初に打ち合わせを行い、ボランティアの方や諸団体に協力をしていただく事業の確認を行い、1 年間の見通しをもてるようしている。加えて、青少年育成協議会等と連絡を密に取り合い、協働的に取組を進めている。

### ■ 事業の成果

20 名以上の方々に参加していただき、子どもたちの安全への目配りが大変よくできた。ポイント毎での児童の説明にボランティアの方も頗いたりメモをとったり、子どもに寄り添っていただいた。また、休憩場所では子どもと会話したり一緒に景色を眺めたりする中で自然と交流する姿が見られた。

学校から、見学場所までの安全配慮が十分行えた。ボランティアの人数がしっかりと確保できているため、子どもたちへの目配りや気配りが十分に行き届き、活動そのものがスムーズにいく大きな要因となった。



【 参加者一同による出発式 】

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

グループ数も多く、時間差をつけて活動を行うため、活動時間や待ち時間等に大きな幅が生じてしまう。引き継がれている注意点を生かし、コースを反対からまわるグループを設定することで、ほぼ予定通り進めることができた。しかし、ガイド場所での班の回転がゆっくりしていたために、待ち時間が発生した。ガイドポイントの時間の目安はあるが、遅れた場合次のガイドポイントへの移動を早めたり、ガイドの時間を少し短くしたり、終わりの時間をはっきりさせることで、次の活動にスムーズに移行できるような配慮が必要であった。

また、ボランティアには、各班についてサポートをしていただいたが、道路横断時の安全確保などの役割ややり方を明確に伝えておくことも必要である。加えて、近年熱中症対策を行う必要が出てきて、実施時期についても検討課題であると考えている。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

地域コーディネーターを中心として、参加可能なボランティアを募集したり、日程調整を行ったりするに当たり、事前に学校から計画書を提示し、内容面について説明する機会を設けた。これにより、取組の意図や、安全面の配慮について十分に検討を重ねた上で人員の配置等を決めることができた。例年行っている伝統的かつ文化的行事として地域に根ざしていることもあり、学校からの発信ではなく、地域コーディネーターが進んで学校に働きかけて話し合いの機会をもつことができた。地域に開かれた双方向な教育課程として位置づけられていると言える。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（学級担任）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

## 学校と地域を結ぶ SCHOOL SUPPORT

彦根市	活動名：中央中学校区地域学校協働本部	中央中学校 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 23 年度	地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務〇人）	ボランティア登録数：14人
■学習支援（授業補助、学力補充等）	□図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
□子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		□学びによるまちづくり
□郷土学習	□その他 [ ]	■地域行事への参加
		■ボランティア・体験活動

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
  - 学 校
  - 地域学校協働活動推進員
  - 行 政
  - その他 ( )
- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
  - (1) P T A 行事である学校清掃作業に協力を依頼し、数台のトラックで伐採した樹木や草木の搬出を手伝っていただいた。
  - (2) 特別支援学級の授業で、中庭での野菜作りを行っており、一度途絶えた地元の「大藪かぶら」の再興にも取り組みながら、様々な野菜作りの補助を行っていただいている。
  - (3) 校内の環境整備事業として樹木の剪定と整備、美術部の作品用額縁の制作と修繕に生徒と作業を分担して取り組んでいただいた。
  - (4) 「中央中博覧会」として、授業や部活動、行事などでの作品を、地域の公民館に 1 週間展示する取組の中で、その設営や後片付け等で支援していただいている。
- 実施に当たっての工夫
  - 生徒が夏祭りや文化祭などの地域活動へボランティアで参加することにより、連携を積極的に行い、地域とのつながりを深めようとしている。
  - 今年度から地域コーディネーターが交代したこともあり、年度当初に重点的に取り組む年間の活動を整理して見通しを持った活動ができるようにした。
- 事業の成果
  - 毎年行っている活動については、支援の方々も要領をよく理解していただいており、手際の良いスムーズな協働活動ができるようになってきている。
  - 地域コーディネーターの協力による活動の他にも、総合的な学習の時間の茶道体験、美術科の作陶体験、家庭科の浴衣着付け体験、調理実習、保健体育科の性教育講座、朝読書でお話を語る会などを実施し、地域の人材を授業の中で活用している。
- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
  - 地域の協力者を増やして事業の充実を図るために、地域の公民館便りや学校通信などによる広報活動を行い、本事業の認知度を高め、放課後学習や図書室の常時開館など支援の輪を広げ、活性化を図っていく。
  - 本事業に対する教職員の意識を向上させ、授業や学校行事、生徒活動への計画的な導入を図っていく。
- その他（学校運営協議会との協働等）
  - 活動の様子は本校ホームページに掲載 <https://www.fureai-cloud.jp/chuo-jh-hikone/>
- コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）
  - 校 長
  - 教 頭
  - 地域連携担当教職員
  - その他 ( )



【P T A 学校清掃作業での協働活動】



【中央中博覧会片付けでの協働活動】

報告書記入者（ 教頭 ）

## 心豊かな子を育み、地域とつながる学校づくり

彦根市	活動名：中央中学校区地域学校協働本部	平田小学校	学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>			
開始年度：平成23年度	地域学校協働活動推進員等数：1人	ボランティア登録数：34人	
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援	
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備	□学びによるまちづくり
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		□地域行事への参加	■ボランティア・体験活動
■郷土学習	□その他 [ ]		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校 ■地域学校協働活動推進員 □行政 □その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### （1）豊かな言語活動の育成を目指した「読み聞かせ活動」

・本校では、豊かな言語活動を育成するために、朝学習の時間を活用している。年間を見通しながら各単元の言語事項を週に3回の朝学習の時間に学習している。その学習を補足する形で、各月の第1水曜を読み聞かせの時間とし、地域ボランティアの方に絵本などを読み聞かせをしていただいている。

#### （2）学習環境の整備（教材園の整備、敷地内樹木の整備）

・1・2年生の学年花壇や特別支援学級の花壇では、生活科や生活単元の学習で野菜の栽培を行った。畑を耕したり、除草をしたり、支柱を立てたりとそのお世話の方法を教えてもらしながら、一緒に活動を進めた。1学期の終わりには、たくさんの野菜が実を付け、収穫の喜びを感じ取ることができた。

#### （3）「全校ふれあい遠足」における安全指導ボランティア

・本校伝統行事である「全校ふれあい遠足」において、彦根城までの行程の安全指導ボランティアをしていただいた。広く保護者ボランティアも募り、各たてわり班に2名以上の大人が帯同することができた。途中、交通量の多い交差点や、観光客の集まる場所を通るため、各たてわり班と共に行動することで安全面をしっかりとカバーすることができた。

### ■ 実施に当たっての工夫

○例年、年度当初に「平田小学校地域学校協働本部事業総会」を開催し、1年間を見通した活動計画を立てている。本年度は4月24日に平田小にて総会を開いた。前年度からの事業の引継や、学校からの要望、ボランティアからのアドバイスなどをもとに年間の計画を立て、共通理解を図った。

○ボランティアからの要望の多かった「直接子どもたちとかかわる活動を」との意見を生かし、今年度も全校遠足の引率ボランティアの活動をお願いした。また、今年度は2学期末の「校内クリーン作戦」において掃除ボランティアを募集し、子どもたちと一緒に年末の大掃除に取り組んでいただいた。延べ10名の参加をいただき、子どもたちと一緒に掃除をしながら交流を楽しんだ。その他、1年生の生活科「昔遊びをしよう」の学習で、遊びを教えてくれたり、一緒に遊んでくれるボランティアを募り、楽しい時間を過ごしたりすることができた。

### ■ 事業の成果

○低学年や特別支援学級の野菜作りでは、普段から野菜作りをしておられる方がボランティアとしてお手伝いに来ていただいた。畑を耕したり、畝をつくったり、支柱を立てたりとポイントを教えていただいた。おかげで立派な野菜がたくさん実を付け、家庭に持ち帰り、ボランティアとの活動を保護者の方たちに知ってもらうよい機会になった。担任からは、「力仕事や除草作業等、これまで放課後等の時間を使ってしていた作業をボランティアの方が行っていただけるので、効率的に時間を使うことができ、教員の働き方改革にもつながる。」という声が出ている。



【 野菜作りと一緒に 】

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

○この数年来事業実施上の課題は同様で、ボランティアの高齢化と固定化である。実質毎月来校いただいている方は、もう何年も本校をお支え頂いている方ばかりである。なかなか新規のメンバーが増えない。逆に、近年は健康上の理由から退会を申し出る方が多く、この事業の維持が大きな課題となっている。今後は、地域コーディネーターと連携を密に図りながら、人材の発掘にどのように取り組んで行くか、共に考えていきたい。



【 全校ふれあい遠足での出発式 】

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

○ボランティアとの活動の様子を、学校の子どもたちの様子やお知らせとともにホームページで紹介している。  
( <https://www.fureai-cloud.jp/hirata-hikone> )

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

## 地域の力でつくる子どもたちの豊かな学習活動

彦根市	活動名：中央中学校区地域学校協働本部	金城小学校	学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>			
開始年度：平成23年度	地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：117人	■学習支援（授業補助、学力補充等） ■子どもの安全確保、見守り □地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■郷土学習	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） □学部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■地域行事への参加 □その他 [ ]
■学校行事支援 □学びによるまちづくり ■ボランティア・体験活動			

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
  - 学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他 ( )
- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
  - (1) 登下校の安全パトロールと挨拶
    - ・金城見廻り隊の方々が、毎日通学路の要所に立ち安全を見守りながら、挨拶の声かけをしてくださっている。
  - (2) 体験活動支援
    - ・特別支援学級のさつまいも栽培、1年生活科の「昔遊び」や3年社会科の「昔の暮らし」、総合的な学習の時間「昔のあそび名人になろう」の学習活動にゲストティーチャーを、5年家庭科ミシン操作を伴う学習活動に補助をお願いしている。
  - (3) 読みきかせ・影絵
    - ・朝読書の時間に読みきかせをしていただいたり、全校集会で影絵を行っていただいている。
  - (4) 学習環境の整備
    - ・校舎周辺の樹木の剪定やかまどベンチの板の張り替えとペンキ塗り作業などを実施していただいている。
- 実施に当たっての工夫
  - ボランティアの方々には、単位PTA大会時に5、6年児童が書いた感謝のメッセージを掲示し、気持ちを伝えている。また、音楽会やPTA主催行事には、PTAから招待し、交流を図っている。
- 事業の成果
  - 学習や生活がしやすい学校環境の整備ができた。
  - 通学路の見守りをしていただくことで、子どもの安全確保につながっている。また、登下校の様子などを適宜伝えていただくことで学校だけでは気づかない実態を把握することができた。
  - ゲストティーチャーの豊かな経験や地域教材を活かし、充実した学習活動を行うことができた。
  - 地域の様々な人々によって守り育てられていることを、子どもが感じ取ることができた。
- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
  - 本事業の取組を、子どもをはじめ、保護者や地域住民に十分に周知していくこと。
  - 子どもたちが、ボランティアの方々とともに活動したり気軽に話したりする機会をより充実させること。
  - ボランティアの高齢化に伴い、活動が広げられなくなってきたこと。また、ボランティアを増やすための効果的な働きかけがなかなかできず、世代交代がうまく進みそうにない実態があること。
- その他（学校運営協議会との協働等）
  - コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）
    - 校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 □その他 ( )



【校舎周辺の樹木の剪定】



【昔あそび名人になろう】

報告書記入者（地域連携担当教職員）

## 彦根南サポートオフィス9年目の取組 ~継続は力~

彦根市	活動名：南中学校区地域学校協働本部	南中学校	学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>			
開始年度：平成23年度	地域学校協働活動推進員等数：2人（兼務1人）	ボランティア登録数：30人	
□学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	□学校行事支援	
■子どもの安全確保、見守り	■部活動支援	■学校周辺環境整備	□学びによるまちづくり
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		■地域行事への参加	□ボランティア・体験活動
□郷土学習	□その他〔〕		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校 ■地域学校協働活動推進員

□行政 □その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### （1）グリーンカーテンづくり（5～9月）

夏に涼やかさを作るグリーンカーテンづくりに取り組んで5年目。地域のボランティアや生徒の手により、今年は「緑のカーテンコンテスト」公共施設部門で入選するグリーンカーテンができた。

#### （2）図書室環境整備（毎週木曜日）

蔵書数の多い図書室の本の整理やブックカバーかけに、読書活動支援員と共に毎週木曜日に取り組み、生徒が読書に親しむ環境づくりに努めている。

#### （3）環境整備作業（11月に3日間）

学校周辺のフェンス際の草刈りを、地域貢献活動として参加した生徒、保護者・地域の方々が協力して行い、刈った草は軽トラック一杯分にもなった。

#### （4）地域貢献活動（年間）

年度初めに地域の自治会長に中学生が参加できる活動を紹介していただき、活動を通して地域の一員として自覚を育み、地域と中学生のつながりをより深めることができた。



【図書室環境整備】



【環境整備作業】

### ■ 実施に当たっての工夫

○地域と学校が連携した活動を推進するために、保護者や地域のボランティア募集チラシを配布したり回覧したりして人材確保を図った。また、校区の小・中学校の活動を紹介したボランティア便りを作成し、地域への啓発を行った。

○校区の小学校の地域コーディネーターと担当の教員が定期的に中学校で会議を持って、活動報告・情報交換と運営について話し合っている。

○自治会や公民館などの地域の関係団体と連携しながら、地域貢献活動の充実を図っている。

### ■ 事業の成果

○ボランティア便りや募集チラシ等の広報活動の成果として、毎年行っている事業が地域や保護者の方に定着してきていて、環境整備作業は中学生の地域貢献活動と合わせて実施しているため、多くの親子での参加があった。

○地域コーディネーターが校区の小学校の活動を取り材する中で、ボランティアの方とつながる機会ができ、小学校より結びつきが少ない中学校にも地域の方の協力をお願いすることができた。

○生徒の地域行事への参加により地域の中学生への見方が変わり、中学生のがんばる姿を肯定的に見ていただけるようになった。一部の地域行事においては、中学生の協力が不可欠となっているものもあり、地域の一員として活動の場が広がってきていている。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

○学区の小学校では地域への事業が浸透してきたが、中学校としてはまだまだで、活動を充実させるためにはボランティアの人材確保が難しい状況である。今後は地域の団体や校区にある大学と連携・協働して事業を推進していきたい。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

○学校ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/minami-jh-hikone/>

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（ 教頭 ）

## 地域と学校のつながりが生み出す豊かな学び

彦根市	活動名：南中学校区地域学校協働本部	城南小学校 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員：1人（兼務〇人） ボランティア登録数：85人		
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> □部活動支援 <input type="checkbox"/> □学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> □学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> □地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ■ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> □その他 [ ]		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校 ■地域学校協働活動推進員 □行政 □その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

本校では、主に学習支援、読書ボランティア、子ども見守りを中心に地域の方々の協力を受け、学校生活、学習活動の充実を図っている。

#### ○学習支援

2年生の生活科の学習では、サツマイモの苗の植え方や世話の仕方、収穫の仕方を指導していただきたり、収穫したサツマイモを調理して一緒に食べるパーティーに招待したりして、知識や技能をもつ地域の方々に、学習の充実につながる支援をしていただいた。

総合的な学習の時間には、ゲストティーチャーとしてお話を聞かせてもらったり、直接ご指導いただいたりして、子どもたちの主体的な学びを後押ししていただいた。

3年生では、「地域の伝統文化を未来に伝えよう」の学習で、彦根の無形文化財に指定されている「幌踊り」を体験している。由来や伝統を守っていくことの大切さ、大変さ、今後も地域に生きる子どもたちへの思いや願いなどを語っていただいた。

#### ○読書ボランティア

朝のさわやかタイムの週2回、各教室で読み語りをしてもらったり。絵本や紙芝居、動作を交えた語りなど、発達段階に合わせ内容を選んで実施していただき、子どもたちも毎回楽しみにしている。

また、図書室の季節に合わせたレイアウトや掲示も工夫してもらっている。

#### ○下校時安全確保の取組

安全安心な学校生活を送ることができるよう、青少年育成協議会と推進員、地域住民が協働して自転車での下校時パトロールを行っている。パトロール中のプレートと全方位カメラを装着したヘルメットを身に付けて下校時刻に合わせて巡回していただいている。



【はたけの先生といっしょに】



【保存会の方に幌踊りを教わる】

### ■ 実施に当たっての工夫

学習については、指導のねらいを明確にして、事前に十分な打ち合わせを行っている。継続的な協働を目指して、中核となる地域の人々との円滑な関係作りを行っている。学習の成果や互いの思いや考えを共有できるよう、対話を大切にしている。実施の詳細については、担当者および学年で記録、評価を行い、次年度につなげていくようにしている。

### ■ 事業の成果

- ・本物に触れ、体験的に学べる活動が充実したことにより、子どもたちの学びに対する主体性が高まった。
- ・地域の方とふれあう経験がきっかけとなり、地域においても交流が生まれ、地域への愛着心を育むことにつながっている。
- ・読み語りで読んでいただいた図書室の本を、自分でも一度手に取って読む児童が多く、読書の推進につながっている。
- ・不審者情報の増加で、不安感を抱く児童がいる中、パトロールをしていただくことにより、保護者も含め、大きな安心となっている。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

新たな学力観、生きる力を育むという観点から、より効果的な新しい取組・事業を模索しているが、人材発掘、確保等、地域の実情によって難しい。自治会・子ども会等と学校の連携を図り、より明確な組織運営ができるようにしていきたい。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

## つなげよう 子どもを育む地域の力 ~地域の力で学びを深める~

彦根市	活動名：南中学校地域学校協働本部	城陽小学校	学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>			
開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務1人） ボランティア登録数：75人			
<p>■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） □学校行事支援</p> <p>■子どもの安全確保、見守り □活動支援 □学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり</p> <p>■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動</p> <p>■郷土学習 □その他 [ ]</p>			

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）  
 ■学校 ■地域学校協働活動推進員 □行政 □その他（ ）

- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

### 第3学年 総合的な学習の時間

「めざせ！城陽はかせ」～今につながる昔の暮らし～  
 子どもたちが昔の生活の様子について知っていることは、祖父母等から聞く、めんこやビー玉などの遊びについてがほとんどであり、本単元の目標「昔の道具やそれらを使っていた頃の暮らしの様子について調べ、人々の生活の移り変わりについて見える」を達成することは難しい。指導計画の作成にあたっては、地域の日々の協力も得つつ全教師が一体となって指導に当たるなどの指導体制について工夫を行うことについても配慮事項となっていることから、3年生児童の祖父母を中心に、地域のことをよくご存知の方にゲストティーチャーとしてご来校いただき、各々の課題解決につなげることができた。教室やオープンスペース等に、テーマごとにコーナーを設定し、ゲストティーチャーに質問をしたり、話を聞いたりして学習を進めた。今の暮らしの便利さだけに焦点をあてるのではなく、時代の背景やその変化と人々の暮らしは密接にかかわりあってきたことを改めて見つめ直したり、昔の生活の様子に思いを馳せながらその時代の人々のかかわりやそれぞれの果たす役割、立場などについて深く考えたりする有意義な機会となった。また、「城陽子どもまつり」では、地域の方を招いて自分たちの学習の成果を発表し、さらに学びを深めることができた。



【地域の方からお話を聞く様子】

### 全年齢 読書活動

地域の方に図書ボランティアをお願いし、図書室の本の整理や、新刊図書が入ったときの本の登録、年中行事に合わせた図書室のデコレーションなどをお願いしている。また、毎週火曜日8:30～8:40、学級毎に読み聞かせをお願いしている。今年度は地域ボランティアの方も増え、毎週7～8人来ていただいている。子どもたちは読み聞かせを楽しみにしており、読書意欲の高揚につながっている。さらに、春と秋にお話会を行い、ひこね市児童図書研究グループの方に読み聞かせをしていただいた。様々な工夫でお話の世界に浸ることができ、想像力を掻き立て豊かな心の育成につながった。

### 1年生の給食指導ボランティア

滋賀県立大学の学生に、年間を通じて週に1回程度、事前の準備の手伝い、給食の食べ方、食育指導等、1年生の給食指導に来ていただいた。

### ■ 実施に当たっての工夫

効果的な学習が行えるように、事前に綿密な打ち合わせを行った。また、事後の学習の様子を知らせ、全体を通しての学習のまとめを発表する場として「城陽子どもまつり」を行い、地域の方を招待して成果を見ていただく機会を設けている。また、「学校だより」やホームページを通じて、保護者や地域の方へ発信をしている。

### ■ 事業の成果

本やインターネット等で調べるよりも、身近な方から直接お話しいただくことで、子どもたちは実感を伴った学習をすることができた。また、地域の方々が子どもの指導のために何度も学校を訪問していただくことで、学校とのつながりをより深めることができた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

できるだけ毎年継続して活動が進められるように、ボランティアの確保に努めたい。また、新たな活動を計画するために、様々な教科や領域の地域ボランティアを発掘していきたい。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

□校長 ■教頭 [ 地域連携担当教職員 ] □その他（ ）



【ひこね市児童図書研究グループによるお話会】

報告書記入者（ 教頭 ）

## We Love かめやま

彦根市	活動名：南中学校区地域学校協働本部	亀山小学校	学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>			
開始年度：平成 23 年度	地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：30人		
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援	
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備	□学びによるまちづくり
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		□地域行事への参加	□ボランティア・体験活動
■郷土学習	□その他 [ ]		

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
  - 学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他 ( )
- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
  - (1) 栽培活動支援
 

毎年サツマイモの苗植え・収穫をボランティアに支援をしていただいている。植え方を丁寧に指導いただいたおかげで、今年も豊作となった。また、学校花壇の花の育苗も手伝っていただいた。育った苗を近隣の施設や地域の独居老人に届ける活動は、本校の伝統となっている。配達は子ども達が行うが、配達先の多い町はその町のボランティアにお手伝いをお願いした。
  - (2) 家庭科学習への支援
 

家庭科のミシン学習や調理実習に、ボランティアをお願いした。子ども一人一人への支援が充実し、満足のいく活動となっている。
  - (3) 学力向上への支援
 

夏休みに、全校児童対象に学力補充教室（算数・国語教室）を開催している。今年度は、地域の教員OB 8名に入っていただき、個別指導に当たっていただいた。
  - (4) ふるさと学習への支援
 

3年の地域学習や2年の生活科などでも、地域のことをボランティアの方々から詳しくお話を聞きし、ふるさとへの思いを深めることができている。年度末には、亀山っこ発表会を学校で開催し、お世話になったボランティアの方々を招き、1年間のふるさと学習の成果を披露している。
- 実施に当たっての工夫
  - 地域コーディネーターは、長年安全ボランティアとして尽力いただいた方にお願いし、学校の事情や子どもの実態について理解していただいている。前コーディネーターとの連携を密にとり、栽培活動時などは、お二人で学校に出向いてくださっている。
  - 担当教職員とコーディネーターが打ち合わせを綿密に行っている。どんな人が必要か、どんな内容で支援してもらうかなどについてコーディネーターと十分話し合い、交渉に当たってもらえるようにしている。
  - 校内掲示や学校だよりにより、ボランティアの活動の様子を子どもや保護者、地域に発信している。
- 事業の成果
  - コーディネーターに学校のニーズにあった人材を発掘していただき、教育活動の充実につながった。
  - ボランティアから様々な支援を受ける中で、子どもたちは、教職員だけでなく地域の様々な方から支えられていることを実感し進んで挨拶をしたり話しかけたりするなど、自分からかかわりを深めることができている。
  - 支援の必要な行事や学習内容の時期になると、コーディネーターから声を掛け、助言をしてくださっている。ゲストティーチャーやボランティアとの連絡役になっていたいっていることが、担任の負担軽減につながっている。
- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
  - 地域がかかえる問題点として、ボランティアに来ていただいている方々の高齢化があげられる。ボランティアの輪の広がりを期待したいところであるが、難しい面もある。
  - さまざまな活動場面でボランティアの支援がほしいところであるが、限られた補助金の中、多くの方に来ていただくことは難しいのが現状である。
- その他（学校運営協議会との協働等）
  - 学校ホームページ : <https://www.fureai-cloud.jp/kameyama-hikone/>
- コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）
  - 校 長 ■教 頭 □地域連携担当教職員 □その他 ( )



【家庭科 ミシン学習】



【地域学習 校区探訪】

## 未来に向け、地域と学校（生徒）で創る協働活動

彦根市	活動名:彦根中学校区地域学校協働本部	彦根中学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<b>地域学校協働本部概要</b>			
開始年度 : 平成 23 年度	地域学校協働活動推進員等数 : 4 人	ボランティア登録数 : 25 人	
■学習支援（授業補助、学力補充等）	□図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援	
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備	□学びによるまちづくり
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		■地域行事への参加	■ボランティア・体験活動
■郷土学習	□その他 [ ]		

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
  - 学校 ■地域学校協働活動推進員
  - 行政 □その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### (1) 地域貢献活動への参加協力

- 年度初めに自治会長さんに学校年間行事やボランティア活動を紹介し、各地域で中学生が参加できる活動を募った。地域や校園、各種団体から依頼された活動を生徒に紹介し、ボランティアを募り、参加者を報告した。生徒には参加後に報告書を学校へ提出し、参加率の高い生徒は年度末に表彰した。



【 緑のカーテンの設置 】

#### (2) 学校行事などへの参加協力

- 長距離遠足の交通指導、合唱コンクールなどの学校行事における駐車場整理、校地内の環境整備（葉刈り、除草作業等）などの活動を行い、地域コーディネーターに依頼し、各種団体に声をかけていただき、ボランティアを募集した。
- 今年度は新たに、秋に中庭の葉刈り・除草作業を行った。
- 年間を通して、校長室および正面玄関に、観賞用の花を設置してもらった。

#### (3) 緑のカーテンプロジェクト（取組 6 年目）

- 4月中旬に3年生の学年集会で取組の説明。5月上旬に支柱作り、ネット張り、プランターに移植。
- 移植後から、環境委員会や各部活動およびボランティア部による水やり。9月下旬に支柱の撤去作業。
- 多くの生徒に呼びかけ、自分たちのつくった緑のカーテンであるという意識づけになった。

#### (4) ゲストティーチャーによる特別講義や支援員の協力

- ゴーヤグリーンカーテン講座（3年）・助産師による性教育（1年・3年）・職場体験前のマナー講座（2年）

### ■ 実施に当たっての工夫

- 学期に1回の地域コーディネーター担当者会議を開き、活動の反省と今後の予定について協議してきた。
- 地域コーディネーターと連携して、自治会や各種団体に協力要請をしていただき、活動の交流を図ることができた。
- 学区内の小学校とも連携をとりながら、進めることができた。
- 地域コーディネーターの顔写真を入れたポスターを作成し、活動を紹介するよう校内に掲示した。

### ■ 事業の成果

- 生徒が地域の一員として地域貢献活動のボランティアに参加する中で、感謝の心を持ち、地域の良さを知る機会となった。
- 緑のカーテンプロジェクトは取組 6 年目になり、生徒や地域の中で定着している。作業を通じて、自分たちの学校環境は、自分たちでよくしていく意識づけになった。
- 長距離遠足では、水分補給、交通指導、同一歩行等、多くのボランティアの方に参加していただいたことにより、生徒たちも地域に守られていることを実感できた。



【 中庭除草作業 】

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- 従来からの事業内容はほぼ定着してきているが、さらに工夫を加えた取組により、地域と学校の関係づくりを活発にしていきたい。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

- 活動の様子を、学校通信と本校ホームページにて紹介している。  
<https://www.fureai-cloud.jp/hikone-jh-hikone/>

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（ 教頭 ）

## 地域の方に見守られ、支えられて育つ「かわせっ子」

彦根市	活動名：彦根中学校区地域学校協働本部	河瀬小学校 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 23 年度 地域学校協働活動推進員等数：2 人 ボランティア登録数：65 人		
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> □部活動支援 <input type="checkbox"/> □学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> □学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> □地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> □地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ■ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> ■郷土学習 <input type="checkbox"/> □その他 [ ]		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学 校 ■地域学校協働活動推進員  
□行 政 □その他（ ）



【 すんだ餅作り 】

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### (1) 「食べ物はかせになろう」（3年）

総合的な学習の時間には、年間を通して「食べ物はかせになろう」というテーマで、食育に取り組んでいる。大豆に焦点を当てて、丁寧に探求的な学習を進めている。本校には地域に大豆畑があり、豆腐作りやずんだ餅作りに協力してくださる方がおられるので、充実した活動ができている。

#### (2) 「町探検」（2・3年）

2年生の生活科、3年生の社会科で町探検に出かけている。東西南北、それぞれの地域を訪ねて行き、地域の方にその施設の役割や歴史を聞く機会をもつた。実際にその地域に住み、よりよい地域になるよう協力し、努力されている方々のお話を聞くことは、児童の心に残る活動になっている。

### ■ 実施に当たっての工夫

- 年に3回、中学校ブロックでコーディネーターの方との話し合いをもち、P D C Aサイクルで活動を進めることができている。年度当初の話し合いでは、昨年度の実践を元に今年度の計画を話し合った。年度途中の話し合いでは、他校の実践を聞く機会があり、活動の参考となっている。  
 ○「学校だより」を通して、学区全体にボランティアの募集の呼びかけをしている。本年度は新たに、安全ボランティアやエプロン製作の支援を申し出てくれる方があり、ボランティアとして登録してくださる方が広がっている。



【 大豆畑の見学と収穫 】

### ■ 事業の成果

#### 「食べ物はかせになろう」

- 学習過程の中で、体験活動を多く位置づけることにより、子どもたちの興味が深まり、学びが深いものになっている。  
 ○大豆という教材を通して人と関わるとしてもよい機会になっている。地域の方とのつながりが深まり、普段の生活の中でも、自然にあいさつを交わすなどあたたかい関わりができる。

#### 「町探検」

- 地域の方とふれあうことで、地域の良さや歴史を知るだけでなく、自分たちの地域を自慢や誇りに思う気持ちが育っている。  
 ○あたたかく見守っていただくことで、子どもたちが安心して活動に取り組め、感謝の気持ちが育ってきてている。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- 年度当初に、コーディネーターの方を紹介し、その役割について本校職員が理解をする場を設けることが大切である。  
 ○できるだけ早めに、お願いしたい内容と日時をコーディネーターの方に伝えることで、いろんな方に連絡を取っていただけ、よりよい「連携・協働」に向けての準備ができる。  
 ○P D C Aサイクルを大切に、よりよい活動になるよう、双方向での意見の交流を大切にしていきたい。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

- 地域コーディネーターをはじめとする地域の方たちに、その都度、学校行事の案内を届けることによって、参観に来ていたり、子どもの様子を見せてもらっている。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

## 地域の力を学校に～地域、保護者、学校が一体となって取り組む学ぶ力の育成～

彦根市	活動名：彦根中学校区地域学校協働本部	高宮小学校 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働活動概要</b>		
[地域学校協働本部] 開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員等数：2人（兼務2人） ボランティア登録数：80人		
<ul style="list-style-type: none"> <li>■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援</li> <li>■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり</li> <li>■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動</li> <li>■郷土学習 □その他 [ ]</li> </ul>		

### ■事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学校 ■地域学校協働活動推進員
- 行政 □その他（ ）

### ■地域と学校が連携・協働した活動（特徴的な活動）

#### 【伝統的踊り「カボチャ踊り】

主に、2年生を対象にした活動である。町探検で地域の文化センターを訪問した際に保存会の方に踊りを見せていただくところから始まった。その後も学校へ数回出向いていただいたり、週末や夏季休業中に地域で行われている練習に子どもたちが自主的に参加したりして、保存会の方や地域の皆さんと一緒に踊りを教えてもらい楽しんだ。また、今年は雨天のため中止となったが、踊りを運動会で保存会の皆さんとともに披露し、全校、保護者、地域への発表の場とする予定だった。

#### 【中山道の探検】

3年生は社会科の学習でスーパーマーケットの見学に出かける。地域のスーパーマーケットであるフタバヤへ安全に行き来するため、ボランティアの方々に見守りをお願いした。店内でも周りのお客さんに迷惑にならないよう、見守っていただいた。そのおかげで安全に見学を行うことができた。

#### 【狂言の出前授業】

6年生の国語科「伝えられてきたもの」の学習で、狂言「柿山伏」について知ることと関連して、地域コーディネーターの方を通して、狂言を演じておられる「おとせ会」の方に来ていただいた。実際に演じられる柿山伏を、子どもたちはとても興味深く熱心に見ていた。そして、その後の授業で特徴的な動きを真似して自ら柿山伏を演じるなど、事後の学習に生かすことができた。



【保存会によるかぼちゃ踊り】



【狂言「柿山伏」の実演】

### ■実施に当たっての工夫

- ・事前の打ち合わせの中で指導者の願いはもちろん、支援者の思いも受け入れつつ、「地域のよさを学ばせたい」という学習のねらいを明確にすることで、活動がいっそう充実したものになるようにした。
- ・家族以外の地域の方とのふれあいを通して、自分たちが多くの人々に支えられ、見守られ、大切にされているということに気付けるようにした。

### ■事業の成果

#### 【伝統的踊り「カボチャ踊り】】

高宮学区は近年、新興住宅地が増え、保護者や地域には「『かぼちゃ踊り』を知らない」という方も数多い。そのため、子どもたちが地域文化に親しみ、伝統を受け継いでいくとする態度を養う上で、大切な活動であると考える。子どもたちも高宮の伝統文化を感じることができ、楽しんで活動する姿が見られた。

#### 【狂言の出前授業】

6年生では、国語科や音楽科などで伝統芸能を学び、古き良き日本の文化を知る学習が設定されている。教科書や音声だけでは、知識として理解したり想像したりすることしかできないが、実際に観劇させていただくことで自分に身近なものとして日本の伝統芸能を感じることができた。観劇後の子どもたちの様子からもそのことが感じられた。

### ■事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

子どもたちや教員は、直接支援いただいた方の顔は分かるが、コーディネーターや他学年の活動支援者は知らないことが多い。コーディネーターの方と年度当初の顔合わせ会、年度終わりに感謝の気持ちを伝える場が設定できるとよい。昨年度は、活動が継続できるように支援者バンクの確立をしており、子どもたちの学習への関心を高める体験的活動等を地域学校協働本部事業が支える基盤を作ることができた。今後もこの支援者バンクをさらに拡大していく、地域と学校が協働して子どもたちの学習活動を支えていきたい。また、来年度に向けて年度末に地域学校協働本部事業の年間計画を作成し、保護者（PTA）や職員が入れ替わっていくことで危惧される本事業の継続的な取組に備えたい。

### ■その他（学校運営協議会との協働等）

彦根市立高宮小学校HP→<https://www.fureai-cloud.jp/takamiya-hikone/>

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（各学年主任）

報告書記入者（地域連携担当教職員）

## 地域と学校を結ぶ鳥居本学園の協働活動

彦根市	活動名：鳥居本中学校区地域学校協働本部	鳥居本中学校　学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成21年度　地域学校協働活動推進員等数：1人　ボランティア登録数：200人		
<p>■学習支援（授業補助、学力補充等）　□図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）　■学校行事支援</p> <p>■子どもの安全確保、見守り　■部活動支援　■学校周辺環境整備　■学びによるまちづくり</p> <p>■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）　■地域行事への参加　■ボランティア・体験活動</p> <p>■郷土学習　□その他〔 〕</p>		

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
  - 学校　■地域学校協働活動推進員
  - 行政　□その他（ ）



【男鬼森林学習：伐採】

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### （1）男鬼森林学習

学区有林（財産区共有山林）の森林整備作業について学習し、植林や間伐作業などを実際に体験することで、森林の保全と有効な活用との調和について理解する。

☆1年・・・植樹　2年・・・伐採　3年・・・活用する

#### （2）地域との連携

☆宿場祭り・・・鳥中ソーランの披露、木材加工品の販売、さんあかグッズの販売

☆学区運動会・・・吹奏楽部の入場行進、開会式での演奏、中学生が役員として活動

☆学区文化祭・・・3年生卒業研究の発表、吹奏楽の演奏、3年生合唱の発表

#### （3）さんあかレンジャー

あいさつ運動で小学校に行って活躍している。10月に1年生より新メンバーを選出し、認証式を実施した。

### ■ 実施に当たっての工夫

○鳥居本学園地域学校協働本部協議会を年3回もち、1学期に地域支援の趣旨・目的を小中で共有し、今年度の活動・役割について確認をしている。2学期は中間総括を行い、後半の活動に生かすようにしている。3学期は年度末総括を行い、次年度につないでいく。

### ■ 事業の成果

○地域の行事に中学生が参加していく活動があることは、地域と中学生（中学校）がお互いに支え、支えられるという関係づくりにおいて効果があると考えられる。特に、中学生の活動を実際に発信して、地域の方に見てもらうということが、彼らの励みになっている。また、地域の方も中学生の活動を見て、頼もしく思ったり、身近に感じたり、これから地域の担い手としての期待感をもたれている。さんあかレンジャーの活躍や地区運動会、宿場まつり、学区文化祭での活動に特に表れている。

○地域学校協働本部事業に、鳥居本学区自治連合会や老社会等が積極的に関わってくださり、地域と中学生を結ぶ活動が多く実践できている。特に、3学期には、1年生のお年寄り交流活動を行う予定である。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

○学校・家庭・地域の交流が深まることにより、相互の信頼関係が強化され地域ぐるみで子育てをし、地域の活性化を目指し、今後の活動にもつながるよう、改善に努めていきたい。また、男鬼森林学習の継続・発展的な運営や、さんあかレンジャーのさらなる活躍の場を考えていくことが大切だと考えている。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

○1小学校・1中学校で、鳥居本学園として小中一貫教育を行っている。地域協働活動、クリーン活動・資源回収など小中で連携して行っている取組がある。今年度は、体育大会を小中合同で開催した。



【宿場祭り　鳥中ソーラン】

報告書記入者（　地域連携担当教職員　）

## 「ふるさとと共に生きる喜びを」 地域とつながる体験活動の支援

彦根市	活動名：鳥居本中学校区地域学校協働本部	鳥居本小学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<b>地域学校協働本部概要</b>			
開始年度：平成 21 年度	地域学校協働活動推進員等数：2人	ボランティア登録数：約 100 人	
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援	
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備	□学びによるまちづくり
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		■地域行事への参加	■ボランティア・体験活動
■郷土学習	□その他 [ ]		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学 校 ■地域学校協働活動推進員  
行 政 □その他の（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### ○全校 「たてわりウォークラリー」

鳥居本の新たなよさを見発し、ふるさとを大切にしようとする心情を育てることを目的とし、今年度は佐和山城跡遺跡、鳥居本映画撮影所を見学して回る活動を行った。滋賀県文化財保護協会、鳥居本オーブン、JA鳥居本支店、旧鳥自治会、地域ボランティアの協力を得て、たてわりのメンバーで地域を歩き、自分の目で見て、本物に触れ、地域の歴史やよさを学ぶ機会となった。また、最後は自分たちで苗植えから収穫まで行ったサツマイモをJAさんが焼き芋にして振る舞ってくださった。



【たてわりウォークラリー】

#### ○4年 総合 「矢倉川調査隊」

6月に鳥居本在住の彦根市環境保全員さんの協力を得て、学校近くの矢倉川で水生生物や水質調査を行った。きれいな川にすむ指標生物が数多く見つかった。また、学校では彦根港湾の水と矢倉川の水、水道水の水質をパックテストで確かめ、矢倉川の水質もきれいであることを発見した。子どもたちはこうした地域の川を、これからも大切にしていくかなければいけないという思いをもった。



【矢倉川調査隊】

### ■ 実施に当たっての工夫

学校側のねらいを、地域コーディネーターに伝え、打ち合わせを十分に行なった。その結果、活動に必要な情報や人材をコーディネーターから紹介していただいたり、新たな活動に発展させたりできた。

### ■ 事業の成果

地域の人々の協力や支援を受け、全学年で地域の人・もの・自然に触れる体験活動を実施することができた。活動を通して、児童は地域の人々の温かさや、自然の豊かさに触れ、自分の住む町への親しみや誇りを高めることができた。コーディネーターが保護者や地域の方々に広く参加を呼びかけることで、活動への支援や参加数も徐々に増えている。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

地域の豊かな教育力や教材を学校教育に生かせるよう、今後も地域との連携を密にして活動を行っていきたい。また、地域への発信を充実し、児童のより主体的な学びを後押ししたい。

今後は、地域にある主幹団体（青少年育成協議会、民生委員児童委員協議会、体育振興会など）と学校とがさらに連携を深めて活動を行っていくことが望ましい。組織的な協力を得て、人材や安全の確保、指導内容の充実を図っていきたい。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

鳥居本学園ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/toriiimoto-hikone/> 小中学校の様子をお知らせしています。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（ 担任 ）

報告書記入者（ 教 頭 ）

## 地域への貢献活動を主とした地域協働活動

彦根市	活動名：稻枝中学校区地域学校協働本部	稻枝中学校 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合—学校運営協議会との協働：□有 □無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 20 年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：10人		
<ul style="list-style-type: none"> <li>■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援</li> <li>□子どもの安全確保、見守り ■部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり</li> <li>□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動</li> <li>□郷土学習 □その他 [ ] </li> </ul>		

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
  - 学校 ■地域学校協働活動推進員
  - 行政 ■その他（青少年育成協議会）
- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
  - 地域の諸団体と共にに行う地域貢献活動（サマーフェスタ・稻枝地区文化祭）
    - ・夏のイルミネーション（稻枝ルミネ）の準備・飾り付け・後始末  
バスケットボール部（男子） バレーボール部（女子）
    - ・サマーフェスタや地域文化祭におけるプラスバンド部の演奏
    - ・稻枝駅前環境美化活動  
バスケットボール部（男子） ソフトテニス部（女子） 個人参加4人



【稻枝ルミネ看板の電気配線作業】

上記の3点の活動は、稻枝地区の諸団体（連合自治会、稻枝地区公民館、青少年育成協議会、青少年指導委員会、稻枝地区福祉協議会等）の協働事業であり、それぞれが補完し合いながら進めている伝統的な毎年の行事である。これらの活動に中学生が、地域の大の中に入り一緒に汗を流す活動となっている。この活動に対し、稻枝地区青少年育成協議会会长の松宮さんから次のようなメッセージが届いている。地域の方から感謝され、やりがいのある活動となっている。

### 「地域に貢献する稻枝中学生」

稻枝地区青少年育成協議会会长 松宮幸彦

6月8日に中学生二十数名と一緒に駅前環境美化活動のフラワーポットにベゴニアの植えつけをしました。途中、雨が降ってきましたが、中学生のみんなは軒下で雨宿りすることもなく、全てのポットに苗を植えてくれました。そして、水やりを駅近郊の中学生等有志五名が昨年に引き続き担当してくれました。とてもありがとうございます。その様子を見られたら声をかけてあげてください。

夏休み、イルミネーションの準備に、中学生二十数名が来てくれました。暑い中、汗をかきながらフェンスに大きなパネルを張り、電球を一つ一つ差し込み、「稻枝ルミネ」の一部を飾ってくれました。当日はきれいで点灯しました。また、後片付けにも別の中学生二十数名が参加してくれました。この他にも、いろいろな行事に参加し、地域の一員として、地域のために貢献している姿をよく見られます。稻中生なしに「稻枝ルミネ」は実現しません。本当にありがとうございます。

- 実施に当たっての工夫
  - 地域の行事や学校の行事は、あらかじめ期日が決まっているので、ボランティアの依頼や、各種団体との連絡調整は早めに行っている。
- 事業の成果
  - 地域貢献活動に参加することによって、地域へのアイデンティティを感じたり、自分たちも地域づくりに参画しているんだという意識が育ってきている。今年度実施した生徒対象アンケート「あなたのふるさと稻枝に愛着を感じていますか（ふるさと稻枝が好きですか）」の問い合わせには、「はい」と92%の生徒が回答している。
- 事業実施上の課題と今後の連携・協働活動の工夫や展望
  - 活動が分業分担制になっているので、中学生と地域の人が同じ場で声をかけ合って活動できる場をもっと多く設けると、中学生にとって実りある社会体験活動となる。
  - 稻枝中学校では、学校評価委員会において、学校の取組を点検してもらっているが、その場で、各種団体が稻枝中学校の未来志向として、どんな連携・協働活動できるのかを模索し、計画実行していくとよりよい稻枝中学校がイメージできる。
- その他
  - 稻枝中学校ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/inne-jh-hikone/> 活動は、写真等で紹介している。
  - コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）
    - 校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（部活担当顧問）

報告書記入者（ 地域コーディネーター ）

## 子どもたちの学びを豊かにする地域支援活動

彦根市	活動名：稻枝中学校区地域学校協働本部	稻枝東小学校　学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 20 年度	地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：28 人	
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	■部活動支援	■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		□地域行事への参加 □ボランティア・体験活動
■郷土学習	□その他 [ ]	

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他 ( )

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）



【焼きいもを受け取る児童】

2年生は、生活科の学習でボランティアの支援をいただいている。学級園で栽培していたサツマイモの収穫を祝う「焼きいもパーティー」では、石焼きいも作りを行ったが、その際、4名のボランティアに協力していただいた。これまでにも、一人一人が育てたピーマンやきゅうりなどの夏野菜を収穫しているので、サツマイモの収穫にも喜んで取り組む姿が見られた。

ボランティアの方々は、2年生の子どもたちに分かるように、火起こしの大変な点や、アルミホイルで包んだサツマイモの並べ方などを話してください、子どもとともに活動に入ってくれた。子どもたちは、ボランティアの方々とのふれあいを通して、人との関わり方を学ぶことができた。また、地域の方の温かいまなざしに触れることで「わたしたちのために来てくださっている」という感謝の気持ちや「楽しく過ごせる学校を大切にしたい」という愛校心を育てることにもつながっている。

### ■ 実施に当たっての工夫

- 隣接する稻枝東幼稚園が焼きいもを作るための道具を保管されていること。また、近隣の保育園や幼稚園、小学校が焼きいもパーティーを開催する際には、道具の移動も考慮に入れながら日程調整をしてくださっていること。こういった支援体制が中学校区として整っている。
- 継続的に支援活動を依頼することにより、人材の確保と実施機会の確保ができ、支援体制の確立につながっている。
- 活動の実施にあたっては、ボランティアの方からアイデアをいただくことも多く、日々のコミュニケーションを豊かにし、学校とボランティアの方との風通しをよくしておくことが、活動を活性化させていく上で重要であると考える。

### ■ 事業の成果

- ボランティアとしてご活躍いただいている方が、新たな方を紹介してくださることもあり、学校支援への熱い思いがボランティアの方々の間で引き継がれている。
- 従来の学校にありがちだった「垣根」が低くなっています。地域の方々が気軽に学校へ立ち寄ってくださっている。
- 年間を通して関わってくださる活動もあり、子どもたちの気になる言動については直ぐさま学校へ情報を伝えてくださるので、児童理解や指導にも役立っている。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- 学習支援・栽培・環境美化・交通安全・生徒指導等でお世話になっている本事業であるが、さらなる活動の広がりが期待される。学校と地域が知恵を出し合い、新たな活動を模索していきたい。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ボランティアの方々との交流の様子を、日々の学校生活のお知らせとともにホームページで紹介しています。  
(<https://www.fureai-cloud.jp/inaehigashi-hikone/>)

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 □その他 ( )

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

## 「ALL はえみ」：地域とともに、学びの充実をめざして

彦根市	活動名：稻枝中学校区地域学校協働本部	稻枝西小学校	学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>			
開始年度：平成 20 年度	地域学校協働活動推進員等数：1人	ボランティア登録数：46人	
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	□学校行事支援	
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備	□学びによるまちづくり
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		□地域行事への参加	■ボランティア・体験活動
■郷土学習	■その他【クラブ活動】		

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
  - 学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他（ ）
- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
 

特色ある学校作りとして、本校では「花作り」に伝統的に取り組んでいる。『メイン花壇』は、我が校のシンボルであるが、花作りの目的は「子どもたちの優しい心、思いやりの心を育みたい」という地域と学校の共通の願いの実現である。

メイン花壇の中心的な担い手であるフラワー委員や6年生の子どもたちは、地域の方々と共に、土作りや種まき、苗の植え替え、除草、水遣り等の活動に取り組んだ。小さな小さな種を1つ1つピートパンに植える、苗が根付くように黒ポットや花壇に植え替える作業は、根気の要る地道な作業の繰返しである。地域の方の黙々と作業に取り組まれる姿、惜しみないサポート、「上手くできたな」とほめてくださる心のこもった言葉から、汗を流して働くことの気持ちよさや協力して活動することの大切さや、心地よさを感じ取って欲しいと願い、活動を行った。



【メイン花壇の植え付け】
- 実施に当たっての工夫
 

今年度は、フラワーサポーターを地域から広く募集し協力を得た。また、「フラワーサポーター便り」を発行し、花作りの目指しているもの・取組の様子や子どもたちの姿等を発信した。子どもたちの「生の姿」をたくさん見ていただきたいと思い、毎週火曜日に実施している「フラワータイム」への誘いかけも行った。
- 事業の成果
 

地域の人と一緒に作業には自然と笑みがこぼれた。子どもの活動を見守り、温かく話を聞いてくださる地域の方々から多くを学び、日々成長していると感じる。毎週火曜日の朝（8：20～8：35）は、『フラワータイム』として、全校栽培活動の時間を位置づけ、花作りに関わる活動と学級園の野菜作りに取り組んでいる。「今日は、フラワーや！」と、元気よく外に飛び出し、15分間の活動に惜しみなく汗を流す姿に成果を感じる。

長期休業中の水遣りは例年、教職員が交代で1日2回行っているが、フラワーサポーターの皆さんからお声がけをいただき、ご支援いただいた。学校の花壇から学校と地域の大切な花壇へと広がった。



【 地域の人と一緒に作業 】
- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
 

「きれいな花が咲けばうれしいが、それが最終目的ではない」と「フラワーサポーター便り」に載せると、「何を意図して花作りに学校が取り組んでいるのかが、よく理解できました。一緒にできること、手伝えることがあれば、いつでも言ってください」と返事をもらうことがあった。また、「学校のために何かやりたいと思っている人は、たくさんいると思う」と話してくださった方もおられる。地域の方の思いを受け止める場や気持ちを発信していただく場を設定する仕掛けが要ると感じる。
- その他（学校運営協議会との協働等）
  - コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）
    - 校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（担当教諭）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

## ふるさとに誇りをもち未来をひらく「いなむらっ子」の育成をめざして

彦根市	活動名：稲枝中学校地域学校協働本部	稲枝北小学校　学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成20年度　地域学校協働活動推進員等数：1人　ボランティア登録数：60人		
<p>■学習支援（授業補助、学力補充等）　■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）　■学校行事支援</p> <p>■子どもの安全確保、見守り　□部活動支援　■学校周辺環境整備　□学びによるまちづくり</p> <p>□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）　□地域行事への参加　■ボランティア・体験活動</p> <p>■郷土学習　□その他 [ ] </p>		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校　■地域学校協働活動推進員  
□行 政　□その他（ ）



【 稲村かるたオリエンテーリング 】

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### \* 「稻村かるたオリエンテーリング」（令和元年5月24日実施）

今年度で30年目の本校恒例の行事。豊かな自然の中、文化財を巡りながら、郷土のよさを知り、自然や文化を愛し、郷土を愛する心を育むことをねらいとしている。

縦割り班グループでオリエンテーリングを行うことで、異学年の児童間の協力と信頼の気持ちを育てることができる。今年度は薩摩・柳川方面の「稻村かるた」に詠まれた地点を巡った。各班には、支援ボランティアの方が複数名ついてくださり、安全も確保できた。各ポイントでは、現地で歴史遺産を見学したり、地域の学習支援ボランティアの方による説明を熱心に聞き、問題に答えたりと有意義な活動となった。地域の方は、地域の歴史や文化を継承するため、自ら資料等を調べ、子どもに向かって分かりやすく資料を作ったり、引き継いで話をしてくださる方を探したりと、この活動が持続発展できるよう協力してくださっている。

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・「甲崎、薩摩、柳川方面」「下岡部、上石寺、下石寺方面」「上岡部、田原、出路方面」の3コースを、3年間で1回ずつ体験することにより、4年生以上は、2回目のコースとなり、学びもさらに深くなるようにしている。
- ・夏季休業中に、次年度のコースの現地研修を行い、教員自身が地域を知り、また、地域の方とつながるようにしている。
- ・各ポイントの担当教員が話をしてくださる方と打合せを行い、子ども達に伝わるような言葉で説明をお願いしたり、時間配分などを確認したりし、スムーズに進むよう工夫している。
- ・事前に各ポイントを下見し、安全が確保できるようにしている。危険な箇所は、ボランティアの方にも伝え、気をつけていただくようになっている。

### ■ 事業の成果

- ・地域の方から地域について学ぶことを通じて、地域の人や遺産のよさも同時に感じ、地域に誇りを持つ児童が増えることにつながった。
- ・児童数の減少に伴い、なかなか行き届かない環境整備を支援していただくことで、気持ちのよい環境で学習させていただいている。感謝の気持ちも育ってきている。
- ・児童とボランティアとのつながりが深くなり、町で出会ったときにも挨拶をすることができる。
- ・学力補充では、苦手な部分をしっかり指導してもらうことができ、児童も分かるうれしさを感じながら取り組んでいる。学習支援員も、指導後に担任と密に連絡を取り、次の指導に生かすことができている。
- ・木曜日の読み聞かせを児童はとても楽しみにしており、ボランティアの方も、学年に応じた本を熱心に選び、互いに楽しみながら継続できている。毎学期の終わりにはお話をボランティアの交流会をもち、本選びのコツ、児童の様子などを交流することでさらに充実してきている。



【 お話をボランティア交流会 】

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

高齢化が進み、新たな人材発掘が難しく、ボランティアのなり手が減少してきている。また、担当教員の異動等により、地域の方との連携の継続が難しいことがある。ボランティアバンクを毎年見直し、全教職員が協働活動の仕組みやよさを理解し生かすことが大切である。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長　■教 頭　■地域連携担当教職員　□その他（ ）

報告書記入者（ 教 頭 ）

## 「子どもたちの笑顔のために」 チームわかパンク5年目の取組

彦根市	活動名：若葉小学校地域学校協働本部	若葉小学校	学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>			
開始年度：平成28年度	地域学校協働活動推進員等数：6人 ボランティア登録数：60人		
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援	
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備	□学びによるまちづくり
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		□地域行事への参加	□ボランティア・体験活動
■郷土学習	■その他【畠の活動】		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学校 ■地域学校協働活動推進員
- 行政 □その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### （1）畠の活動から地域とつながりを深める「収穫感謝祭」の取組

一昨年度から実施している夏の「収穫感謝祭」。今年度は収穫感謝祭に活用できるように、学年ごとに育てる夏野菜を決め、苗植えから水やり、草取り等、育てる過程を大切にしながら、野菜の成長を直に見ることを通して、命の尊さ、収穫の喜びを実感できるように配慮した。収穫感謝祭の内容については、学校とわかパンク（若葉小学校の地域ボランティア）の皆さんで、過去2回の成果や課題を話し合い、児童の参加の仕方やPTAとの連携、暑さ対策等について話し合った。

7月24日に児童が畠で夏野菜を収穫し、翌25日に第3回収穫感謝祭を実施した。当日、参加児童は学校教員による「若葉の森〇×ゲーム」や「野菜bingoゲーム」で楽しい時間を過ごした。その間にわかパンクの皆さんや教職員、地域の中学生、PTAの方々で夏野菜カレーを作り、食事タイムでは和やかな雰囲気でカレーを食べることができた。食の大切さや収穫の喜びを感じるとともにみんなで集い子どもたちの笑顔を真ん中に、地域、保護者、そして教職員が「一つの輪」を作ることができた。

#### （2）校外学習率引率

3年生の社会科學習では、近くの大型量販店に出かけ、自分の生活と販売の仕事との関わりを考えるため、校区内の平和堂見学を行った。店内で班ごとに分かれて調査活動を行う際に、児童だけの活動では周りのお客さん等に迷惑をかけてしまうことがあるが、わかパンクの皆さんに店内各ポイントにて見守っていただくことで、安心してグループで調査活動を行うことができた。また、このような児童とわかパンクの方とのつながりを作ることで、別の學習では、わかパンクの皆さんを招待して学びをまとめた発表会を行った。見学に同行していただいた方だけでなく、普段、登下校や読み聞かせ等でもお世話になっている方もお越しいただき、子どもたちは相手意識・目的意識をもって、張り切って発表することができた。2年生の町探検も、5班編制で地域へ調べ學習に出かけたが、その際にもわかパンクの方に同行していただき、昨年同様、意義ある活動になった。

### ■ 実施に当たっての工夫

- 「収穫感謝祭」では、地域コーディネーターが中心になって、収穫感謝祭の実施について、その意義等を地域の各種団体長や自治会長へ話をしていただき、地域からのご理解のもと、賛助金をもとに収穫感謝祭をより充実させることができた。夏の暑い時期での活動でもあることから、暑さ対策として散水ミストの効果的な活用や冷房の効いた室内での活動もよかったです。事後に運営協議会にて振り返りを行い、無理なくいつまでも続く活動をしていきたい思いを共有することができた。
- 「2年生の町探検」や「3年生の平和堂見学」では、事前に學習のねらいをわかパンクの方と共有し、學習のねらいが達成できるように、児童が困っている際には的確に声をかけていただき、児童が自分たちで見学し學習を深めたという達成感をもつことができた。

### ■ 事業の成果

- 地域コーディネーターを中心に、「学習支援」「図書支援」「見守り支援」「広報支援」の4つのリーダーが責任をもって進めてくださるため、どの活動も価値ある成果を感じることができた。
- 「子どもたちの笑顔のために」という熱い思いで、学校の様々な活動へ協力していただき、「地域の方」から「わかパンクの方」へと、児童の認知度も高まり、児童とのつながりも深まってきている。また、英語科學習や防災學習では、地域の中学校、高等学校とも連携を図り、地域とのつながりを広げることができつつある。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- 学校支援メンバーの一部の方に負担がかからないよう、PTAをはじめ、様々な事業所や機関とも連携を深め、長期間を見通した継続性のある活動を進めていきたい。
- 学校運営協議会との効果的な協働を図るため、学校評議員と運営協議会、わかパンクの組織を見直す必要がある。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他（ ）



【収穫感謝祭・夏野菜カレー】



【3年生平和堂見学】

## 地域の宝を学校に！

近江八幡市	活動名：八幡小学校地域学校協働本部	八幡小学校 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 24 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務1人） ボランティア登録数：123 人		
<p>■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援</p> <p>■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり</p> <p>□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動</p> <p>■郷土学習 □その他 [ ]</p>		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

今年度、新たにボランティア登録をしていただいた方が11名あり、8年目の本年度は123名となった。活動は大きく分けて次の6分野にわたっている。

- ①環境整備…花壇整備、花の植え替え、樹木剪定、剪定後の枝葉処理、生け花、図書事務、運動会テント設営・撤収
- ②絵本の読み聞かせ…1・2年は毎週、3・4年は隔週、5・6年は1ヶ月に1回、朝10分間
- ③学習支援…水泳指導補助、合唱伴奏、ミシン補助、ソーラー補助、ヨモギ団子作り、ピザ作り補助、さつまいも調理補助、おでん作り補助、八幡堀学習、組体操補助、九九聞き取り、英語ボランティアなど
- ④児童引率補助…校区たんけん、町巡り、八幡山、校外学習引率など
- ⑤クラブ活動支援…家庭科クラブ、日本伝統文化クラブ、卓球クラブなど
- ⑥栽培活動支援…さつまいも栽培、夏野菜作り、へちまの棚作り、大根作り、北之庄菜作り等



【 家庭科ミシン指導補助 】

### ■ 実施に当たっての工夫

1階に設置しているボランティアルームにおいて、打合せをしたり、活動前後にボランティアの方々に休憩をしたりしていただいている。ボランティア活動を通して地域の方々自身がお互いにつながりを深めたり、ボランティアの方同士で情報交換・調整をしたりしていただいている。また、活動内容を幅広く知ってもらうため、校内の掲示板を活用して実施内容を紹介している。ボランティアの方々と教職員には「ボランティア通信」を発行することで、他学年の実施内容を互いに知ったり、ボランティアの輪が広がったりすることを目指した。自治会へは、年度の終わりに本事業の活動の報告とお礼を兼ねて文書回覧をしている。

年度末にはボランティア交流会をもち、6年生を送る会を参観するとともに1年を振り返って成果や課題を確認し合っている。

### ■ 事業の成果

- ・ボランティアの方々は支援してくださる中で、子どもとかかわる楽しさを味わい、得意なことが発揮できた達成感を感じるなど、充実した時間を持つことができた。
- ・子どもたちは、地域のボランティアの方々から学んだり、支えていただいたりする中で様々な人のふれあいやつながりを感じ、地域に生活する一人としての自覚が芽生え、地域への愛着が深まった。
- ・ボランティアの方々に学習支援をしていただく中で、教員が豊かな体験活動や地域資源を生かした特色のある学習を創り出すことができ、学習内容も充実した。
- ・協働活動推進員がきめ細かく動いてくださることで、教員が打ち合わせにかける時間を短縮できた。
- ・事業開始からの年数を重ねることで、学習支援活動にますます広がりが出てきた。



【 夏野菜を食材にしたピザ作り 】

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・学習や取組の中には、前年度までの計画をそのまま取り入れてしまい、担任が十分にねらいを把握できずにコーディネーターやボランティアの方に頼ってしまうことがあった。事前・事後学習も合わせて「子どもたちにどのような力を付けさせたいか」等の目標を定かにしてボランティアを依頼していきたい。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（ 教 頭 ）

## 「ふるさとを愛し 瞳輝く島っ子」を 地域と手を取り合って育てよう！

近江八幡市	活動名：島小学校地域学校協働本部	島小学校	学校運営協議会：■有 □無
有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無			
<b>地域学校協働本部概要</b>			
開始年度：平成 23 年度	地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：340人		
□学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援	
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備	□学びによるまちづくり
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		■地域行事への参加	□ボランティア・体験活動
■郷土学習	□その他 [ ]		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学 校 □地域学校協働活動推進員
- 行 政 □その他（島学区まちづくり協議会）



【 船に乗って権座へ いもほりに 】

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### (1) 郷土学習、食育・環境学習、各教科等の学習支援

- ふるさと学習 環境学習（まち探検 むべ園見学 西ノ湖学習等）
  - ・3～5年「ふるさと島を味わおう」
  - 3年「ヨシ・菜の花学習」  
(ヨシちまきづくり ヨシの働き ヨシと暮らし ヨシ原の保全 ヨシ刈り ヨシ工作 地域の祭り 菜種栽培等)
  - ・4年「ヨシ・菜の花学習」  
(菜種栽培 菜種収穫 菜種油を使ったクッキング 松明づくり【地域の伝統の技を学ぶ ヨシと菜種で松明を作成】)
  - ・5年「ヨシ・菜の花学習」(松明奉納 【祭の際に点火】)
- 授業支援（昔遊び 昔体験 防災教育 ミシンボランティア 雅楽体験 米づくり 等）
- エディブル・スクールヤード活動への支援（栽培 調理 食育 農業体験）
- 行事支援（島アドベンチャー【全校登山】 持久走大会等）

#### (2) 見守り活動

- ・保護者による下校時の巡回パトロール「見守り車パトロール」
- ・地域の方による登校、下校時の見守り「見守り隊」
- ・地域の方、保護者による朝の見守り 「行ってらっしゃい運動」



【 消防団による防災教室 】

### ■ 実施に当たっての工夫

- ふるさと学習の年間計画を見直し、教員も地域研修をすることで子どもたちに必要な活動の精選と充実を図ることができた。
- 推進員と担任の打合せの時間の確保が難しい現状があるため、教務や教頭が学習の内容や流れを担任と相談して把握し、推進員や地域ボランティア、島学区まちづくり協議会等との連絡調整を心がけた。
- 地域の方に支援いただいた活動内容や学習の様子を、学校だよりやまちづくり協議会だより、学校ホームページなどで発信し、子どもの様子や感謝の気持ちを伝えるよう努めた。
- まちづくり協議会との連携を密にし、お互いの活動に協力し合える体制を作った。

### ■ 事業の成果

- 毎年、活動を積み重ねていくことで、ボランティアの人数も増え、地域の方が来校される機会が増えた。
- 地域の自然や、伝統文化について地域の方とともに学ぶことで、大切に受け継いだ思いや生き方にふれることができた。
- 地域の方の支援を受け、見守られることで子どもたちに安心感を持たせることができるとともに働き方改革の一助ともなった。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- 推進員や地域ボランティアは経験が豊富であり、十分な支援をしていただけるが、担任が単元全体を見通し授業を組み立てて取り組まなければ活動ありきになり学習が深まらない。
- 担任教員が地域に愛着をもち学習を進められるよう、教材研究、地域の方との交流を進めていきたい。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

- 協議会では、地域と協働して子どもを育成するという視点から、学校や児童の課題についても伝え地域の支援をお願いしている。委員の方々からも、学校の課題を受け支援の充実を目指す取組が話し合われた。委員の皆さんのが所属されている団体との連携も進んだ。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校 長 ■教 頭 □地域連携担当教職員 ■その他（ 担任 ）

報告書記入者（ 教 頭 ）

## 沖島の自然や文化、地域から学び、豊かでたくましい子どもの育成を目指して

近江八幡市	活動名：沖島小学校地域学校協働本部	沖島小学校 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成25年度	地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：10人	
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
□子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		□学びによるまちづくり
■郷土学習	□その他 [ ]	■地域行事への参加
		■ボランティア・体験活動

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校 ■地域学校協働活動推進員 □行政 □その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### ○ ふなずし作り

地元の漁師の方にニゴロブナを調達していただき、うろこや内臓を取り、塩漬けするところから、塩切り、本漬けまで年間3回、丁寧に指導していただいた。

#### ○ サツマイモの苗植え～水やり～収穫と調理

ボランティアの方の協力を得て、沖島のやさしいアイスの材料であるサツマイモの苗を植え、当番で水やりを行い、収穫した。

収穫したサツマイモの一部を全校で調理して、食べた。

#### ○ おきしま通船での避難訓練

通学や島外への移動に使うおきしま通船で、消防署の方を講師に招いて避難訓練を行っている。着衣に通船のライフジャケットを装着して、実際に浮く体験もグループで行った。

#### ○ 沖島太鼓の練習

クラブ活動の時間に全校で沖島太鼓の練習に取り組んでいる。年間数回、専門の先生に指導を受けている。地域の行事に参加して演奏し、練習の成果を披露している。

#### ○ 島民災害避難・水難救助訓練

沖島町自治会と近江八幡警察署、東近江行政組合消防本部主催の訓練に全校で参加した。大規模地震が発生したとの想定で消防艇・警備艇・おきしま通船にて避難した。



【 ふなずし作り 】



【 おきしま通船での避難訓練 】

### ■ 実施に当たっての工夫

- 沖島のよさを感じられ、地元の方々の願いに触れられるような体験になるように心がけている。
- プロの方の指導を受けられる機会を作っている。

### ■ 事業の成果

- 地域の方から指導を受けたり、話を聞いたりすることにより、沖島をより身近に感じることができた。
- プロの方に指導を受けることにより、学校だけでは教えられない体験をすることができ、子どもたちが意欲的に活動に取り組んだ。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- 沖島の文化・産業に携わる方が高齢化しているため、若い世代の方と連携を取りながら、講師の発掘を進めていかなければならぬ。
- 沖島の活性化につながるような活動に取り組んでいきたい。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

- 活動の様子を学校HP (<http://www.fureai-cloud.jp/okishima-es/>) や学校だよりで保護者や島民に広く周知している。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

□校長 ■教頭 □地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（ 教頭 ）

## ～『学校と地域の両輪で』地域と協働した学びを～

近江八幡市	活動名：岡山小学校地域学校協働本部	岡山小学校 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合→学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働活動概要</b> 開始年度：平成22年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：180人 <ul style="list-style-type: none"> <li>■学習支援（授業補助、学力補充等）</li> <li>■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）</li> <li>■学校行事支援</li> <li>■子どもの安全確保、見守り</li> <li>□部活動支援</li> <li>■学校周辺環境整備</li> <li>□学びによるまちづくり</li> <li>■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）</li> <li>□地域行事への参加</li> <li>■ボランティア・体験活動</li> <li>■郷土学習</li> <li>□その他 [ ]</li> </ul>		

### ■ 事業を考案する主体

- 学校
- 地域学校協働活動推進員
- 行政
- その他（ ）

### ■ 地域と学校が連携・協働した活動（特徴的な活動）

- 5年生は、営農組合や農業委員さん、JAの方の支援・協力を得ながら田植え、稲刈りの体験活動をした。また、低学年は、畑や個人の鉢で野菜づくりに取り組んだ。地域の「野菜の先生」に、土作りや苗の植え方・世話の仕方等のコツを教えてもらい、いろいろな野菜を育て収穫することができた。収穫祭では、お世話になった方々を招待し、地域の方とふれあう機会とすることができた。
- 4年生は、「琵琶湖一周鉄道の旅」の学習で、各クラスが調べたい市町を考え、班ごとに湖北・湖南に別れ、活動を行った。その際、各班に地域ボランティアが付き添い、児童が安全に活動できるように支援をしていただいた。実施に見学することで、自分たちの住んでいる地域との違いに気づき、より深く考える体験型の学習となった。
- 2、3年生のまち探検等、校区内を移動する際、交通量が多い場所や交差点などに立ち、児童の安全確保に協力いただいた。2年生の校外学習では、JRや施設等の利用時に児童の引率補助に協力いただいた。



【 5年生 田植え 】

### ■ 実施に当たっての工夫

- 地域学校協働活動推進員は、主に地域のボランティアさんとの調整を行い、学校は外部講師の依頼をしている。
- 図書ボランティアさんは、年度当初と年度末に打合せや総括の会議を行い、学期ごとに計画の作成をしている。
- 学校だよりを学区全戸に配布し、支援活動等を適時掲載して地域に発信している。



【 1年生 さつまいもの調理 】

### ■ 事業の成果

- 地域ボランティアの協力を得ながら、地域ならではの体験学習に取り組むことにより、地域のよさを学ぶことができ、ふるさとを愛する子どもの育成につなげることができた。
- 子どもたちが多くボランティアの方々とふれあう機会をもつことにより、コミュニケーションが取れるとともに、地域の大人に見守られているという安心感を持つことができた。また、ボランティアさんに礼状を渡したり、収穫祭などに招待したりして、感謝の気持ちを表す取組などを通じて、社会性や感謝の心を育むことができた。
- 教員や子どもたちが多く地域の方々に支えられていることを実感して豊かな教育活動を推進している。

### ■ 事業実施上の課題と今後の連携・協働活動実施に向けて

- 学年の児童数が増加しているため、校外学習等を実施する場合に引率ボランティアに協力いただいているが、配慮や支援が必要な児童にどのように対応してよいか困惑されることがあった。事前に担任と打ち合わせを行っているが、ボランティアさんに負担をかけないよう計画の見直しや体制の工夫などが必要である。
- 地域のよさや伝統を伝えていただく方の高齢化に伴い、支援していただくことが年々困難になってきている。地域の新しい人材を発掘し、伝統を引き継いでいただく支援者をいかに増やしていくかが課題である。そのためには、学校の様々な活動を学校だよりやホームページ等で広く発信するとともに、地域の情報収集に努める必要がある。

### ■ その他（学校運営協議会との連携等）

URL:<http://www.city.omihachiman.shiga.jp/~okasyo/>

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校長
- 教頭
- 地域連携担当教職員

- その他（学年主任）

報告書記入者（ 教頭 ）

## 地域への愛着と誇りを胸に！未来を拓く金田っこ

近江八幡市	活動名：金田小学校地域学校協働本部	金田小学校 学校運営協議会：■有 □無 有の場合→学校運営協議会との協働：■有 □無
<b>地域学校協働活動概要</b>		
開始年度：平成 25 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：70人		
<p>■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） □学校行事支援</p> <p>■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり</p> <p>□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動</p> <p>■郷土学習 ■その他 [伝統芸能鑑賞、防災学習]</p>		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校 □地域学校協働活動推進員 □行政 □その他( )



【1年生 地域の方とのふれあい】

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- (1) 1年「昔遊び・お正月遊び」「おいもを調理しよう」・・・地域の方やおじいさん、おばあさんとふれあう。
- (2) 2年「大根を調理しよう」「ブラジル・フィリピンについて知ろう」・・・地域の方や外国の方とふれあう。
- (3) 3年「金田のステキ発見」「畑ではたらく人々」「昔の暮らし」・・・地域ではたらく人々とふれあう。
- 金田学区のいいところ・金田のステキとして
  - ①篠田神社の花火祭り ②スクールガードの皆さん ③祭りの松明づくり
  - ④浅小井町の祭り ⑤浅小井トマト を取り上げて、それぞれの人や物に触れ、その魅力を探った。
- (4) 4年「地域を守る消防団」「蛇砂川の歴史と現地見学」「福祉体験」「寺子屋」・・・地域を守る人々とふれあう。
- (5) 5年「田んぼではたらく人々」「環境学習」「手縫い名人になろう」・・・地域の環境について考える。
- (6) 6年「ミシン名人になろう」「平和学習」「伝統文化に親しもう（詩吟体験）」「芸術に触れる（オペラ鑑賞会）」「戦争中に金田学区の様子を知ろう」・・・地域の平和について考える。



【5年生 地域の環境について考える】

### ■ 実施に当たっての工夫

- 講話だけでなく、本物・実物に触れたり体験したりできる場づくりに努め、発見や感動のある学習を目指した。
- 担当学年の主任と地域学校協働活動推進員との連携を密にし、打合せ時間を確保した。
- 地域学校協働活動推進員と協力して、学年のニーズに合った講師やボランティアの確保に努めた。

### ■ 事業の成果

- 実際に仕事をされている方々の話を聞いたり仕事の様子を見学したりすることで、教室ではできない学習、体験ができた。
- 金田学区にお住まいの講師、ボランティアに来ていただくことで、「人」「技術」「地域」がより身近に感じられるようになった。
- 地域の安全を守る活動（スクールガード、地域の消防、地域の川の整備等）を日常的に目にしたり、体験したりする中で、防災や安全に対する意識の高まりが見られた。
- 放課後子どもも学習「寺子屋」では、コミュニティセンターを学習の場として、学力補充に加えてニュースポーツの体験、防災に関する学習等も取り入れた工夫あるプログラムで、参加した児童にもその保護者にも大変好評だった。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- 大規模校で、どの学年も人数が多い。(140名～180名) その分、講師・ボランティアの方も多数お願ひする必要がある。人数確保や日程調整が難しい。学級単位で講話・体験をお願いすると、1日に4～5回お話を来ていただくことになり、負担が大きい。
- 講師・ボランティアの方々の高齢化が進んでいる。新たな人材確保が急務である。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

- 学期に1度集まつていただき、協議会を開催している。地域と学校が協働で活動した取組について紹介し、理解と協力を求めている。協議会では概ね好意的、建設的な意見が聞かれる。
- 高齢化に伴う新たな講師・ボランティアの確保については、協議会でも懸案事項とされている。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 □地域連携担当教職員 ■その他(学年主任)

報告書記入者 ( 教頭 )

## 学校を通して、地域ぐるみで健やかな子どもたちを育むために

近江八幡市	活動名：桐原小学校地域学校協働本部	桐原小学校 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働活動概要</b>		
開始年度：平成24年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：117人	■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 □学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 [ ]	

### ■事業を立案する主体（該当するすべてに■印）

- 学校 ■地域学校協働活動推進員  
□行政 □その他（ ）



【地域ふるさと学習：桐原・日野川のお宝発見】

### ■地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- 4年 フィールドワーク 「地域ふるさと学習：桐原・日野川のお宝発見」  
日野川の恵みとともに人々の暮らししがあったが、時には洪水等の水害にも見舞われてきた。その中で先人の暮らしやまちづくりにおける知恵も育まれ伝えられてきた。  
そのことを詳しく知っている地域の方から事前学習をしていただいたのち、県の流域政策局の職員の方、地域ボランティアの方とともに、フィールドワークを行い、学びを深めた。

### ■実施に当たっての工夫

- 地域全体に浸透するように、学校だよりやコミュニセンターだよりに活動の様子を紹介するとともに、学校支援の輪を広げる取組を進めてきた。
- 学校支援ボランティアさんの活動予定を示したボードを活用することで、教職員全体に周知するとともに計画的に進められるよう配慮した。
- 日頃お世話になっているボランティアの皆さんへ、子どもたちより年賀状と暑中見舞いのご挨拶の取組を始めた。

### ■事業の成果

- ボランティアの方々が日常的に学校に来ていただいていることから、子どもたちの様子を複数の目で観察することができ、安全な学校生活を送ることにつながっている。
- 地域の方々が朝や休み時間を利用して、さまざまなメニューを用意して子どもたちと関わってくださっている。このことは、子どもの居場所づくりや居心地のよい空間づくりにつながっている。
- 家庭科やクラブ活動等、子どもたちの活動を支援していただいている。ボランティアさんとのふれあいの中で、子どもたちの健やかな成長が育まれている。
- スクールガードの方々の登下校時の見守り活動により、子どもたちは安心して登下校できている。
- 校外学習では、教員だけでは子どもたちの様子を把握できないこともあるが、ボランティアの方々のおかげで、安全に注意を払って取り組むことができている。
- ボランティアの方々による図書館の環境整備や、おはなし会の開催などを通して、本を身近に感じ、本に親しむ子どもたちが増えている。

### ■事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

校外学習や授業での支援活動において、ボランティアさんの存在は大変大きく、学校ボランティアとして定着してきているが、高齢化が進むことによる課題もみられる。今後、この活動が継続していくためにも、コミセン・地域との連携がより大事であり、新規募集を含めた組織面の見直しも必要がある。

### ■その他（学校運営協議会との協働等）

来年度から始まる学校運営協議会を前に、「支援」から「連携・協働」に向け、さらに地域人材を確保し、地域住民による学校との連携・協働を充実させ、地域と学校が子どもの実態や課題を共有しビジョンをもって進めていくことが大切である。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（各担任）

報告書記入者（ 教頭 ）

## 地域とともに体験学習を・ボランティアさんはできるときにできることを

近江八幡市	活動名 : 桐原東小学校地域学校協働本部	桐原東小学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度 : 平成 24 年度	地域学校協働活動推進員等数 : 1 人	ボランティア登録数 : 150 人
<input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等）	<input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	<input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援
<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り	<input type="checkbox"/> 部活動支援	<input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備
<input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		<input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり
<input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習	<input type="checkbox"/> その他 [ ]	<input type="checkbox"/> 地域行事への参加
		<input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学 校 地域学校協働活動推進員  
□行 政 その他 ( )

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### (1) 学校支援グループの活動

地域の方が学校を支え共に活動していくために、各種ボランティアさんの代表者 10 名がメンバーとなって月 1 回の代表者会議を開催している。そこでは、学校が必要としているボランティア活動の内容の検討や活動後の反省などが行われ、より良い協働活動が推進できるような話し合いとなっている。



【白鳥川生物調べ】

#### (2) 白鳥川体験学習

地域には人々に愛されている白鳥川が流れている。近年その景観が乱れつつあることを懸念して、「白鳥川の景観を良くする会（略称 景観隊）」が設立されている。総勢 100 名を超える方が加入されており、河川周辺の清掃はもとより河川の水質や動植物の様子を観察できる体験学習を開いておられる。本校では、毎年 5 年生が総合的な学習の時間に「白鳥川の学習」を進めている。事前学習から現地体験学習、事後の学習発表会まで「景観隊」の方々と共に学習をしていくことが定着している。

#### (3) 防災学習

6 年生は突然の災害に備えるために地域の方とともに防災についての学習を行っている。まずグループに分かれて地域をフィールドワークして危険な個所や災害への備えを見つけ出す。この時にはグループ毎に地域のボランティアさんと一緒に回り学習を深めていく。そしてハザードマップを作成しより地域のことを知る。次に避難所体験ということで段ボールを組み立てて避難所を作りその中で非常食を食べる体験である。この時も民生委員さん等の地域で活動してくれる方と共に作業を行い、防災に対する意識を高めるとともに地域の方と触れ合う場ともなっている。

### ■ 実施に当たっての工夫

- 活動を計画した学年の担当教員とボランティアの方とで短時間でも打ち合わせを行うようにしている。また、依頼は必ず活動推進員さんを通して行い、年度が変わっても毎年の活動が定着していくよう地域と学校をつないでもらっている。  
○「できるときにつくることを」の合言葉のもと、ボランティアさんには無理してしんどい思いをされないよう気軽に参加していただけるように呼びかけを行っている。

### ■ 事業の成果

- 地域の人材や自然、今まで知らなかったことに触れ、郷土の良さを実感することができた。  
○学校行事の支援や見守り活動を行っていただき、教員の負担が減り児童によりきめ細かな支援ができるようになった。  
○児童と地域の方々とのつながりができ、児童が地域でいきつがで地域の方々に学校行事を参観に来ていただいたりして学校生活の充実につながっている。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- 協働活動推進員さんと打ち合わせを行う時間の確保。  
○ボランティアさんの高齢化が進み、一般に言う後継ぎがなく、次の世代の方に活動を広げ人材を確保することが必要である。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校 長 ■教 頭 □地域連携担当教職員 ■その他 ( 各教員 )

報告書記入者 ( 教 頭 )

## 地域とともに育てる馬淵の子

近江八幡市	活動名：馬淵小学校地域学校協働本部	馬淵小学校　学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		

- 開始年度：平成24年度　地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：60人
- |                                  |                           |              |
|----------------------------------|---------------------------|--------------|
| ■学習支援（授業補助、学力補充等）                | □図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） | ■学校行事支援      |
| ■子どもの安全確保、見守り                    | □部活動支援                    | ■学校周辺環境整備    |
| □地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） |                           | □学びによるまちづくり  |
| ■郷土学習                            | □その他〔 ]                   | □地域行事への参加    |
|                                  |                           | ■ボランティア・体験活動 |

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学 校 ■地域学校協働活動推進員  
□行 政 □その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・クラブ活動支援…昔遊び、園芸、家庭科
- ・日頃の授業支援…家庭科（ミシン、調理実習）
- ・農業・栽培に関する活動…ペア学年での米作り体験、ひょうたん栽培、野菜栽培
- ・歴史・伝統文化に関する活動…茶道体験、しめ縄作り
- ・人権・福祉学習に関する活動…盲導犬体験、地域の老人福祉施設交流
- ・平和学習に関する活動…戦争体験・校区への疎開体験の聞き取り
- ・地域防災に関する活動…校区内河川の自然観察と水害被害の聞き取り、通学路危険個所調査とハザードマップ作り・校区内への発信



【ペア学年での農業米作り体験】

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・ボランティアの世代交代を考えて新規ボランティアの発掘に努めた。そのためボランティア相互の横の繋がりを広げるようと考えながら活動を進めた。
- ・授業者と支援者のマッチングや打ち合わせの調整について、推進委員が授業者の要望を十分に聞き取って仲立ちをした。具体的な活動内容や支援内容については、授業者、支援者、推進委員が事前の打合せを行って決定した。
- ・空き教室を活用して校内にボランティア室を設けて、常時打合せや休憩、待機の場所として利用できるようにした。また、年間の活動の経過がわかる掲示等を行った。



【危険個所点検・ハザードマップ作り】

### ■ 事業の成果

- ・推進委員の役割についての教員の理解が深まることと、事業に対する地域の理解が進んだことによって、学習活動に対してより効果の高い支援が得られるようになった。自宅で教室を開いている人や、現職を退いたばかりの人などから専門的な知識や技能を生かした支援を得ることができるようになり、授業者自身も知識を深めることができた。
- ・継続した活動を行うことによって、児童は顔馴染みとなった支援者の来校を楽しみにするようになり、支援者は児童への理解が深まって効果的に支援を行え、継続することにやりがいを感じるという好循環が生まれている。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・地域との連携の効果を高めるには、事前の授業者と支援者の打合せが重要であり、推進委員の限られた勤務時間内で効率的に行うよう工夫する必要がある。
- ・一人の支援者が複数の分野の活動に関わる場合も多いため、各学年の活動の日程を早期に調整する必要がある。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・次年度から導入する学校運営協議会の下での地域学校協働本部の位置づけと推進委員の役割を明確にして、事業のより効果的な活用を行っていきたい。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校 長 ■教 頭 □地域連携担当教職員 ■その他（ 各担任 ）

報告書記入者（ 教 頭 ）

## 地域とともに歩むCSをめざして～One Team北里～

近江八幡市	活動名：北里小学校地域学校協働本部	北里小学校 学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無
-------	-------------------	---

### 地域学校協働本部概要

開始年度：平成21年度 地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務1人） ボランティア登録数：110人  
学習支援（授業補助、学力補充等） 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） 学校行事支援  
子どもの安全確保、見守り 部活動支援 学校周辺環境整備 学びによるまちづくり  
地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） 地域行事への参加 ボランティア・体験活動  
郷土学習 その他〔 〕

### 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学 校 域学校協働活動推進員 行 政 その他（ ）

### 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### （1）メダカシンポジウム

メダカの学校小田分校の方と一緒に田んぼでの田植え、観察・肥料まき・草刈り稻刈りという米作りの一連の作業を体験させていただくとともに、11月9日の祖父母参観日には、『田んぼの向こうに世界が見える』というテーマで田んぼの学校で体験したことや『米作り』や『田んぼにいる生き物』など5年生児童が総合的な学習の時間に調べた内容をまとめて発表した。また、メダカの学校の方からは、これまでの活動のパネル展示をしていただき、5年生の児童や保護者対象に環境にかかわる講演をしていただいた。



【メダカシンポジウムの様子】

#### （2）読み語り

##### ○活動の概要と目的

毎週木曜日の朝学習の時間に、地域の方に各クラスで読み語りをしていただくことによって、子どもたちの豊かな心を養い、本好きの子どもを増やすことを目的に実施している。

##### ○支援員数：約20名

##### ○支援員の属性：読み語りグループ『ほんわか』さんをはじめとする地域のさまざまな方

##### ○学習形態：読み語り

##### ○教室のもち方と実施日数：毎週木曜日の約10分間

##### ○子どもの平均参加人数：各クラス全員

### 実施に当たっての工夫・・・（2）について

○地域学校協働活動推進員が地域と学校をつなぐ重要な役割を担っており、学校の思いを地域に、地域の思いを学校に伝えることで双方向にメリットがあるような活動を実施するように心がけている。

### 事業の成果

○事業開始から11年になる。本活動が年間計画の中に位置づけられていることにより、かなり定着している。毎年、実施時期活動内容について、地域学校協働活動推進員と一緒に各学年の担任が見直しをすることにより、より精査しながら本事業が実施できている。

### 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

○平成21年度の本事業を開始してから、同じ地域学校協働活動推進員が一人で地域と学校を繋ぐ役割を担ってきているが、今後後継者の育成や選任に困難さがある。

### その他（学校運営協議会との協働等）

○本年度、コミュニティー・スクールとして立ち上げた。今までの「教育評議会」と「地域教育協議会」を統合して学校運営協議会として発足した。10名の運営協議会委員には、学校の教育活動を知っていただくため、給食試食会や学習参観、引き渡し訓練等には案内文を送付した。来ていただいた委員さんには、様々な意見を出していただき、学校との情報を共有してきた。次年度に向けてともに歩む学校運営をめざしていく。

### コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校 長 教 頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（ 教 頭 ）

## 力を合わせて、地域を愛する子どもたちの育成を

近江八幡市	活動名：武佐小学校地域学校協働本部	武佐小学校　学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成21年度	地域学校協働活動推進員等数：1人	ボランティア登録数：73人
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		□学びによるまちづくり
■郷土学習	□その他 [ ]	□地域行事への参加
		□ボランティア・体験活動

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学 校 □地域学校協働活動推進員  
□行 政 □その他（ ）



【3年 むしやりんどう展見学】

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- 体験的学習で、華道や茶道等文化的で専門的な指導を行ってもらう。
- 地域の特徴、文化遺産の紹介や歴史等について、現地を案内してもらったり、学校で話を聞かせてもらったりする。
- 交番やコミュニティセンター等の官公庁や地元の商店等で、学校に協力をしていただけの所を探し、学習に活用する。
- 畑づくりや花壇の整備等の学校環境づくりに協力いただく。

### ■ 実施に当たっての工夫

- 学年や学級の実態に合った支援になるように、先生の思いをじっくりと聞き取る。
- ボランティアさんの思いや意欲を理解するために、できるだけ直接出会うようにし、自宅を訪問して打合せを行ったり、学校に来られたときには顔を合わせたりするようにしている。
- ボランティアさんどうしもお互いに話ができるように、ボランティア室を設けて打合せや休憩に使ってもらっている。
- ボランティア便りを作成し、活動の様子を伝え理解が得られるように、ボランティアさんに送っている。

### ■ 事業の成果

- 地域のボランティアの方に学校に来て、児童の支援を行っていただくことで、学校や児童の様子をよく知っていただくことにつながった。
- 地域のボランティアの方と児童が顔見知りや仲良くなることで、地域でいさつしたり声を掛け合ったり、また、地域行事に参加しやすくなるなど関わりが増えた。
- 授業や行事で教員の力だけではできない専門的な支援を行ってもらえる。また、担任以外にボランティアの方が支援に入っていただけるので、児童一人ひとりによりきめ細やかな支援ができた。
- 教室内の教科書を中心とした授業だけにならずに、実際に見たり触れたりできる体験的な学習を多く取り入れられた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- たくさんの方にボランティア登録していただいているのも関わらず、企業やボランティアさんのできることと学校の要望が合わないことや時間調整がうまくいかないことで、活用しきれていないことがある。
- コーディネーターの勤務時間に限りがあるので、ボランティアさんや先生との打合せや聞き取りが不十分になることがある。



【4年 蛇砂川の学習】

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校 長 ■教 頭 □地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（ 教 頭 ）

## 学校・保護者・地域ぐるみで子どもを見守り、育てる支援活動

近江八幡市	活動名：安土学区地域学校協働本部	安土小学校 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 25 年度	地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務1人）	ボランティア登録数：135 人
□学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	□学校周辺環境整備
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	□学びによるまちづくり	□地域行事への参加
■郷土学習	□その他〔 ]	■ボランティア・体験活動

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### （1）全校児童対象の活動

学年	項目	具体的な取組内容
全校 児童	朝の読み聞かせ	読書ボランティア「[よきによきさん」さんに、毎週木曜日、朝読書の時間に、2学年ずつ各学級で読み聞かせをしていただく。子どもたちは、毎学期1、2回、昼休みに開催してくださるお話を楽しみにしている。
	見守り あいさつ運動	日常的に登下校時、学校周辺の交差点で、ボランティアの方々による子ども見守り活動をしていただいた。特に月の初めと中旬の朝には、地域の役員さんとともに、6年生の子どもたちも参加して、校門でのあいさつ運動を実施した。

#### （2）学年の活動と連携・協働した活動

学年	項目	具体的な取組内容
3年生	ふるさと体験学習	・信長ねぎの収穫、ちまきや野菜せんべい作りの各体験をする地域学習を行った。
4年生	西の湖学習	・地域の方々の協力を得て、和船に乗って身近な西の湖巡りを行い、環境について学習した。
5年生	米作り体験	・米作りの一連の活動を、ボランティアの方々の協力を得て行った。
6年生	茶道体験	・地域の施設の和室で、茶道教室の先生の指導により本格的な茶道体験をさせてもらった。



【 1年生昔遊びの会 】

### ■ 実施に当たっての工夫

○教職員が地域学校協働活動推進員と日常的に連絡を取り合い、学年が必要とする地域人材の情報を共有することに努めている。また、地域の人材を招いたり地域に出向いて学習したりする際に、地域学校協働活動推進員から、多くの有益な情報を得ている。

○あいさつ運動には、大人だけでなく、6年生を中心に児童会の子どもたちが参加して、朝のあいさつが気持ちよくできるように活動を盛り上げている。

○読書ボランティア「[よきによきさん」と教職員や地域学校協働活動推進員が、日常的に情報交換しながら、子どもが本に親しむ活動を推進している。

### ■ 事業の成果

○地域学校協働活動推進員が教職員と連携を密にし、担任の思いや要望を把握することで、適時、適材の地域ボランティアの方々を講師として招いたり、地域での学習に協力いただいたりすることができた。

○地域ボランティアの協力を得ながら、地域ならではの体験学習に取り組むことにより、地域のよさを学ぶことができ、ふるさとを愛する子どもの育成につなげることができた。

○子どもたちが多くのボランティアの方々とふれあう機会をもつことにより、コミュニケーションが取れるとともに、地域の大人に見守られているという安心感を持つことができた。ボランティアの方々も、体験を通して子どもたちと関わることで、やりがいや生きがいを感じていただいている。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

○地域のよさや伝統の技などを伝えにく方の高齢化に伴い、支援者がだんだん減ってきており、地域の新しい人材を発掘し、いかにボランティアの登録者を増やしていくかが課題である。そのためには、学校の様々な活動を通信やホームページ等で広く発信するとともに、情報収集に努める必要がある。

○コミュニティセンターやPTAとの連携を深め、広く地域住民を巻き込んだ取組を進めていく必要がある。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（ 教 頭 ）

## もっと老蘇を好きになる老蘇っ子の「ふるさと学習」

近江八幡市	活動名：老蘇小学校地域学校協働本部	老蘇小学校 学校運営協議会：■有 □無 有の場合→学校運営協議会との協働：■有 □無
<b>地域学校協働活動概要</b>		
開始年度：平成23年度	地域学校協働活動推進員等数：1人	ボランティア登録数：60人
□学習支援員を配置した学習支援（本部内地域未来塾）	■地域未来塾以外の学習支援（授業補助、学力補充等）	
■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	□学校行事支援	■子どもの安全確保、見守り □部活動支援
■学校周辺環境整備	□学びによるまちづくり	□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）
■地域行事への参加	■ボランティア・体験活動	■郷土学習 □その他 [ ]

### ■事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校 ■地域学校協働活動推進員 □行政 □その他（ ）

### ■地域と学校が連携・協働した活動（特徴的な活動）

#### (1) 豊かな自然から学ぶ

- (全学年)・ビオトープでの体験活動 (2年)・タケノコ掘り (4年)・西の湖学習・ヨシ灯り作品作り
- (5年)・田んぼへの稚魚の放流・田んぼでの生き物調べ

#### (2) 働く人から学ぶ

- (2年)・野菜の栽培・ハチミツ採取体験・まち探検
- (3年)・ネギ農家見学・イチゴ農家見学・スーパーの見学・食品工場の見学
- (5年)・自動車部品工場見学・米作り体験・揚水機場見学

#### (3) 歴史や伝統から学ぶ

- (1年)・昔の遊び体験 (2年)・ふるさとの偉人から学ぶ
- (3年)・昔の暮らしについての聞き取り (4年)・ゴミ処理についての学習
- ・老蘇消防団の方のお話・ふるさと絵屏風の話 (5年)・シーサー作り
- (6年)・お茶碗製作・お茶たて体験・戦争体験の聞き取り

#### (4) 支えのもと学ぶ

- (全校)・登下校の見守り・絵本の読み聞かせ・持久走記録会立哨
- (5年)・米作り体験 (5年・6年)・家庭科ボランティア



【ネギ農家の見学】

### ■実施に当たっての工夫

- ・以前から引き続き行われている活動が多いので、“活動ありき”にならないよう、活動の意義やねらいを明確にすることを意識して取り組むよう心がけている。
- ・教科の学習や領域とも関連付けながら活動を進められるように、カリキュラムを構成している。
- ・活動の様子を「地域支援だより」「校長通信」「学校だより」やホームページ上で発信し、指導者や協力者にお礼の気持ちを伝えるとともに、地域や保護者に対して、活動内容や活動意図への理解が進むようにしている。

### ■事業の成果

- ・多くの人と出会い、様々な体験をすることで、いろいろな考え方、生き方に出会うことができた。自分の生き方を見つめ直し、将来の夢などについて考える機会が増え、夢や展望を持つ児童が増えた。
- ・ふるさとの自然や歴史、文化、人などについて知ることで、“老蘇”的よさを再発見することにつながり、そこに住んでいる自分にも自信が持てるようになった。

### ■事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・子どもの活動や思考の流れにそって体験活動を組み入れることで、それぞれの体験活動の効果が出るので、単元全体の構成を熟考する必要がある。
- ・体験活動の多くは、講師を招いて指導いただく方法を取るので、児童の主体性を生かす工夫が必要である。「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、課題作りの段階で、児童の課題意識をどれだけ高められるかが重要である。

### ■その他（学校運営協議会との連携等）

- ・学校運営協議会では、地域の文化、歴史、人材などについての話題がよく上がる。学校と学校運営協議会が密に連携することで、地域の思いを反映した教育ができ、また、学校が要望する支援を地域から受けられるようになる。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（教務主任、各担任）

報告書記入者（ 教頭 ）

## 「地域の方は学校へ、八中生は地域へ」の相互関係を大切に

近江八幡市	活動名：八幡中学校地域学校協働本部	八幡中学校 学校運営協議会：■有 □無 有の場合→学校運営協議会との協働：■有 □無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 25 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：100 人		
<p>■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援</p> <p>■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 □学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり</p> <p>□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動</p> <p>■郷土学習 □その他 [ ]</p>		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学 校 ■地域学校協働活動推進員
- 行 政 □その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### （1）授業支援ボランティア

- 1年被服実習支援（7月） 全学年水泳実習支援（6月～7月）
- 全学年書道（毛筆）実習支援（10月）
- 全学年剣道実習支援（10月～11月）

#### （2）総合学習支援ボランティア

- 1年八幡フィールドワーク支援（10月）
- 2年職場体験学習交通安全指導支援（11月）
- 特別支援学級茶道体験支援（3月）



【家庭科実習 浴衣着付け】

### ■ 実施に当たっての工夫

- 各コミュニティーセンターと連携を密にとり、地域から広くボランティアを募っている。
- 職員室に地域コーディネーターの座席を設け、常に交流が持てるようしている。
- 実技教科の実習では授業中の活動なのでボランティアの方が何を、どこまで生徒に接していくべきか等話し合う直前の打ち合わせを重視している。



【書道実習 ボランティア紹介】

### ■ 事業の成果

- 実技教科の実習では、教師一人では目が届きにくい場面が多々ある。各授業に平均3～4名の支援ボランティアの方が来て下さり、生徒にとって有益であった。
- 例年同じ活動を積み重ねている中で、新たなボランティアの方も来てくださるようになった。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ボランティアの方の専用の部屋を確保できず、休憩時間など車の中で休んでもらっていることもある。また、猛暑の中での水泳実習では、くれぐれも無理のないようお伝えしているが、ボランティアの方の熱中症等の心配をしている。
- 例年の積み重ねもあり、年々スムーズに支援活動が進むようになってきた。生徒の実際の様子を地域に発信していってもらう役割も今後期待ていきたい。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

めざす地域連携の形として【学校を支援する地域】leftrightarrow【地域に貢献する学校】を目指している。八中太鼓の地域での演奏や生徒個々も各学区のイベントにボランティアとして積極的に参加している。また、職員も一人5回の数値目標を立て地域の行事（懇談会・お祭り等）に進んで参加するなど「地域に貢献する学校づくり」を目指している。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（ 当該授業担当者 ）

報告書記入者（ 主幹教諭 ）

## 開巻有益～心ときめく図書館の充実を目指して～

近江八幡市	活動名:八幡東中学校地域学校協働本部	八幡東中学校 学校運営協議会 : □有 ■無 有の場合→学校運営協議会との協働:□有 ■無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度:平成28年度	地域学校協働活動推進員等数:1人	ボランティア登録数:10人
□学習支援(授業補助、学力補充等)	■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備)	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備
□地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育)		□学びによるまちづくり
□郷土学習	□その他〔 ]	■地域行事への参加
		■ボランティア・体験活動

### ■事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

- 学校
- 地域学校協働活動推進員
- 行政
- その他( )

### ■地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- 学校司書、地域コーディネーターとの連携した活動。
- 行事や学習内容に合わせた特設コーナーの設置。
- 季節や時期に応じた図書館内、図書館前掲示板、生徒昇降口などの表示の工夫。
- PTAによる学級文庫の蔵書充実のための支援・協力。
- 図書ボランティアによる書架整理、学級文庫書架の製作。
- 近江八幡市教育大綱の目標にある「読書環境の充実」をめざす。



【図書ボランティアによる活動】

### ■実施に当たっての工夫

- 学校行事や授業での学習内容を把握し、教員、学校司書、地域学校協働活動推進員、ボランティアが連携し、特設コーナーを設置するなどして生徒の興味や関心に応じた図書館運営を行う。
- 生徒が主体となって図書館運営をするために、生徒会図書委員会や放送委員会などと連携し、ボランティアだけの取組にならないように配慮する。
- 季節や時期に応じた図書室内、図書室前掲示板、生徒昇降口などの表示の工夫をする。

### ■事業の成果

- 図書館の雰囲気の向上により、生徒会図書委員会の活動が活発になり、開館日の当番活動や、本の紹介文(P.O.P)の製作など様々な活動を精力的に行うようになった。
- ボランティア任せにならないよう、協働の視点を大切にすることで、教職員、生徒、地域の方に自分たちの学校という意識が芽生えているように感じる。
- 図書館の充実に特に力を入れており、継続的に取り組むことで、生徒の図書館利用者が増えており、落ち着いた学校づくりに結びついている。



【図書館入り口掲示物】

### ■事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- 図書ボランティアと教職員だけの取組ではなく、本事業として地域コーディネーターを配置されたことと、市から週2回学校司書を配置されたことにより、より組織的に図書館運営が行えるようになった。しかしそまだ定着とまでは至っていないため、事業の継続を望む。

### ■その他(学校運営協議会との協働等)

※開巻有益…読書はためになるということ。読書を奨励する語。「開巻」は書物を開く意。転じて読書。「有益」は役に立つこと。「八幡東中学校図書だより」のタイトル。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

- 校長
- 教頭
- 地域連携担当教職員
- その他( )

報告書記入者( 教頭 )

## 地域とともに子供を育てる地域学校協働本部事業

近江八幡市	活動名:八幡西中学校地域学校協働本部	八幡西中学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度 : 平成 21 年度	地域学校協働活動推進員等数 : 1 人	ボランティア登録数 : 30 人
■学習支援（授業補助、学力補充等）	□図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
□子どもの安全確保、見守り	■部活動支援	■学校周辺環境整備
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		□学びによるまちづくり
■郷土学習	□その他 [ ]	■地域行事への参加
		■ボランティア・体験活動

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員

□行 政 □その他 ( )

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- (1) 学校を支援していただく一方的な取組だけでなく、技術科の栽培分野の学習に桐原学区協働のまちづくり協議会の事業である「地域花いっぱい運動」の予算をいただき、プランターで花を育て、校区の幼稚園や小学校、コミュニティセンターなどでの施設へお裾分けを行っている。
- (2) 本校は、地域行事への生徒の参加を推進しているが、特に学区の運動会の日は部活動を中止して参加を呼びかけている。部活単位で運動会の役員も担っている。また、吹奏楽部の発表の場として、または、生徒会のボランティア活動の場として地域の文化祭等の行事にも参加している。
- (3) 地域学校協働活動推進員のネットワークを生かして、学生ボランティアを募集し、テスト前の質問教室に講師として教えに来もらったり、定期的に華道の先生に来校してもらったりして、お花を生けてもらうとともに、華道の世界の魅力を紹介してもらうなど、学校環境作りに地域の方に協力していただくことができた。またお正月リースづくりの講師として指導していただいた。
- (4) 人権学習ではそれぞれの学年で、自らの体験や活動を語っていただく講師としてボランティアにお世話になった。さらに、定期テスト前に本校の卒業生で教師を目指している大学生を中心に質問教室の学習支援をしていただいた。
- (5) 部活動については、毎年、地域から大きな支援をいただいている。現在、テニス部、吹奏楽部、野球部では、ほぼ 1 年を通してお世話になっている。これらの部活動のボランティアは毎日の部活動だけでなく、練習試合、公式試合でも時間が許せばベンチに入り、指導をしていただいている。技術指導だけでなく、マナーや試合に臨む心構えなど、学校教育方針に沿って指導していただいている。

### ■ 実施に当たっての工夫

○学習支援や部活支援など生徒に直接関わることで支援していただく場合、生徒の学力や性格などを理解し行う必要がある。個人情報の取り扱いについては十分配慮を行い、ボランティアにも十分説明をしたうえで実施をしている。さらに、必要に応じて担当教員とボランティアが話すようにしている。

○地域の支援をいただくという一方向だけの取組だけでなく、地域コミュニティセンターと連携して、生徒が地域で活動したり教職員が地域に出向いたりする機会を増やすよう取り組み、学校と地域が共に子どもを育てる実践を行った。

### ■ 事業の成果

○保護者や地域の学校への関心が高まり、理解と協力が増え、学校としての評価が高まった。  
○生徒が地域で活躍する行事や機会を自治会や町づくり協議会で作っていただき、生徒が地域で活動することも増え、中学生の地域での活躍を評価して認めていただくことで自信を持つことができた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

○地域には子どもの健全育成に対して熱心に取り組んでこられた方もたくさんおられる。学校教育に協力の意思を示してくださっている方もあるが、「学校の考えるニーズと地域の支援者の一致」が事業発足当時からうまく進展しないという実態がある。

○地域との連携・協働を進めるには、教員も地域に出向き地域の方と話したり、地域で活動したりすることが必要になる。そのための時間確保や時間外勤務、土・日の出勤等が新たな課題となる。

○事業予算を増額していただくことで、もっといろんな活動が考えられる。



【地域文化祭の模擬店の運営協力】



【質問教室に学生ボランティア】

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長

■教 頭

■地域連携担当教職員

□その他 ( )

報告書記入者 ( 教 頭 )

## ふるさとに愛着と誇りを ~地域の人材を活用したふるさと学習の推進~

近江八幡市	活動名：安土中学校地域学校協働本部	安土中学校 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 23 年度	地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：50人	
□学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
□子どもの安全確保、見守り	■部活動支援	□学びによるまちづくり
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	■学校周辺環境整備	■ボランティア・体験活動
■郷土学習	□その他 [ ]	

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）  
 学 校     地域学校協働活動推進員     行 政     その他（まちづくり協議会）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1) 総合的な学習の時間「ふるさと学習」

地域を知るため、地域ボランティアを依頼して「安土城趾」「観音寺城趾」をめぐって、フィールドワークを行う。

(2) 地域行事への中学生の参画

中学生を地域の行事（体育大会、文化祭、福祉フェスティバル等）に参画させることで、地域の一員としての自覚を持ち、ふるさとを愛する心を育てる。2年生の中学生チャレンジウィークで、安土まちづくり協議会で街づくりについて学び、それを生かして、夏祭りのイベントを企画、運営を行う。地域としても、行事に参加することで関心を持ってもらい、活性化させる。

(3) 茶道体験学習

安土において織田信長が盛んにしたと言われる茶道について、地域の茶道の先生を招き、茶室や和室を会場として1年生全員が茶道を体験する。茶道のお点前だけでなく、その歴史と精神にも触れたお話を聞く。

(4) 浴衣の着付け、地元食材を活かした調理実習

家庭科の授業で、地域の方をコーディネートし、指導していただく。

(5) 読み聞かせ、図書館ボランティア

地域の読み聞かせボランティアに朝の会で読み聞かせをしてもらう。また、図書館ボランティアとして昼休みの図書室の開館をお願いし、毎日図書室を開館するとともに、地域の方と中学生が接する機会とする。



【お茶の先生を招いての茶道体験学習】



【浴衣の着付け教室】

■ 実施に当たっての工夫

○学校と地域のニーズを結びつけることを、地域コーディネーターと連携して考え、具体化するようにしている。

○学校の教育課程に「ふるさと教育」として年間計画に位置づけて取組を行う。

■ 事業の成果

○中学生の活動を紹介することで、地域からも評価を受け、活動の場が広がってきた。

○地域の方に、得意分野を活かした授業や環境整備にボランティアとして参画してもらうことにより、教育活動が深まった。

○「ふるさと教育」を通して、地域のことや地域の人々を知り、ふるさとに関心を持ち、愛着を持たせることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

○地域ボランティアのリストを充実させること

○地域のニーズと学校のニーズの重なりを検討すること

■ その他（学校運営協議会との協働等）

安土中学校 HP <https://www.fureai-cloud.jp/azuchi-jh/>

■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校 長     教 頭     地域連携担当教職員     その他 ( )

報告書記入者 ( 教 頭 )

## “にこにこ、きらきら、武佐っ子”を育む あつたか支援の力

近江八幡市	活動名：武佐こども園地域学校協働本部	武佐こども園 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 27 年度	地域学校協働活動推進員等数：1人	ボランティア登録数：21人
□学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	□学校周辺環境整備
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	□学びによるまちづくり	□地域行事への参加
□郷土学習	□その他【 ]	□ボランティア・体験活動

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■園 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### ①えほんタイム

毎月 2 回、各クラスに絵本の読み聞かせをしていただく。手遊びなどを交えながら、たくさんのお話にふれることで、ボランティアの方との交流も深まり、子どもたちは毎回楽しみにしている。夏季の貸し出しのない時期に、絵本の修理を行っている。

#### ②栽培活動

夏野菜や、さつまいもの植え付けなど、季節に応じた野菜や花の栽培を園児と一緒に使う。園児は、苗の植え付けや種の蒔き方などを教えてもらったりすることで、栽培に興味をもち、世話をしたり、成長の様子を見ることも楽しんでいる。

収穫した野菜を使って、秋にはやきいも、冬にはポトフパーティーをし、一緒に味わい共に収穫を喜ぶことができた。

#### ③行事支援

食育活動をはじめ、やきいもや餅つきなどの行事の補助をしていただく。食育教室では、豆腐の切り方や米のとぎ方などを丁寧に教えてもらい、作る楽しさや食べる喜びと一緒に感じられるように調理補助をしていただいた。

#### ④保育教材作り（布製おもちゃ）

布のおもちゃ作りを中心に、人形の服の修理や作成などを行う。また、出来上がったおもちゃを使って一緒に遊ぶ『ふれあいタイム』では、子どもが喜んで遊ぶ様子を見ていただいたり、ふれあつたりすることで次の制作への計画につながっている。

#### ⑤あいさつ運動

毎月 1 日、15 日にあいさつ運動を行っている。園長と一緒に通園門前に立って挨拶をしながら迎える。保護者会役員や 5 歳児もあいさつ運動に参加することで、他の保護者への啓発になっている。

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・ボランティア活動を知ってもらうために、活動の様子を掲載した通信を保護者向けに発行し、情報発信をしている。
- ・未就園児の子どもを連れての保護者も参加しやすいように、職員でサポートし合っている。
- ・保育教材作りは園児と直接ふれあう機会が少ないので、出来上がった教材をボランティアさんに保育室に届けてもらい、一緒に遊んだり園児が感謝の気持ちを伝えたりするようにしている。

### ■ 事業の成果

- ・毎月定期的に行っている『絵本タイム』では、「今日は、どんな絵本かな？」と園児が心待ちにしたり、様々な人のふれあいや、お話を楽しんだりする姿が見られ、継続した取組の良さを感じる。
- ・行事支援や栽培活動などを通して、職員も知識や方法などを経験豊かな方から教えてもらうことができ、保育の中に取り入れていくことで、子どもたちの興味・関心を高めることにつながっている。
- ・おもちゃ作りや栽培活動など、職員だけではなかなか出来ないことを協力していただき、保育環境や園児の活動がより充実した。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・ボランティアに新しい保護者の参加が増え、保護者同士の交流にもつながっている。今後も誘いかけ、関心を広げていきたい。
- ・行事支援については事前の打ち合わせと段取りを行うことで活動がスムーズに行えるので、大切にしていきたい。
- ・地域の行事等に参加し、園と地域の交流を広げるなかで、地域の人材から新たにボランティアに参加してもらえるよう働きかけていきたい。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■園 長 ■副園長 □地域連携担当教職員 ■その他（ 主幹保育教諭 ）



【 みそ汁作り 】



【 やきいもパーティー 】

報告書記入者（ 主幹保育教諭 ）

## 子どもは地域の宝！地域のみんなで育てよう！

近江八幡市	活動名：八幡幼稚園地域学校協働本部	八幡幼稚園 学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成27年度	地域学校協働活動推進員等数：1人	ボランティア登録数：8人
□学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	□学びによるまちづくり
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	■学校周辺環境整備	■ボランティア・体験活動
□郷土学習	□その他 [ ]	

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■園 ■地域学校協働活動推進員 □行政 □その他（ ）

### ■ 地域と幼稚園が協働した活動（特徴的な活動）

- 保育サポーター 地域と連携し、入園後間もない3歳児の遊び相手になってもらったり、排泄や手洗いの補助をしてもらったりした。
- 歌指導 月に1回5歳児が歌指導をしてもらい、歌う時の基本的な姿勢や声の出し方、心を込めて歌うことなどを教えてもらった。また、学区の行事で歌の発表をして、地域の方にも聴いていただくことができた。
- 江州音頭指導 ゲストティーチャーを迎えて、祖父母参観に子どもたちと祖父母を対象に指導していただいた。初めて江州音頭を踊る方や懐かしさを感じる方もいた。歌詞や振付に込められた意味を教えてもらしながら、地域の伝統文化に親しむ機会となった。



【 歌指導 】

### ■ 実施に当たっての工夫

- 園の取組の様子を知ってもらえるよう、園情報紙「あつぱるつうしん」を地域にも発信し、関心をもってもらえるようにした。
- 保護者ボランティアについては、活動の時間を登園時や降園の1時間前に設定し、気軽に無理なく参加できるようにした。今年度発足した「絵本ボランティア」は、毎週金曜日の給食後におこない、幼児が気軽に「絵本の部屋」にやってきて、お話を親しむ良い機会となった。
- 「こま回し指導」では、5日間、給食後の時間を利用して、子どもたちの気持ちも満たされ、リラックスした中で楽しみながら取り組むことができた。



【 江州音頭指導 】

### ■ 事業の成果

- 初めての集団生活を送る3歳児にとって、地域の人たちに関わってもらうことで安心して幼稚園生活を送ることができた。
- 地域の行事に参加することで、子どもたちが自分の住んでいる地域に関心や親しみをもつことができた。（左義長見学、八幡学区散策、文化日のつどい参加等）
- 地域の方との関わりの中で、子どもたちは、「こんにちは」「ありがとう」等の言葉を自然に交わしている。感謝の気持ちや社会のマナーが身に付き、育つ機会になっている。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- 今年度は、「絵本の読み聞かせ」が子どもたちの中に定着してきた。よりボランティアを増やしていくため、園だよりやあつぱるつうしんで様子を掲載したり、チラシ配布をおこなったりしながら、事業を広げていきたい。
- 園の行事と支援していただける事業をうまくかみ合わせ、有効な人材活用ができるようにする。
- 継続的な地域の方々との関わりにより、優しく関わってもらった経験を積み重ね、感謝する気持ちがもてるよう子どもの心を育てていきたい。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

- 学校運営協議会において、「より良い子どもの育ち」について共に考え、八幡幼稚園の子どもを地域で育てていくという同じ目標での話し合いを進めていくことができた。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■園長 ■副園長 □地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（ 副園長 ）

## ～ 地域のみんなで岡山っ子を育てよう ～

近江八幡市	活動名：岡山幼稚園地域学校協働本部	<b>岡山幼稚園 学校運営協議会</b> : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<b>地域学校協働本部概要</b> 開始年度：平成 25 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：35 人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他 [ 保育支援 ]		

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
  - 園 地域学校協働活動推進員
  - 行 政 その他（ ）
- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
  - ・3歳児の入園当初の見守りや生活支援、プール遊びの見守りや着替えの支援、給食の見守りや支援
  - ・保育参観日等の託児
  - ・葉刈り、花苗植え、畑作業
  - ・折り紙、手品、コマ回し、お茶席体験、歌唱指導、フラワーアレンジメント教室、ハーモニカ鑑賞など
- 実施に当たっての工夫
  - ・実施に当たって、園と推進員の方、関係者とでどのような支援や活動をしていただきたいのか打合せをし、その都度ボランティアの方に依頼をした。
- 事業の成果
  - ・ボランティアの方は幼稚園事業に理解を示し、とても協力的に活動してくださっている。
  - ・体験活動では、地域に人材が豊富で毎年恒例になっている活動がたくさんあり、子ども達との関わりも深まっている。また、ゲストティーチャーに憧れたり、より親しみを感じたり、活動への意欲を持つことにつながっている。
  - ・地域の方に園に来ていただくことで、園のことや園児のことを知つていただく機会になり、園教育の理解につながっている。
  - ・地域の方との自然なふれ合いの中で人と関わる喜びを感じたり、自分達のために活動してくださっていることに感謝の気持ちを持ったりすることができた。
  - ・今年度で閉園になるため、年度末にボランティアの方やお世話になった地域の方と一緒に給食を食べたり、食後に一緒に遊んだり、手作りのプレゼントを渡したりすることで交流が深まり、今までの感謝の気持ちを伝えることができた。
  - ・色々な機会に“ありがとう”の会を計画し、地域の方との思い出づくりができた。
- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
  - ・ボランティアの方々が活動の中で感じておられることなどを毎回聞かせていただくことはできなかったが、時々話をする機会を持つようにしたり、推進委員の方が聞いたことを伝えてくださったりした。
  - ・毎年恒例になっている活動が多く、交流が深まった。
- その他（学校運営協議会との協働等）
  - ・情報誌“ふれあいひろばだより”を作成し、地域住民に回覧したり、園のHPでアップしたりして地域や市民に活動内容を発信している。
- コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）
  - 園 長 副園長 地域連携担当教職員
  - その他（ ）



【 給食支援 】



【 お茶席体験 】

報告書記入者（副園長）

## 地域とともに、子どもたちに豊かな経験を 自分が好き友だちが好き心をつなぐ桐原幼稚園

近江八幡市	活動名：桐原幼稚園地域学校協働本部	桐原幼稚園 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 25 年度	地域学校協働活動推進員等数：1人	ボランティア登録数：35人
<input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等）	<input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	<input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援
<input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り	<input type="checkbox"/> 部活動支援	<input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備
<input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		<input type="checkbox"/> 地域行事への参加
<input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習	<input type="checkbox"/> その他〔 ]〕	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■園 ■地域学校協働活動推進員  
□行政 □その他（ ）



【 六四喜の説明を聞く 】

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- (1) 絵本の読み聞かせは、3歳児は午前中、4・5歳児は給食が終わって一息ついた時間に来て読んでくださる。ボランティアの方が読んでくださる間、目をキラキラさせて絵本に集中する子どもたちに、次はどの絵本を読んであげようかとボランティアの方々も楽しみに来てくださる。昔から読み継がれた絵本や科学の絵本、季節にそった絵本、子どもたちとの掛け合いをしながら楽しむ絵本など、様々な絵本を保護者や先生以外の方に読んでもらうのは子どもたちにとって良い経験になる。
- (2) 園庭の下準備作業に参加してくださる地域の方は、農業をやっておられるので肥料の種類や量、土作りの仕方などを教えてもらしながら作業している。
- (3) 運動遊びは園全体で取り組んでいる活動の1つである。運動クラブボランティアの方に子どもたちの運動時の援助の方法などについて学ぶ時間を設け、学んだことを子どもの活動の時に活かしてもらった。
- (4) 今年度はふるさと学習として、園外保育の際に地域で作られたモニュメント《六四喜》についてのお話を聞かせてもらった。園の近くにあるのに先生や保護者も知らなかった事もあり、大変勉強になった。

### ■ 実施に当たっての工夫

事業の活動内容や成果をお便りにまとめ配布する。活動の中で興味のあることから参加してもらえるようにした。来てくださるボランティアの負担にならないように気を付ける。

### ■ 事業の成果

- 畑の下準備作業は耕うん機での作業もあり、子どもたちは見たことのない機械を見て喜んでいた。園庭の砂場も耕してくださいり、子どもたちがふかふかの砂場で楽しく遊ぶ姿が見られた。
- 地域の方が畑の作業をしてくださる様子を子どもたちが見て、その畑に子どもたちが種を蒔く・苗を植える、水をあげるなどお世話することにより植物が生長するのを体験し、それを収穫し食べることの喜びを感じることが出来た。
- OPTA 総会や講演会の未就園児の託児支援は、普段ゆっくり話を聴けない保護者も集中して聴くことが出来た。
- 地域のモニュメントの話を聞いたふるさと学習の際は、職場体験で来ていた中学生とお母さん先生として参加していた保護者も話を聞くことが出来た。
- 初めて運動クラブボランティアに参加した方も、指導の時間を設けたことで、スムーズに子どもたちへの声かけやサポートが出来た。子どもたちもマット運動や鉄棒、トランポリンなど楽しく参加する姿が見られた。



【 絵本の読み聞かせ 】

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

ボランティアが固定化している。参加してくださる方が偏ってしまうので、ボランティアの負担にならないように支援ボランティアをどうやって増やしていくかが課題である。より地域や保護者に活動状況を発信していかねばと思う。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■園長 ■副園長 □地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

## 地域の人とのふれあいから 自分が好き、人が好き、馬淵が好きな馬淵っこ

近江八幡市	活動名：馬淵幼稚園地域学校協働本部	馬淵幼稚園 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		

開始年度：平成 28 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：27人  
学習支援（授業補助、学力補充等） 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） 学校行事支援  
子どもの安全確保、見守り 部活動支援 学校周辺環境整備 学びによるまちづくり  
地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） 地域行事への参加 ボランティア・体験活動  
郷土学習 その他 [ ]

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
  - 園 地域学校協働活動推進員 行政 その他（ ）
- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
  - (1) 絵本活動
    - ・毎月2回、2名の地域の絵本ボランティアの方に、各クラスに絵本の読み聞かせに来ていただいている。ボランティアの方が、子ども達に“聞いてほしい”季節や遊び、発達に応じた選りすぐりの絵本は、子ども達にとって心が温まり絵本の世界に浸るひと時でもある。また、地域の方のぬくもりを感じられる大切な時間にもなっている。
    - ・未就園児対象の絵本貸し出しも行っており、園や地域の方に親しみを持ちながら話しかける姿も見られている。子育てについての悩みや心配、成長の喜びなど気さくに話しながら、地域の方との関わりを自然な流れのなかで構築している。
  - (2) 野菜作り
    - ・地域の野菜作りの名人から野菜の育て方について教えてもらっている。野菜の育て方について知らないことがたくさんある子ども達にとって、畑の耕しや種蒔き、苗植え、野菜の世話の仕方や収穫といった体験はとても貴重なものとなっている。収穫した野菜を使って調理したり、食事を共にしたりして心も体も地域の方々と一緒に満たされている。子ども達も“なんでも知っている”ボランティアの方々に尊敬の気持ちを抱いている。
  - (3) 制作遊び・伝承遊び
    - ・子ども達一人一人と関わりながらの遊びや活動に選んで来ていただき、一緒に折り紙を折ったり、コマまわしや凧揚げに挑戦したりしていただいた。思うようにできないもどかしさがある子ども達に、やり方やコツを丁寧に教えていただいたり、できた時は一緒に喜んだり、子ども達の思いに寄り添い共有しながら楽しく過ごしていただいた。
    - ・子ども達の大好きな、ままごと遊びで使うエプロンや人形の布団、また、お手玉など作っていただいた。
- 実施に当たっての工夫
  - 地域学校協働活動推進員の方の地域の方とのつながりや声かけがきっかけで、ボランティアに来ていただける方々の輪が広がり、いろいろな方に来ていただくことができた。それぞれの方の特技や経験、子ども達や園との関わりの中で、伝えたいこと感じてほしいことを教えていただき、地域の方々との関わりの楽しさや子ども達自身が大切に思われていることを感じられるような機会を大切に作っていった。
- 事業の成果
  - 単学級で園児数も少なく人との関わりにおいて課題のある環境の中で、いろいろな人と関わることのできる機会となった。
  - ボランティアの方が少しずつ増えて、子ども達の遊びや活動など様々な場面で関わっていただいたことで、遊びや活動の充実感や満足感が満たされた。
  - 子ども達が知らないことを、ボランティアの方に教えていただくことで、尊敬の気持ちをもったり親しみを感じたりすることができた。
  - 園庭では、当日の栽培支援だけでなく、生長のコツや肥料のあげ時などのアドバイスをいただいたり、様子をこまめに見てくださったりして、園や子ども達との関係性が続いた。
  - 未就園児の絵本貸し出しでは、ブックスタートの良い機会になった。また、ボランティアの方と話せる場があることで、育児に対して前向きになったり園に対して親しみを持ったりすることができた。
- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
  - ボランティアの方との活動の場を継続することで、地域の方との関わりの楽しさや温かさ、大切に思われていることを感じる心や、地域を大切に思う子ども達の育成につなげていきたい。
- コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）
  - 園長 主任   
地域連携担当教職員 その他（ ）



【ボランティアの方と野菜作り】



【ボランティアの方の絵本読み聞かせ】

報告書記入者（主任）

## 保護者・地域の方のキラッとを保育の中に・・

近江八幡市	活動名：金田幼稚園地域学校協働本部	金田幼稚園 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 23 年度	地域学校協働活動推進員等数：1人	ボランティア登録数：15 人
□学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
□子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	□学校周辺環境整備
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		■地域行事への参加
■郷土学習	□その他 [ ]	□ボランティア・体験活動

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■園 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他 ( )

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・週1回の読み聞かせ活動は、継続している活動で毎年新たな方にボランティア登録をしていただいている。活動が定着しているので子どもたちは、ボランティアの方と親しくなり、いろいろな絵本との出会いを楽しみにしている。
- ・以前にいただいた段ボール製の滑り台、まごと用キッチンは、特別支援教育のキラッとルームで子どもたちが喜んで遊んでいる。今年度は、段ボール製のブランコも紹介していただいた。手作りの鍋やフライパン、掃除機も各クラスに毎年いただき、子どもたちも楽しんで遊んでいる。
- ・地域にある篠田神社に5歳児が出かけて、伝統ある篠田の花火の話を聞かせていただき、地域の文化にふれる機会となった。
- ・地域の方から毎年栗畠での栗拾いに招待していただいている。20年以上続く秋の行事となっている。手作り紙芝居で、お世話を下さっている方がいてくださるから栗拾いができるということを分かりやすく伝えている。
- ・学区内の保育園、高校生との交流やコミセン（文化祭・独居高齢者との触れ合い）との交流も継続している。
- ・栽培活動では、種まき（苗植え）から教えていただき、子どもたちも一緒に収穫の喜びを感じることができた。収穫した野菜を子どもたちと一緒に味わっていただけるように招待し、地域の方と触れ合う時間を持つことができた。

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・園が必要としている支援にボランティアの方の得意分野を生かしていただけるように連携をしている。
- ・園畠や園周辺の除草や葉刈り、芝刈りは、園児には直接見えない時間に活動してくださることが多い。また、以前から配膳台カバーを毎年作成していただいている。色々な面でお世話になっていることに、感謝の気持ちを持てるように年度末には、「ありがとうの会」を開いている。直接園児がボランティアの方と触れ合う機会を持つようにしている。

### ■ 事業の成果

- ・園から地域に出かけたことで家庭からも出かけるきっかけとなり、地域行事に関心を持つことができた。
- ・絵本の読み聞かせや手芸等の継続している活動では、新たなボランティア登録をいただいている。この活動が地域の方の得意分野を生かす場となっている。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・地域の方からは、積極的に声かけをしていただいているが、負担感があるのではと危惧している。
- ・園児の保護者がもっと参加できるようにボランティアの登録を呼びかけてはいるが、登録が進んでいない。活動内容を考えたり、人材発掘の方法を工夫したりする必要がある。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■園長 ■副園長 ■地域連携担当教職員 □その他 ( )



【 大きな松明！すごいなあ～ 】



【 いがを踏むと上手に栗が出るんだよ！ 】

報告書記入者（ 副園長 ）

## “心わくわく みんなが輝く ボランティア活動”

近江八幡市	活動名：北里幼稚園地域学校協働本部	北里幼稚園 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 25 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：14人		
<input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 [ ]		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■園      ■地域学校協働活動推進員      □行 政      □その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

近隣の町の高齢者の方と交流会を持ったり、地域の畑で栽培した農作物を収穫させていただいたりしている。また、お茶会や絵本・紙芝居の読み聞かせなど地域のボランティアの方が長年継続して活動されている。やきいもやカレー、おでんづくりなどではボランティアと一緒に地域のお店に出かけたり調理をしたりしている。



【 お茶会 】

### ■ 実施に当たっての工夫

いろいろな活動の内容を地域向けのおたよりとして発行して園児やボランティアの活動の様子を知らせている。また、活動後は子どもの様子などを振り返りながら意見交流をして次回の活動に活かせるようにしている。

### ■ 事業の成果

自分たちの住んでいる地域に親しみを持つことができ、地域のいろいろな方と関わるなかで子どもたち自身がさまざまな体験をして学べる機会となっている。



【 絵本の読み聞かせ 】

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

ボランティアを継続してくださる方が少人数なので、今後はさらにいろいろな方に参加していただくようにしたい。また子どもの姿や保育内容とも絡めてよりよい事業内容を考えていきたい。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■園 長      □副園長      ■地域連携担当教職員      □その他（主任 ）

報告書記入者（ 主 任 ）

## げんき・いきいき・あづちっ子～つながる・ひろがる・ボランティアの輪～

近江八幡市	活動名：安土幼稚園地域学校協働本部	安土幼稚園 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成24年度	地域学校協働活動推進員等数：1人	ボランティア登録数：56人
□学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		□学びによるまちづくり
□郷土学習	□その他 [ ]	□地域行事への参加
		□ボランティア・体験活動

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）  
園 地域学校協働活動推進員 行政 その他 ( )

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1) 託児

託児ボランティアの方々に、保護者が参加する参観等の園行事の際、就園前の弟妹の託児をしていただいている。参観日に託児することで、親子でゆっくり関わることができ活動を楽しむことができた。託児では、ボランティアの方々は、やりがいを感じながら自分の持ち味を生かし子どもと関わってくださっており、子どもたちにとっても、家庭とは違う大人と接する時間となっている。

(2) おはなし会・図書ボランティア

おはなしボランティア『まんまるさん』が月1回おはなし会をしてくださっている。園児の興味・関心に合ったものや季節を感じられるおはなしを読み聞かせていただき、楽しみな時間となっている。園行事の「なつまつり」では、おはなしコーナーを設けて親子でおはなしを楽しんでもらえた。

また、図書ボランティアの方々には、絵本の修理や絵本棚の整理、絵本室の環境構成等をしていただいており、園児がより絵本に親しめる環境となっている。

(3) 環境整備

環境ボランティアの方は、園児とともに、園庭の花壇に季節の花を植えていただいている。苗の扱い方や植え方などを一人一人に丁寧に関わってくださり、園児が興味をもって取り組むことができている。

また、園庭の芝刈りや樹木の剪定、落ち葉拾い等をしていただいている。美しく整えていただいた環境の中、園児がのびのびと活動できている。



【 託児の様子 】



【 園庭の落ち葉拾い 】

■ 実施に当たっての工夫

○地域学校協働活動推進員とボランティアの方々で、幼児の姿を理解し、保育内容について見通しをもちながら、活動を工夫している。また、園児のためにご尽力くださっていることに職員が感謝の気持ちをもち、このことを園児にも感じられるようにしている。

○誰もができる時に参加するボランティア活動ということを基本に、一人一人がキラリと輝く持ち味や特技を生かせる場を模索していった。そうすることで、ボランティア自身がよりやりがいを感じて活動できるようになった。

■ 事業の成果

○園、地域学校協働活動推進員、ボランティアそれぞれが、“幼稚園をよくしたい”“子どもたちのために”という思いをもっており、その思いが幼稚園を支え、子どもたちの成長や安心・安全な幼稚園生活へつながった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

○地域学校協働活動推進員が活動をコーディネートするため、ボランティアの方々と密に連携する必要があり時間の確保が難しい。  
 ○活動の内容を広く知っていただき、新たにボランティア登録をしてくださる方を見つけていくとともに、現在位置づけられている活動内容だけでなく、新たな活動を見出していく。また、地域の人材を発掘し、どのように保育につなげていけるか探っていく。

■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 園長 副園長 地域連携担当教職員 その他 ( )

報告書記入者（副園長）

## は・あ・と・がだいじ～地域の方と心でつながる園教育を～

近江八幡市	活動名：老蘇こども園地域学校協働本部	老蘇こども園 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成25年度	地域学校協働活動推進員等数：1人	ボランティア登録数：31人
□学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
□子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	■地域行事への参加	□学びによるまちづくり
■郷土学習	□その他〔 ]	□ボランティア・体験活動

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 園 ■地域学校協働活動推進員  
□行政 □その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- 栽培活動→畑作りや苗植え、収穫を一緒に行ったり、プランターの土作りや栽培のアドバイス・花苗植えの作業をしていただいている。
- 環境→ビオトープまつりや運動会に向けて地域ボランティアの方、保護者、職員が協力しあい園庭整備をおこなっている。
- 絵本→月1回のペースで絵本ボランティアの方に読み聞かせをしていただいている。ポルトガル語を母国語にされるボランティアの方にも来ていただき、多文化に触れる機会となっている。
- 園外保育付き添いおよび郷土文化の伝承→奥石神社（老蘇の社）や、十三仏等に同行していただき、地域の歴史やいわれ等、郷土についての話を聞かせていただいている。
- おいそビオトープまつり→老蘇まちづくり協議会・老蘇小学校ビオトープ委員会・老蘇こども園が共催して本園の園庭を会場として開催。地域の方、児童、園児が参加し地域交流の場となっている。
- 避難訓練：老蘇コミュニティセンターへ、2次避難→避難訓練時に老蘇コミュニティセンターと連携し第2次避難所としてコミュニティセンターに避難し、防災についての話や施設の見学を行っている。



【絵本の読み聞かせの様子】

### ■ 実施に当たっての工夫

- 地域の集会や会議の折に地域ボランティアの説明をし、協力していただけるように発信している。加えて保護者が集う場で協力・協働を働きかけ、地域の方と保護者・園と一緒に活動できるように進めている。
- 年度末にボランティアの方との交流会を実施し、お世話になった方々に感謝の気持ちを伝える中で、園に対する理解を得られる機会を設けている。
- 卒園児の保護者に声をかけ、継続してつながっていただけるように、ボランティアの登録をお願いしている。

### ■ 事業の成果

- 保護者だけでなく、祖父母の方も園行事に理解を示していただき、協力的、自主的に参加してくださっている。
- ボランティア活動を通して、園に親しみを持っていただくことができ、地域の方が来園しやすくなった。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ボランティアの方が地域や多方面でも活躍されているので、支援を募った日に先約があることがある。また、ボランティア登録をされている方の高齢化に伴い、行事の内容によっては、体力的に難しいこともある。今後新たな人材確保に努める必要がある。



【花の苗植えの様子】

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 園長 ■副園長  
■地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（副園長）

草津市	活動名：志津小学校地域協働合校	志津小学校 学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 27 年度 地域学校協働活動推進員等数：2 人 ボランティア登録数：200 人		
<p>■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援</p> <p>■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり</p> <p>□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動</p> <p>■郷土学習 □その他 [ ]</p>		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他の（ ）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1) 子どもの活動支援の後は高齢者サロン

各字の老人会の協力を得て次のような体験活動を実施。子どもたちは、高齢者の生活実体験をとおして様々な知恵や工夫を知る。

1年生：さつまいもの苗植えと秋の収穫、昔ながらのあそびの伝承

3年生：昔のくらしや道具について

※学区に老人会連合会が組織されていないことから、授業の後は学校内の一室が高齢者サロンとなり、楽しみや生きがい、また情報交流の場となっている。



【昔ながらのあそび】

(2) 地元企業との連携

地元企業であるパナソニックとの連携により「エコ体験学習」を活用している。

1年生：「どんぐりのひみつをさがそう」生き物とのつながり

3年生：「プログラミングでさぐろう」タブレットとマイクロビットを使った温度計づくり

5年生：「米パンで学ぼう、食工体験」食料自給率の理解と地産地消の大切さを実感

6年生：「電気の不思議実験室」発電の仕組みと環境にやさしいエネルギーについての学習



【プログラミング】

(3) けん玉活動の広がり

学校運営協議会は、けん玉活動を特色とする学校づくりを推奨しており、全校児童がけん玉活動を通して集中力や自己肯定感を高めている。また、小学校を会場として開催される地域行事“ふれあい広場”的1コーナーで、学校運営協議会委員の一人である地域学校協働活動推進員のコーディネートにより「けん玉広場」を開いた。

■ 実施に当たっての工夫

○学校運営協議会での意見をもとに子どもが輝ける協働活動を展開しようとしている。

○地域ボランティアには、学習活動の趣旨を理解していただくために事前に直接お会いして、詳細な打ち合わせをしている。

○活動後には、子どもたちが書いたお礼状や感想文をお渡しして、今後も支援や交流が持続していくようにしている。

■ 事業の成果

○「ふれあい広場」における「けん玉広場」の開催は、地域の人々に子どもスタッフがけん玉の技を教えることを目的としていたが、同時に地域の人々との交流を広げる一翼を担った。

○地域の方々との交流を通じて子どもたちは、地域のことを知りいろいろな発見をすることができた。これらを通して、地域の自然や人々に関心を持つと共に感謝の気持ちが育ってきている。

○地域や企業の方々から教えていただく中で、より専門的な知識や技能が学べるとともに子どもたちが自分たちでできることを見つけ、さらに探究しようとする意欲を持つきっかけとなった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

○コミュニティ・スクールからスクール・コミュニティへの改革を考えていきたい。多くのボランティアが子どもたちのために様々な活動をとおして学校を支援いただいているが、今後、授業の中で、学校の教育活動をとおして大人も子どももともに学ぶ環境やシステムを構築したい。

○地域行事の企画段階から、子どもが大人とともに参画できるシステムを構築したい。

○体験的な活動が消化事業活動になる危険性があるので、学習活動のねらいをしっかり持ち、「つながりと持続可能」を大切にしていきたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

○学校だよりや志津小学校のホームページ(<http://www.shizup.skc.ed.jp/tiiki.html>)で、地域協働合校事業の取り組みについて紹介している。

■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員

■その他（ 学年主任 ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

## 子どもと大人の共育ちをめざして

(志津南小学校)

草津市	活動名：志津南小学校地域協働合校	志津南小学校 学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 28 年度	地域学校協働活動推進員等数：1 人ボランティア登録数：125 人	
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
□子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	□学びによるまちづくり
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	□地域行事への参加	□ボランティア・体験活動
■郷土学習	□その他 [ ]	

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学 校 ■地域学校協働活動推進員
- 行 政 □その他 ( )

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### （1）「さつまいもを育てよう」（2年生）

地域の方が整備した畠で、さつまいもの植え方や世話の仕方、収穫の仕方を教えていただいた。収穫祭には地域の方を招待し、共に収穫を喜んだ。



【 伯母川たんけん（3年生） 】

#### （2）「伯母川たんけん」（3年生）

学校の近くの伯母川に行き、たくさんの生き物に触れた。地域を流れている伯母川の良さを再発見した。



【 芝桜プロジェクト（6年生） 】

#### （3）「りょうぶの道たんけん」（3年生）

地域にある「りょうぶの道」を、地域の方と共に歩き、道のいわれを聞いたり、草木の名前を教えていただいたりした。

#### （4）「芝桜プロジェクト」（6年生）

地域の方から調整池の設置目的や治水の現状などを教えていただき、志津南環境美化ボランティアの方々と一緒に、若草町内にある伯母川防災調整池で芝桜の植え付けを行った。自分たちの住む町のために、小学生の自分にもできることがあることに気付いたり、自分たちの住む町を愛する気持ちを育んだりする機会となつた。

#### （5）「立命館大学 学生サークル連携 6DAYS！」（全学年）

学年ごとに、学生ボランティアの企画による紙飛行機作りや化学実験、手作りプラネタリウムを使った星の学習などを楽しんだ。将来の夢や自分の進路を考えるきっかけとなつた。

### ■ 実施に当たっての工夫

○事前に地域コーディネーターとの打ち合わせを実施した。また、活動後もできるだけ懇談の時間を持ち、来ていただいた感想を話し合うなどボランティアの方の充実感や達成感、子どもたちとのつながりが深まるようにした。どの活動も、数年来継続して行っており、活動内容を充実させるため資料等を残すように心がけている。そして資料を基に毎年子どもの実態に合わせて活動内容を工夫している。

### ■ 事業の成果

○地域の自然に触れる機会を持つことで、自分たちの町について、もっと知りたい、大切にしていきたいという思いが積み上がっている。近隣の立命館大学との活動も何年も継続して行われ、学生ボランティアに憧れを持つ児童も増えている。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

○子どもと地域とのつながりを大切にした学習を進めていくために、子どもたちの学習が受け身になるだけでなく、共に育ちゆく学びの環境づくりが大切である。また多様な学習を行っているが、地域における人材や資源の有効的活用を考え、地域の風土、環境、文化とともに安全、防災、ＩＣＴ、情報、英語などの専門的知識を持つ方また経験のある方等、地域コーディネーターを中心に確保するとともに、教育資源を活用し、学習教材を深め広げていき地域の活性化の一端を担うことが必要である。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

○年に4回、学校運営協議会において、地域協働合校の事業計画や実施状況を報告している。会議で出た意見や助言等を次の活動に活かしている。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 □その他 ( )
- 報告書記入者（地域連携担当教職員）

## ふれあい 学び合い 心をひびかせる 草津っ子

(草津小学校)

草津市	活動名 草津小学校地域協働合校	草津市立草津小学校
		学校運営協議会 : ■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : ■有 □無

### 地域学校協働本部概要

開始年度：平成 27 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：120人

- |                                  |                           |              |
|----------------------------------|---------------------------|--------------|
| ■学習支援（授業補助、学力補充等）                | ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） | □学校行事支援      |
| ■子どもの安全確保、見守り                    | ■部活動支援                    | ■学校周辺環境整備    |
| □地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） |                           | □学びによるまちづくり  |
| ■郷土学習                            | □その他 [ ]                  | □地域行事への参加    |
|                                  |                           | ■ボランティア・体験活動 |

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他 ( )

### ■ 地域と学校が連携・協働した活動（特徴的な活動）

#### (1) 「なでしこの花を育てよう」

「なでしこ」は、本校の校章の図柄であり、子どもたちにより愛着を感じさせながら愛校心を育てる活動を実施している。全校的に総合的な学習の時間等を活用し、環境ボランティアや湖南農業高等学校の協力を得ながら、全校的になでしこの苗を活用し植え育て、水やりや草引き作業等、日々の世話をしている。また、本校児童のエコ委員会が中心となり、なでしこの花を大切にする運動を進めている。

#### (2) 「水のめぐみ “米づくり” 5年「野菜作り」 2年「サツマイモ作り」 1年

第5学年の総合的な学習では、敷地内にある学校田で稻を育てている。毎年、土づくりから収穫まで、環境ボランティアが子ども一人ひとりを丁寧に指導しており、草ひきなどの世話も子どもたちと共に実施している。サツマイモづくりや野菜作りも実施しており、収穫後の「お米パーティー」や「サツマイモパーティー」では、学んだことの発表会や収穫したお米やサツマイモをともにいただきながら交流を深めている。参加された地域の方々も子どもたちの姿に感動され、交流の場を楽しみにされている。



【 サツマイモパーティー 】

### ■ 実施に当たっての工夫

○事前のミーティングでは、ボランティアの想いや活動の工夫などを伺い、活動学年の担任や関わる児童に伝えることで、学校とボランティアがともに活動をつくっていけるように心がけた。事後のミーティングでは、活動の良かった点や改善点を確認することで、次回も見据え、継続的な取り組みになるように話し合った。

○活動中だけでなく、活動後にもボランティアの方が「来てよかったです、続けていきたい」と考えていただける活動を目指した。

○子どもたちとの交流がその時限りではなく、学習後の発表会などでふれあうことで関わりを深め、感謝の気持ちを感想文やお札状としてお渡しすることでボランティアの方々のやりがいにつながるように取り組んだ。

### ■ 事業の成果

○何年も継続してボランティア活動に取り組んでいただいている方が多いので、活動の流れや学校の様子をよく知っていただいていることから、スムーズに活動を行うことができている。

○継続して取り組んでいることがボランティアの方の「私たちが草津小学校の教育活動を支えている」という誇りや生き甲斐につながっている。

○学習のまとめである「お米パーティー」や「おいもパーティー」、運動会や歌声集会等の学校行事にも積極的に参加していただくことで、交流の機会も増え、関わりが深まることで、子どもたちは「いろいろな人に見守ってもらっている」と感じ、豊かな心の成長につながっている。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

○継続的な活動が多く、ボランティアの方に任せてしまうことがあるので、学校環境の整備など活動を問わず、共に考える場をさらに設け、各学校職員に伝えることで、よりよい関係を目指したい。

○ボランティアの方が熱心に、一人ひとりの子どもを指導していただいているおかげで、学習は予定通りに進んでいるが、一方で、「子どもたちが試行錯誤をし、自力解決する力をつける学習」を目指すことも必要である。そのためにも、学習のねらい分担について、ボランティアと学校が十分に共通理解しておくことが大切である。

○ボランティアの方々の高齢化が目立ちはじめてきたこともあり、PTAや地域の方々への参加協力を得られるよう学校から地域へ発信していきたい。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

○年3回の学校運営協議会において連絡調整等を実施している。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員

- その他（地域コーディネーター）

報告書記入者（地域連携担当教職員）

## 『人・もの・地域』と出会い、ふれあい、高め合おう！

(草津第二小学校)

草津市	活動名：草津第二小学校地域協働合校	草津第二小学校 学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		

- 開始年度：令和元年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：36人
- |                                  |                           |              |
|----------------------------------|---------------------------|--------------|
| ■学習支援（授業補助、学力補充等）                | ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） | ■学校行事支援      |
| ■子どもの安全確保、見守り                    | ■部活動支援                    | ■学校周辺環境整備    |
| ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） |                           | □学びによるまちづくり  |
| ■郷土学習                            | □その他 [ ]                  | ■地域行事への参加    |
|                                  |                           | ■ボランティア・体験活動 |

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）  
 学 校     地域学校協働活動推進員     行 政     その他 ( )



【駅前商店街でのふれあいお店体験】

## ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- (1) 商店街との連携（1年生活科「サツマイモをそだてよう」、2年生活科「ミニトマトを育てよう」、3年社会科「ふれあいお店体験」）  
 学区内に草津駅前商店街がある地の利を活かし、商店会の皆様と連携した教育活動を行っている。1年生では、種苗店にご協力いただき、サツマイモの苗植えを学校の畑でご指導いただいている。2年生では、ミニトマトの苗植えや育て方をご指導いただいている。3年生では、駅前の立地条件を生かし、児童が商店街のさまざまな商店でお店体験をすることにより、地域の方々と積極的に関わり、交流しようとする態度を育て、地域への愛着を高めている。また、体験を通して、地域の方々がどのような思いや願いをもって働いておられるかに気づき、働くことの大切さについて学んでいる。



【むかしあそびをたのしもう】

## (2) 1年生 昔あそび

1年生の生活科「むかしあそびをたのしもう」の学習では、地域の小汐井シニアーズや更生保護女性会の皆様のご協力を得て教育活動を行っている。地域の方々から昔の遊びについての話を聞きながら、いろいろな道具を使って、コマ回し・めんこ・はねつき・まりつき・おはじき・あやとりなど8つのコーナーに分かれて遊びを楽しむことができている。

子どもたちは、地域の方々との触れ合いの中で、遊びがうまくできるように教えてもらったり、うまくできたことをほめてもらったりして、喜びながら積極的に活動する姿がみられた。

また参観日の機会に、保護者と子どもが昔あそびと一緒に楽しむ活動を行っている。この活動を通して、人とのふれあいの良さと、昔あそびの楽しさに気づくことができた。

## ■ 実施に当たっての工夫

- 各学年の担任団が地域コーディネーターと連携して、地域の方々へ早めに連絡を取りスムーズに実施できるようにした。
- 3年生の「ふれあいお店体験」では、地域のパイプ役となる方と、学年担任、地域コーディネーターが連携して、受け入れ先の協力をしてくださった店舗に、早めに活動内容の協力とお願いを行っている。

## ■ 事業の成果

- 地域の方々とふれあうことで、地域への愛着がわき、自分たちの生活に関わる人々の働きを知ることができた。
- 核家族が多いため、祖父母の年代の方々から昔の遊びなどを教わる良い体験ができた。

## ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ボランティアの方の年齢層や分野が多岐にわたるように、活動を広げていきたい。

## ■ その他（学校運営協議会との協働等）

- 協議をする中で学校の活動と連携できる内容を進めていきたい。

## ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校 長     教 頭     地域連携担当教職員

その他（各学年担当教員）

報告書記入者（地域連携担当教職員）

## いいな いいな ともに学んでふれ合うまち 渋川

(草津市立渋川小学校)

草津市	活動名：渋川小学校地域協働合校	渋川小学校 学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 27 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：250 人		
<input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等）      ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り      □部活動支援      □学校周辺環境整備      ■学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）      ■地域行事への参加      ■学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習      □その他 [ ]      ■ボランティア・体験活動		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校 ■地域学校協働活動推進員 □行政 □その他（ ）

）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ふるさとの人や自然、暮らし、文化に愛着や誇りを育む機会にするために環境教育を核に地域協働合校事業を進めている。
- 5年生は、びわ湖フローティングスクールを核に、多方面で活躍されている方々を講師に招き「びわ湖環境学習」を実施し、森・川・田・湖のつながりについて考えた。琵琶湖の学習では、シジミ漁やえり漁の漁師を招き、琵琶湖の現状について学ぶとともに、琵琶湖の魚貝を使った郷土料理を作って味わった。琵琶湖の水質と関係が深い森や田の環境については、農家や森林に詳しい専門家を学校に招いたり、離れたところからテレビ会議システムを使って遠隔授業を行ったりしながら、人とのつながりを大切にした学習活動を開催した。さらに学習の成果を地域の人々に発信するために、「渋川E（いいまち）S（しぶかわ）D（だいすき）ミュージアム」を開館したり、地域の人々と協働で栽培したお米の試食交流会を開催した。
- 6年生は、滋賀県が登録を目指す「世界農業遺産」についての学びを深めた。琵琶湖と共生してきた滋賀の農林水産業の魅力を考えることを通して、郷土への愛着や誇りを深めることをねらっている。郷土の農産物の中から「米」「野菜」「茶」「果樹」をテーマに選び、生産者と出会ったり、農産物を味わったりといった体験を数多く取り入れた。学習のまとめでは、滋賀の農産物やそれらを使った郷土料理の魅力を紹介する「滋賀の郷土料理博物館」を開館させた。学校内だけでは見ていただける方が限定されるため、県庁や市役所、地元ショッピングモールなどで巡回展を実施して、数千人に成果を発表することができた。



【 滋賀の郷土料理博物館を開館する 】

### ■ 実施に当たっての工夫

- ゲスト講師に学校へ来ていただけない場合でも、現場からテレビ会議システムを使った遠隔授業を行ってきた。校外学習などで子どもたちが学校から出かけていく機会は限られるため、現地の様子がライブで伝えられる遠隔授業を活用してきた。5年生では、琵琶湖船上から漁業の様子を伝えたり、森林の中から森のはたらきを解説したりした。6年生では、農園から生中継して、野菜や米やお茶の栽培方法の解説を聞きながら学習した。また、事前に食材を入手しておいて、漁師や農家の方々と生中継で結び、現地からの指導を受けながら学校の家庭科室で調理実習を行うこともあった。さらに県外の農業遺産認定地域である宮崎県・徳島県・静岡県・埼玉県とも交流することができた。人との出会いのツールとしてテレビ会議システムを積極的に活用することができた。



【 宮崎県との遠隔授業 】

### ■ 事業の成果

- 本報告では、2事例であるがどの学年でも地域の方に協力を得て子ども達の豊かな体験の場・学習の場を提供していただいている。活動を通して子どもたちは地域に対する愛着を育み、地域行事に積極的に参加する児童も多い。また、保護者や地域の方々にも地域のことを知つてもらう機会となっている。テーマの通り、子どもも大人も活動に関わることで学び、ふれ合いを深めている。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- 同じ活動でも、子どもの実態に合わせて工夫の余地がある。「毎年取り組んでいるから…」という活動にならないように、めあてをしっかりと意識して取り組みたい。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

□校長 □教頭 ■地域連携担当教職員 □その他（ ） 報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

## 地域の先生に学び、地域に誇りを持てる子に！

(矢倉小学校)

草津市	活動名：矢倉小学校地域協働合校	矢倉小学校	学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>			
開始年度：平成 28 年度	地域学校協働活動推進員等数：1人	ボランティア登録数：90人	
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援	
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備	□学びによるまちづくり
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		■地域行事への参加	□ボランティア・体験活動
■郷土学習	□その他 [ ]		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学 校 ■地域学校協働活動推進員
- 行 政 ■その他（ふるさと「矢倉」風景の記憶絵プロジェクト）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### (1) 矢倉のすてきを見つけよう（3年生）

3年生の総合的な学習では、1学期に社会科の発展学習として、自分たちの住む地域について学んだ。地域を回る時には、テーマ別に子どもたちが分かれて探検し、それぞれのグループにボランティアがついてくださり、言葉や絵などがかかけられた自作のフリップを使って分かりやすく説明をしてくださった。



【 地域の神社について解説 】

#### (2) 昔のくらし～知えと工ふうを学ぼう～（3年生）

3学期には、地域で使われていた昔の道具を学校に持ってきてもらい、実際に体験する学習を行っている。洗濯板を使ってみる、ふろしきで物を包む、着物や下駄を身に着ける、蚊帳の中に入るなどの体験を通して、昔の道具のよさや工夫を知ることができた。また、藁・木・土・鉄で作られている物が多いことを実感したり、直して使うことができる良さを学んだりすることができた。



【 昔の道具をさわってみよう 】

### ■ 実施に当たっての工夫

- 活動を通して、学習のねらいが達成できるように、また地域の方々の思いが子どもたちにしっかりと伝わるように、担任を交えた事前の打ち合わせをしっかりと行うように心がけている。
- 活動が単発で終わらないように、事後の感想やお礼の手紙をお渡ししたり、子どもたちの発表会を見に来ていただいたりする機会をもち、地域の方とのつながりを大切にした。

### ■ 事業の成果

- 地域の方々との交流を通じて子どもたちは、地域のことを違う視点で見るきっかけとなり、お祭りや昔の建物に興味をもつ子たちもたくさんできた。さらに、大事にしていきたいや、守っていきたいという気持ちも生まれた。
- 担任の思いと地域の思いを打ち合わせで話し合うことにより、子どもたちに「地域を好きになってほしい」という共通の思いをもって、学習を進めることができた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ボランティアの方と学校の都合等により、日程調整が難しく、学校や学年の担当者との早めの打ち合わせが必要。
- ボランティアの方々の高齢化が進み、活動の存続が危ぶまれるものもある。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

- 学校運営協議会に、まちづくり協議会会長や、地域コーディネーターにも参画していただいている。会議の中で、地域協働合校の取り組みについても紹介し、よりよい活動になるよう、助言などをいただいている。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（各学年の教員）

報告書記入者（地域連携担当教職員）

手をつなぎ、心通わす ゆう ゆう 誘・融（融け合う）老上		(老上小学校)	
草津市	活動名 : 老上小学校地域協働合校	老上小学校	学校運営協議会 : ■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : ■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>			
開始年度 : 平成 28 年度	地域学校協働活動推進員等数 : 1人	ボランティア登録数 : 185 人	
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援	
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備	■学びによるまちづくり
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		■地域行事への参加	■ボランティア・体験活動
■郷土学習	□その他 [ ]		

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）  
 ■学校 ■地域学校協働活動推進員  
 □行政 □その他（ ）

- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）  
 ○ふれあい老上まつり

第1日は小学校での学習発表、第2日は小学校区挙げての「まつり」となり、子どもたちを中心地域全体の「ふれあい」の場となった。また、地域の方々が学習発表会の会場準備なども担ってくださり、華やかな会場で大勢の保護者・地域の方に来校いただけた「まつり」となっている。

○お茶会

6年生児童が日本の伝統文化である茶道を、作法や礼儀などを学びながら体験し、地域の方との触れ合いが増え取組となっている。



【 ふれあい老上まつり 】

- 実施に当たっての工夫  
 ○サポートバンクを活用して、お茶会や家庭科の学習など実習を伴う場面でのサポートをはじめ、校内外の体験活動など様々な場面で支援していただけるように今後も工夫していきたい。  
 ○ボランティア同士の交流が図れるよう、図書室センターと読み聞かせボランティアで合同懇談会を開催している。



【 お茶会 】

- 事業の成果  
 ○お茶会ボランティアやサポートバンクのように、学校に関心を持ち「できる範囲で少しずつサポートしていく」という形で、関わってくださる支援の輪が広がっている。  
 ○子どもたちが地域の方の支援に触れる場面が増え、地域の方やふるさとへの愛着を感じ、豊かな人間性を養うきっかけとなる取組となっている。

- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望  
 ○取組を充実させるため、入念な打ち合わせや準備等が必要となる。学校・地域双方の負担を軽減するため、地域コーディネーターの果たす役割が必要不可欠となっている。

- その他（学校運営協議会との協働等）  
 ○学校ホームページ <http://www.oikami-p.skc.ed.jp>

- コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）  
 ■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（地域連携担当教職員）

## やってみよう 2019 ! ~地域とともに協同（協働）する学校~

(老上西小学校)

草津市	活動名 : 老上西小学校地域協働合校	草津市立老上西小学校 学校運営協議会 : ■有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : ■有 <input type="checkbox"/> 無
-----	--------------------	--

## 地域学校協働本部概要

開始年度：平成 28 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務〇人） ボランティア登録数：80 人

- |                                  |                           |              |
|----------------------------------|---------------------------|--------------|
| ■学習支援（授業補助、学力補充等）                | ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） | ■学校行事支援      |
| ■子どもの安全確保、見守り                    | □部活動支援                    | □学校周辺環境整備    |
| □地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） | □地域行事への参加                 | □学びによるまちづくり  |
| □郷土学習                            | □その他 [ ]                  | □ボランティア・体験活動 |

## ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他 ( )

## ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

## (1) 栽培体験活動

さつまいも（1年）、大根（2年）、米（5年）などの作物を農業合校の方やセンターの方の協力を得ながら栽培している。栽培し収穫したものは、糊殻を使って焼いもにしたり、大根持ち、大根葉のふりかけにしたり、塩おにぎりにしたりして栽培から調理までつながりのある学習を行っている。



【 2年 大根収穫 】

## (2) 学習支援

2、3年生の町たんけんや5、6年生の家庭科学習のサポートにたくさんの方に参加いただいた。たくさんのセンターの方に来ていただくことで、よりきめ細やかに子どもを見ていただくことができた。

## (3) 読書活動の推進

読み聞かせや図書ボランティアにたくさんの方が登録いただいている。読み聞かせの方には、毎週火曜日の朝に低学年を中心に読み聞かせをもらっている。図書ボランティアの方には、本の整理や貸出しの手伝い等、子どもたちが本に親しみやすくなるような環境づくりにご協力いただいている。



【 5年 はじめての裁縫 】

## ■ 実施に当たっての工夫

## ○年間の見通しを持つ

年度当初に年間の活動計画を作成し、保護者や地域に配布・回覧している。

## ○「できるときに、できることを」

「できるときに、できることを」を合言葉に、協力いただける方に可能な範囲で幅広くセンター募集を行っている。

## ○取組の発信

「こみゆにてい・すぐーる通信」を発行したり、活動の様子を模造紙にまとめて提示したり、ホームページに掲載したりするなどして本校の取組を発信している。

## ■ 事業の成果

## ○地域コーディネーターを中心に見通しを持って活動することで、地域とのつながりもできてきている。

○これまででは我が子の所属学年のセンターとしてのみ参加されている保護者が多かったが、昨年度から我が子の所属学年をこえて参加いただける保護者の方が増えてきている。

○センター同士のつながりが広がり、新たなセンターとして参加していただける方が増えた。

○子どもたちが地域や保護者など様々な方々と関わり、触れ合うことができている。

## ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

○積極的に活動の周知・発信を行うことで、さらなるセンターの増加をはかる。

○学習支援だけではなく、各専門分野の人材発掘を行う。

○休み時間の活動やその他ボランティア活動など、授業時間以外での活動を開発していかたい。

○センターが主体となって行う活動を充実していきたい。

○活動の広がりとともに、地域コーディネーターの負担が大きくなっている。地域コーディネーターの人員を増やすことで、負担の軽減に努めていきたい。

## ■ その他（学校運営協議会との協働等）

○年間4回の学校運営協議会を開催している。学校の取組や子どもの様子を伝えて、話し合う中で学校の課題や目標を共有することができた。今後も引き続き協議を重ね、「地域とともにある学校づくり」を進めていきたい。

## ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 □その他 ( )

報告書記入者（地域連携担当教職員）

すきです玉川		わたしも参加	つくるよろこび	(玉川小学校)
草津市	活動名 : 玉川小学校地域協働合校		草津市立玉川小学校 学校運営協議会 : ■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : ■有 □無	

**地域学校協働本部概要**

開始年度：平成 28 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：130 人

- |                                  |                           |              |
|----------------------------------|---------------------------|--------------|
| ■学習支援（授業補助、学力補充等）                | ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） | ■学校行事支援      |
| ■子どもの安全確保、見守り                    | □部活動支援                    | □学びによるまちづくり  |
| □地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） | □学校周辺環境整備                 | ■地域行事への参加    |
| □郷土学習                            | □その他 [ ]                  | □ボランティア・体験活動 |

**■事業を考案する主体（該当するすべてに■印）**

- 学校 □地域学校協働活動推進員
- 行政 ■その他（萩まつり実行委員会）

**■地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）**

学区には立命館大学びわこ・くさつキャンパス（BKC）があり、パナソニック草津工場を始め多くの企業が点在する地域である。ここ数年では、駅前開発でマンション群が建ち並び、また、京滋バイパス沿いに住宅地が造成されるなど新興地区と旧地区が混在した地域でもある。本学区の方々はそれぞれが連携を取りながら、小学校の活動に対して非常に協力的であり、環境を整えていただいたり、子どもたちの学習を助けていただいたりしている。地域の特性を生かした活動は、地域の方にとっても、子どもたちにとっても有意義な取組となるように仕組んでいる。



【 5年生：田植え 】

- (1) 学校近くの田（学習田）をお借りして、5年生が「田植え」を体験している。農作業の機械化は進んでいるが、「しきかき」された（ぬかるんだ）田んぼの土の中に、素足で入るという子どもたちの経験の中になかった感触を実際に感じることで記憶に残る体験となっている。今後は、収穫した「米」だけに目を向けるのではなく「わら・もみがら・ぬか」など、稲のすべてを活用してきた「日本人の知恵」を学ぶ活動につなげたい。
- (2) 1年生はプールの西側の畑に「さつまいもの苗植え」を体験している。さつまいもの苗の植え方やでき方などを詳しく教えていただき、枯れた苗を数日後に植え直していただいた所もある。水やりや草引きを計画的に分担し、秋の収穫につなげたい。収穫した後は、さつまいもの調理の仕方を子どもたちと相談し、「収穫を祝う会」など、子どもたちの新たな学習活動へと広がるように計画していく。

**■実施に当たっての工夫**

玉川小学校の地域協働合校の伝統として行われている活動を大事にしている。行事が終わった後に地域のみなさんと反省会をもち、来ていただいた方とその日のうちに話し合って次年度に生かすようにしてきた。地域コーディネーターや実施団体の担当が代わっても、次年度スムーズな取組ができるよう引き継ぎを大事にし、毎年行事を見直し、より良い取組になるようにしている。



【 1年生：さつまいもの苗植え 】

**■事業の成果**

子どもたちは地域の中で生活している。地域の中にはいろいろな技能を持った方がたくさんいるということを地域協働合校の行事を通して学んできた。地域の方とのつながりを持つよいきっかけになっており、登下校時には、挨拶を交わす姿も見られるようになった。それぞれの事業の終わりには、子ども達の方からお世話になった地域の方々に感謝の気持ちを直接伝えている姿が見られた。

**■事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望**

小学生と地域のみなさんとをつないで一緒に活動することで、玉川学区の良さや特徴を知り、玉川を愛する子どもたちが増えてしまいと願っている。玉川のことが大好きといえる子どもになるように今まで続けてきた伝統的な活動を継承しながら、新たな取組を取り入れていきたいと考えている。ただ、現在教えていただいている方たちの高齢化や宅地開発が進む現状を鑑み、併せて、事業についても見直しをした。今後も学校と地域を結ぶ力をもっと高められるようにコーディネートをしていきたい。

**■その他（学校運営協議会との協働等）**

学校運営協議会については、学期に一度話し合いの会議を持っている。学校の取組の現状報告やそれに対するアドバイス、課題解決に向けて貴重なご意見をいただいている。今年度も、2学期当初の暑さ対策を相談し、昨年度のように自治会の方から体育館にスポットクーラーを6台入れていただいた。おかげで、運動会の練習は充実したものになり、本番ではその成果がみられた。

**■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）**

- 校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員
- その他 ( )

報告書記入者 ( 地域連携担当教職員 )

## 素敵な出会い みんなで創るまち 南笠東～つながろう～ (南笠東小学校)

草津市	活動名 : 南笠東小学校地域協働合校	南笠東小学校	学校運営協議会 : ■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : ■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>			
開始年度 : 平成 28 年度	地域学校協働活動推進員等数 : 1人 ボランティア登録数 : 30 人		
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援	
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	□学校周辺環境整備	□学びによるまちづくり
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		■地域行事への参加	■ボランティア・体験活動
□郷土学習	■その他「地域公開講座」		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学 校 □地域学校協働活動推進員
- 行 政 ■その他（学校運営協議会議員）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1) 老人クラブの方と1年生の、年間を通して行う活動

5月の「さつまいもの苗を植えよう」から始まり、10月には「おいもほり」と「いもパーティー」、1月には「昔遊び」で老人クラブの方と1年生が交流する活動を行った。

「さつまいもの苗を植えよう」では、1年生が全員で苗植えを行った。老人クラブの方が隣についてくださり、植え方を教わりながら一緒に活動した。

「おいもほり」は1日参観の日に、1クラスずつ行った。お家の方は参加する形ではなく、子どもたちが老人クラブの方と一緒に活動している姿を見ていたいた。また、事前に作成しておいた「いもパーティー」の招待状を、子どもたちが老人クラブの方に直接手渡す時間も作った。

「いもパーティー」は1年生全員で行った。子どもたちは司会進行、プログラムを書く、席札や飾りを作るなど、役割分担して準備を進め、当日を迎えた。発表を見ていただいたら、収穫したさつまいもで予め作っておいた「茶巾絞り」を食べながらおしゃべりしたりして、老人クラブの方と交流した。

「昔遊び」は、3回の活動で顔見知りになった老人クラブの方と一緒に昔遊びを楽しみ、さらに交流が深まるこどもねらう。



【 いもパーティー 】

(2) 地域の行事「地域で彩るコラボレーション」に参加

まちづくり協議会の事業で、12月に行われた「地域で彩るコラボレーション」に毎年参加している。今年度は、ダンスクラブの子どもたちが日ごろの練習の成果を発揮した。



【 オープンスクール～読み聞かせ 】

(3) オープンスクール

夏期休業期間中と冬期休業期間中のそれぞれ3日間、「オープンスクール」と題して本校児童や卒業生、未就学児、保護者、地域住民に学校図書館と図工室を開放した。図書ボランティアに読み聞かせをしていただいたら、学生のボランティアや地域のボランティアに、休業期間中の課題に取り組む子どもたちを支援していただいたらした。

■ 実施に当たっての工夫

回数を重ねることで、関わりが深まるようにした。

■ 事業の成果

- ・教師以外の様々な人と関わることができた。子どもたちは、活動内容はもちろん、それ以外にも人から学ぶことは多い。
- ・活動以外の場でも、子どもたちが関わりを持った人たちに声をかける姿が見られた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・学校に来ていただく方を増やす。そのために、ボランティアの内容や募集方法を見直す。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

HPにて、活動を紹介しています。<http://www.minamigasa-p.skc.ed.jp/>

■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校 長
- 教 頭
- 地域連携担当教職員
- その他（ 担任 ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

## 出会い・ふれあい・学び合い～みんなで育てる山田の子～

(山田小学校)

草津市	活動名 : 山田小学校地域協働合校	山田小学校	学校運営協議会 : ■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : ■有 □無
地域学校協働本部概要			
開始年度 : 平成 28 年度 (地域協働合校事業は平成 10 年度) 地域学校協働活動推進員等数 : 1 人 ボランティア登録数 : 90 人			
■学習支援 (授業補助、学力補充等)	■図書ボランティア (読書活動支援・図書室環境整備)	■学校行事支援	
□子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	□学校周辺環境整備	□学びによるまちづくり
■地域人材育成 (地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育)	□地域行事への参加	■ボランティア・体験活動	
■郷土学習	□その他 [ ]		

### ■ 事業を考案する主体 (該当するすべてに■印)

- 学 校      ■地域学校協働活動推進員
- 行 政      □その他 ( )

### ■ 地域と学校が協働した活動 (特徴的な活動)

#### (1) ニゴロブナ稚魚の放流

山田漁業共同組合の皆さんの協力のもと、びわ湖にニゴロブナを放流する活動を続けている。初めて魚に触れた子、初めて船からびわ湖を見た子もいる。この活動を通してびわ湖の環境を考えるきっかけとしたい。



【ニゴロブナ稚魚の放流】

#### (2) 室戸台風殉難慰靈式

本校では、今から 85 年前の室戸台風で大勢の被害者が出了。被害にあわれた方の記録をもとに話を聞き、亡くなられた方々を追悼するため、地域の方々とともに、全校で持ち寄った花で献花をし、歌い継がれた「学友の靈に捧げる歌」を歌うことで、自然の偉大さについて考えさせるきっかけとなっている。



【室戸台風殉難慰靈式】

#### (3) その他

読書サークル「トトロ」の皆さんによる読み聞かせ、ビニールハウスでのネギ植えと収穫、消防団の取組の見学など。

### ■ 実施に当たっての工夫

- 地域との窓口を担任から、地域コーディネーターに移行していくことで、スムーズに調整が進み、より有意義な活動になるようしている。
- 校内の掲示板に『地域協働合校コーナー』を設け、それぞれの学年の取組について広め、見通しが持てるようにしている。また、地域のボランティアさんの顔写真を掲示し、様々な場面でお世話になっている地域の方々の顔と名前がわかるようにしている。

### ■ 事業の成果

- 掲示板を見つめる子どもの姿がよく見られる。「この人、知ってる!」「〇年になったらこんなことができる!」という歓声もあり、地域の方とのふれあいを楽しみにしている姿が見られた。
- 歩いていける範囲に、漁港、ビニールハウスや農業センター、田畠などがあり、様々な体験ができる環境にあるため、地域の方々の協力のもと、ともにふれあいながら体験を進めている。そのため、アンケート等で「地域行事に参加している」と答える子どもが多い。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- 地域の高齢化が進み、恒例の学習も実施が困難なケースがでてきている。学習自体は続けていくため、地域コーディネーターを中心に入材発掘を進めていきたい。

### ■ その他 (学校運営協議会との協働等)

- 学校運営協議会に地域コーディネーターと担当教諭も参画し、連絡調整を年間 3 回実施。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者 (該当するすべてに■印)

- 校 長      ■教 頭      ■地域連携担当教職員      □その他 ( )

報告書記入者 ( 地域連携担当教職員 )

**協力して育つ 共に育つ 韶いて育つ 子どもの夢育て** (笠縫小学校)

草津市	活動名 : 笠縫小学校地域協働合校	笠縫小学校 学校運営協議会 : ■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : ■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成27年度 地域学校協働活動推進員等数：2人（兼務1人）ボランティア登録数：85人		
<input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 [ ]		

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）  
学 校 地域学校協働活動推進員 行 政 その他（ ）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1) 栽培体験合校

3年生の総合的な学習の時間では、学区にお住いの「アオバナの先生」を招き、苗の植え方や世話の仕方を、実演を交えながら教えていただいた。子どもたちは先生の教えをしっかりと守って熱心に世話を続けた。その甲斐があって7月には多くの花が咲き、摘んだ花でハンカチを染める活動を行うことができた。



【アオバナについての話】

(2) 地域の人と学ぶ合校

6年生の総合的な学習の時間では、学区の伝統である「サンヤレ踊り」、「講踊り」、地域で生まれた日本画家の野添平米さんや横井金谷さんについて学ぶ機会を設けている。子どもたちを6つのグループに分け、実際に地域に出向いて地域の方より話を聞いたり実演を通して学んでいる。その後、学んだことをタブレットパソコンや画用紙などにまとめ、低学年の子どもたちに自分たちの学びを伝えている。



【地域の偉人を調べる】

(3) 読書推進合校

PTAで組織する読書ボランティア「お話の森」のみなさんによる読み聞かせを2~3週間に一度、朝学びの時間（15分間）に各学級の教室で行っている。

(4) 地域安全・学校安全合校

子ども見守り隊の方々による登下校の見守りを行っている。長年続けていたいている方も多く、見守るだけでなく指導もしていただいている。1年間の感謝とお礼を伝える場として、3学期末の修了式に見守り隊の方をお招きしている。

■ 実施に当たっての工夫

○地域のよさを感じたり学校や校区のことを詳しく調べたり、校区の人たちの生き方や温かさに触れたりするような活動を大切にしたいと考え、教科等との関連をふまえ、活動を仕組んでいる。

■ 事業の成果

○コーディネーターの方をはじめ、継続してボランティア活動に取り組んでいただいている方が多く、教員以上に活動を把握されており、主だった活動にスムースに取り組むことができている。民生委員児童委員さんのように、進んでアイデアを出していただくこともあり、地域の子どもたちの育ちに自分たちも積極的に関わっていこうとされる姿は、学校にとっても本当にありがたいことである。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

○継続してボランティア活動に取り組んでいただく方が多いものの、一方で新たな人材を見出していくことが課題である。その上で、コーディネーターとの連携は大変重要であるが、コーディネーターに任せきりになっている状況である。今後は、連携を密にして人材の発掘につとめていきたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

学校運営協議会に地域コーディネーターも入っていてくださる。地域との連携はコーディネーターが非常にこまめにとっている。

■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校 長 教 頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（地域協働合校推進教員）

## ふるさとの「いのち」とふれ合う東っ子

(笠縫東小学校)

草津市	活動名 : 笠縫東小学校地域協働合校	草津市立笠縫東小学校 学校運営協議会 : ■有 □無 学校運営協議会との協働 : ■有 □無
地域学校協働本部概要		
開始年度 : 平成 27 年度	※実施した活動すべてに■印	
□学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	□学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	□学びによるまちづくり
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	■学校周辺環境整備	□ボランティア・体験活動
■郷土学習	□地域行事への参加	
□その他 [ ]		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学 校 ■地域学校協働活動推進員
- 行 政 □その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### ○地域の環境を守るエコロジー委員会（5・6年生児童会活動）

5・6年生が所属する児童会の委員会活動「エコロジー委員会」では、17人の子どもたちが、学校や地域の環境保全とその啓発のための活動をしている。

学校のビオトープの周りに、市の花であるアオバナを植えたり、校庭のごみ拾いをしたりしてきた。学校のシンボルだったポプラの大木が台風で倒れた年には、ごみになりがちなペットボトルのキャップを集めて、ポプラの木を壁面アートにして表現したこともある。

例年1月頃には、地域の環境を守る活動をしている「草津塾」の方々と、学校近くの葉山川の土手のごみ拾いをする活動を続けている。今年度は、1月20日の午後に葉山川土手のごみ拾いを実施し、約10名の「草津塾」のメンバーと合流した。子どもたちは、わずか10分ほどの時間で、持ってきたごみ袋やバケツがいっぱいになるほどのごみを見つけ、改めてごみを捨てる人の多さに驚いていた。その後、分別作業を通して、プラスティックごみの多さを確認することができた。

この結果を受けて、「草津塾」の方からこれらのごみが海洋プラスティックごみにつながるという話を聞き、地球環境の問題が身近なところに端を発することに気づくことが出来た。



【葉山川土手のごみ拾い】



【ごみを分別する様子】

### ■ 実施に当たっての工夫

○上記の事例のように、本校近くを流れる葉山川やその周辺をフィールドにした学習や活動を仕組むことで、地域への愛着を育みながら教育的効果を上げている。

例：自然観察、昆虫採集、川の生き物調査、俳句作り、マラソンコース

○野外で活動する際の安全を確保するために、地域の方に事前に活動場所の草刈りや危険箇所のチェックをしておいてもらうことで、安心して活動ができる。

### ■ 事業の成果

○地域のフィールドで地域の方と活動することで、地元を愛し、その環境を大切にする人々の思いにふれることができる。子どもたちも今まで以上に、地域や地域の大人への親しみを感じ、自分のふるさとに誇りを感じて、進んで地域の行事などに参加する子どもが増えている。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

○新学習指導要領により、教科の時数や指導内容が増える中、従来のままの地域学校協働活動を継続していくことは難しく、その趣旨や活動のねらいを確認しながら、行事や活動の精選を行っていく予定である。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

○学校運営協議会のメンバーの一人は「地域協働合校推進協議会」の会長も務めており、子どもと地域との協働学習の様子も話題に上り、学習効果や懸念事項などを把握してもらっている。来年度は、稲刈りの時期に熱中症の心配がないように、時期や方法などの見直しに着手していきたい。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- |     |     |            |                     |
|-----|-----|------------|---------------------|
| ■校長 | ■教頭 | ■地域連携担当教職員 | ■その他（ 該当学年教員 ）      |
|     |     |            | 報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ） |

## ふるさと常盤から豊かな生き方を学ぼう

(常盤小学校)

草津市	活動名：常盤小学校地域協働合校	常盤小学校 学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成27年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：200人		
<p>■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援</p> <p>■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり</p> <p>■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動</p> <p>■郷土学習 □その他 [ ] </p>		

## ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学校 ■地域学校協働活動推進員  
□行政 □その他（ ）



【ザリガニ取り】

## ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

## (1) 2年生 「ザリガニ取り」学習会

「志那中環境を守る会」の方の全面協力のもと、学校近くの用水路で網を使ってザリガニを捕まえる。普段、網を持ったことがない子どもも意欲的に取り組み、苦労して捕まえることで、ザリガニを大切に育てることができた。



【魚のゆりかご水田】

## (2) 4年生 「魚のゆりかご水田」体験学習

「志那中環境を守る会」の方にお世話になり、「魚のゆりかご水田」について話を聞き、実際に地域の田んぼの溝でバケツとタモ網を使って魚や生き物を捕まえる。捕まえた生き物について、琵琶湖博物館の方から説明を受ける。その後、放流する。

## (3) 5年生 「環境にやさしいお米づくり」

地域の方の田んぼをお借りして、地域の方や、JAの協力のもと、子どもたちが田植えを体験する。さらに、ふなのは稚魚を放流・救出し、秋に収穫する。収穫したもち米を使い、老人クラブ、健康推進委員の方の協力のもと、もちつきを行い、お世話になった方々と共に感謝の気持ちを込めて収穫祭を行う。

※どの学習も単発で行っているのではなく、ときわっ子が6年間育っていく中で「ときわ」（ふるさと）のよさを学んでいる。

## ■ 実施に当たっての工夫

- 地域の方々の「ふるさと常盤」を愛する気持ちや、後世に残し伝えていきたいという思いが子どもに伝わるよう、そして、目の前の子どもの実態にあった内容になるよう地域コーディネーターや学校担当者、担任を交えて事前の打ち合わせを行ってきた。  
○正面玄関や会議室壁面に「地域協働合校コーナー」を設け、日々お世話になっている地域の方の姿を写真で掲示し、感謝の気持ちを忘れないようにしている。また、常盤小学校に来てくださる方にも、「常盤のよさ」を知っていただく一助になっている。

## ■ 事業の成果

- 地域の方がたくさん協力してくださるおかげで、子どもたちも「あー、〇〇さんや。」と声をかけたり、挨拶したりする姿が増えつつある。また、知っている方に教えていただくことで、質問しやすく、さらに学習が深まった。また、そこから、地域の行事に参加する子どもも増えつつある。

## ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- 昨年度の反省をふまえ、保護者の方を少しずつ巻き込みながら、学年通信・学級通信等で発信することにより、親子で「常盤のよさ」を語り合う機会が増えたのではないかと思われるため、引き続き行っていきたい。また、子どもたちがまとめたものを他の学年に知らせたり、地域に発信したりもできると考えている。

## ■ その他（学校運営協議会との協働等）

- 年4回学校運営協議会にて連絡調整を行っている。

## ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校長 □教頭 ■地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

## 地域と学校を結ぶ栗東中学校支援地域事業本部「栗中サポートーズクラブ」（栗東中学校）

栗東市	活動名 : 栗東中学校支援地域本部 「栗中サポートーズクラブ」	栗東市立栗東学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成20年度 地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務1人）ボランティア登録数：39人		
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地元人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他 [ ]		

- 事業を考案する主体（該当するすべて） ■印
- 学校 ■地域学校協働活動推進員 □行政 □その他（ ）
- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
- (1) 学習環境支援 : 美化活動をしながら廊下から授業を見守る支援（月1,2回程度）玄関前生け花支援
  - (2) 図書室支援 : 本の整理、本棚の修理など環境整備（月1回程度）、図書室リニューアル支援（2学期 ほぼ週1回）
  - (3) 環境整備支援 : 破損箇所修理や植栽伐採、PTA環境整備支援、家庭部員との協働雑巾作りなど、校舎内外の学校生活環境向上一般における支援
  - (4) 通学マナーアップ : 登下校時の危険箇所での立番活動
  - (5) 学校行事支援 : 生徒との地ゴミ拾い活動、校外学習時の立番 チャレンジウィーク事業体験支援 家庭部主催サポートーさん、保護者ボランティアさんを招いてのお茶会支援
  - (6) 栗中コミュニティガーデン : 生徒とサポートーさんとの協働運営菜園で野菜の栽培、収穫支援
- 実施に当たっての工夫
- 年度初めにサポートー会議を開き、活動計画をたてる。毎月の通信で参加してくださる方の募集をする。申し込み状況を把握しながら、事務局からも働きかけ人数調整する。
  - 専用のユニフォームを着て、活動が一眼でわかるようにする。保護者さんや地域の方にも、理解協力が得やすく、活動が浸透している。
  - サポートー通信を月1回発行。保護者1地域の役員さんにも配布し、活動の様子を伝える。近隣の生徒が通信を届け、地域とのつながりの機会とする。
  - 無理のない範囲で、生徒たちと一緒に活動することを心がけ、温かで心豊かな生徒の育成、自ら取り組もうとする意欲を高める。
  - 活動の様子を校長室前掲示板に掲載。校されたお客様にも幅広く活動を知っていただく。
  - サポートー室を設け、活動時だけでなく、活動計画を立てるなど気軽に立ち寄りいただき交流の場としても役立っている。
- 事業の成果
- 規律や安全面での支援
 

月1回から2回程度、授業中、廊下かいの見守りを実施。三者懇談会中の放課後には駐輪場やグラウンドの巡回、校外学習時には駅周辺の見守り、入学説明会に登校する小学生の見守りなど、学校行事のある時の立番の支援を実施。声掛けや安全面の強化に役立っている。
  - 図書室支援による担当教員の負担軽減
 

図書室支援・図書室の本の整理や本棚の背面の張替修理。図書室がきれいに、本が見やすくなった。今年度、図書館司書さん指導のもと、保護者ボランティアさんとサポートーさん、図書委員で図書室リニューアル支援に取り組む。リニューアル後、図書委員自らが、おすすめの本コーナーを設置し本の魅力を発信するなどして、生徒たちが図書室に親近感を感じてもらえる環境作りができた。サポートーさんから観賞用花の寄贈や飾りつけなどご協力いただいた。
  - サポートーとの協働による生徒の心の育成・サポートーの活躍の場の提供
 

種まきや苗植え、野菜の収穫などを通じて、土に触れ、野菜を育てる喜びを実感、心の醸成につなげている。近隣の協働ゴミ清掃では、地域の人にも活動を認めてもらえるようになってきた。地域からご提供いただいた中古タオルで雑巾を作る取り組みでは、4年目を迎え、定着し、生徒たちのミシン掛けがとてもうまくなった。また、着付け教室、畑作業、耕耘機の修理など、サポートーさんの専門知識を生かした活躍の場の提供にもなっている。
  - 地域と学校をつなぐ「家庭部主催お茶会と吹奏楽によるアンサンブル演奏会」の実施
 

日ごろからご支援いただいているサポートーさん、ボランティアさん、先生方をお招きし、お茶の先生でもあるサポートーさんにご指導いただき家庭部が中心となってお茶会を催した。その後、吹奏楽部がアンサンブル演奏をしてくれて、交流を深めることができた。
- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
- サポートーさん自身の高齢化が課題である。徐々に引き継ぎでもらえるように取り組みたい。保護者さんも少数ながら参加いただいている。引き続き、加入の呼びかけを続ける。
- その他（学校運営協議会との協働等）
- 学校運営協議会は設置していないが、地域のサポートーが構成メンバー含まれる学校協議会において連携を図っている。
- コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）
- 校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他（ ）



【 本棚の修理 】



【 家庭部主催お茶会 】

## 「心豊かでたくましい実践力のある中主っ子」の育成を

野洲市	活動名：中主小学校地域学校協働本部	中主小学校	学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>			
開始年度：令和元年度	地域学校協働活動推進員等数：1人	ボランティア登録数：登録なし	
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	□学校行事支援	
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備	□学びによるまちづくり
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		■地域行事への参加	□ボランティア・体験活動
■郷土学習	□その他〔 ]		

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- (1) 社会科における支援（事業を考案する主体：■学校 □地域学校協働活動推進員 □行政 □その他）  
5年生社会科「食料生産をさえる人々」の学習では、「たんぽのこ事業」の中で、子どもたちは、グリーンちゅうず、JA中主の方々に田植えおよび稲刈りの方法を学び、実際に体験することができた。
- (2) 算数科学力補充における支援（事業を考案する主体：■学校 □地域学校協働活動推進員 □行政 □その他）  
算数科の学力補充「のびっこタイム」の学習では、子どもたちは、退職教員や現役大学生の方々から指導をいただき、学力の向上を図っていった。
- (3) 図書ボランティア整備における支援（事業を考案する主体：■学校 □地域学校協働活動推進員 □行政 ■その他）  
図書ボランティアの方が、図書室の季節の飾り付けや図書のブッカーかけなど、図書室の整備を行い、子どもたちの読書環境を整えてくださった。
- (4) ヨシ苗植えに関する支援  
(事業を考案する主体：■学校 □地域学校協働活動推進員 ■行政 ■その他)  
5年生の総合的な学習の時間では、ロータリークラブや「びわ湖の水と地域の環境を守る会」に所属する方々が子どもたちにヨシの水質浄化作用についてわかりやすく説明してくださった。その後、ヨシ苗を学校にある池へ植える活動を指導いただいた。11月下旬には、以上の方々に加え、公益財団法人淡海環境保全財団や環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」（えこっち・やす）の所属する方々の支援で、育てた苗を児童自らが琵琶湖岸に植える活動を行った。
- (5) 読み語りボランティア整備における支援（事業を考案する主体：■学校 □地域学校協働活動推進員 □行政 ■その他）  
読み語りボランティアが、朝学習の時間を活用した図書の読み聞かせを行った。
- (6) 家庭科実習支援（事業を考案する主体：■学校 □地域学校協働活動推進員 □行政 □その他）  
5年生家庭科における手縫いやミシン縫いについて、実習を伴う積極的な支援を行ってくださいました。
- (7) 学校敷地内の環境整備（事業を考案する主体：□学校 □地域学校協働活動推進員 □行政 ■その他）  
西河原喜楽会の皆さんによる草引きや草取りなど、施設の環境を整えてくださいました。
- (8) 昔遊びに関する支援（事業を考案する主体：■学校 □地域学校協働活動推進員 □行政 ■その他）  
1年生生活科で、児童は老人クラブの皆さんの支援により、子どもたちは昔の遊びを体験した。

### ■ 実施に当たっての工夫

- (1) 社会科の田植えや稲刈りにおける環境整備  
グリーンちゅうず、JA中主の方々と事前の打ち合わせを綿密に行った。
- (2) 算数科学力補充における支援  
支援くださる方々が支援しやすいようなわかりやすい解答用紙を準備し、児童のきめ細かな支援をしていただいた。
- (3) 図書ボランティア整備における支援  
学校側の図書館担当と図書ボランティアの方々と学校の連絡帳を準備し、図書整備に関する情報を共有した。
- (4) ヨシ苗植えに関する支援  
学校と環境保全団体の橋渡しに野洲市環境課が積極的に関わってくださいました。雨天による延期の際に連絡調整を丁寧に行うことで混乱なく進められた。
- (5) 読み語りボランティア整備における支援  
朝学習時の読み聞かせが円滑に進むよう、学校側担当者との打ち合わせを綿密に行った。
- (6) 家庭科実習支援  
老人クラブの方々には、あらかじめどのような支援をしていただきたいのかを具体的に伝える打ち合わせを行った。
- (7) 学校敷地内の環境整備  
児童の安全を確保するため、伐採あるいは刈り取りの植栽について打ち合わせを行った。
- (8) 昔遊びに関する支援  
老人クラブ代表の方々と学年担当が、体育館フロアのどこで、どんな昔遊びをするのかなどの打ち合わせを行った。



【ヨシ苗を琵琶湖岸に定植した場面】

### ■ 事業の成果

以上の事業を体験した子どもたちは、地域行事に積極的に参加する姿が見られ、地域に密着しながら、心豊かでたくましい実践力のある子を育てることができたと考えられる。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

地域学校協働推進員を学校関係者外に設置することが望ましいと考えられる。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

□校長 ■教頭 □地域連携担当教職員 ■その他（教務部）

報告書記入者（教頭）

## しのっこ豊かな心を育てるための活動～応援から協働へ～

野洲市	活動名：篠原小学校地域学校協働本部	篠原小学校 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：令和元年度	地域学校協働活動推進員等数：1人	ボランティア登録数：登録なし
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
□子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	□学びによるまちづくり
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	□学校周辺環境整備	□地域行事への参加
□郷土学習	□その他〔 ]	□ボランティア・体験活動

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）  
 学 校     地域学校協働活動推進員     行 政     その他（ ）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

○読書推進活動

- ・毎週木曜日の朝に読書ボランティアさんによる読み聞かせを実施した。すべてのクラスにまわるように週替わりのローテーションで実施した。
- ・定期的に図書室の環境整備を実施している。子どもたちが本に親しみを持てるように図書室のレイアウトや分類の整理をすることができた。



【毎週木曜日の読み聞かせ活動】

○環境整備活動

- ・夏休みにP T A、児童と共に環境整備作業の時期に学校周辺の草刈りを実施した。
- ・マラソン大会に向けてコースの草刈りを実施した。

○学習支援活動

- ・1年生が昔あそび体験の学習の時間に、地域の方に来校していただき、子どもたちに遊び方を教えていただいた。

○広報活動

- ・保護者、地域を対象に広報誌「つなぐ」を発行した。



【地域・学校との合同研修会】

■ 実施に当たっての工夫

- ・関係するメンバーを集め、総会、推進委員会を開催し、活動の進め方について話し合う場を設定した。
- ・県のC S アドバイザーを講師に招き、関係役員、地域の方、学校職員等を対象に地域とともにある学校づくりを考えるための研修会を実施した。
- ・ボランティアさんとの連絡ノートを作成し、連絡調整に活用した。
- ・1年生の昔あそび体験にむけて、地域の方向けにチラシを作成し配布した。

■ 事業の成果

- ・読書活動について、年間を通じて継続的な取り組みにすることができ、子どもたちの読書への意識を高めることができた。また普段整理しきれない図書室の環境整備を学校の長期休業中に実施し、使いやすい図書室づくりを進めることができた。
- ・1年生の昔あそび体験に地域の方に参加してもらうことで、子どもたちの学びに繋がったと共に地域の方々にもやりがいを感じていただくことができた。
- ・広報誌や学校ホームページを活用して、地域学校協働本部の活動を地域や保護者の方々に広めることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・地域から学校への支援で終わらないように、地域との協働の活動を探っていきたい。
- ・地域と学校の課題を共有し、共に篠原の子どもたちの豊かな育ちのために考えられるコミュニティを目指していきたい。
- ・これまで学校でやってきた活動を整理して、地域学校協働本部として活動の整理を進めたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・現在、学校運営協議会は設置されていないが、設置の時期が来た時には、地域学校協働本部と一体となって、地域とともにある学校づくりを進めていきたい。

■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

□校 長     教 頭     地域連携担当教職員     その他（ 学校事務職員 ）

報告書記入者（ 教 頭 ）

## おらが学校 地域の学校 祇王小学校の子どもたちのために

野洲市	活動名：祇王小学校地域学校協働本部	祇王小学校 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：令和元年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：54人		
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 [ ]		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### ・ 5年米づくり

学習田として田んぼを使わせていただき、田植えと稲刈りを社会科の学習および総合的な学習の時間の活動としている。農作業の工夫や思いなどを話していくとともに田植え・稲刈りの体験学習の指導に当たっていただいている。

#### ・ わくわく算数教室

夏休み明けの2学期当初にボランティア16名に二日間にわたって算数学習のプリントの採点および支援を全学級で行っていただいている。

#### ・ 家庭科学習支援

初めての裁縫での玉止め、玉むすび、なみ縫い、返し縫い、かがり縫いの支援をしていただいている。ミシン学習においても糸の通し方から、直線縫いまでを支援していただいている。どちらも各グループに一人ずつついていただき、学習がスムーズに進んでいる。

#### ・ 1年昔遊び

生活科の学習における昔遊びを各遊びに分かれ、遊び方や上達における支援をいただいている。



【 5年稲刈り体験 】

### ■ 実施に当たっての工夫

- 年度当初にコーディネーターと年間計画を共通理解し、教職員およびまちづくり推進協議会においても活動を広く周知していただいている。そのため、ボランティアの参加も毎回多く集まっている。
- 事前のミーティングないしはコーディネーターからの連絡を十分行っているので、学習のねらいや主旨を理解していただいた上でボランティアとして、参加していただいている。学習活動がスムーズに行えている。
- ボランティアさんにも参加してよかったですと思えるやりがいのある活動を心がけている。

### ■ 事業の成果

- 学校の教職員だけでは、十分に個別指導ができない点で、支援は助かっている。学級園や運動場整備など教職員だけではできない整備までしていただいている。
- 子どもたちが地域の方々とふれあう機会が増え、地域により親しみが持てたとともに、社会性が養われ、地域のよさを学ぶことができている。
- ボランティアさんに学校の様子を知っていただく啓発活動になっていると同時におらが地域のおらが学校という地域愛を高める活動となっている。



【 わくわく算数教室 】

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- 教育カリキュラムの変更に合わせ、来年度に向けて活動計画を修正していく必要がある。
- 今年度同様、ボランティアさんが活動してよかったですと思える活動となるよう常に地域の学校という意識を教職員全員が持ち取り組んでいきたい
- ボランティアさんが高齢の方が多いということから継続可能な体制を考えいかなければならない。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

- 学校運営協議会の立ち上げ時期と関わりについて考えいかなければならぬ。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 □地域連携担当教職員

■その他（ 学年主任 ）

報告書記入者（ 校 長 ）

## 「みんなでめざそう！3UP（やさしく、かしこく、たくましく）」<三上っ子応援団の取組>

野洲市	活動名：三上小学校地域学校協働本部	三上小学校	学校運営協議会：□有 ■無
地域学校協働本部概要			
開始年度：平成25年度	地域学校協働活動推進員等数：1人	ボランティア登録数：個人登録42人 SG登録160人 同窓会役員登録12人	
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援	
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備	□学びによるまちづくり
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		□地域行事への参加	□ボランティア・体験活動
■郷土学習	□その他 [ ]		

### ■事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 □地域学校協働活動推進員 □行 政 ■その他（本部内の各団体 例：同窓会）

### ■地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### （1）天保義民の生き方に学ぶ（6年）

6年生は、総合的な学習の時間で、郷土の偉人「土川平兵衛」や天保義民の生き方にについて学んでいる。読本「郷土の偉人」などの資料を用いて学習を進めるとともに、地域ボランティアを講師に招いてフィールドワークを行うなど、たいへん深く学んできた。

10月15日（火）、6年生全員が天保義民祭に参列した。式典には、地域の方が多く参列されていた。子どもたちは、式辞や祝辞の内容を聞きながら、今まで学習してきたことを振り返り、義民の心を感じながら黙祷や献花を行った。これらの学習や経験により、子どもたちは土川平兵衛の生き方や義民の心を学び、日々の生活や将来に生かしている。



【天保義民フィールドワーク】

#### （2）左義長体験（6年 → 全校）

1月9日（木）、地域学校協働本部（同窓会や学校応援団）のボランティアの協力で、左義長体験を実施した。まず、ボランティアの皆様と6年生が協力し、運動場に大きな竹組を立てた。そこに全校が集まり、各自が竹組の中に書写の作品や正月飾りなどを入れた。各学年の代表が点火すると、竹組は激しく燃え上がり、青竹が大きな音を立てて破裂した。子どもたちは、激しく燃える様子に歓声を上げ、それぞれの願いを抱きながら見守った。この体験で、地域の伝統を学ぶとともに、地域行事に親しむことができた。



【左義長の竹組体験】

#### （3）その他、特徴的な活動

- ①郷土学習（3年）「まち探検」でのフィールドワーク、「ずいき祭り」のお話など
- ②稻作体験（5年）田植え、稻刈り ③ひょうたんづくり体験（4年）
- ④マラソン大会（全校）周回場所での見守り ⑤三上山登山（3年以上）引率など

### ■実施に当たっての工夫

- ①実施にあたっては、地域学校協働本部の関係団体との連携を図るとともに、学校だより等で広く募集を行った。
- ②実施後、子どもの書いた感想やお礼の手紙を全校（学年）児童分の冊子にまとめ、関わっていただいた地域の方に回覧した。

### ■事業の成果

- ①学校目標の3UP（やさしさUP、かしこさUP、たくましさUP）の実現に向け、豊かな地域人材を活用することができた。
- ②子どもたちは、郷土（三上）の自然や人々、文化のよさや素晴らしいところを学ぶことができた。特色ある学校づくりの推進につながった。<学校評価「郷土学習」に関する項目：児童アンケート肯定的評価89%、保護者アンケート肯定的評価92%>

### ■事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ①学校教育目標の実現をめざして地域・家庭との連携で行う「3UP運動」を、本事業の柱（テーマ）に位置づけて進める。
- ②地域学校協働本部のもとに様々な地域の諸団体と連携を図るとともに、学校による企画だけでなく地域等による企画も進めていく中で、子どもが地域行事等に参画する場や機会を検討する。

### ■その他（学校運営協議会との協働等）

地域学校協働本部（学校応援団）の運営委員が学校評議員を兼ねている。現在、学校運営協議会は組織していないが、学校評議員会と協働した取組を意識的に行っており、将来の学校運営協議会との協働に向けた組織づくりに心がけている。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 □地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（ 校 長 ）

## 「できる時に・できる範囲で」温かい学校支援を！

野洲市	活動名 :	野洲小学校地域学校協働本部	野洲小学校 学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<b>地域学校協働本部概要</b>			
開始年度 : 令和元年度	地域学校協働活動推進員等数 : 1人	ボランティア登録数 : 60人	
<input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等）	<input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	<input type="checkbox"/> 学校行事支援	
<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り	<input type="checkbox"/> 部活動支援	<input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備	<input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり
<input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		<input type="checkbox"/> 地域行事への参加	<input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動
<input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習	<input type="checkbox"/> その他 [ ]		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学 校    地域学校協働活動推進員    行 政    その他 ( )

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

○学校からの依頼支援は、コーディネーターが支援ごとに参加サポーターを調整・決定をし、学校の担当者に報告している。

☆各学年校外学習 引率補助

☆5・6年生 家庭科授業指導補助（手縫い・ミシン・調理実習）

☆3年生：昔のくらし学習支援 4年生：そろばん授業指導補助

☆特別支援学級水泳授業見守り

☆委員会活動補助

### ■ 実施に当たっての工夫

○学校からの依頼支援のほかに応援団独自の支援をしている。

☆朝の読み聞かせ … 朝学習の時間に各クラスにおもむき、絵本の読み聞かせを実施



（3年生昔のくらし学習支援の様子）

せを実施

☆図書美化 … 図書室の整備、図書の整理、図書の修理などを実施

☆落ち葉清掃 … 11月～12月に校門付近・駐車場周りの落ち葉清掃を実施

☆給食エプロン修理 … 子どもたちが使っている給食エプロンを預かって、ゴム交換やボタン付けなどの修繕作業を実施

○活動の詳細は、「応援団通信」や学校応援団の校内掲示板、学校だよりでお知らせしている。

### ■ 事業の成果

(1) 児童にとって

地域の力が学校へ入ることにより、より豊かな学習効果を得られた。

(2) 教員にとって

授業中に支援が必要な児童への支援が充実した。

(3) 地域住民にとって

学校や地域の子どもたちが身近に感じられ、学校での活動に生きがいなどを見いだすことができた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

・登録されている人数は多いが、活用されているのは一部の人に偏っているので、「学校の役に立ちたい」と思っている人と学校をよりスムーズに結んでいくシステムづくりが必要である。

・「できる時に・できる範囲で」温かい支援をモットーにこれからも取り組む。

### ■ その他

・地域学校協働本部の代表が、学校評議員として学校評議員会に出席し、様々な意見交流をしている。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校 長    教 頭    地域連携担当教職員    その他 ( )

報告書記入者（教頭）

## 「北野が好き★仲間が好き★学校が好き」わくわくのびのび北野っ子

野洲市	活動名：北野小学校地域学校協働本部	北野小学校 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：令和元年度	地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：96人	
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動
■郷土学習	■その他 [ ]	

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）  
 学 校     地域学校協働活動推進員     行 政     その他（ ）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1) 学習支援

- ・生活科や総合的な学習の時間の学習支援（苗植え、昔遊び体験、森林学習、米作りや餅つき体験等）
- ・各教科等の学習支援（家庭科学習ミシン縫いや手縫い、音楽科器楽練習補助等）
- ・読書ボランティアによる読み聞かせ



【 家庭科手縫いの学習支援 】

(2) 環境整備

- ・除草作業や学級園の畠整備等

(3) 見守り活動

- ・校区探検引率
- ・登下校の見守り

(4) 行事やイベント支援

- ・全校美化「グリーンタイム」、自転車安全教室、昼休みの吹奏楽演奏、学校応援団フェスタ

(5) その他

- ・給食エプロンの修繕、正面玄関の生け花



【 地域の方と一緒に『グリーンタイム』 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・地域学校協働活動推進員を中心とした学校とのスムーズなやりとり
  - ①職員室入ってすぐの応援団コーナーにある「サポート依頼連絡票」に記入。
  - ②学校の教員と目的や内容の簡単な打合せ。
- ・学校だよりや学校応援団通信で活動内容を保護者や地域に広く発信
- ・校内に活動拠点「学校応援団室」と「学校応援団掲示板」
- ・いつも感謝の気持ちを伝え合うこと

■ 事業の成果

- ・学校の教職員だけでは満たせない「名人としての関わり」や「たくさんの目できめ細やかにみること」、「安心安全面でのサポート」等により、児童の学習の充実とともに、不安感を減らし安心して学校生活が送れる気持ちを支えていただけた。
- ・地域ボランティアの方との触れ合いにより、様々な人の人柄にも触れ、温かい繋がりができた。
- ・米作りや餅つき体験など、準備や後片付けのサポートにより、教職員の負担軽減にも繋がった。
- ・地域学校協働活動推進員のリーダーシップ&気さくさから、必要な支援依頼がしやすく、教育活動の充実に繋がった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・年度当初と年度末に、地域協働活動推進員と学校主担当、学年主任が簡単な打合せを実施し、主旨の確認、年間の活動の見通し、振返りからの次年度への引継ぎ確認をしておくようにし、有効活用ができるようにする。
- ・優しく丁寧に関わってくださっている地域の方々への感謝の気持ちを常にもち、表現できる児童の育成を図っていく。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・学校評議員会や学校応援団推進委員会等を設け、年間各3回実施しているが、今後さらに、地域と学校でどのような子どもを育っていくのか、そのために双方どのような動きができそうかについて、具体的な話し合いをしていく必要がある。

■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校 長     教 頭     地域連携担当教職員     その他（ ）

報告書記入者（ 教 頭 ）

## ずっと住み続けたい街づくり～地域の一員としての自覚と責任のもと、地域で活躍する生徒～

野洲市	活動名：中主中学校地域学校協働本部	中主中学校 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：令和元年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：75人		
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他 [ ]		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学 校 地域学校協働活動推進員
- 行 政 その他 ( )

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### ○「この街大好きプロジェクト」～ずっと住み続けたい街づくり～

本校では、平成 24 年より 3 年間を通してのプログラムとして総合的過学習の時間、に、ずっと住み続けたい街づくりをメインテーマとし、「この街大好きプロジェクト」を実施している。1 年では、地域の活躍される老人、障害者福祉に関わっておられる福祉ボランティアの方に、2 年では職場体験学習で地域の事業所の方に、3 年では、地域の活性化の視点をもって活動されている方にお世話になりながら、学習を積み、中学生の視点で、どんな街づくりをしたいかという発信を行っている。

この活動の関わっていただくすべての方を学校応援団と位置付けている。

#### ○幼小中連携、地域貢献活動

幼小中連携会議を持ち、小中合同あいさつ運動、吹奏楽部・ブラスバンドクラブの合同演奏、幼稚園での読み聞かせなどを実施。

平成 27 年度より主に長期休業期間を利用して生徒による地域貢献活動を実施している。生徒が自治会役員と相談して地域清掃や、地域の夏祭り、防災活動で一翼を担ったり、子ども会活動（クリスマス会、ラジオ体操など）に関わったりと、地域で頼りにされる存在となっている。

#### ○放課後・長期休業期間学習支援教室「こつこつ教室」

地域の退職教員に関わってもらいながら、学習支援教室。

### ■ 実施に当たっての工夫

#### ○「この街大好きプロジェクト」～ずっと住み続けたい街づくり～

第 1 学年より、自分たちの街の街づくりについて 3 年間かけて考えていくという意識づけをしっかりとし、多くの地域人材に関わってもらいながら、地域の一員であるという自覚と責任を持たせるようにした。

#### ○幼小中連携、地域貢献活動

児童生徒の交流の機会を増やし、上学年へのあこがれを持たせるようにした。

自治連合会などの会合で、地域の行事で中学生の役割をつくってもらうことを依頼し、地域の一員であることを自覚するとともに、特に将来的に地域防災の一翼を担えるようなつながりづくりをめざした。

#### ○放課後・長期休業期間学習支援教室「こつこつ教室」

保護者の了解のもと、生徒の自主的な参加を基本とし、年間計画のもと、開催の日を明確にし、生徒が無理なく参加できる体制・雰囲気作りをした。できるだけ多くの指導者を確保し、丁寧な支援に心がけた。

### ■ 事業の成果

#### ○「この街大好きプロジェクト」～ずっと住み続けたい街づくり～

幼いころから慣れ親しんだ自分の街について「再発見・再認識」する機会となり、改めて自分の住む街を好きになる生徒もいた。また、多くの地域人材に中学生に対する理解を深めてもらう機会となった。

#### ○幼小中連携、地域貢献活動

中学生が下学年や地域で頼りになる人材として認識され、自己有用感も高まった。

#### ○放課後・長期休業期間学習支援教室「こつこつ教室」

積極的に支援者に質問したりする姿も見られ、学習意欲の高まりが感じられた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

協働本部としての活動は始まったばかりで、組織化の過程である。教員以外のコーディネーターを中心とした支援体制の構築が急務である。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

学校運営協議会の設立を幼小中 1 つの組織として計画中である。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校 長 教 頭 地域連携担当教職員 その他 ( )

報告書記入者（教 頭）

「地域へ発信」 そして 地域とともに学校の活力を創る			
野洲市	活動名：野洲中学校地域学校協働本部	野洲中学校	学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>			
開始年度：令和元年度	地域学校協働活動推進員等数：1人	ボランティア登録数：登録なし	
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等）	<input type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	<input type="checkbox"/> 学校行事支援	
<input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り	<input type="checkbox"/> 部活動支援	<input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備	<input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり
<input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		<input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加	<input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動
<input type="checkbox"/> 郷土学習	<input type="checkbox"/> その他〔 〕		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学 校    地域学校協働活動推進員    行 政    その他（ ）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

本校においては、学校が「地域から支援を受ける」という形にこだわるのではなく「学校からの地域への発信」を積極的に行うことで、学校と地域との相互理解と協力体制を高めることを数年前から行っている。

地域や学区主催の運動会、地域一斉清掃等で生徒が活動する姿をもとして、地域と学校が協働することを大切にていきたいと考えている。

また、地域の皆さんに生徒の活動の様子を見てもらう機会が少ない文化部の様子を地域に発信することを行っている。



【 地域での吹奏楽部演奏の様子 】

■ 実施に当たっての工夫

中学校での教科学習指導において、地域の方々の協力を得るのは学校側、地域の双方において実施するには難しいものがある。

本校が協力していただきたい内容は、主に環境整備事業が中心となる。広いグランドの周辺部や校舎裏手の生徒駐輪場・職員駐車場などの除草作業は、なかなか手がつけられない。除草作業の実施時期に関しても、熱中症の心配もある時期に雑草が一番繁茂する時期である。

**校地除草作業**・・・「草刈りたい（隊）」を募集し、草刈り機械を使用するチームと鎌による除草チームに分けて、安全性を確保した上で、朝8：00～9：00までの1時間で行う。また、協力が得やすいうように土曜日に開催している。

**地域での文化部の活動紹介**・・・小学校区単位に地域のコミュニティセンターで行われる比較的大きなイベントに、地域住民への活動の披露により、身近に中学校を感じてもらう。

■ 事業の成果

吹奏楽部や美術部などに所属する生徒の活動発表の場が増え、活動意欲の向上につながっている。地域でのイベントに参加していただいた方々からは、多くの賞賛をいただいている。

また、除草作業をしていただいたことで、屋外運動部に所属する生徒が自分たちの活動場所の整備する意識が高まり、結果として、学校全体の環境整備意識の向上になった。



【 校地内除草作業の様子 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

事業実施上の最大の課題は、協力いただける方々の確保となる。事業の内容の充実をはかるために、事業の見通しと計画性を高めることが必要である。活動の様子を学校HPや通信等で広報し、地域の方々の理解を深めるとともに、中学校での事業協力に対する意識を柔らかくしていかたい。

地域学校本部コーディネーターに適した人材の確保も大きな課題である。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

地域学校本部コーディネーターを確立し、本校にあった連携をどのように深めるかも大きな課題。

■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校 長    教 頭    地域連携担当教職員    その他（ 主幹教諭 ）

報告書記入者（ 教 頭 ）

## 地域と学校を結ぶ学校応援団事業の取組

野洲市	活動名：野洲北中学校地域学校協働本部	野洲北中学校	学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>			
開始年度：令和元年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：登録なし			
□学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	□学校行事支援	
□子どもの安全確保、見守り	■部活動支援	■学校周辺環境整備	□学びによるまちづくり
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		□地域行事への参加	□ボランティア・体験活動
□郷土学習	□その他〔 ]		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他の（ ）



【グラウンドの除草作業】

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・外部指導者による部活動での指導。
- ・平日昼休みの図書室開室における図書館ボランティア活動。
- ・体育祭前のグラウンドをはじめとして、前庭やテニスコートおよびその周辺の環境整備活動。

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・夏季の屋外での活動は、早朝に活動するなど、体調面に配慮した。
- ・生徒たちのグループは、部活動や学級のメンバーを単位として構成しより意欲的に活動できるようにした。
- ・活動日や活動時間、活動内容などに配慮し、可能な限り多くの方に参加していただくようにした。



【テニスコート周辺整備】

### ■ 事業の成果

- ・環境整備活動は、土曜日の早朝であるにもかかわらず、多数の生徒、保護者の参加があり、和やかな雰囲気の中、日頃、使用している施設等への感謝の気持ちを新たにすることができた。
- ・図書館ボランティアさんのおかげで、書架はいつも整頓されており、生徒が探している本をすぐに見つけられるようになっている。
- ・部活動の指導に、外部指導者に来ていただくことで、生徒たちにより専門性の高い指導をすることができるだけでなく、教師もたくさんのこと学ぶことができた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・現在の活動は、すべて継続していく方向でよいと考える。今後は、その他の取組において、様々な角度から支援していただけるように、地域との連携をより一層密なものにしていきたい。特に、現在は校舎の大規模改修を行っているため、備品の移動等を含めて、色々な面で作業のサポートをしていただくことも考えている。今後はさらに、地域の人材を確保するため、分野別に「人材バンク」のようなものをつくり、登録していただけるような手立てを、学校応援団事業として進めていきたい。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

#### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（ 教 頭 ）

## 「自分の命は自分で守る」正しく判断できる子を育てるために

湖南省	活動名 : 石部小地域学校協働本部	石部小学校 学校運営協議会 : ■有 □無 有の場合→学校運営協議会との協働 : ■有 □無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 20 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：150 人		
<p>■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援</p> <p>■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり</p> <p>□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動</p> <p>■郷土学習 □その他 [ ]</p>		

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
  - 学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他 ( )



【防災教室】

- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
 

本校は「思いやり」と「自ら正しく判断し行動できる力」を育成することを目標において、学校と地域と家庭が協働し、活動を展開している。今年度は、通学路安全マップの見直し、通学路の安全確認、災害時における対応を図ることとした。

- 『夏休み防災教室』開催
  - ・湖南省中央消防士を講師とし、防災について学習。
  - ・水消火器の体験
  - ・消防服の試着
  - ・非常食パンの試食

- 『緊急時引き渡し・引き取り訓練』実施

- 実施に当たっての工夫
  - ・昨年作成した「通学路安全マップ」を見直しすることにより、常に新しい情報を把握している。
  - ・『夏休み防災教室』では、水消火器の体験を入れることで、子どもたちが楽しく防災について学習できるように工夫した。
  - ・『緊急時引き渡し・引き取り訓練』では、大地震が発生したことを想定し、児童の安全で確実な引き渡し、引き取りが行われるよう、保護者や地域に協力を依頼し、訓練を実施した。



【緊急時引き渡し・引き取り訓練】

- 事業の成果
  - ・大雨により通学路の用水路があふれ、道路が通行できなくなったため、下校時間を繰り下げ、危険箇所を確認し、職員引率のもと安全に集団下校の措置を行った。その時に、通学路安全マップが大変役に立った。
  - ・「学校生活についてのアンケート（保護者）」において、「学校は子どもの安全・安心を守るために努力している」という項目において、肯定的回答が95%以上であった。

- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
 

地域での見守り啓発の防犯ポスター作成を検討しており、子どもたちの安全確保の活動を続けていきたい。

- その他（学校運営協議会との協働等）

- コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）
  - 校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 □その他 ( )

報告書記入者（地域学校協働活動推進員）

## 「子どもと地域がひびきあう！」 地域の行事に参加しよう！

湖南市	活動名 : 石部南小地域学校協働本部 (みなみっこ応援団)	石部南小学校 学校運営協議会 : ■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : ■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度 : 平成 21 年度	地域学校協働活動推進員等数 : 1 人	ボランティア登録数 : 175 人
■学習支援（授業補助、学力補充等）	□図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動
■郷土学習	□その他 [ ]	

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学 校    ■地域学校協働活動推進員
- 行 政    □その他 ( )



【陶芸教室の様子】

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

「近江学園の歴史を学ぼう」

近江学園の歴史を学び、木工教室、陶芸教室へ参加する。

「松明作りを体験しよう」

西寺「いもち送り」にて使用する松明を地元の方と一緒に制作する。

「地域の伝統行事いもち送りに参加しよう」

西寺地域の方と一緒に松明を持ち「いもち送り」に参加する。

「ふれあい広場に参加しよう」

ふれあい広場の運営ボランティアに自主的に参加する。

### ■ 実施に当たっての工夫

土曜講座の内容について、高学年児童の代表と、CS理事会との話し合いを毎年行っている。

石部南小学校のまわりには多くの福祉施設があり、近江学園との交流を行っている。

近江学園の児童が参加しやすいように、活動場所は近江学園で行う。

石部南小学校区には、国宝「常楽寺」「長寿寺」が東西にあり、地域の伝統行事「いもちおくり」や「鬼走り」が今でも行われている。

その「いもちおくり」に参加する取り組みを毎年行っている。

### ■ 事業の成果

講座ごとに、班のリーダーとなった高学年が、進んで低学年を支援する姿が多く見られた。

昨年度に引き続き参加する児童が、活動の中心となって活躍できた。

近江学園「ふれあい広場」では、子どもたちの運営による模擬店を出店して、自主的にボランティアとして参加した。

後片付けなど最後までやりきることができ、地域の方から褒められることで自信がついた。

土曜講座の日程を早く決定することで、ボランティアさんの確保がスムーズにできた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

講座によって子どもの参加が偏り、参加人数が多い講座の時は、十分な支援員を確保するのが難しい。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

今年度の夏休みこども教室は、保護者からの要望もあり夏休みの宿題を学校とする講座を取り入れた。

石部南まちづくり協議会で行われている「寺子屋」と連携して、お互いの開催日時が重ならないように打ち合わせを行った。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校 長    ■教 頭    ■地域連携担当教職員
- その他 ( )



報告書記入者（地域学校協働活動推進員）

【いもち送りの様子】

## 心豊かに育て みくもっ子～地域の皆さまのあたたかいまなざしのなかで～

湖南省	活動名 : みくもっ子地域学校協働本部	三雲小学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 23 年度 地域学校協働活動推進員等数：3 人 ボランティア登録数：290 人		
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地或課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 [ ]		

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
  - 学 校 地域学校協働活動推進員 行 政 その他 ( )
- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
  - (1) スクールガード等 登下校時の危険個所の見守り、同行、あいさつ
  - (2) 教育環境の整備 【環境ボランティア】花壇植栽（児童とともに）、草刈り、遊具等の修繕など  
【掃除ボランティア】掃除方法の指導  
【図書ボランティア】図書室の整理整頓、読み語り、月例おはなし会（放送委員会と連携）  
【昼休みの見守り】折り紙教室等
  - (3) 学習・行事の支援 【田んぼの応援団】【町たんけん】【家庭科ミシン】【持久走大会】【ふれあい食育教室】
- 実施に当たっての工夫
  - 学校から一方的な支援の依頼にならないよう、各ボランティアが代表を中心にして協議しながら、主体的で円滑な活動ができるように心掛けた。
  - 児童の委員会活動を利用して、子どもたちにボランティアの活動を紹介する。
  - 単純にボランティアの数を増やすのではなく、普段から子どもたちをよく知り関わっている地域の方と繋がっていくことを心掛けている。
- 事業の成果
  - 三雲小学校でボランティアに関わった方が、引き続き甲西中学校での読み語りやミシンの指導支援に入ることで、子どもに寄り添う9か年の見守りが出来ている。
  - 環境ボランティアが花植えを昼休みにすると、子どもたちが喜んで集まってくる。地域の方との交流の時間になっている。（写真 下）
- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
  - 地域と学校が双方向の活動になるよう、ボランティア代表者会、懇親会などの機会を持ち、地域の願いをすくう必要がある。
  - 息の長い活動継続のため、定番のスタイルで無理なく続けていく。
- その他（学校運営協議会との協働等）
  - 地域学校協働本部の取り組みを核にしながら、コミュニティ・スクールへの移行をめざしている。



【環境整備作業】



【花植えをする子どもとボランティア】

- コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）
  - 校 長 教 頭 地域連携担当教職員 その他 ( )

報告書記入者（地域学校協働活動推進員）

## 互いに感謝を伝えあい、あたたかい気持ちのあふれる地域に

湖南市	活動名：東っこ地域学校協働本部	三雲東小学校　学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 23 年度　地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務1人）　ボランティア登録数：130人		
<input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 郷土学習		
<input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他〔 ゲストティーチャー・校外学習引率・裁縫ミシン学習支援・昔遊び支援 〕		
<input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学 校    地域学校協働活動推進員    行 政    その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

昨年から継続し拡充している活動

- ・ゲストティーチャー  
(4年生「将来の仕事について考えよう」)
- ・クラブ活動支援  
(工作・アートクラブ、楽しい家庭科クラブ、室内スポーツクラブ)
- ・朝の読み聞かせ  
(図書ボランティア)
- ・「感謝の気持ちを伝える会」  
(全校集会の場を活用)



【 裁縫ミシン学習支援 】

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・担当教諭と詳細の打ち合わせを重ね、内容に応じたボランティア・ゲストティーチャーを探し、内容や趣旨、詳細の説明、無理のない日程調整を心掛けた。
- ・クラブ活動支援は、地域のボランティアセンターや、継続して参加してくださる地域の方を学校ボランティアとして活用した。
- ・ゲストティーチャー探しは、甲西中学校区の地域学校協働活動推進員のネットワークを活用し、幅広く情報収集ができるよう努めた。
- ・ボランティアやゲストティーチャーとして参加いただく方へ、事前に趣旨や詳細を伝え不安材料が少しでも減るように努めた。
- ・地域の人材を探し、活動に関わっていただいた。

### ■ 事業の成果

- ・クラブ活動支援は、地域の力を借りて幅広い活動を経験できる機会になった。指導や補助の人材も確保できるのが強みだった。
- ・「感謝の気持ちを伝える会」は、児童・教職員・地域ボランティアが一堂に会して顔を合わせる貴重な意味のある集いになっている。



【4年 将来の仕事について考えよう 】

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・二学期半ばにゲストティーチャーによる授業を実施した。本校では、運動会、校外学習などの行事が続く時期であったため、最終的に日にちを決定するまでに少々時間を要した。詳細の打ち合わせや問い合わせの対応など、最終調整に追われる形となった。もっと時間の余裕を持って、先を見通した計画を進めていきたい。
- ・講師として参加いただいた方々に、取り組みの趣旨を理解していただくことができたを大切に継続していきたい。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・朝の読み聞かせをしてくださる図書ボランティアと家庭科のミシンボランティアは、甲西中学校との共有が継続している。年間の参加回数も増え、充実し始めている。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校 長    教 頭    地域連携担当教職員    その他（ ）

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

## 子どもと地域が一緒に行う岩根のまちづくり ~地域と協働する学校づくりを目指して~

湖南省	活動名：岩根小地域学校協働本部 ( 根っこ応援団 )	岩根小学校 学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 20 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：220 人		
<input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り ■クラブ活動支援 ■学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 ■その他 [ 夏休み中の就労体験学習 ]		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学 校 ■地域学校協働活動推進員
- 行 政 ■その他（まちづくり協議会）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

開校 145 年目の本校は、コミュニティ・スクールとなって 13 年目を迎えた。長年引き継がれている合い言葉は、「しんどい子に寄り添い」「子どもをお客さんになし」であり、「受容」することが理解や支援の前提であると考えている。教職員や学校運営協議会の理事はもちろん、ボランティアのみなさんも、「どのように寄り添うのか」、「どうすればよいのか」を考えながらそれぞれの活動に携わっていただいている。

特徴的な活動の一例は「ホタルまつり」である。もとは学校から遠く離れた会場で始まったイベントだったが、場所も運営体制も変えながら、大人も子どももホタルが飛び交う様子を愛する鑑賞会になり、子どもたちに郷土愛と環境保護の思いを育てる活動になっている。当日は来場者に対して、6 年生が「お店活動」や「ホタル学習の成果発表」のキャストとして活躍し、自分たちでまつりをやりきる達成感を味わう場となっている。



【 6 年生のお店活動 】

■ 実施に当たっての工夫

このホタルまつりには、防災のための体験が織り込まれている。そのひとつは、日常の学校教育活動には来校されない方々もお出でになる機会を生かして、緊急避難場所である体育館の 1 階および 2 階に入る体験をしていただくことである。もうひとつは、6 年生の児童と保護者が店を開きをすることで、避難所を開設した際に炊き出しを運営する側に入れる候補者を積み上げることである。

また、運動会における防災種目（担架リレーとバケツリレー）は、避難場所となる運動場での救援活動のシミュレーションである。次年度は、総合防災訓練の機会を利用して、避難場所となる教室を巡るような活動を計画してみたいと考えているところである。

■ 事業の成果

○長年の取組の結果として、体育館への出入りやお店および駐車場の運営を経験した人が増え続けている。特に、6 年生以上の青少年および保護者世代が経験を積んでいることには大きな意味がある。  
 ○6 年生も大人も、それぞれに実行委員会を立ち上げ、自分たちで立てた計画に従って自治的にまつりを運営していることは、地域の学校としての意識を高める機会となっている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

○すべての保護者および住民に、理念が理解されているとは言えないで、新たな理解者や協力者を求める取組は続けていく必要がある。  
 ○持続可能性を高めるためには、「人から人へのバトンタッチ」「前例に縛られない発想」「子どもが減少しないまちづくり」といった考え方を共有していく必要がある。



【 親子で走る防災リレー 】

■ その他（学校運営協議会との協働等）

○まちづくり協議会とのさらなる連携により、課題解決の取組を推進する。  
 ○その一例として、外国にルーツのある児童を対象にした学習支援の場をつくることや、外国にルーツのある児童と日本人の児童が同じ土俵で学べる場（例：英語教室）をつくることを検討している。

■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（ 校長 ）

## 菩っ子のために～地域・保護者・学校が連携・協働しあう

湖南市	活動名 : 菩提寺小地域学校協働本部 (菩っこを育てる会)	菩提寺小学校 学校運営協議会 : ■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : ■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 22 年度 地域学校協働活動推進員等数：2人（兼務2人） ボランティア登録数：220人		
<input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等）      ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）      ■学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り      ■部活動支援      ■学校周辺環境整備      □学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）      □地域行事への参加      □ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習      □その他 [ ]		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校    ■地域学校協働活動推進員    □行 政    □その他 ( )

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

学校創立 40 周年記念事業のひとつ「 Let's Paint 」、老朽化した校舎内の壁を親子でペンキ塗りし、きれいな壁にしようという活動を実施した。その際に、本校親子だけでなく、地域の方の参加協力があり事業をスムーズに実施することができた。



【活動実施前の準備作業】

### ■ 実施に当たっての工夫

実施日前の準備作業時に、地域の専門職の方から助言をもらい、作業がよりスムーズにできるよう手配できた。

### ■ 事業の成果

全校で一斉にペンキを塗る作業中は、校内のあちらこちらで賑やかな声が聞こえ、親子で一生懸命に作業する姿を見ることができました。

当日の一斉作業も進行が大変だったが、それ以上に事前準備が本当に大変だった。事前準備時に地域の専門職の方の助言がとても有効だったので、もう少し早めに事前打ち合わせを持つことができていたら、もっと効率の良い活動ができたのではと思う。



【親子でペンキ塗り作業の様子】

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

現在、組織体制として、学校運営協議会の副理事長を「菩っこを育てる会」会長が務め、学校運営協議会の理事がそれぞれに「菩っこを育てる会」の各パートに分かれそのパートリーダーを務めている。学校運営協議会の計画が実働としての「菩っこを育てる会」の活動として具体化され、連動しながら、菩提寺小学校のために活動を推進している。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長    ■教 頭    □地域連携担当教職員    □その他 ( )

報告書記入者（地域学校協働活動推進員）

図書ボランティアグループ 「お話ベアー」～ 季節を感じる学校図書館の壁面飾りで心わくわく～			
湖南市	活動名：菩提寺北小地域学校協働本部 あすなろ応援団活動	菩提寺北小学校	学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>			
開始年度：平成 21 年度	地域学校協働活動推進員等数：1人	ボランティア登録数：200 人	
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援	
■子どもの安全確保、見守り	■部活動支援	■学校周辺環境整備	□学びによるまちづくり
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		■地域行事への参加	■ボランティア・体験活動
■郷土学習	□その他 [ ]		

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
  - 学 校 ■地域学校協働活動推進員
  - 行 政 ■その他（図書ボランティアグループ「お話ベアー」）
- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
 

保護者OBの地域のお母さんたちと保護者のお母さんたちの図書ボランティアグループ「お話ベアー」が週1、2回の活動。

学校図書館は子どもたちの意欲的な学習活動や読書活動を充実するのに重要な場所ですが、時には子どもたちがリラックスする居場所・憩いの場もあると思う。その場所を毎年様々な掲示物を貼ることにより、季節感やわくわく感を味わってもらいたいとの思いで活動をしている。

\*主な活動

  - ・朝の読み聞かせ・・・1時間目が始まる前、各教室に出向き10分ほどの間に読み聞かせをする。
  - ・お話会 ・・・比較的休み時間の長い中休みに視聴覚教室でお話会を開催する。
  - ・壁面飾り ・・・季節ごとに図書室前の廊下から図書室の窓・ドアにかけて手作りの季節の掲示を貼る。
- 実施に当たっての工夫
 

季節・行事ごとに、タイムリーに壁面飾りを貼りかかるようにしている。  
入学式・ひな祭り・運動会・梅雨・夏景色・祭り・ハロウィン・クリスマス・お正月・冬景色・卒業式 等。
- 事業の成果
 

菩提寺北小学校の学校図書館は、いつも綺麗に可愛く壁面飾りがしてある内外の方々からも言っていただけのほど、活動が定着してきた。  
当然、子どもたちからも好評で、「次はどんなの？」と聞いてくる子どももいるほど楽しみにしてくれている。
- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
 

地域の方と保護者が一緒になって活動する「お話ベアー」の活発な活動に伴い、ほかのボランティアグループも、地域と学校が一体となってのボランティアグループが活動するようになった。これから展望としてはもっともっと保護者のボランティアの数が増えればと期待する。
- その他（学校運営協議会との協働等）
 

学校運営協議会・PTAが主催する「あすなろカーニバル」に、「お話ベアー」も参加し、音楽劇を披露している。

- コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）
- 校 長 ■教 頭 □地域連携担当教職員 □その他（ ）



【 場面：運動会 5月 】



【 場面：冬景色 1月 】

## ～保護者も安心できる環境づくりを～新1年生保護者対象『しもしょ見学会』の実施

湖南市	活動名：下田小地域学校協働本部	下田小学校 学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員等数：3人（兼務2人） ボランティア登録数：50人		
<p>■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援</p> <p>■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり</p> <p>□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動</p> <p>□郷土学習 □その他〔 〕</p>		

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
  - 学 校 ■地域学校協働活動推進員□行 政 □その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

日頃より地域と学校が協力し、学校運営協議会を中心に子どもたちにとって安心できる地域、学校づくりを心掛けているが、近年、下田小学校校区にも新しい住宅地が増え、従来からの住民と新しく越してきた住民とのコミュニケーションの取り方など、地域の課題が見えてきた。そんな中、初めて下田小学校に入学する子どもがいる保護者には、入学前に情報が少なく、不安を抱くことが多いのではないかという地域の方々の声があり、毎年2学期に実施されている「参観週間」を利用し、新1年生保護者を対象にした「しもしょ見学会」を企画、実施した。



実施日時：令和元年10月29日（火）、30日（水）9時15分 受付9時30分～11時30分

【見学前 校長のあいさつ】

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・不審者対策にもなるということから、事前申し込み制にし、下田小学校入学予定の児童がいるこども園や保育園に、教頭の協力のもと連絡を取り、申し込みチラシを配布、後日回収した。
- ・仕事の都合などで参加できないということも考えられるため、なるべく参加しやすいように2日間実施した。
- ・1年生の授業の見学だけではなく、校内の案内も行いながら、他学年の授業も見学できるようにした。
- ・見学後、現役保護者や地域のボランティアと交流し、気軽に質問ができるように希望者と茶話会を実施した。
- ・茶話会で話した質問などを学校とも共有し、事前に不安が解消できるよう対応をした。

### ■ 事業の成果

- ・小学校こども園、保育園と連携して申し込みを募ったことで、新1年生保護者全体に告知することができた。
- ・校内の見学や1年生だけでなく他学年の授業も見学できたことで、下田小学校全体の雰囲気をわかってもらうことができた。
- ・見学後の茶話会で、現役保護者や地域のボランティアと話すことで、顔見知りになることができ、地域の行事で出会ったときにもお互いあいさつをするなど、交流が続いている。
- ・不安に思っていることや、疑問を話すことができる場があったことで、少しでも安心して入学準備ができるように思う。
- ・保護者の不安な部分や疑問を小学校と共有することで、入学前の保護者への対応に活かすことができた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・参加しやすいように2日間実施したが、やはり都合が合わず、茶話会に参加できないという保護者がいた。実施日数を増やせばいいのだが、対応する現役保護者や地域のボランティアの都合と合わせるとなかなか難しい。
- ・新1年生保護者の中には父親の参加があったが、男性のボランティアや現役保護者がいなかつたので、今後は父親同士の交流の機会も考えていくたい。
- ・今回、茶話会には教職員の参加をお願いしなかったが、保護者の質問内容によっては、学校側からすぐに答えが欲しいこともあるため、今後どのようにしてそのような質問に答えればよいか考える必要がある。



【茶話会の様子】

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

今回、新1年生保護者対象の見学会を実施し、下田小学校ではたくさんの地域のボランティアが関わっていると伝えることができた。今後も地域の行事や学校行事など折を見て、学校運営協議会の活動を報告することが必要である。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（地域学校協働活動推進員）

## ふるさと水戸 ～あいのある学校づくり～

湖南市	活動名 : 水戸小地域学校協働本部	水戸小学校 学校運営協議会 : ■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : ■有 □無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 22 年度 地域学校協働活動推進員等数：2人（兼務2人） ボランティア登録数 65 人		
<p>■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援</p> <p>■子どもの安全確保、見守り ■部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり</p> <p>■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動</p> <p>■郷土学習 □その他 [ ]</p>		

### ■ 事業を立案する主体（該当するすべてに■印）

- 学 校 ■地域学校協働活動推進員
- 行 政 ■その他（CS理事会）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・3年生総合的な学習に自治会、まちづくり協議会、市民学習センター、茶釜川を美しくする会からメンバーの皆さんや民生委員、みとっこ応援団のボランティアに来てもらい活動を始めたきっかけやどのような思いで活動されているのかについて子どもたちがインタビューを行った。
- ・5年生田んぼの子の学習では田植え、稲刈りを地域の方と一緒に活動した。
- ・11月のマラソン大会では地域の住宅街がコースとなっているので見守るポイントを決め子どもたちが安全に走ることができるよう見守った。



【田植え】

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・子どもたちが全員インタビューできるよう4～5人のグループにして、理解しやすいように簡単なことばで活動を説明していただくようにし、インタビューの答えを子どもたちが用紙に記入できているかどうかを見ながら進めもらつた。
- ・子どもたちの活動目的を共有するため、担任、ボランティア、田んぼを貸していただいている植西さんと事前打ち合わせを行つた。
- ・危険個所について新たな聞き取りや確認、学年で走るコースが変わるのでボランティアの負担を少なくするため試走は学年をまとめて行うこと、試走と本番のポイントが変わらないように工夫した。

### ■ 事業の成果

- ・児童が地域にいろんな団体や人がいることを知る、また日頃学校に来たことがない地域の方が学校や子どもの様子を知るよい機会となつた。
- ・活動目的を把握することでボランティアが子どもたちへの関わり方や見守り方を考慮しながら活動することができた。収穫したお米でおにぎりパーティを開きボランティアを招待し、お米ができるまでの学習を深めることができた。
- ・地域の方の協力体制なしにはできない行事となっており負担なのではと心配していたが、子どもが頑張る姿を応援したい、地域で応援できることが元気になるという温かい言葉をかけていただき、一体感のある活動となつた。



【水戸のヒーローをさがそう！】

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・活動を通して顔見知りになることができたので今後もCSとして共に学校づくりを行っていくような関係性を築いていくため、積極的な案内をしていく。
- ・長年関わってくださっていたボランティアが参加できず、ボランティア任せであった事を反省し、学年の先生からの引継ぎや地域連携担当職員と推進員とのコミュニケーションをとる重要さを改めて感じた。
- ・推進員とボランティアが長く続けていることで活動自体はスムーズに行えるが、担任によって活動目的がこちらの思いとずれてしまうことやお互いわかっているだろうと準備について確認不足な事もあった。マラソン大会の実施日は年度初めにわかっていることなので地域の回覧板で案内したりまちづくりセンターや市民学習交流センターにポスターを掲示したりするなど、周知できるようにしていく。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・CSを導入した一年の活動をふり返り、子どもを主体として地域でできることと学校でできることを明確にしていくことやCS活動のPR、みとっこ応援団の新たな人材発掘の方法など二年目に向けて熟議を続け、「あい」のある学校・地域・つながれ水戸っ子、を合言葉に子どもの学びを深めることと大人の自己実現の場づくりを家庭、学校、地域が協働で行えるよう進めていく。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（地域学校協働活動推進員）

## 学校に地域の力を、地域に生徒の活力を！

湖南省	活動名 : 石部中地域学校協働本部	石部中学校 学校運営協議会 : ■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : ■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 26 年度	地域学校協働活動推進員等数：1人	ボランティア登録数： 82 人
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		□学びによるまちづくり
□郷土学習	■その他【入学試験面接指導等】	■地域行事への参加
		■ボランティア・体験活動

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 ■その他（コミュニティ・スクール理事会等）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### ☆ 石部ふれあいまつり（R元 10. 5）への参画

地域の方からの「中学生に〇〇を手伝ってほしい」という声に応えるだけでなく、自分たちが地域に対して何ができるかを話し合うところからスタートし、準備物の用意（買い物を含む）、当日の準備と運営、あとかたづけまですべてを中学生が担当した。H29. 7. 18 第3回CS理事会で「現在、各地区の夏まつりスタッフとして生徒が参加しているが、当日限りのお手伝いではなく、生徒が計画・実施していくけるものがあればよいと思う」との提案があった。すぐに実施するのは準備も整わないため、29年度は中学生自身がしたいことの意見を出し合う準備期間とし、30年度からの実施をめざした。30年度に行った「中学生ブース」は家族連れで賑わい好評であった。生徒もやりがいを感じることができた。令和元年度は前年度の取組を生かして、生徒がアイデアをだして中学生ブースを運営した。店内は大変な賑わいを見せた。

#### ☆ ウォークラリーの実施（R元 10. 26）

浜大津から石部中学校まで全校で歩くウォークラリーを実施するなかで、教職員、保護者だけでは、生徒の安全確保ができない状況にある。地域より大勢のボランティアが協力していただき、交差点での安全指導などに従事していただいた。

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・地域での会議は授業が行われている時間帯や夜間に開催されるため、中学生に代わって地域コーディネーターやCS理事が出席して中学生の思いを述べるようにした。
- ・中学生の話し合いの場にCS理事が出席していただき、地域の期待や昨年度の様子などのアドバイスを行った。
- ・学校からのウォークラリーボランティアをCS理事、保護司、民生委員、更正保護女性会などに、地域コーディネーターを中心となり募集をかけることで多くの協力者を得ることができた。

### ■ 事業の成果

#### 生徒、地域の方の感想

- ・子どもたちの笑顔が見れた時、やりがいを感じました。子どもたちが楽しそうにお菓子を選ぶ姿を見る時が一番楽しかったです。子どもたちはもちろん、その親（大人）ともふれあうことができて良かったです。準備や接客を頑張って良かったなあと思いました。
- ・最初は来てくれる皆さんが楽しんでくださるか心配でした。でも、来てくださった皆さんすごく楽しそうに遊んでくださいり、とっても嬉しい気持ちになりました。また、みなさんが喜んで帰って行った時や、「おもしろい！」と言ってくださったときにとってもやりがいを感じました。
- ・小さな子どもたちや小学生の子たちにとって、おじさん・おばさんが出店の応対をしているより、中学生のお姉さんがいてくれて接しやすかったです。
- ・スタッフが少ないので、中学生の皆さんには大変頼りになります。・地域の中学生の名前・顔が覚えられ良かったです。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・地域に生徒が出て行くときに、どうしても教員の指導や引率が必要であることが多く、生徒会担当教師などの負担増につながらないようにしていく工夫は必要である。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・学校運営協議会の中で今までと同様に、地域に生徒がでかけていく仕組みをつくっていく。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（ 生徒会担当教師等 ）

報告書記入者（ 校長 ）

## Chance(チャンス)・Challenge(チャレンジ)・Change(チェンジ)～心にぬくもりを～

湖南市	活動名 : 甲西中地域学校協働本部	甲西中学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 28 年度	地域学校協働活動推進員等数：2人（兼務2人）	ボランティア登録数：90人
<input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等）	<input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	<input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援
<input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り	<input type="checkbox"/> 部活動支援	<input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備
<input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	<input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加	<input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり
<input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習	<input type="checkbox"/> その他 [ ]	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
  - 学 校      ■地域学校協働活動推進員      行 政      その他（ ）
- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
  - (1) 小学生への宿題支援（異年齢交流）··· 中学生がスマートリーチャーとして地域へ
  - (2) 文化祭体験講座（学校行事）··· 地域ボランティア講師が学校へ
  - (3) みちくさコンパス（地域行事）··· 中学生がジュニアスタッフとして地域へ
  - (4) ミニ部活（体験活動）··· 地域ボランティア講師が指導・支援、ミニ部活として希望生徒が設定日に活動
- 実施に当たっての工夫
  - 夏休み小学生の宿題支援を行うボランティアを募り、名称をスマートリーチャーとして参加した。
  - 文化祭体験講座：講座は20講座を用意。希望制にし、生徒全員が体験する。体験後に成果を披露する場を設けていることで体験内容の充実を図った。10月末の取組ではあるが、5月からボランティア講師の依頼などの準備をはじめている。
  - みちくさコンパス：生徒の自主性を重視し、「ボランティアをしてやる」という気持ちではなく、「自分磨きのためにさせていただく」という気持ちをもたせる呼びかけをした。名称もボランティアではなくジュニアスタッフ募集とし、事前に地域主催者側との打ち合わせを行いスタッフの一員だという自覚を促し意識付けをした。昨年度から生徒会が出店をしている。
  - ミニ部活：ミニ部活の内容を仕事にしておられる地域の方々の指導のもと、学校ではなかなかできないさまざまな活動や自分に興味あることなど、あらたなことにチャレンジ。また、昨年2月に地域のボランティア講師と共にHPをリニューアル、学校の様子やミニ部活の活動などをアップしている。
- 事業の成果
  - 7年目を迎えるみちくさコンパスは、昨年度から1日での実施、100名の生徒が積極的に参加、演技や演奏を披露、地域の方々と共に来客の受付けや接待などスタッフの一員として活躍した。
  - 文化祭体験講座では、指導者（地域ボランティア講師60名参加）も受講者も楽しみながら活動し、作品完成や発表を目指して熱心に楽しく取り組めた。閉会式の中で演技や演奏をステージで披露したり、作った作品を教室に飾ったり大切にする生徒が多かった。講師が地域の方々なので、色々なところで会うことも多く、元気にあいさつができる。
  - ミニ部活については、興味のある生徒が少しの時間を利用して活動したり作成に携わったりして、やりがいを感じている。今後さらに参加できるように工夫をし、様々な体験活動を行えるようにする。
  - 朝読書時の読み語り、家庭科での授業支援では、小中連携することで、9年にわたる支援になっている。その他の活動として、図書室開設支援、書写・音楽の授業支援、本の帯コンクール作業支援、職場体験事前学習（キャリア教育支援）、まち協と中学生によるまちづくり懇談会の開催ができた。
- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
  - 11月に開催されるみちくさコンパスにおいては、日程的に家庭での時間や高校の体験入学や他の地域での行事とも重なり生徒に参加が制限され、自由に参加できない状況がある。
  - ミニ部活で体験したこと、将来やりたいことが見つけられる場のひとつになればよいと考えている。
  - 地域の方とともに活動を重ねる中で、地域の良さに触れ、地域の人の温かさを感じ、その中で湖南市の一員であることに誇りをもってくればと願っている。
- その他（学校運営協議会との協働等）
  - 校 長      ■教 頭
  - 地域連携担当教職員      その他（ ）
- コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）
  - 校 長      ■教 頭
  - 地域連携担当教職員      その他（ ）



【 みちくさコンパス：生徒会綿菓子店 】

報告書記入者（地域学校協働活動推進員、教頭）

## 地域の皆様とともに 地域の一員として 一地域行事でスタッフとして活躍一

湖南市	活動名 : 甲西北中地域学校協働本部	甲西北中学校 学校運営協議会 : ■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : ■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 26 年度 地域学校協働活動推進員等数：2人（兼務2人） ボランティア登録数：23人		
<p>■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） □学校行事支援</p> <p>□子どもの安全確保、見守り □部活動支援 □学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり</p> <p>□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動</p> <p>□郷土学習 □その他 [ ]</p>		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学 校 ■地域学校協働活動推進員
- 行 政 □その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

校区には2つの地域のまちづくり協議会があり、毎年、吹奏楽の演奏や生徒の手伝いの要請があり、ボランティアの募集を行い、数人の生徒が参加をしてきた。本校が今年度からコミュニティ・スクールを導入することを契機に、地域行事への参加の仕方の検討を考えていた。

家庭部の生徒が模擬店をしたいという希望を持っており、地域コーディネーターからまちづくり協議会に伝えてもらった。生徒の希望を実現する方向で検討をしてください、まちづくり協議会が主催する地域のイベント（まちづくりフェスタ）で、中学生が自分たちで企画や当日の販売を行う模擬店の出店が決定した。

当日は、中学生がメニューを構想し、「ワッフルとタピオカの店」を出店した。当日は、地域の方々の反響も良く、たくさんの方に買っていただき、地域行事に中学生が参画することを喜んでいただいた。



【 手作りワッフルを販売 】

### ■ 実施に当たっての工夫

生徒とまちづくり協議会の役員が事前に3回の合同の会議をもち、生徒の提案をもとにメニューを構想した。これをもとに、まちづくり協議会の役員が材料を準備（購入）し、後日、中学校で試食会を行った。試食をもとにまちづくり協議会の役員と生徒が感想や意見交換を行い、当日販売するメニューの詳細や作り方、販売数、当日の役割分担などを決定した。生徒にとっては地域の大人の方に自分たちの意見が言えることで、充実感や当日への期待感を高めることができた。

### ■ 事業の成果

中学生が地域行事に参加し、地域の方と触れ合うことで、生徒の頑張る姿を直接目にしてもらうことができた。また、地域の方からの激励の声に活動への意欲を高まり、早い時間に売り切れとなり原材料費を十分に上回る収益があったことは自信につながった。



【 小学生の勉強を支援 】

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

2つのまちづくり協議会はともに、「地域行事に中学生の力を生かす」という考え方をしていただいている。吹奏楽部のステージ発表や美術部への大看板の依頼をしてください、中学生の活躍の場を工夫していただいている。イベントだけではなく小学生対象の事業においても、中学生に積極的に依頼をしてください、先輩との頼もしい姿を見せる機会ともなっている。生徒がスタッフとして参画していく上で、生徒の思いや意見を聞き取ったり、地域の方とともに意見交換し合ったりする場を効果的に設定して協働活動を推進していきたい。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

今年度よりコミュニティ・スクールを導入し、学校運営協議会に「学び支援委員会」と「地域役立ち委員会」を設置して、地域のボランティアによる生徒の学習支援と生徒による地域貢献をめざしている。そのため、まちづくり協議会との連絡・調整は、学校運営協議会の理事や地域コーディネーターが中心となって行っている。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（教科・分掌担当者等）

報告書記入者（ 教頭 ）

## 『結』『絆』全校生徒が選んだ「今年の漢字」の大書とともに新年のスタート！

湖南市	活動名：日枝中地域学校協働本部	日枝中学校 学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成25年度 地域学校協働活動推進員等数：4人 ボランティア登録数：30人		
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input type="checkbox"/> □子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> □郷土学習		
<input checked="" type="checkbox"/> ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input type="checkbox"/> □部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> ■学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> □学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> ■地域行事への参加 <input type="checkbox"/> □その他〔 〕		
<input checked="" type="checkbox"/> ■学校行事支援 <input type="checkbox"/> ■ボランティア・体験活動		

### ■事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校 ■地域学校協働活動推進員 □行政 □その他（ ）

### ■地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### 【大書】日枝中生が選ぶ今年の漢字

学習委員会の取組とともに全校生徒に1年間を通して、自分の思う漢字を投票してもらい集計し、その中の上位2点を、毎年恒例の京都清水寺で書かれている今年の漢字のように、書道の作品（大書）として仕上げました。

畳1畳程の半紙に代表の生徒2名が、地域のボランティアの方のご指導の元に取り組みました。



【 筆の動きを教わる生徒 】

### ■実施に当たっての工夫

作品を書くにあたり、書写ボランティアさんのアドバイスや意見を聞き、作風について、丁寧に書くことよりもダイナミックに自分の思いのまま筆を運び、迫力のある線が出るよう全身を使って表現しました。また、生徒自身が彫刻刀を使い落款（らっかん）作成し、出来上がった作品に押印することで、仕上がりが本格的に映えました。

### ■事業の成果

大書を書く活動を通して、普段できないような貴重な体験をし、生徒の自信にも繋がり、書道に対しての関心も大きくなりました。時間を忘れもっとやりたいという意欲も表れました。

2学期の終業式で、今年の漢字として大々的に発表し、全校生徒からも大きな反響がありました。そして、書への関心や意欲が高まりました。正面玄関に門松と共に飾り、来校いただいた方々の目を引きました。



【 学校正面玄関にて展示 】

### ■事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

書き手の生徒の募集方法を再検討し、全校生徒にこの事業を知ってもらえるようにアピールしていきたい。また、生徒会の学習委員とも協力して生徒の意識の向上につなげていきたい。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（地域学校協働活動推進員）

## 地域と学校でつくる学びの未来！～地域から学校へ、学校から地域へ～

高島市	活動名：高島学園地域学校協働本部	高島学園(小・中学校) 学校運営協議会：■有 □無 有の場合→学校運営協議会との協働：■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成29年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：活動ごとに登録		
<p>■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援</p> <p>■子どもの安全確保、見守り ■部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり</p> <p>□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動</p> <p>■郷土学習 ■その他〔福祉活動〕</p>		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校 ■地域学校協働活動推進員 ■行政 ■その他（ 公民館 ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### （1）昼休み実施の「道場」活動

3年目を迎えた、九九（3年対象）・わり算（3年対象）・昔遊び（全学年）道場。児童そして学習ボランティア共に大好評で、昼休みの短い時間も教室内は多いに盛り上がる。九九・わり算道場に参加することで、学習意欲が向上し、確認テストの結果にもその成果をみることが出来た。また、中学生の参加も倍増し学園全体の取り組みとなった。

#### （2）授業へのかかわり

小学校ではこれまでの家庭科ミシンサポート、町たんけんの案内活動等に加えて、新たに委員会へ地域のボランティアが加わった。特に図書ボランティアと図書委員が協力し企画・立案した事業は大成功となり、地域の皆さんとの繋がりがより深まった。

また中学校では2年続けて全校自然体験活動に多くのボランティアの参加で何事もなく事業を終えることが出来た。

#### （3）学校が地域へ

中学生が高島の伝統行事「大溝祭り」に曳き手として、また地元の開催の「たかしま夏まつり」にスタッフ参加するなど、年を重ねるごとに地域行事には無くてはならない存在と位置づけされるようになつた。また新たな活動として福祉施設に春と冬に各1週間訪問するなどとして高齢者の皆さんと交流を深めるなど、福祉活動にも貢献した。

### ■ 実施に当たっての工夫

協働活動の様子を地域住民に知ってもらえるよう、活動ごとに「学校だより」等に記事を掲載してもらうこと、また高島学園協働本部が作成した「活動だより」を関わりの多い団体に配布するなど情報発信することで、関心を持ってもらえるよう努力した。また、参加ボランティアの口コミも大きい。



【ボランティア+図書委員で活動】

### ■ 事業の成果

子ども・・ボランティアの皆さんの顔と名前を覚えることが出来るまでになった。

生徒会でボランティア活動を重視する等、地域に対する関心が深まつた。

地 域・・協働活動が少しずつ浸透することで参加ボランティアも増え、学校に対する理解も深まつた。学校に対して気軽に関われるようになつた。

学 校・・授業の等への支援で教員の負担が軽減された。学校行事への参加で新たな事業も計画出来るようになった。



【地域のふれあいサロンで演奏】

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

学園内では学期ごとに担当者が話し合う機会を持ち、また推進員が参加ボランティアと意見交換を行うなどしているが、全体としての会議を今後持つようにしていきたい。従来の団体・機関・個人等のボランティアに加えて今年度は企業からの参加もあり、今後もあらゆる方面に協働活動を広めたい。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

学校運営協議会で、協働活動の様子を報告して、意見を聞くなどしている。加えて活動にも参加してもらう回数が増えた。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（ 生徒会担当教員 ）

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

高島市	活動名 : マキノ地域学校協働本部	マキノ東小・マキノ西小・マキノ南小・マキノ中学校 学校運営協議会 : ■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : ■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度 : 平成 30 年度	地域学校協働活動推進員等数 : 1 人	ボランティア登録数 : - 人 (随時募集)
■学習支援 (授業補助、学力補充等)	■図書ボランティア (読書活動支援・図書室環境整備)	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	■部活動支援	■学校周辺環境整備
■地域人材育成 (地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育)		□学びによるまちづくり
■郷土学習	□その他 [ ]	■地域行事への参加
		■ボランティア・体験活動

school-makino.jimdo.com

- 事業を考案する主体 (該当するすべてに■印)  
 ■学 校 ■地域学校協働活動推進員 ■行 政 □その他 ( )

■ 地域と学校が協働した活動 (特徴的な活動)

(1) 地域学校協働活動ホームページの作成

地域の方が学校行事に気軽に参加できるよう、学校が地域の方に学校の情報を提供できるよう「地域学校協働活動ホームページ」をボランティアの協力で作成することができた。これにより学校の行事の呼びかけと地域の方からのボランティアへの申込みがインターネットで可能となったほか、行事については終了後に地域の方に報告できるようになった。

(2) 海外の子どもとの交流

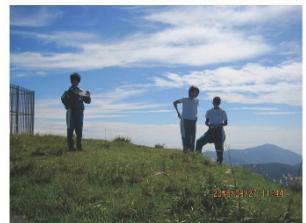
中国湖南省の小学生をマキノ東小学校で受入れてもらい交流することができた。各学年での受入れと給食試食、縦割りでの活動と言葉が通じなくても子どもたちはすぐに打ち解けて交流することができた。通訳として、地域の中国の方の協力もあり、今後協働活動への広がりにもつながった。

マキノ地域学校協働活動



マキノ中学校 参加者募集

チャレンジウォーク (乗鞍岳ルート)



【地域学校協働活動ホームページ】

■ 実施に当たっての工夫

本年度も地域学校協働活動推進員がそのネットワークを活かし、滋賀県等との連携に努めるとともに、引き続き関係団体の会議等に出席しPR等を行った。また、学校から地域に対応できるだけ情報を提供できるよう「地域学校協働活動」のホームページを作り情報発信に努めるとともに、各小学校では学校支援ボランティアの仕組みを作れるよう募集の呼びかけを行ってもらうことが出来、地域の方に学校の行事に協力していただける機会が増えた。また、学校の教師の地域の理解につながる研修会も実施してもうることが出来た。



【湖南省小学校との交流】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

協働に欠かせない関係者の連携について、地域では既に横のつながりのあるネットワークが少なくとも形はできている。地域では行政等からの呼び掛けで縦割りにネットワーク組織ができるが、それぞれの構成員は同じ顔ばかりになり、地域の方が他の分野の情報を共有していることになるので、行政等内部での横の連携、情報の共有が一層必要不可欠である。

■ その他 (学校運営協議会との協働等)

協働活動を進めるにあたって、学校運営協議会のメンバーはできるだけ多様なメンバーが必要であると思われるが、まだ十分ではないと考えられる。

■コーディネーターと協働する学校関係者 (該当するすべてに■印)

■校 長 ■教 頭 □地域連携担当教職員 □その他 ( )

報告書記入者 ( 地域学校協働活動推進員 )

## つながり響き合う教育を目指して ~今津地域学校協働本部~

高島市	活動名 : 今津地域学校協働本部	今津東小 今津北小 今津中 学校運営協議会 : ■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : ■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成30年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：- 人（協働活動としての登録はなし）		
<p>■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援</p> <p>■子どもの安全確保、見守り ■部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり</p> <p>□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動</p> <p>■郷土学習 □その他 [ ]</p>		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学 校 ■地域学校協働活動推進員
- 行 政 □その他（ ）



【 地域行事への参加 】

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### (1) 関係団体（今津東小はなまる広場など）との連携

地域内の学校には、それぞれ学校単位で地域の方によるボランティア組織ができておらず、地域の人が学校で活動する姿が定着してきている。それら団体の活動も大切にしながら、連携を図り地域支援にも活動が広がるよう関係づくりに努めた。

#### (2) 地域行事への参加

地域からボランティア要請のあった事業について、推進員が学校に働きかけ、環境整備活動や保育園児との交流活動に中学生ボランティアが参加した。今後も活動が広がるよう、関係団体への声掛けを行いたい。

#### (3) 高齢者交流事業

総合的な学習の時間を利用して小学生と地域の高齢者サロンとの交流会を実施し、地域のお年寄りにとって、心温まるひと時となった。「字がうまいね」「上手に歌えたね」と地域の高齢者にほめられ、子どもたちの自信にもつながった。



【 本部組織準備委員会 】

### ■ 実施に当たっての工夫

地域で活動をしている福祉関係やまちづくりの団体とつながりを持つことで学校行事の支援や地域活動が広がった。

### ■ 事業の成果

地域の様々な団体とつながることで、共に力を貸し合い協働して事業を実施することができた。それぞれの事業の規模は決して大きなものではないが、小さな変化を少しずつ重ねることで、子どもを中心に地域・学校・家庭のつながりが自然に深まるよう、地道に活動を広げていきたい。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

学校支援活動が年間行事として定着しつつあるが、活動をさらに充実させるためには、多様な地域の方たちに、継続して関わっていただきたい必要がある。今津地域学校協働本部を組織し、持続可能な活動となるようにしたい。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

現在、学校運営協議会も地域学校協働活動も学校ごとに活動しているが、学校運営協議会委員からの声掛けで今津中学校区全体でビジョンを共有していくために地域学校協働本部の設立準備会が開催された。2月に開催される本部会議では、学校だけでなく地域全体で今津の子どもたちを育もうという本活動の意義や目的を確認しあい、熟議などを通じ活動がより推進するよう組織を整備していく。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

## つながり響き合う教育を目指して ~朽木地域学校協働本部~

高島市	活動名 : 朽木地域学校協働本部	朽木東小・朽木西小・朽木中学校 学校運営協議会 : ■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : ■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		

開始年度：平成30年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：15団体 45人

- |                                  |                           |                           |
|----------------------------------|---------------------------|---------------------------|
| ■学習支援（授業補助、学力補充等）                | ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） | ■学校行事支援                   |
| ■子どもの安全確保、見守り                    | ■部活動支援                    | ■学校周辺環境整備<br>□学びによるまちづくり  |
| ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） |                           | ■地域行事への参加<br>■ボランティア・体験活動 |
| ■郷土学習                            | □その他 [ ]                  |                           |

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）  
学 校    地域学校協働活動推進員    行 政    その他 ( )

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1) 朽木西小・西地区合同運動会

へき地校である西小学校の児童4名・先生・保護者・西地区の地域の方々による合同運動会が、スポーツ少年団指導者、日赤奉仕団、地域おこし協力隊、そして、朽木東小学校・朽木中学校の児童生徒(希望者)の参加協力によりにぎやかに開催された。入場行進から各種目すべてにおいて、子どもたちや地域の方が楽しく交流しながら参加できた。

児童4名による進行、準備や招集は誰もが手伝い、和気あいあいと時には闘志をむき出しにして競技が行われた。中学生は自ら仕事を見つけて動く姿が見られ、東小学校児童は西小学校児童とふれ合いながら楽しく競技に参加することができた。また、保護者手作りの炊き込みご飯・日赤奉仕団による豚汁が昼食に振る舞われ、地域の方と話をしながら食して交流することができた。

(2) 環境整備

広い校庭の除草作業は、小学校も中学校も地域の方の助けなしでは難しい。6月の小中合同スポーツデーを前に、実態を知った地域の方が「放っておけないな」と何日も除草作業に来てくださった。おかげですっきりした校庭で安全に元気よくスポーツデーを迎えることができた。スポーツデーでは、中学校・東小学校・西小学校・就学前児がそろい、地域の人に見守られながら成長した姿を見せることができた。

「ひわ湖の日」の活動では地域の方にもメール配信で連絡し、児童生徒と一緒に除草作業に取り組んだ。

秋の花、春の花の種まき・仮植・植え替え等も地域の方と中学生が一緒に活動できた。また、学区民会議の活動の一つにこの活動を入れたり、花の土を提供してくださる方もあったりして、たくさんの花を育てることができた。

(3) 朽木文化祭参加

東小学校は、音楽発表を学習参観もかねて参加した。西小学校も、太鼓演奏で参加し、中学校は総合的な学習で取り組んでいる朽木太鼓の演奏で参加した。中学校区内全小中学校が参加できたのは初めてで、地域の方はそれぞれの演奏をにこにこ・わくわく・ジーンと心を動かされ元気・勇気をもらうことができた。会場は立ち見の方も出るくらい満員だった。

■ 実施に当たっての工夫

- ・学校行事の参観案内や活動への参画依頼などをするために「朽木地域学校協働本部『結の会』連絡メール」の登録を促進した。
- ・民生児童委員の定例会を小学校で行い、地区別懇談会や地区別児童会に参加してもらった。(年2回)中学校訪問(年1回)
- ・学期の始め・終わりに教師と、地域との関わりのある行事や学習について相談した。
- ・『結の会』便りを朽木地区全戸配布した。(年2回)



2019/07/01

■ 事業の成果

- ・子どもたちと関わることで、喜びや感動や元気を感じる地域の方々が増えた。
- ・自主的に行動する(手伝う)小中学生の姿と地域活動を結びつけることができた。
- ・地域の方が「学校の垣根が低くなった」と喜んでいる。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・園との連携を協働活動の一つとして取り組みたい。
- ・保護者や地域の人や学校(教師)の思いを大事にした協働活動にしたい。
- ・「学校つくりは地域つくり」という観点での協働活動を目指したい。

【 ボランティアと小学生との除草作業 】

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・学校運営協議会で、朽木地域全体の小中学校の実情が分かり、それぞれの立場の考えが共有できるようになってきた。

■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- |          |      |            |
|----------|------|------------|
| ■校 長     | ■教 頭 | □地域連携担当教職員 |
| □その他 ( ) |      |            |

報告書記入者 ( 地域学校協働活動推進員 )

つながり響き合う教育を目指して		～安曇川地域学校協働本部～	
高島市	活動名 : 安曇川地域学校協働本部	安曇小 青柳小 本庄小 安曇川中	
<b>地域学校協働本部概要</b>			
開始年度 : 平成 30 年度	地域学校協働活動推進員等数 : 1人	ボランティア登録数 : - 人	
<input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等）	<input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）		<input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援
<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り	<input type="checkbox"/> 部活動支援	<input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備	<input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり
<input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	<input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加		<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動
<input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習	<input type="checkbox"/> その他 [ ]		

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
  - 学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 ■その他（住民福祉ネットワーク）
- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
  - (1) 地域行事への支援（ボランティアまつり開催：安曇川中学校）
 

生徒と安曇川住民福祉ネットワーク（地域ボランティア団体）が一緒に実施。地域行事を学校内で開催できることは珍しい。
  - (2) 福祉関係団体との連携（安中カフェ：安曇川中学校）
 

学校の空き教室を地域住民の憩いの場として開放している安中カフェを地域学校協働活動の拠点にしており、地域住民と中学生の交流が深まっている。ここを活用し、多くの生徒にボランティアの良さなどを伝えていきたい。
  - (3) 学習支援（家庭科 伝承料理教室：安曇川中学校）
    - ・伝承料理実習を地域の伝承料理クラブの6名がサポート。学校支援活動を契機にクラブが復活し、人数も増えて活性化した。
    - ・他にミシンボランティア、音楽指導、校外学習引率、九九道場（暗唱確認）、昔遊び、クラブ活動応援などがある。
  - (4) 環境整備（本庄小学校・安曇小学校）
 

花壇の整備（苗の調達、植え込み作業など）は、地域の方々で実施。運動場の除草作業も実施することができた。
  - (5) 伝統文化の継承（運動会での「高島音頭」復活：本庄小学校）
 

地元の「音頭取り」と太鼓をたく方が来てくださり、祖父母の方も参加され踊りの輪が広がった。
- 実施に当たっての工夫
  - ・管内小中学校事務職員との連絡会開催
  - ・積極的な情報発信（学校メールに予定の連絡やお便りを送信、複数校を担当しており一斉配信で情報共有が進んだ。）
  - ・中学生の地域行事参加にむけた綿密な連絡調整（行事の趣旨理解、学校・生徒との打ち合わせ、主催団体との調整）
- 事業の成果
  - ・地域と子どもたちとの協働による行事により、相互理解が深まった。  
(ボランティアまつりでの中学生の力は大きい、中学生と交流することで親しみがわいた、あいさつを交わすようになった)
  - ・教職員の負担軽減（ボランティアとの連絡調整、支援活動の事前準備など）
  - ・地域人材や資源の活用（技術を持った人による様々な支援）
- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
  - ・学校の支援活動を地域の中でも定着させたい。
  - ・地域行事の参加から参画へ（中学生の意見を取り入れられるように、早い日の計画。中学生の参加のところを中学生の意見を聞きながら取り入れていきたい。）
  - ・学校、地域、保護者（PTA）がコミュニティ・スクールについての理解を深め、共に活動を進められるといい。
  - ・学生や教師を目指している人などと連携をして学習の補充などの紹介をしてほしい。
  - ・地区に対しても「中学生のボランティア」を推奨し、地域で中・高生のふれあいを増やすといい。
- その他（学校運営協議会との協働等）
  - ・学校運営協議会では「もっとどのような子どもに育てたいか」を話し合い、学校と地域が共通の目標を持ち、地域学校協働活動と一体化して進められるとよい。



【 安曇川中学校での伝承料理教室 】

- コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）
  - 校 長 ■教 頭 ■域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（地域学校協働活動推進員）

## みんなで あたたかく 見守り育てよう 「学而事人」の人に ~新旭地域学校協働本部~

高島市	活動名 : 新旭地域学校協働本部	新旭南小・新旭北小・湖西中学校 学校運営協議会 : ■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : ■有 □無
地域学校協働活動概要		

開始年度：平成 30 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：131 人

- |                                  |                            |              |
|----------------------------------|----------------------------|--------------|
| ■学習支援（授業補助、学力補充等）                | ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）  | ■学校行事支援      |
| ■子どもの安全確保、見守り                    | ■部活動支援                     | ■学校周辺環境整備    |
| ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） | ■地域行事への参加                  | ■学びによるまちづくり  |
| ■郷土学習                            | ■その他 [広報紙の発行、子育て・教育相談窓口開設] | ■ボランティア・体験活動 |

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学 校
- 地域学校協働活動推進員
- 行 政
- その他の（ ）

### ■ 地域と学校が連携・協働した活動（特徴的な活動）

(1)『徹底した学校支援活動』の展開（南小「夢の会」会員 46 名、北小「希望の会」会員 46 名）を核にした活動）

「下校見守り隊の結成」「入学式の受付」「校庭の草刈り・剪定」「七夕集会の笹取り」「校内の修繕」「運動会前の除草」等々、できることなら何でも学校の要請に応える。もちろん、朝の読み聞かせ、図書ボランティア、調理・ミシン、電動糸ノコ、九丸道場、夏の学力補充、校外学習の付き添い、マラソン大会の安全監視……。毎日のように、ボランティアが学校に出入りしている。

(2)『学而事人おはようミーティング』の活動（湖西中学校：「むくげの花の会」会員 39 名）を核にした活動）

「地域の人にどんどん校内に入って、生徒の姿を見たり声かけをしたりしてほしい」との中学校の要請に応えて、昨年度から 1 日も欠かすことなく続けてきた。30 数名の会員が都合のよい日に、始業前に校門や昇降口、校舎内で挨拶・声かけをする。今年度から『学而事人おはようミーティング』と名付け、会員と生徒、教師と会員、生徒と教師、会員同士、保護者と会員などにぎやかなミーティングの場としている。新しい「支援活動」が次々とこの場で産み出される。例えば、今年の「中学校文化祭」では、地域から三味線・琴・尺八のコラボ演奏や、陶芸・写真・短歌等 6 クラブの作品展展示、学而事人ファーム産の芋販売などで、支援者や参観者が大幅に増え、「地域に開かれた文化祭」に一歩も、二歩も近づいた。

(3)『夏休み、宿題カフェ』の開催（社会福祉法人、南・北小学校、中学校、共同募金委員会、公民館の 6 者の協働活動）

「湖西中カフェ」を主宰している社会福祉法人の提案で、「中学校のお兄さん、お姉さんに夏休みの宿題を教えてもらおう」をキヤッチフレーズに、上記 6 者の協働で開設した。協働本部での事前協議を受けて、小学生募集（両小学校）、中学生ボランティア募集（中学校）、ワンコインカフェと全体運営（社会福祉法人）、クレープづくり（共同募金委員会）、会場提供（公民館）等、役割を分担した。小学生は申込開始日に 30 名の定員をオーバーし、中学生も 2 年生だけで目標の 15 名に達した。学ぶ小学生も、教える中学生も真剣な様子、主体的に参加した両者とも貴重な体験の場であった。このような様々な団体が協働する「子どもたちを中心においた取組」を地域内に広げていきたい。

### ■ 実施に当たっての工夫

- (1) 新旭の偉人「清水安三先生」の教えである『学而事人』（学んで人に教える）をスローガンに掲げ、子どもも大人も協働本部への親しみと理解を深め、目標を共有しやすくした。
- (2) 3 校の教職員の共通理解が大切と考え、協働本部の方針や活動状況等を情報提供するため、「学而事人室の窓」を発行した。（毎月 2 ~ 3 回）
- (3) 各校に「支援の会」を結成し、「月 1 回の定例世話人会を開催し、学校の支援要請への対応を協議する」システムを構築した。
- (4) 各「支援の会」では、学期に 1 回会員の集いを開催し、児童生徒・教師とのふれあいや会員同士の懇談によって、絆を深めてきた。



【夏休み、宿題カフェ】の様子】

(1)「学校の要請に、ほぼ 100% 応えていただけた」「教師の負担が減って、

子どもに関わる時間が増えた」との小学校教師の声。「学校に入りやすくなった」と地域の人の声が聞かれつつある。

(2)「生徒の聞く姿勢が良くなったり、明るいあいさつが増えた、遅刻がほとんどなくなった、学習への構えが良くなったり、保護者の苦情が減ったなど、大きく学校が変わってきた」との中学校長の声。保護者アンケートには「地域の方の力を感じる 1 年でした。子どもが何事にも熱心に取り組む姿は素晴らしい。数年前よりむっちはや素晴らしい雰囲気です。」との声があった。

(3) 各校「支援の会」の活動が起爆剤になり、会員外の方々や各種団体に、「学校（子ども）のためなら」と、積極的に動いていたただける方が徐々に増えている。3 校の今年度、ボランティアのペース数は約 6,000 名が見込まれ、昨年度の倍増になる。

### ■ 事業実施上の課題と今後の連携・協働活動実施に向けて

- ・各校「支援の会」のリーダー発掘、自主運営化、支援の輪の拡張を図り、持続可能な体制を構築していく。
- ・関係の団体や機関・施設等との連携・協働を進め、小・中学生の体験活動や地域貢献活動の場を広げる。
- ・町内の保育・幼稚園や学童保育所にも支援・協働の活動を拡げ、地域総がかりの子育てにつなげる。

### ■ その他（学校運営協議会との連携等）

- ・各校「支援の会」の世話人に「各学校運営協議会委員 2 名」が加わり、協働本部と学校運営協議会との連携を密にしている。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校 長
- 教 頭
- 地域連携担当教職員
- その他の（ ）

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

## 地域とともにある学校・子ども応援団

東近江市	玉緒小学校 地域学校協働本部	玉緒小学校 学校運営協議会 : □有 ■無
地域学校協働活動概要		
[地域学校協働本部]		
開始年度：平成 24 年度 地域学校協働活動推進員数：1人 ボランティア登録数：50 人		
<p>■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援      ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり      ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動      ■郷土学習 □その他 [ ]</p>		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校 ■地域学校協働活動推進員 □行政 □その他（ ）



【 さつまいもの苗植えをアドバイス 】

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### ・生活科（1年生・2年生）

「さつまいもを育てよう」：さつまいもの苗の植え方、育て方や掘り方などを子どもたちに分かりやすく教えていただいた。また、年間を通じてお世話をしていただいた。  
 「さつまいも収穫」：栽培したさつまいもでスイートポテトを作りお世話になった方を感謝の会にお招きした。歌や音読を発表したり感謝の手紙を渡したりして、楽しい時間を過ごした。

「ちいきを探検しよう」：地域にあるいちご園で2年生が、いちごのことについて教えていただき収穫を楽しんだ。

#### ・社会科・理科・総合的な学習（3年生・4年生・5年生・6年生）

3年生 「地域探検」：校区内にある製茶工場、自動車整備工場、牛舎、キュウリハウスを見学した。子どもたちに分かりやすく説明していただき、子どもたちの質問に答えていただいた。

4年生 「里山探検隊」：地域にある大森町の里山広場に出かけ、自然の中で薪割りをしたり、のこぎりを使って木を切ったり、木の枝を集めてグループで協力して小屋を作った。町づくり委員会の皆さんに丁寧に指導いただき、普段、学校の中では出来ない貴重な体験学習ができた。

5年生 「田んぼの学習」：農業委員さんや、地主さんのお世話で田植えや、稻刈り、脱穀の体験学習をした。その後お世話になった方々を招いて「感謝祭」を開催し、米作りについて学習した成果を発表した。

6年生 「キャリア教育」：今年度は、池田牧場の方、大工さんを招いて、仕事に対する思いや姿勢などの話ををしていただき、その後実際に仕事を体験した。また玉緒幼稚園を訪問して、幼稚園教諭の仕事について学んだ。



【 絵手紙名人さんの丁寧なご指導 】

#### ・家庭科（5年生）

「初めてのソーイング」「ミシンを使って」 各班に1人ずつボランティアさんに付いていただき、個々の児童にきめ細やかな指導助言をしていただくことができた。

#### ・図工（1年生・5年生）

「絵手紙を書こう」 地域に住んでおられる絵の得意な方に来ていただき、絵手紙の書き方を教えていただいた。

#### ・その他 ミシンの点検修理、図書室の環境整備・飾り（毎週水曜日）、読み語り（毎週金曜日）、図書室開放（朝、毎週2回）

ミシンの点検作業（隨時）、登下校の見守り 「毎日」

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・学習のねらいをお伝えしたうえで、ボランティアの方の得意なこと等を生かした活動内容を計画した。
- ・ボランティアの方との打合せでは、実際の教材を使って説明するようにした。
- ・ボランティアの方の生きがいになるような活動依頼を心がけた。

### ■ 事業の成果

- ・同じ方に何度も支援していただいたことで、活動もスムーズにでき、事前の打合せも短時間で済ませることができた。
- ・回数を重ねるごとにボランティアさん同士も顔見知りになり、お互いに意見を出し合ってくださる姿があった。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・学校の要望で、ボランティアを探したが、適材の人を見つけることができないこともあった。
- ・ボランティア登録の方の特技を生かそうと心がけたが、学校の希望とうまく結びつけることができなかった。
- ・地域の人材を、見つけ出すことが今後の課題だと思う。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（ 学級担任 ）

報告書記入者（ 教頭 ）

「必要な時に必要な支援を」を合言葉に、今後につながる継続した支援活動を		
東近江市	御園小学校 地域学校協働本部	御園小学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 28 年度 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） ボランティア登録数：23人		
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等）	<input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	<input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援
<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り	<input type="checkbox"/> □部活動支援	<input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備
<input type="checkbox"/> □地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	<input type="checkbox"/> □地域行事への参加	<input type="checkbox"/> □学びによるまちづくり
<input type="checkbox"/> □郷土学習	<input type="checkbox"/> □その他 [ ]	<input type="checkbox"/> □ボランティア・体験活動

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学 校 地域学校協働活動推進員 行 政 その他 ( )

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

本校は、外国籍児童が全体のおよそ一割在籍しており、基本的な会話や読み書きについて地域のボランティアが学習支援を行い、日本語で日常生活や学習活動に取り組めることを目的に毎週定期的に活動を行っている。また、本の読み語りやマラソン大会での安全見守り、家庭科での学習補助、運動場の除草作業など、多岐にわたって地域から支援を受けている。



【 運動会にむけての整備作業 】

■ 実施に当たっての工夫

本校では、「必要な時に必要な支援を」を合言葉に進めている。地域学校協働活動推進員が学校のニーズを的確に把握し、それに応じて人材を発掘していただいて支援を受けている。また、ボランティアでお世話になった方々を学校行事や感謝祭にお招きしたり、感謝の手紙を子どもたちから渡したりして、子どもたちの感謝の気持ちを育てることができた。またボランティアの方々にとっては、次のボランティア活動への意欲となり、生きがいにつながっているようにも感じる。

■ 事業の成果

地域学校協働活動推進員による地域の方々への積極的な働きかけにより、新たな事業への協力を依頼することができ、支援の幅が広がってきていている。また、継続した取組によってスムーズに活動を行うことができるようになり、活動前の打合せの時間も短縮できるようになってきている。ボランティアの方々と子どもたちとの距離が縮まり、お互いに顔なじみになることができた。「子どもたちに会うのが楽しみです。」と言って来校してくださる方が増え、学校の様子を地域の方々に知っていただけるよい機会となっている。



【 5年ソーディング学習の支援 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

地域ボランティアの方々が支援活動を行うにあたって一番大切なことは、地域ボランティアと学校関係者が情報交換を密に行い、互いに話しやすい雰囲気づくりに努めることだと考えている。そのためにも、定期的に打合せの時間を設定していく必要がある。学校のニーズを的確に捉えて支援をしていただくことを本校では願っているので、毎年支援のあり方を見直し、マンネリにならないよう（たとえば、「昨年、このような支援をしたから、今年もぜひ…」といった要望していない支援を押しつけない）心がけていきたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

お問い合わせ

東近江市立御園小学校 ホームページアドレス

<http://www2.higashioomi.ed.jp/misonosho/>

■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校 長 教 頭 地域連携担当教職員 その他

報告書記入者（教頭）

## 輝け南っ子！！～地域を学ぶ、地域の人々と学ぶ～

東近江市	八日市南小学校 地域学校協働本部	八日市南小学校 学校運営協議会 : □有 ■無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 24 年度	地域学校協働活動推進員数：1人	ボランティア登録数：42 人
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	□学びによるまちづくり
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	□地域行事への参加	□ボランティア・体験活動
■郷土学習	□その他 [ ]	

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・滋賀学園陸上部生徒による市陸上記録会の練習及び指導
- ・特別支援学級、畑の先生とじゃがいも、さつまいも、大根等の植え付け収穫
- ・大凧保存会による大凧作りの指導
- ・南部コミュニティセンターで、3年生児童が地域の方と一緒にじゃがいも掘り
- ・八日市南高校生と2年生児童のさつまいも植え及び収穫
- ・グラウンドの芝生化により、芝生刈りや水やり、肥料などのお世話
- ・真鍮家さんによる江州音頭の指導
- ・1年生昔のあそび
- ・3年生昔のくらし体験



【 市陸上記録会の練習 】

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・市陸上記録会の練習では、高校生が限られた時間の中でどのように指導すればよいか事前に練習計画を考えた。
- ・特別支援学級の畠では、地域の方が先にうねを作ったり、長期休業中の水やりをしたりしてくださった。
- ・江州音頭では、子どもたちの興味関心を高めるために、南小学校の歌を作っていただき、全校で歌や踊りの練習をした。

### ■ 事業の成果

- ・市陸上記録会の練習では、高等学校側からも高校生の勉強にもなるとお聞きした。
- ・高校生は児童との年齢が近いため、コミュニケーションがとりやすい。
- ・特別支援学級の児童と地域の方が一緒になって野菜を育て、うねづくりや肥料の世話等をしていただくことで収穫量も増えた。また、かまどベンチを利用して焼きいも作りのサポートもしていただき、児童の収穫の喜びも大きくなっている。
- ・地域の夏祭りでの江州音頭では、児童が大勢参加し、大きな声であいの手をかけていた。地域の方々から大変活気が出たと喜んでいただいた。



【 特別支援学級、畠の先生 】

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・市陸上記録会の練習では、雨天時の練習が中止になってしまふため、天候に左右されない練習の工夫が必要である。
- ・江州音頭では、地域の方にもお知らせし、一緒に踊ってもらえる機会をつくる。
- ・ボランティアの高齢化により、協力いただく人数が減少しつつある。もう少し若い世代にも参加してもらえるようにしたい。
- ・学校とさらにスムーズな連携を図るため、ボランティア研修の必要性を感じている。

### ■ その他

南部まちづくり協議会と連携しており、スムーズな活動ができている。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（ 事務職員 ）

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

## 地域とともに歩む箕作小学校

東近江市	箕作小学校 地域学校協働本部	箕作小学校 学校運営協議会 : □有 ■無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 25 年度	地域学校協働活動推進員数：1人	ボランティア登録数：125 人
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	□学びによるまちづくり
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	□地域行事への参加	□ボランティア・体験活動
■郷土学習	□その他 [ ]	

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他 ( )

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・3年生「昔のくらし」の学習では、「八日市歴史文化プロジェクト」が制作された昭和20~40年頃の八日市の町の様子を描いた屏風を見せてもらいながら、当時の様子についての話を伺った。生き生きと描かれた町の鳥瞰図に、子どもたちの興味や関心の高まりが見られてよかったです。
- ・校区内の伝統的建築物の大規模修理をされている工務店から、6年生の歴史学習のために活用してほしいと声がかかり、見学を実施した。子どもたちは生きた歴史に触ることができ、伝統建築に深い興味を持つことができた。
- ・箕作小学校地域学校協働本部では、校区内の「清水小脇街づくり委員会」、「太郎坊応援団」、「中野地区まちづくり協議会」と連携し、各学年の様々な教育活動や芝生化された校庭整備等の支援の継続とその充実がみられる。
- ・5、6年生の家庭科学習支援や低学年の「畑の先生」、5年生の「田んぼの先生」、読み語り等、たくさんの地域の方にボランティア活動に参加していただいている。



【 3年生「昔のくらし」学習 】

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・各学年の学習のねらいや取組のテーマ“見て・聞いて・やってみる”をモットーにした学習活動について、地域学校協働活動推進員が教職員との打合せを綿密に行い、適切な支援活動がなされるように努めた。
- ・地域に出かける活動では、事前に地域学校協働活動推進員と教職員が一緒に下見をして、児童の安全を第一に進めた。
- ・支援内容に適したボランティア人材を確保し、適宜依頼できるように各所、各団体、個々人に幅広く声をかけている。
- ・これまでの取組を継続し、学校と地域、ボランティアの三者が共に安心感と親近感、信頼感がもてるよう、いくつもの取組に継続して参加できるような工夫をしている。

### ■ 事業の成果

- ・学区が広範囲であるため、広くボランティアの人材を募ることに難しさもあるが、公的機関、各種団体等と細やかに連携を図ってきたことで、外部から学校や地域学校協働活動推進員に声がかかるようになり、ボランティアからボランティアへと支援の輪にもさらに広がりがみられている。
- ・自分たちの住む町を学習する中で地域に対する関心が高まり、子どもたちが地域のひとりとしての自覚や地域への親近感をもてるようになり、保護者からも活動を評価する声が聞かれる。地域では、子どもたちへの学習支援の継続と広がりが見られるようになってきた。



【 6年生 伝統的建築物見学 】

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・今後も、「地域とともに歩む学校」として学校と地域の絆をさらに深め、活動を充実したものにするためにも、教職員と地域学校協働活動推進員との打合せや相談が重要である。また、地域学校協働活動推進員が学習計画の立案への参画、活動後の反省や評価、問題提起、課題解決方法の探求等をすることで、発展的に循環した取組となるよう考えていくことが必要である。
- ・子どもたちが多くの人と適時適切に関わりを積み重ね、より確かな人格形成が築けるよう学校と地域との連携の充実を図るためにも、学校から地域への広報活動が不可欠である。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 □地域連携担当教職員 ■その他 ( 全教職員 )

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員、教頭 ）

## 地域とつながることで、幅広い体験や学びをはぐくむ

東近江市	八日市北小学校 地域学校協働本部	八日市北小学校 学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 28 年度 地域学校協働活動推進員数：1人 ボランティア登録数：30人		
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 地域学校協働活動推進員 行 政 その他 ( )

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・1年生 地域の方に竹とんぼを作っていた大いに「竹とんぼ体験」
- ・2年生 地域の川に出かけて「ザリガニつかみ」
- ・3年生 地域のお年寄りに学ぶ「昔遊び」
- ・4年生 地域の施設に出かけて「いきものの森での体験活動」
- ・5年生 地域の方にお手伝いいただいた「田んぼの学習」
- ・6年生 身近な方の職業について学ぶ「夢教室」
- ・日本語支援教室の児童に日本の伝統文化を伝える「餅つき大会」等、地域の方にご協力いただくことで、様々な体験ができ学習が深まった。



【 1年生 竹とんぼ体験 】

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・授業の支援をいただく場合には、事前に授業者と地域の方とで打合せを行い、効果的な学習になるようにした。
- ・「お餅つきがしたい」といった学校の要望に対し、地域学校協働活動推進員が臼や杵の準備等具体的な手順を調べて段取りする等、学校が支援して欲しいことの実現に向けて地域学校協働活動推進員等、様々な方が力を貸してくださいました。

### ■ 事業の成果

- ・豊富な知識や技術を持っておられる地域の方の協力を得ることで、効果的に学習を進めることができた。
- ・「竹とんぼ体験」や「餅つき大会」など、地域の人の協力がなくては実現しない学習や体験をすることができた。
- ・身近な方に職業についての話を伺うことで、将来に向けての夢を膨らませることができた。



【 5年生 田んぼの学習 】

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・活動を安定的に発展できるようにするためにには、新たなボランティアやゲストティーチャーの発掘が必要である。
- ・学校便りやホームページを通じて活動を広く地域の方に発信するようにした。情報の発信を通じて地域の方の理解を深めるとともに、さらなる協力を得られるようにしたい。
- ・学校が支援を受けることが多いが、地域と協働した活動を仕組めるように工夫していきたい。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（ 学級担任 ）

報告書記入者（ 教頭 ）

## 「地域の子どもは地域で守る・育てる」～つながる地域と学校～

東近江市	八日市西小学校 地域学校協働本部	八日市西小学校 学校運営協議会 : □有 ■無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 24 年度	地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人）	ボランティア登録数：230 人
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	□学びによるまちづくり
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	■学校周辺環境整備	□ボランティア・体験活動
■郷土学習	□その他 [ ]	

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他 ( )

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### (1) 「子ども見守り隊」の活動

14 地区で「子ども見守り隊」を結成し、児童の登下校を見守っていただいている。7月には「子ども見守り隊研修会」を開き、日常の子どもたちの様子等、必要な情報を提供していただいている。3月には「6年生を送る会」を参観していただき、子どもたちとの交流の機会としている。



【 2年生 町探検 】

#### (2) 生活科や社会科の校外学習の引率

(1年生) 近くの華岳山で春見つけ、夏見つけ、秋見つけの学習をしている。引率と、活動の見守りをボランティアの方にお願いしている。また、事前に公園の使用を願い出ると、管理してくださっている方が、子どもたちの安全面を考えて公園を整備してくださっている。

(2年生、3年生) 町探検、校区探検。行き先毎に小グループに分かれるという学習をしている。各グループに1人ずつボランティアをお願いしている。ボランティアさんが地域の方で、各訪問先の方と顔見知りであるため、見学もスムーズに行うことができた。

(6年生) 社会科では、近くの雪野山古墳について現地でボランティアさんに説明をしていただいた。歴史学習の導入として身近な地域教材を学習することで、自分たちの住む地域に魅力を感じることができた。

#### (3) 田んぼの学校での田植えや稻刈り体験の作業指導や活動支援

5年生が総合的な学習の時間に年間を通して田んぼの学習を行い、実際に田植えや稻刈りを体験する学習をしている。苗の植え方や稻刈りの仕方を実際に目の前で教えていただき体験することで、昔ながらの農作業がどのようなものであるのかを考えることができる学習である。稻刈り時には同時に脱穀作業も行っている。



【 6年生 雪野山古墳見学 】

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・人材のデータをファイリングしている。
- ・地域学校協働活動推進員と連携し、年間を通してどのような支援が必要かを事前に検討しておく。また、地域学校協働活動推進員と各学年の打合せを行い、詳しい内容が各ボランティアに伝わるようにしている。
- ・学校だよりや学年通信等で活動内容や学習の取組を地域に発信している。

### ■ 事業の成果

- ・地域学校協働活動推進員と各学級担任との連携がうまくできた。
- ・地域の方の声かけにより、新たな登録者が増えた。
- ・地域の方とふれあうことで、子どもたちの日常を見ていただけることと、子どもたちが地域の方との接し方を学ぶよい機会となつた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・登録者は増えているが、活動を辞退される方も出てきている。新たに登録していただける方を増やすためにも、どのような活動をしているのかが分かるような発信をしていく必要がある。
- ・地域行事への参加が今のところ各地区への文化祭参加だけである。今後どのように地域行事等へ参加していくのか、考えていきたい。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

今後、6年生を中心に自分たちの住むまちについて考えていきたい。自分にとって住みよい町はどのような町なのかを考え、まちづくりの提案をさせてていきたいと考えている。また、コミュニティセンターを中心に連携、協働していかなければと考えている。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 □地域連携担当教職員 □その他

報告書記入者（ 教頭 ）

## 地域の力を学校へ！ 「布小応援団」

東近江市	布引小学校 地域学校協働本部	布引小学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 29 年度	地域学校協働活動推進員数：1人	ボランティア登録数：31人
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	□学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	□学びによるまちづくり
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	■学校周辺環境整備	■ボランティア・体験活動
■郷土学習	■その他〔 教育環境の整備 〕	□地域行事への参加

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他の（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- 通年 ボランティア読み語り、校外活動引率支援、スクールガード活動支援、教育環境整備
- 4～5月 5年生「田んぼの学校」実施計画・打合せ・田植え、田んぼの虫学習補助
- 7月 職員研修（地域の方を講師とした玉緒地区地域学習）
- 7～9月 5年生「田んぼの学校」打合せ・稲刈り・脱穀作業
- 10月 5年生「田んぼの学校」収穫感謝祭
- 6年生 防災学習「出前講座 防災紙芝居」
- 4年生 総合的な学習「環境こだわりプロジェクト」
- 11月 5年生 国語科学習「和の文化を受けつぐ」
- 1月 3年生 社会科学習「漬け物工場見学」



【 環境こだわりプロジェクト】

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・地域学校協働活動推進員の出勤日を固定することで、教員との円滑な打合せを進めることができた。
- ・学校だより等で、地域と学校が連携・協働している事例を取り上げて広報に努めた。
- ・地域学校協働活動推進員が地域のつながりを強固にするよう努力し、学校と地域の連携に努めた。
- ・「布引子応援団」のチラシを継続して配布し、新たなボランティア人材の掘り起こしに取り組んだ。

### ■ 事業の成果

一昨年から地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）が配置され、授業の補助や支援、校外学習の相談、教材の発掘等、学習支援ボランティアの充実に取り組んでいる。地域にも学校ボランティアが周知されつつあり、地域学校協働活動推進員を通して学校からの要望にも答えてもらいややすくなってきてている。年間を通して、地域学習の講師（対象：教職員・児童）や支援ボランティアの掘り起こしから、スクールガード活動のサポートまで取り組むことができるようになった。

また、学校の教育環境整備として、D I Yが得意な方が学校のニーズに応じ、遊具の修理や靴箱・画用紙棚の製作を心よく引き受けてくださることから、急激に教育環境が整いつつあるので喜んでいる。土木会社からは水害対策をシミュレーションしたジオラマでの体験学習で、4年生が地球の環境問題を体験学習することができた。実際にショベルカーを運転する体験をさせていただいた上、立派な看板をいただくなど、地域からの愛情を感じられる一年であった。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・地域学校協働活動を「見える化」し、連絡体制を整え、校内体制の充実を図る。
- ・支援ボランティアを継続させるために、名簿等を作成して、校内での引き継ぎを確実に行う。
- ・広い校地での学習環境整備のため、施設メンテナンス型のボランティアの充実を模索していく。
- ・地域学校協働本部の活動について、地域や保護者への広報活動をさらに充実させる。



【環境整備 ジャストサイズの棚の制作】

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

コミュニティ・スクールの設置についての展望が見えていない。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 □地域連携担当教職員 ■その他（ 事務職員 ）

報告書記入者（ 教頭 ）

## 「地域とともにある学校づくり、魅力がいっぱい、持続可能な教育環境づくり」

東近江市	市原小学校 地域学校協働本部	市原小学校 学校運営協議会 : □有 ■無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 25 年度	地域学校協働活動推進員数：1人	ボランティア登録数：82 人
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	■地域行事への参加	■学びによるまちづくり
■郷土学習	□その他 [ ]	□ボランティア・体験活動

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
  - 学 校
  - 地域学校協働活動推進員
  - 行 政
  - その他( )
  
- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
  - ・「いつも身近に本を置こうプロジェクト」（地区集合場所に本があるから、登校時の待ち時間もミニ図書館で読書）
  - ・学校支援ボランティアによる授業補助やボランティア・関係機関・民間等との連携事業（しめ縄づくり、餅つき、豆腐づくり、絵手紙、昼休み企画等）
  - ・お花のボランティアの皆さんが育てた花の苗で花壇を整備（通年の活動）
  - ・「地域の日（毎月）」にお楽しみ昼休み企画を実施（年間2回、絵手紙教室実施）オープンスクールとして隣接幼稚園児が毎月来校、交流活動を実施。
  - ・認知症ニセモサポーター養成講座で学ぶ（福祉教育）
  - ・読み語りボランティアによる魅力ある学校図書館づくり（読書環境 読み語り 創作クラフト等のイベントなど）
  - ・漢字検定の実施（7月、1月）児童のみならず地域、教員・保護者の方からも募集する。
  
- 実施に当たっての工夫
  - ・毎月1回、ボランティア会議を開催し、各活動の反省と今後の計画を立てている。
  - ・ぬくもり（手づくり感）を大事にする。（心が通い合うコミュニケーションで、風通しの良い環境づくりを目指す）
  - ・児童を中心に据え、教職員と保護者、地域の方々とのつながりを大事にする。（一体感を目指す）
  - ・「地域の日」をはじめ、持続可能な視点をもって続けることを大事にする。（持続可能な教育環境づくりを目指す）
  
- 事業の成果
  - ・児童は、人と仲良く過ごすことを大事にし、学校は多様な学びの場であることを知っている。（地域の人が行き交う学校づくりの進展）
  - ・ホームページの更新を頻繁に行うことにより保護者・地域住民へ情報を提供し、協力を得ている。
  - ・地域の人と児童の絆が深まり、学校全体に明るい笑顔と活気が感じられる。
  - ・教職員、特に若手教員にとって、連携事業等を通して地域の人々との多様な交流体験がよりよいOJTとなっている。
  
- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
  - ・各活動の前には、学校と地域が、目標の共有化を図る必要がある。また、事前事後の取組をおろそかにしない。
  - ・保護者や地域の方々に本事業の活動を知ってもらう必要がある。  
(HPや広報紙等で、周知の徹底をさらに図っていく)。
  - ・認知症ニセモサポーター養成講座（市役所、社会福祉協議会、高齢者施設、民生委員児童委員、地域ボランティア等。多くの方が支えてくださり、近隣のグループホーム「やすらぎの里永源寺」訪問4年目）。運動会への招待。
  - ・全校マラソン大会の安全な運営（スクールガードによる見守り活動5年目）
  - ・読み語りボランティアによる創作クラフト活動
  - ・公立図書館と読み語りボランティアとのコラボ事業「図書館まつり」
  - ・「地域の日」毎月第2水曜日の昼休みを自由参観の日に設定。地域住民・保護者の皆様が来校している。
  - ・隣接する幼稚園からは毎月5歳児を中心に年間を通して定期的に来校している。
  
- その他（学校運営協議会との協働等）
 

ホームページアドレス <http://www2.higashiomii.ed.jp/ichisho/>
  
- コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）
  - 校 長
  - 教 頭
  - 地域連携担当教職員
  - その他（ 学級担任 ）



【昼休み創作クラフトのイベント】



【「地域の日」絵手紙体験、園児は見学】

## 郷土の魅力発見～地域の力を生かしわくわくしながら学び合える山小っ子を目指して～

東近江市	山上小学校 地域学校協働本部	山上小学校 学校運営協議会 : □有 ■無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 29 年度	地域学校協働活動推進員数：1人	ボランティア登録数：22 人
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	□学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	□学びによるまちづくり
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	■学校周辺環境整備	□ボランティア・体験活動
■郷土学習	□地域行事への参加	
□その他 [ ]		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### 【3年生 社会科】

##### 「町たんけんをしよう」

校区の町探検に、地元の地理や産業に詳しい方がボランティアガイドとして一緒に参加していただいた。高野地区では、茶だけでなく桑や薬草の栽培や、伝統的な製法でこんにゃく作りをしておられる方等を紹介しながら説明を受けた。これらの活動を通して自分たちの住む町への愛着を持つことができた。

##### 【森っ子スクール】

地域の竹や地域で生産された炭を使い、七輪でバームクーヘンを作った。多くの方がボランティアとして指導に関わってくださったので、火を扱う学習だったが安全に楽しく充実した活動になった。社会科の「昔の暮らし」にもつながり、値打ちのある取組となった。

#### 【4年生 総合的な学習の時間 「稻荷山のひみつをさぐろう！」】

学校の裏山にある稻荷山にボランティアガイドさんと一緒に出かけるなど、体験的な活動を重視しながら学習を進めた。ボランティアさんには、稻荷山散策のガイドだけでなく、地域の歴史の紹介や調べ学習の支援などを、単元全体を通して関わっていただいた。この活動を通して地域の財産である稻荷山への関心が高まった。



【森っ子スクール：バームクーヘン作り】

#### 【5年生 総合的な学習の時間 「和南川と愛知川生き物調査】

愛知川清流会の方々にご協力いただき、学校の近くを流れる和南川と愛知川で生き物調査を行った。また、水生生物だけでなく、水質についても調べ、川の水質と生態系について学習を深めた。さらに、学習したことをフローティングスクールにおいて他校と交流し合い、愛知川水系から琵琶湖、琵琶湖から淀川水系に至るまで、共通の課題として問題解決的な活動につなぐことができた。

#### 【5年生 家庭科 「始めようソーイング・ナップサック作り】

5年生で初めて学習する家庭科の中で、特に一人ひとりの習得に見取りが必要な手縫いとミシン操作について、優れた技術を持たれた方がボランティアとして指導に来てくださいました。教科書がない合理的な習得方法を紹介されるなど、児童が意欲的に持続して取り組むことができた。

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・昨年度の経験を基本に成果が見られたものは継続した。一方、事前準備不足等から成果が十分得られなかつたものについては、見直しを行った。
- ・どの学年の取組でも、活動前にボランティアの方々、担任及び地域学校協働活動推進員で綿密な打合せを行い、学校とボランティアの方が、活動の目的や子どもに付けたい力について共通の認識を持てるようにした。
- ・地域学校協働活動推進員と地域連携担当教員の話し合いを増やし、互いの持っている情報を交流しながら活動の幅を広げていった。

### ■ 事業の成果

- ・地域との新たなつながりを創出し、学校教育活動の中に地域の力を生かす機会となった。
- ・地域を教材にして学ぶ子どもの姿から、意欲的・主体的な様子が見られた。本物に触れ、実体験を重ねていくことで、実感を伴った理解や、新たな気付き・考えにつなげることができた。
- ・学校に様々な人が集まり、それぞれの経験や知識を生かした活動を展開していくことで、支援をしてくださる地域の方々にとっても自分を生かす場となった。また、活発な地域づくりにつながり、学校と地域双方にメリットがある活動になった。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・地域の高齢化が進み、今後新たなボランティアをどう創出していくか、持続可能な方法の検討を重ねていくことが重要である。
- ・地域学校協働活動推進員を中心に、学校が求めているものを地域全体に発信していくことで協力体制を充実していく。

### ■ その他 山上小学校 HP : <http://www2.higashioomi.ed.jp/yamasho/>

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 □その他

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

## 地域の方に支えられて、地域の方とともに学ぶ

東近江市	五個荘小学校 地域学校協働本部	五個荘小学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 25 年度	地域学校協働活動推進員数：1人 ボランティア登録数：120 人	
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等）	<input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	<input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援
<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り	<input type="checkbox"/> □部活動支援	<input type="checkbox"/> □学びによるまちづくり
<input type="checkbox"/> □地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	<input type="checkbox"/> □学校周辺環境整備	<input type="checkbox"/> □ボランティア・体験活動
<input checked="" type="checkbox"/> ■郷土学習	<input type="checkbox"/> □その他 [ ]	

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学 校      地域学校協働活動推進員      行 政      その他 ( )

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### 授業補助

- 総合的な学習の時間に、地域の歴史や取組を話していただいた（金堂まちなみ保存会、地域の福祉サロン等）。話をもとに学習を深め、学習発表会で地域の方や保護者に発信した。
- 五個荘の郷土料理「泥亀汁」作りにおける調理体験支援
- 茶道、生け花、和太鼓などをを使ったクラブ活動における支援
- 家庭科での、手縫い、ミシンの実習支援
- 地域の方から昔のくらしや昔の遊びについて教えていただく学習支援
- 本の読み語り



【 マラソン安全見守り 】

#### 学校行事支援、子どもの安全確保、見守り

- 地区探検や地域学習、工場見学等の校外学習やたてわり活動等の引率補助、交通安全見守り
- 登下校時の見守りや引率活動、挨拶運動
- マラソン大会にかかる安全見守り活動

#### 学校周辺環境整備

- 校地内、中庭等の植木剪定、樹木の下回り整備作業等

### ■ 実施に当たっての工夫

- 地域学校協働活動推進員と教職員が連絡を取り合い、打合せの時間を確保した。また、年度当初に1年間の活動の見通しが持てるよう計画した。
- 多くの人に活動をしてもらえるよう、「学校だより」等でボランティア活動を紹介した。
- 参加してくださったボランティアさんを学校行事に招待して、日頃の子どもたちの様子を参観していただいた。

### ■ 事業の成果

- 地域学校協働活動推進員さんの積極的な働きかけにより、新たな事業について協力をお願いすることができた。
- 事業が定着しつつあり、スムーズに活動を行うことができた。また、学校に来てくださる方も、活動を楽しみにしてくださっている。
- 専門的な知識を持ったボランティアさんに直接教えていただくことにより、子どもたちにとって充実した有意義な活動となった。



【 郷土料理「泥亀汁」調理体験 】

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- 従来から連携した活動は継続できたが、協働的な活動にまでは至っていない。
- ニーズに合った新たなボランティア人材を見つけることが困難。
- 今後も、より地域に根ざした活動を展開していく必要がある。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

学校ホームページ <http://www2.higashiomii.ed.jp/gokasho/>

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校 長      教 頭      地域連携担当教職員      その他（ 教務主任 ）

報告書記入者（ 教頭 ）

## 地域とつながる学校づくり 「みんなで育てよう 愛東南の子どもたち」

東近江市	愛東南小学校 地域学校協働本部	愛東南小学校 学校運営協議会 : □有 ■無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 28 年度	地域学校協働活動推進員数：1人	ボランティア登録数：31人
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	□学びによるまちづくり
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	□地域行事への参加	□ボランティア・体験活動
■郷土学習	□その他 [ ]	

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他 ( )



【4年生 総合的な学習の時間（井の見学）】

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・全校【ボランティアグループ「ブックくんの会」による読み語り】  
週2回の「本の時間」の読み語りや「親子お話会」での地域の昔話の紹介
- ・クラブ活動【手芸クラブ】羊毛フェルト、消しゴムはんこ等の制作指導と支援
- ・1年生 生活科【昔遊び名人に教えてもらおう】  
コマ回し、あやとり、お手玉、おはじき等の指導と支援
- ・3年生 総合的な学習の時間【愛東の農家の名人さんに学ぼう】  
梨、ブドウ、キーウイ、いちじくを栽培されている地域の農家さんの見学
- ・4年生 社会科地域教材【井について調べよう】  
地域学校協働活動推進員の引率のもと、鯰江井の見学
- ・5年生 総合的な学習の時間【米について調べよう】田植え、稲刈り、脱穀の作業  
家庭科【はじめてのソーイング】【わくわくミシン】玉どめ、玉結び、なみぬい、ミシン等の学習支援
- ・6年生 総合的な学習の時間【わが町愛東研究所】ゲストティーチャーからの話  
国語科【町の幸福論】  
「愛東について考えるシンポジウム」のパネラー  
「愛東の未来を考えるプレゼンテーション」の助言者



【6年生 愛東について考えるシンポジウム】

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・地域学校協働活動推進員と教職員が打合せをする時間を設定し、学校支援の年間の見通しを共通理解できるようにした。
- ・学校側のニーズを地域学校協働活動推進員にしっかりと伝え、必要な人材の掘り起こしをしてもらった。
- ・学校だよりや学年だよりで、ボランティアさんの活動の様子などを紹介した。

### ■ 事業の成果

- ・ボランティアグループ「ブックくんの会」による読み語りは、継続的に続いていることで、子ども達の読書の習慣化や質の向上につながっている。また、今年度は「親子お話会」で地域の昔話を紹介していただき、地域学習としても有意義だった。
- ・地域学習においては、専門的な知識や技能をもっておられるゲストティーチャーを招くことで、より学習効果が上がった。その成果を11月の「くすのきまつり」で、保護者や地域の方々、また、招待したゲストティーチャーの方々に発表することができた。
- ・6年生の総合的な学習の時間【わが町愛東研究所】におけるゲストティーチャーや国語科【町の幸福論】における「愛東について考えるシンポジウム」のパネラー、「愛東の未来を考えるプレゼンテーション」の助言者は、今年度初めて来ていただいたが、子どもたちの学習意欲の向上につながるとともに、自分たちの住む愛東について考えるよい機会となった。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・登録名簿を年度毎に見直し、異動等で教職員がかわっても、継続的に地域との連携がとれるような体制づくりが必要である。
- ・地域学校協働活動について、保護者や地域への広報活動をより充実させ、新たなボランティアの人材の掘り起こしを進める。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（ 担任 ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

## 地域の教育力を結集し、「地域と共に歩む学校」をめざして

東近江市	愛東北小学校 地域学校協働本部	愛東北小学校 学校運営協議会 : □有 ■無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 26 年度	地域学校協働活動推進員数：1人 ボランティア登録数：32人	
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	□学びによるまちづくり
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	□学校周辺環境整備	□ボランティア・体験活動
■郷土学習	□その他 [ ]	

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他の（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### ・読み語り活動

本校では、読書ボランティアの方による支援によって実施している。毎月1回朝の始業前に全学年を対象に行い、1年生は、月2回程度、下校前に実施している。子どもたちは、ボランティアの方の読み語りを待ちにしており、朝、当番が控え室に迎えに行っている。絵本だけでなく、紙芝居等、工夫した読み語りに目を輝かせ聞き入っている。毎回ボランティア間で交流の時間を持ち、お互いに工夫点等を学び合うようにしている。

#### ・5年生「たんぽのこ」の体験学習

当校は、NPO法人「茗荷村」、集落の農業法人、ボランティアグループ等の方々の協力を得て、「たんぽのこ」の学習を進めている。

農村地域の本校児童も、最近では農業体験に乏しくなっている中で、この体験学習は貴重な場となっている。田植え・稻刈りはもちろんのこと、稻の生長を見届ける学習等を通じて、米作りの苦労と喜びを味わうことができている。

お米の収穫後には「お米パーティー」を開き、御協力いただいたボランティアの方々を招いて学習の成果を発表し、収穫の喜びを実感する機会をもつている。今年度の稻刈りでは、ボランティアの方々の支援のおかげで、うまく鎌を使い、「うまいもんやな。」とほめられる中で意欲的に活動することができた。

#### ・5年生の家庭科ミシン学習への支援及び補助

ミシンの学習は、学級担任のみの指導では十分な手が届きにくく、児童の学習効率や安全面での留意を図るための手立てが必要となる。そこで、ボランティアを募ったところ5名の支援スタッフが確保でき、ミシンの学習で糸縫いを行った。ボランティアと子どもたちの和やかな交流の中で家庭科の学習が進み、子どもたちも充実した表情であった。



【 読み語りの様子 】



【 稲刈りの様子 】

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・関わっていただく地域の方々と学校がお互いの負担とならない適度な距離感を保つように努めている。
- ・学校への地域住民の関心や思いが高まるよう、ボランティア人員が少しでも増えるようにしている。

### ■ 事業の成果

- ・ボランティアの方々の支援により、児童の学習効果が上がり、学習への励みにつながっている。
- ・子どもたちとの交流の中で、少しずつ学校支援の輪が広がっている。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・子どもたちの学習や生活の充実に向けて、現場のニーズに応えるために学校教職員と地域学校協働活動推進員の連携を密にするように努めたい。
- ・地域人材を効果的に学校教育につなげていくために、情報収集のアンテナを高くし、ボランティアの更なる拡充に努めたい。
- ・当本部では、学校側の依頼に対し、情報等を集約的に持っておられるところへの協力依頼を第一歩としている。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（ 学級担任 ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

## ふるさとの宝・東押立の文化・豊かな自然に学ぶ「地域の学校」

東近江市	湖東第一小学校 地域学校協働本部	湖東第一小学校 学校運営協議会 : □有 ■無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 25 年度	地域学校協働活動推進員数：1人	ボランティア登録数：57 人
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	□学びによるまちづくり
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	□地域行事への参加	□ボランティア・体験活動
■郷土学習	□その他 [ ]	

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他の（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### （1）田んぼの学校

田園地帯の広がる自然豊かな地域に建つ本校は、「田んぼの学校」の取組で、3年生・4年生・5年生は、毎年、地域の方々の力を借りて、田植えや稲刈りを体験している。また、5年生は、お世話になった方々を招待し、お米の学びの発表会や収穫したお米でのおにぎりパーティーで『収穫感謝祭』を行った。

#### （2）校区について学ぶ

校区は古くから愛知郡東押立村としての文化の中心であった地域である。3年生の社会科「発見！！私たちの町の宝物」では、校区のまちの自慢や宝物を見つける学習をしている。今年度も北花沢・南花沢町の「ハナノキ」、大沢町の『日本の溜百選』に選ばれている「八楽の溜」等、地域に残る歴史的文化について学習した。また、6年生は社会科の歴史学習で大沢町の戦争疎開体験者から「校区の戦争中の話」を聴いたり、「西堀栄三郎記念探検の殿堂」を見学し、総合的な学習の時間のテーマにしたりする等、地域の歴史や人物への学びを深めることができた。

#### （3）夢訪問・夢授業

M i o びわこ滋賀、村田製作所、湖東記念病院、元プロ野球選手、美容組合等、各方面的協力を得て、子どもたちの将来につながる夢授業を行うことができた。



【 6年生 夢訪問 】

#### （4）学習支援

家庭科の裁縫実習で、地域の方に手縫いやミシンの基本的な使い方を継続的に指導していただいた。ミシンの操作等、子どもたちが躊躇ったときにその場の状況に応じて支援していただくことにより、限られた時間で裁縫の技能を身につけることができている。算数科では、個別の教科支援に来ていただき学力補充の取組を進めている。

#### （5）学習環境整備

運動会（6月）に向けたP T A作業には隣接の自治会や老人会に協力を求め、さらに

環境整備作業（8月）には地区の日赤奉仕団にも協力を呼びかけて、P T A会員以外の多くのボランティアを集めて運動場の除草作業を行うことができた。また、D I Yボランティアには、学期はじめに椅子の高さ調整をしていただき、さらに今年度は、特別支援を対象とした学習遊具を作っていただき、その遊び方などを指導していただいた。

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・学校と地域の連携・協働関係が広がりを持つように、校区の自治会や各種団体に広く協力を求めた。
- ・広報を出すことで学校と地域の連携・協働関係の様子が地域にも見えるように努めた。
- ・次年度以降も継続して事業ができるように、過度の負担にならないこと、ボランティアさんの得意な分野で活躍していただけるように各計画を立てた。

### ■ 事業の成果

- ・地域にある「西堀栄三郎記念探検の殿堂」を活用した学習ができ、今後の総合的な学習の時間での可能性を探れた。
- ・地域の歴史的体験をされたボランティアの方から直接お話を聞くことで歴史を実際にあった出来事として理解することができた。
- ・憧れの職業への夢を抱くと同時に自分の将来に向けて今必要なことを考えるなどの契機となった。また各業界で働く人の姿を間近にすることで働くことの意義や目標を持って生きることの大切さを学ぶことができた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・除草ボランティアを広く募ることで、学校の教育環境の現状を知ってもらい、今後につなげることができるとよい。
- ・地域学習の際、ボランティアの方と担任や地域学校協働活動推進員との打合せの時間的余裕がなく細かな詰めが十分できない。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 ■ その他（ 各教諭 ）

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

## 育てよう湖二っ子！（ありがとう 素直な気持ちを大切に）

東近江市	湖東第二小学校 地域学校協働本部	湖東第二小学校 学校運営協議会 : □有 ■無
<b>地域学校協働活動概要</b>		
開始年度：平成 23 年度	地域学校協働活動推進員数：1人	ボランティア登録数：38 人
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	□学びによるまちづくり
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	■学校周辺環境整備	■地域行事への参加
■郷土学習	■その他 [ 放課後子ども教室 ]	■ボランティア・体験活動

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）  
 学 校     地域学校協働活動推進員     行 政     その他 ( )
- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）  
 ・読み語りボランティア（ポンぽんの会）  
     毎月第2・第4火曜日の朝学習の時間に、絵本の読み語りに来ていただいている。10年以上継続して来ていただいている方も多く、子どもたちは大変楽しみにしている。  
 ・音楽ボランティア  
     音楽会に向けて、合奏の補助やピアノ伴奏に何度も来ていただいた。パート練習やリコーダーが苦手な児童を支援していただき、楽器の演奏技能を高めることができた。  
 ・茶道・華道  
     6年生の総合的な学習で、日本の伝統文化を学ぶ時間として、茶道・華道の先生を招き、指導していただいた。作法だけでなく、姿勢を正すことやおもてなしの心も教えていただけてよかったです。この経験をもとに、湖二っ子フェスティバル（生活科・総合的な学習の発表会）でお茶の接待をして、保護者や地域の方に喜んでいただいた。  
 ・夏休み、冬休み宿題教室  
     長期休業中の学習支援として、平成29年度から宿題教室を実施している。地域の社会人や大学生、高校生の協力を得て、学習支援を行っている。
- 実施に当たっての工夫  
 ・年間の見通しと支援実績記録の活用  
 ・保護者からの人材情報及び地域学校協働活動推進員連絡会での情報活用
- 事業の成果  
**学習支援ボランティア**  
 ・保護者、地域の学校理解が深まり、開かれた学校づくりにつながっている。  
 ・子どもの学習を支援していただき、学習意欲の高まりに保護者の喜ぶ声もある。  
 ・地域のボランティアの方々は、子どもたちとつながることによって、エネルギーをもらえると喜んでくださっている。
- ゲストティーチャー**  
 ・学習ニーズに合わせて、専門的な知識や技能を持っておられるゲストティーチャーを積極的に招くことで、教育効果が高められた。  
 ・地域で学ぶ、地域を学ぶ「ふるさと学習」が推進され、地域との結びつきが強くなり、子どもたちに郷土愛が培われている。地域の方からは「子どもたちに分かる説明の仕方が難しい」という声も聞くが、自分の知識や経験を活かせる機会として、やりがいを持っていただいている。
- 環境ボランティア**  
 昨年度に引き続き、前庭の松等の剪定や校舎周辺の草刈りをしてくださる環境ボランティアさんの協力で、前庭や校舎周辺が大変きれいになった。このことも長年取り組んできた成果であるといえる。
- 地域とともにある学校づくり**  
 地域ボランティアの協力が年々充実する中で、地域の方が主体的に学校支援に取り組もうとする気運も高まっている。
- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望  
 地域の方にも学校支援ボランティアをお願いしているが、人材情報が乏しい。
- その他（学校運営協議会との協働等）  
 （湖東第二小学校） <http://www2.higashiomii.ed.jp/kot2sho/>
- コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）  
 校 長     教 頭     地域連携担当教職員     その他 ( 教務主任 )



【読み語りボランティア】

【 夏休み宿題教室 】

## おとなと子どもの「生き甲斐みつけ」「まなび」をつなぐ活動

東近江市	湖東第三小学校 地域学校協働本部	湖東第三小学校 学校運営協議会 : □有 ■無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 25 年度	地域学校協働活動推進員数：1人 ボランティア登録数：28人	
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	□学校行事支援
□子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学びによるまちづくり
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	■学校周辺環境整備	□ボランティア・体験活動
■郷土学習	□その他 [ ]	

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・まち協歴史文化プロジェクトと連携して、2年生の生活科「まち探検」、3年生の社会科「地域学習」において、より広がりと深みを持たせた。地域学校協働活動推進員も積極的に参画して、「愛知井を辿る」を意識した「まち探検」とした。2地区の案内役にプロジェクトのメンバーが加わった。
- ・本年度も読書ボランティアグループ『あめんぽ』が定期的に学校に集まり、パネルシアター や紙芝居の制作、稽古・打合せを実施するなど、熱心な取組状況である。昼休みに定期的に発表活動をしている。「朝焼書」では、一般の読書ボランティアも一緒に毎月の「読み語り」を実施し、中学校への広がりも見せた。
- ・伝統の花壇づくりを継承すべく園芸ボランティアが3年目を迎え、児童にも活発な活動を生み、成果も現れた。
- ・1年生の「秋みつけ」で、今年も「すこやかの杜グランドゴルフ場」の全面的な協力を得て、工作指導などもお世話頂き、さらに深みと広がりのある活動になった。



【『愛知井』とともに】

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・子どもたちが地域のように気づき愛着持てるよう、今年度も「まち探検」でパナソニックホームズ敷地内の古墳見学を行ったり、4年生の学習に繋がる『愛知井』の箇所や、各町ごとの高低差に注意を促して、この地が「扇状地」にあることを意識させたりした。
- ・2年生のまち探検と体験学習として、この地の特産の『清水芋（里芋）』掘りの体験ができた。「植える体験」と「掘る体験」を2回に亘って協力していただき、貴重な体験となった。
- ・6年生の平和学習（歴史学習）で、この地或は昔の写真やその他の戦時中の写真などを提供して、出前授業に至るまでの学習に厚みを持たせる資料提供と打合せを行った。疎開時代の経験を語るゲストティーチャーを今年度も招聘しての授業につなげることができた。
- ・一昨年度末から発行を始めた地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）通信を今年度も月刊で発行した。（通算で38号）※校区（中学校区拡大もあり）に回覧で配布



【 清水芋（里芋）掘りの体験 】

### ■ 事業の成果

- ・読書ボランティアやその他のボランティアなどが、かねてから登録していただいている方の紹介でさらに新たなメンバーが加わり、複数の活動へと広がりを見せた。
- ・担任と地域学校協働活動推進員が連携することで、新たな取組も生まれ、今年度の生活・社会科の授業に深まりが生まれる一助となった。さらに、まち協歴史文化プロジェクトとの連携も生まれて広がりを見せた。
- ・1年生の生活科では、「秋みつけ」や「むかしあそび」で、「湖東地区グランドゴルフ連盟」との連携が生まれ、すこやかの杜での活動に結びついた。
- ・3年「まち探検」では、地元大企業の内部に入らせていただき、古墳の存在と以後の学習への発展も考慮できた。
- ・「愛知井」とともにを発行し続けている成果として、地域とのつながりがより深くなった。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

地域学校協働活動推進員と各担任の連絡調整には放課後のわずかな時間しかない。限られた時間内で、効果的な学習となるような仕掛けとヒントを共有できるようにするために、工夫と検討がさらに必要である。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

「まち協」子育て支援プロジェクトとの連携も模索していく

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員

■その他（ 各担任、労務員 ）

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

## 蒲生の子は蒲生で守り育てよう。地域の教育力を結集し蒲生東小学校を支援しよう。

東近江市	蒲生東小学校 地域学校協働本部	蒲生東小学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 20 年度 地域学校協働活動推進員数：1人 ボランティア登録数：25 人		
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> □部活動支援 <input type="checkbox"/> □学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> □地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/> ■その他〔あかね通学合宿ボランティア〕		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他の（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

「生活科」や「社会科」、「理科」、「総合的な学習の時間」等で、地域教材をいかしたり、体験活動をもとにして学んだりする活動等で、地域住民ならではの経験を生かしたゲストティーイヤーや学習支援・安全支援等を実施している。

今年度は、朝タイムの読み語り、1年生の生活科「さんぽ」「昔の遊び」、2年生の生活科「お店探検」「生きもの探検」、総合的な学習の時間では、3年生の「町探検」「農場見学」、4年生の「福祉シニア体験」「高齢者交流会」、5年生の「田んぼの学習」「児童会フェスティバルのおもちづくり」、6年生の社会科「あかね古墳見学」「平和学習」・理科「地層見学」、あかね通学合宿等への支援をしている。



【2年生 生きもの探陥】

### ■ 実施に当たっての工夫

- 蒲生東小学校地域学校協働本部は、平成 13 年に発足したボランティア「三弓会」を母体に少しずつ支援の輪を広げながら活動を続けている。「できる人が、できるときに、できることを支援する」「人から強制されるのではなく、自発的意思に基づいて行う」「先生や子どもと一緒に活動し、学校をよりよくしていく活動にしよう」「ボランティア自身の経験や専門性をいかそう」という考えを基本に伝統的に支援活動を継続している。
- 毎月定例のボランティア会議では、実施した活動について反省を出し合い、2～3か月先を見通して参加者を募っている。今年度は、この会議で出された意見から、発表会の参観を組み込むことも取り入れた。担任と相手方との接続を細やかに支援できるようにしている。

### ■ 事業の成果

- 地域の方々の専門性や技能を生かした支援、安全への配慮をしていただき、豊かな学習活動を展開することができている。また、地域住民が学校の教育活動に関わることで、地域の絆が深まり、教育力が向上し、郷土愛を培うことにもつながっている。
- 子どもたちは、ボランティアの専門的な知識や技能に触れたり、多様な体験の機会を得ることによって、学習意欲が喚起され、自ら問題を解決しようとする意欲を高めることができている。
- ボランティアの方々とも顔なじみになり、親しみを感じながら安心して活動できている。
- 今年度、学習のねらいに応じた支援の在り方や体験活動のいかし方について検討し、体験活動を通した子どもたちの学習成果物や発表会を参観する機会を増やした。
- 子どもたちの学びを感じながら、蒲生東小学校の地域資源や教育力を活かした特色ある教育活動の推進に寄与していることが、ボランティアの方々の誇りでもあり、郷土愛を高めることにもなっている。



【5年生 田んぼの学習 アイガモ農法体験】

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

地域の良さを感じながら創り上げられてきた蒲生東小学校の学習活動を継承するため、新たなボランティアの方々の参加や育成、等、新たなニーズへの対応が課題となっている。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 □その他の

報告書記入者（ 教頭 ）

## 蒲生の子は蒲生で守り育てよう。

東近江市	蒲生西小学校 地域学校協働本部	蒲生西小学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 20 年度	地域学校協働活動推進員数：1人	ボランティア登録数：28人
<input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等）	<input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	<input type="checkbox"/> 学校行事支援
<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り	<input type="checkbox"/> 部活動支援	<input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり
<input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	<input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動
<input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習	<input type="checkbox"/> その他 [ ]	

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 行 政 その他 ( )

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- 「蒲生の子は蒲生で守り育てよう」というキャッチフレーズのもと、児童は地域の一員であることを念頭に、学校からの要請を受けて活動している。児童の下校時には、各地区の方々により「下校見守り」を継続的に実施している。
- 「田んぼの学校」や「総合的な学習の時間」の取組では、地域団体等のボランティアに協力してもらい、学習指導を行っている。
- 「あかね通学合宿」は、校区の6年生を対象に実施している。自治会公民館等で宿泊し、自治会やボランティアの方々の見守りの中、自立した生活を目指している。地域の特性に応じたゲストティーチャーを招き、地域から学ぶゲストティーチャー授業を通して、「ふるさと蒲生」を意識し、地域学習の場として地域の教育力も高められている。



【あかね通学合宿 ピザ作り体験】

### ■ 実施に当たっての工夫

- 支援の内容に適したボランティアをお願いするようにしている。  
(田植え稻刈り体験、地域の名人、ふるさと学習、森林保全活動等)
- 「あかね通学合宿」は、児童が家庭・学校では体験できないことを経験する場となっている。また、地域住民と子どもたち、地域と学校がつながる機会となるように、ゲストティーチャーをはじめ、自治会の中から広くボランティアをお願いしている。  
また、教職員の時間外の関わりも多かったので、今年度から実行委員会形式の実施に移行し、地域主体の活動になっている。

### ■ 事業の成果

- 「あかね通学合宿」は参加後、児童の家庭から「生活に自主性が見られるようになった。」等の意見が多く聞くことが出来ている。  
地域の方と児童の年齢を越えた繋がりが見られ、様々な交流が生まれている。
- 地域の学習を通して、地域理解が深まると共に、地域の様々な事象について学んでいこうとする態度が育ってきている。



【ボランティアによる読み語り】

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 その他

報告書記入者（ 教務主任 ）

## わたしたちのまちを知ろう

東近江市	蒲生北小学校 地域学校協働本部	蒲生北学校 学校運営協議会 : □有 ■無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度 : 平成 20 年度	地域学校協働活動推進員数 : 1人	ボランティア登録数 : 20 人
■学習支援（授業補助、学力補充等）	□図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	□学びによるまちづくり
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	□学校周辺環境整備	□地域行事への参加
■郷土学習	□その他 [ ]	■ボランティア・体験活動

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他 ( )

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

～校区のまちたんけんで自分たちが住んでいるまちの様子を知る～

3年生の社会科「わたしたちのまちのようす」での単元学習において、自分たちの校区に出かける際に、地域学校協働活動推進員やボランティアの方と一緒に歩いて案内をしていただいた。また、児童の安全確保にも御協力いただいた。

お寺の住職さんには、お寺でまつられているものや建物の中にあるものを紹介していただき、まちの自治会長さんには、これまでに起きた災害やそれに対する対策について教えていただく等、それぞれの地域で詳しく話を聞いていただいた。



【 お寺の住職さんからお話を聞く 】

### ■ 実施に当たっての工夫

- 校区に住んでおられる営農指導員や東近江市ボランティアガイド協会の方に依頼をして詳しく教えていただいた
- 校区全てのまちを探検することで、児童が団地と字の違いについて気づくことができた。

### ■ 事業の成果

校区には大きな団地と5つの字があるが、その全てを歩くことで自分たちのまちと他のまちとの似ている所や違いについて気づかせることができた。本校児童の多くが団地に住んでいるため、字の様子について詳しく話を聞くことはとても貴重な学習になったと感じる。営農指導員や地域学校協働活動推進員の方には、様々な学習でお世話になり、3年生時だけでなく、多くの子どもたちとの継続的な関わりにつながった。



【 神社で行われる祭りについて教わる 】

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ボランティアの方の高齢化及び固定化
- 来年度からの学習指導要領の改訂にあたり「わたしたちの住んでいるところ」の単元にかかる時数が削減されるため、まちたんけんに要する時間の確保・調整
- 地域学校協働活動推進員の交代時の引き継ぎ

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 ■その他 ( 学級担任 )

報告書記入者（地域連携担当教職員）

## 子どもたちにとっての安心・安全な居場所づくりをめざして～人とのかかわりを大切に～

東近江市	能登川東小学校 地域学校協働本部	能登川東小学校 学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 27 年度	地域学校協働活動推進員数：1人	ボランティア登録数：67 人
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等）	<input type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	<input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援
<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り	<input type="checkbox"/> 部活動支援	<input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備
<input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	<input type="checkbox"/> 地域行事への参加	<input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり
<input type="checkbox"/> 郷土学習	<input type="checkbox"/> その他 [ ]	<input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学 校      地域学校協働活動推進員      行 政      その他 ( )

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

【校外学習引率補助】県外・宿泊以外の各学年の校外学習について、安全確保のために引率補助の活動を行っている。

(1年生) 一日校外学習 (2年生) 町探検 図書館見学 電車に乗って (3年生) 地区探検 市内巡り お店・工場見学  
(4年生) 森林環境学習 消防署見学 一日校外学習 (5年生) 園児との交流学習立哨 (6年生) 施設見学

【学習支援・その他】子どもと直接かかわる学習支援を大切に活動している。

(特別支援学級) 苗植え 抹茶体験 (1年生) 苗、球根植え しゃぼん玉・砂遊び 芋掘り おいもパーティー

(2年生) トマト苗植え (5年生) 家庭科ソーイング・ミシン学習・調理実習 図工科製作

(6年生) 家庭科調理実習 ミシンで製作 ◎全校マラソン大会（含試走）の立哨補助

【ゲストティーチャー】人から直接学ぶ学習や交流体験学習を大切にしている。

(6年生) キャリア教育：地域の仕事人に学ぶ 地域（学区内）の仕事人の方にご来校いただき、直接話を聞く学習

能体験学習 日本の伝統芸能を学ぶ体験学習

(2年生) 地域の名人さんを招いての交流体験学習

【環境整備】ボランティアさんからの提案で、校舎内外の環境整備を行っている。

◎玄関・家庭科室環境整備 ミシンメンテナンス等

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・年度当初に各学年と打合せを行い、1年間の見通しをもって、計画的に活動できるようにしている。
- ・「本事業のお知らせと学校ボランティア登録のお願い」文書を年度当初に、学期末に「ボランティアだより」を全戸配付し、保護者、学区民に理解と協力が得られるようにしている。また、職員にも、職員会議や打合せ等で発信（事業の趣旨や学習支援予定等）し、活動が見えるよう心がけている。
- ・推進員のネットワークやボランティアさんのつながりを活用しながら、学校支援の輪を広げるとともに、お互いの交流を大事にしている。（支援後のふり返りの場や、ボランティア会議・交流会の開催）



【特別支援学級 抹茶体験学習】

### ■ 事業の成果

- ・今年度も16名というたくさんの方が新たに登録してくださり、計67名のボランティアさんで様々な支援活動をしていただくことができた。（大学生から80歳代の方まで、幅広い年齢層）たくさんの方とのかかわりが、子どもたちにとっての安心感、満足感、達成感につながり、ボランティアさんに「ありがとう」と感謝の気持ちを伝える子が多くなった。
- ・ボランティアさん自身の居場所にもなり、子どもたちとのかかわりを楽しみにしていただいている。



【6年生 能体験学習】

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・学校が、目指す子ども像との関連を明確にし、そのために教育活動の中にどのように位置づけ、活用・運用していくかの熟議が必要。（職員の共通理解と認識、来年度教育課程が変わることでの本事業の有効活用）
- ・学校をさらにオープンにし、家庭・地域との風通しをよくし、「連携」「つながり」を大事にしたい。
- ・人から学ぶことを大切にし、人とかかわる・つながる力をつける。（教師も）

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校 長      教 頭      地域連携担当教職員      その他

## 「郷土を愛し、ふるさとを大切にする子」をめざして

東近江市	能登川西小学校地域学校協働本部	能登川西小学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 29 年度	地域学校協働活動推進員数：1人	ボランティア登録数：75 人
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	□地域行事への参加	□学びによるまちづくり
■郷土学習	□その他 [ ]	□ボランティア・体験活動

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）  
学 校      地域学校協働活動推進員      □行 政      ■その他（地域教育協議会）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

能登川西小学校校区のコミュニティには、1世紀前からの「共生共育」の歴史があり、11自治会と同窓会、教育推進会の関わりの元、平成 16 年に西小学校校区地域教育協議会が発足した。家庭や地域の教育力を上げるために、活動に賛同するボランティアの定例会から学校支援が始まった。「共生共育」の理念を受け継ぎ、学校の子どもたちが積極的に地域に関わっていくことで、地域と学校が連携・協働し「ふるさとを大切にする子」「地域社会に貢献できる人材」「将来の地域の宝」の育成をめざしている。



【ふれあい福祉訪問】

（1）ふれあい福祉訪問

長年にわたり、6年生が自分の住む地域の一人暮らし老人宅を訪問している。児童は下校時に分かれて集会所などに集まり、地域の日赤奉仕団等の方と連携して数軒の家を訪問する。1回目は、運動会の案内パンフレットと手紙を持って訪れ、2回目は、園芸委員会が育てラッピングしたパンジーの鉢植えを持ち、3年生と共にプレゼントに訪れた。語らい交流することで子どもたちは、お年寄りへの思いやりの心を育てている。



【能登川作業所の訪問】

（2）能登川作業所の訪問

人権教育及び福祉教育の一環として、毎年、本校で開催する「きぬがさ祭り」において、能登川作業所の方と全校児童が交流している。その過程で、4年生は「総合的な学習の時間」の取組において作業所を訪問し、特に交流を深めている。20年の伝統があるこの取組の中で、子どもたちは作業所の方たちと自然に接することができている。

新教育課程になっても、地域に開かれた教育課程を重視し、地域社会との相互連携に努めていきたい。

■ 実施に当たっての工夫

- 年度当初に「本部事業のお知らせと学校支援ボランティア登録のお願い」文書を全戸配布し、学区の方々の理解と協力が得られるようにした。
- 西小学校校区地域教育協議会の定例会と、そのネットワークを活用し、さらに支援者を広げる努力をしている。

■ 事業の成果

- 地域学校協働活動推進員の取組により、持続可能で、発展が期待できる事業となった。また、口コミで地域ボランティアの輪がさらに広がりつつあり、主体的に学校支援に関わってくださる方が増えてきた。
- 人との関わりを通して、子どもたちの体験が「本物」の体験になり、ふるさとが好きになり、地域と自分の関わりを考えながら学校生活を送ることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

これからも持続可能で発展する取組になるように、アンテナを高くして支援者を募り、子どもたちの自主的な活動となるようにしていきたい。

■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校 長      教 頭      ■地域連携担当教職員      ■その他（ 学級担任等 ）

報告書記入者（ 教頭 ）

## 地域に感謝 子ども応援隊

東近江市	能登川南小学校 地域学校協働本部	能登川南小学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 27 年度	地域学校協働活動推進員数：1人	ボランティア登録数：150 人
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	□学びによるまちづくり
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	□地域行事への参加	□ボランティア・体験活動
■郷土学習	□その他 [ ]	

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他 ( )

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### (1) 芝生の校庭

校庭が芝生化されて5年目になる。子どもたちは、ボール遊びだけでなく様々な遊びを楽しんでおり、休み時間には多くの子が運動場で遊んでいる。転んでの怪我がほとんどなく、安心して走り回れるようである。管理については、芝生応援隊の皆さんを中心に、定期的に、芝生刈りや施肥をしていただいている。また、PTAが地域の皆さんを対象として、校庭開放を年3回実施した。就学前のお子さんとその家族等、多くの方が芝生のグラウンドで楽しんでいた。



【 いきいきサロン 】

#### (2) 猪子山活動

本校は、環境学習にも力を入れている。学校のすぐ近くにある猪子山をフィールドとして、年間を通して全学年が活動している。その際のお手伝いとして、保護者ボランティアや、地域のボランティアの方々に引率していただいたり、猪子山の自然や歴史等についてのアドバイスをしていただいたりした。

#### (3) いきいきサロン

地域の会館で開催されている「いきいきサロン」に4年生が参加し、運動会の演技や歌を披露したり、一緒に遊んで交流を図ったりしている。子どもたちにとっても地域のお年寄りにとっても貴重なふれあいの機会となっている。

### ■ 実施に当たっての工夫

芝生応援隊の代表の方に、地域学校協働活動推進員をしていただいている。定期的に学校で集まる組織なので、そこで様々な依頼をすることもできた。また、この事業の良さを教職員に浸透できるよう、協働活動推進員と先生方が話せるように、水曜日の昼休みには、職員室に待機していただいている。4月に年間計画を立て、どの学習で支援を求めるかについて共通理解して取り組んだ。

より多くの方に参加してもらうことを大切にし、校外学習の引率やマラソン大会立哨等、広くボランティアを募集して、気軽に参加できるような場面を工夫した。



【 さつまいもの苗植え 】

### ■ 事業の成果

地域の方と関わりながら学んでいる子どもの姿を見ることにより、教師の意識に変容が見られ、地域の方との連携の大切さを体感している。子どものためにもあり、教師の事務負担の軽減にもつながる可能性を秘めていることから、事業への理解が高まり、担任からボランティアを依頼することが多くなった。

マラソン大会の立哨ボランティアや校外学習の引率等、保護者に対してボランティアの募集を行ったところ、多くの方に協力していただき、子どもの安全面で大変有効であった。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・ボランティアをしていただく方は、地域で何かしらの活躍をしておられる方が多い。新しい方の掘り出しが大切である。先を見据えボランティア組織をしっかりとしたものにしていく必要がある。
- ・保護者ボランティアとして学校行事等に支援してもらっている伝統がある。スクールガードとして長年活躍されている方もいる。協働活動へ高めていくよう、それぞれの組織の連携を強化していく必要がある。
- ・ボランティアをしたいと思っている方が多くいることがわかつてきただ。学校ボランティアの組織をしっかりとしたものにしていくことが重要である。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 ■その他 ( 学年主任等 )

報告書記入者 ( 教頭 )

## 地域と共に歩む学校！ボランティアによる安心・安全の学習サポートと環境整備！

東近江市	能登川北小学校 地域学校協働本部	能登川北小学校 学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 29 年度	地域学校協働活動推進員数：1人	ボランティア登録数：29 人
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等）	<input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	<input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援
<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り	<input type="checkbox"/> □部活動支援	<input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備
<input type="checkbox"/> □地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	<input checked="" type="checkbox"/> □地域行事への参加	<input type="checkbox"/> □学びによるまちづくり
<input type="checkbox"/> □郷土学習	<input type="checkbox"/> □その他 [ ]	<input checked="" type="checkbox"/> □ボランティア・体験活動

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校    ■地域学校協働活動推進員    ■行 政    □その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### ○地域と学校が協働した活動

- (1) 読み語りサークル「大きなかぶ L a さん」による読書活動
  - ・毎月曜日、9名のメンバーが朝自習の時間に読み語りを実施
  - ・1、2学期末に「ちょっと豪華なお話し会」と題して、大型紙芝居やペーパーサート等で読み語りを実施
- (2) 学習ボランティアによる学習指導・学習支援
  - ・社会科…米作り体験（5年生）・家庭科…ミシン・裁縫（5年生）
  - ・総合的な学習の時間…ハウス野菜の栽培（6年生）
  - ・社会科・生活科・総合的な学習…地域学習引率補助（3年生・4年生）
  - ・クラブでの卓球指導・学校行事（マラソン大会）サポート
  - ・PTA総会や学級懇談会時の託児ボランティア
- (3) 環境ボランティアによる校地内環境整備
  - 樹木の剪定や校地の除草等、ボランティアを組織して学校の環境整備を実施
- (4) 登下校時の児童の見守り活動
  - 登校時の安全ボランティアや下校時のお迎え当番の活動



【くりみフェスタ】

#### ○継続的に実施している地域と学校の連携・協働事業

- (1) クリミフェスタ（全校）
  - ・今年で15回目となる学区最大のイベントである。午前中は音楽会、午後は食や遊びのブースを設営し、子どもたちと地域の方々が互いに交流を深めた。（学区地域教育協議会・自治会長・民生委員児童委員・PTA・体育振興会・老人会・婦人会等）
- (2) いきいきサロン（全校）
  - ・夏休みに、各町のサロンに子どもたちが招待を受け、ゲームや遊びを通して高齢者との交流を楽しんだ。
- (3) ほんわかサロン（前半：全校 後半：4年生・5年生）
  - ・5年生の総合的な学習の一環として、約50名の地域の高齢者を学校に招いて、音楽発表、クイズやゲーム、会食等で交流を深めた。（自治会長・民生委員児童委員・デイサービス職員・日赤奉仕団等の協力体制）

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・3年目となる今年度は、校区在住の新たな地域学校協働活動推進員が後を引継ぎ、これまで培った地域のネットワークを生かして、新規のボランティアスタッフを増員しながらの協働活動へと発展した。
- ・日頃ボランティアスタッフは、それぞれ別の活動をしているため、互いに面識がなかった。そこで、夏休みにサポーター交流会を実施した。それぞれの活動の様子について交流したり、成果や課題を確認し合ったりした。このような会合を継続する中で、学校が抱える課題や今後ボランティアとしての取組の方向性等を共通理解し、ボランティアの方々が学校と連携して主体的に学校づくりに参画していただけるようになることを願っている。

### ■ 事業の成果

- ・学習ボランティアの専門的な指導や個別指導により、子どもたちがわかりやすく安心して学習に取り組むことができた。
- ・校外学習の引率や行事のスタッフに協力していただくことで、職員の負担軽減と安全安心の見守り体制の確保ができた。
- ・新規のボランティアの発掘とボランティア名簿の整理ができ、学習のサポート体制や環境整備の継続的な体制が整備できた。
- ・地域学校協働活動推進員がボランティアの方々と連絡調整することで、担任の業務の負担軽減につながった。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・これまでからある組織や連携事業を、今後いかに地域と学校の協働事業へと発展させていくのかが課題である。また、地域と学校が連携してどのような子どもを育てるのか、地域学校協働活動の将来のビジョンをどう描くのか等を話合う機会を設定することが必要である。
- ・学校課題として、登下校の児童の安全確保がある。教職員やPTAの活動だけでは、困難な状況にあり、今後は幅広く地域の方々の見守り体制を構築することが急務である。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長    ■教 頭    ■地域連携担当教職員    ■その他（ 担任・事務職員 ）

報告書記入者（ 校長 ）

## 地域に根ざし、地域と共に育つ学校の創造を目指して

東近江市	玉園中学校 地域学校協働本部	玉園中学校 学校運営協議会 : □有 ■無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 28 年度	地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人）	ボランティア登録数：15人
□学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	□学校行事支援
□子どもの安全確保、見守り	■部活動支援	■学びによるまちづくり
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	■学校周辺環境整備	□ボランティア・体験活動
□郷土学習	■その他 [ ]	

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
  - 学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他（ ）
- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
  - 文化祭における八風太鼓の演奏
    - ・御園地区の八風太鼓を3年生の文化祭活動の一部に加え、地域の八風太鼓の指導者の方に指導をしていただき地域文化を広め、地域の良さを確認する。また、地域で八風太鼓を習っている生徒が、他の生徒に太鼓の演奏を指導することでより地域との関係が深まった。先輩との共演により地域における縦のつながりが深まりつつある。
    - ・文化祭の合唱練習、当日の審査等に地域の音楽専門的な技能をお持ちの方に依頼して活動をしていただいている。
  - 部活動（ソフトテニス、バスケットボール、吹奏楽）の指導において、専門的な技術指導をしていただいている。
  - 性教育や薬物乱用防止、がん教育の授業など、専門的な知識を持ち合わせている地域の教育機関（大学等）の専門家を招聘して授業をしていただく。
  - 平和学習においては、愛東地区の県立平和祈念館のスタッフにお願いして、地域に根ざした平和学習を展開している。
  - 技術科の木工分野にボランティアをお願いして、支援にあたってもらった。
- 実施に当たっての工夫
  - ・地域のコミュニティセンターとの連携をより深くする。
  - ・校区内に在住する中学校教育に必要な人材（ボランティア）の発掘につとめる。また、びわこ学院大学等へボランティアのニーズを積極的に発信する。
  - ・学校だより、PTA広報等を通じて、保護者、地域に発信をしている。
- 事業の成果
  - ・地域学校協働活動推進員を中心に、地域の伝統文化である八風太鼓の演奏に取り組んで三年目を迎え、定着しつつある。地域の文化と学校の融合を考え、今後の中学校と地域の関わりを築いている。
  - ・部活動指導においては、生徒が専門的な技能指導を受けることによって、生徒の健全育成に大いに役立っている。
- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
  - ・ボランティア人材の発掘については、今後、地域のコミュニティセンター等とより連携を深め、継続的に推進していかなければならない。
  - ・今後の「連携・協働」を視野に入れると、学習支援などの単なるボランティアだけではなく、学校と地域がひとつのものを創り上げていく活動を創造することが必要である。生徒全体の活動よりも、生徒会委員会、部活動などの単位が地域で共に活動することによって、地域が活性化するような取組を創造することを展開していきたい。
- コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）
  - 校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 □その他



【 八風太鼓アコール 先輩と共に演 】



【 1年生 技術科 学習支援 】

報告書記入者（ 校長 ）

## 地域とともに活動する聖徳中学校

東近江市	聖徳中学校 地域学校協働本部	聖徳中学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 29 年度	地域学校協働活動推進員数：1人	ボランティア登録数：55 人
<input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等）	<input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	<input type="checkbox"/> 学校行事支援
<input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り	<input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援	<input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり
<input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	<input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備	<input type="checkbox"/> 地域行事への参加
<input type="checkbox"/> 郷土学習	<input type="checkbox"/> その他 [ ]	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・図書ボランティアによる読み語りを始めていただいた。現状では毎月第1月曜日に3年生と特別支援学級→2年生→1年生という順に各学級に出向いていただき、絵本等の読み語りをしていただいた。
- ・部活動支援として、地域の方にバレーボール・ソフトテニス・吹奏楽部・サッカーの4つの部活動において技術指導に来ていただいた。
- ・学校周辺環境整備活動にして、5月から11月までグラウンド周辺の環境整備をしていただいた。
- ・八日市ふるさと絵屏風の作成に、参加させていただいた。



【読書ボランティア活動の様子】



【運営会議の一幕】

### ■ 実施に当たっての工夫

夏休みに運営会議を開き、地域学校協働活動推進員の方に地域からボランティアを募っていただき、各行事にどのような体制で取り組んでいくのかを協議し、参加体制を決定した。

### ■ 事業の成果

- ・読み語りの活動では各学年とも落ち着いた雰囲気の中で活動ができた。朝のあわただしい時間の中で、地域の方々のお話を聞くことにより、静かで落ち着いた学習環境を作り出すことができ、穏やかな一日のスタートを切ることができた。
- ・学校グラウンド周辺の草刈りを中心として、環境整備に取り組んでいただいた。教職員が職務に専念できる時間を確保していただき、生徒もきれいなグラウンドで活動できている。
- ・部活動の支援をいただくことで、技術的にも精神的にもより成長に結びついた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・地域の要望と学校での活用を上手く連携させていくこと。
- ・様々な要望に添った地域人材の掘り出しと確保
- ・開かれた学校を目指し、定期的な運営会議の開催

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（ 部活動等担当教員 ）

報告書記入者（ 校長 ）

## 『力いっぱい！心いっぱい！』地域とつながろうプロジェクト～チーム船岡～

東近江市	船岡中学校 地域学校協働本部	船岡中学校 学校運営協議会 : □有 ■無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 24 年度	地域学校協働活動推進員数：1人	ボランティア登録数：5人
□学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
□子どもの安全確保、見守り	■部活動支援	□学びによるまちづくり
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	■学校周辺環境整備	■地域行事への参加
■郷土学習	□その他 [ ]	■ボランティア・体験活動

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）  
 ■学校 ■地域学校協働活動推進員 □行政 □その他（ ）



【 いのべ万葉フェスタ 】

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- (1)中学校 → 地域へ「つながろうプロジェクト」（地域貢献活動）

○地域清掃活動の実施

「びわ湖の日（7月1日）」に向けて地域清掃が行われる。それに合わせて「自分たちの住む地域を大切にし、気持ちよく生活できるようにする」ことをねらいとして、学校周辺の地域に出向いてゴミ拾いなどの地域清掃活動を行った。

○中学生の地域行事への参加

- ・校区にある2つのコミュニティセンターを通じて、地域行事等にボランティアスタッフや出場者として、延べ人数100名を超える生徒が参加をした。
- ・イベントでのブースの出店やスタッフとしての仕事を通して、地域の方とのコラボレーションを経験した。
- ・各コミュニティセンターで行われた文化祭には、それぞれの地区に住んでいる生徒の作品（書写、美術 各1点）を出品した。

○地域の方とのつながりの中で、「ほんまもん体験」学習

キャリア教育の一環として行っている「ほんまもん（職場）体験」の学習では、担当いただいた地域の方に、学校ではなかなか経験できないことを「力いっぱい！」の関わりで提供いただき、生徒は「力いっぱい！」体験した。

- (2)地域 → 学校へ「つながろうプロジェクト」（教育活動推進員や学校支援ボランティアによる学校教育支援活動）

○ゲストティーチャーを招いての出前授業の実施

ゲストティーチャーの方の豊かな経験や実例をまじえたお話を聞き、キャリア学習、平和学習、地域学習につなげた。

○部活動支援の実施

女子バスケットボール部、ソフトテニス部において、外部指導者に継続して指導を行っていただいた。

■ 実施に当たっての工夫

- (1)中学生の地域行事・ボランティアへの参加を推進するための工夫

○年度当初に学校とコミュニティセンターで地域行事の日程調整を行い、中学生が参加しやすいように努めた。

- ・学校行事（部活動大会、テスト前など）日程と地域行事日程との調整を行なった。
- ・特に休日の学校施設の開放及び使用については、部活動の練習計画と日程調整を行った。

○地域行事ボランティア参加の呼びかけを全校体制で行い、積極的に参加できるような雰囲気づくりに努めた。

- ・担当教員が、啓発のための掲示物を作成して周知を図った。
- ・生徒間でも相互に働きかけができるように声の掛け合いを行った。



【 平田地区文化祭 】

- (2)地域の教育資源を有効に活用するための工夫

○学校と地域学校協働活動推進員とが連携を密にとり、学校の要望を的確に伝え、適切な人材を適切な時期に紹介いただけるよう、管理職と担当教員、地域学校協働活動推進員の交流の機会を定期的に持った。

■ 事業の成果

- ・地域の方や保護者が学校教育にかかわっていただく機会を積極的に設定することで、中学校の教育活動への理解が深まり、地域に根ざし、地域とつながり、地域に支えられた学校づくりを展開することができた。
- ・自分の住んでいる地域の良さを知り、地域の一員として様々な活動に取り組み、参画することは、地域に誇りを持つことにもつながり、「自尊感情の育成」を支える要素となっている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

地域学校協働活動推進員が学校の要望を的確に把握し、タイムリーに適切な地域教育資源を紹介していただくために、担当教員と十分な情報交換等の時間を確保できるよう心がけたい。今後、さらに連携を密に取り、効果のある教育活動につなげていきたい。

- その他 《 船岡中学校ホームページURL 》 <http://www2.higashiomii.ed.jp/funachu/>

■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他

報告書記入者（ 校長 ）

## 学校と地域の力で環境を校地内の環境を整える活動

東近江市	永源寺中学校 地域学校協働本部	永源寺中学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 28 年度 地域学校協働活動推進員数：1人 ボランティア登録数：15 人		
<input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 [ ]		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 行 政 その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### 校地内環境整備

本校の労務員が日々精力的に校地内の樹木を伐採・選定し、本校職員が整備しているが、地域にも発信して地域と学校とが連携する活動とした。

地域の方の動きは次の通りである。

- ・学校評議員会の方が中心となり、中庭に以前建てられて古くなった東屋を移築した。
- ・相谷里山会の方とともに本校の教職員が、昨年度に引き続き、校舎周辺の樹木の剪定や伐採など、学校だけでは対応できない部分で御協力いただき、光が差し込む明るい校舎になった。
- ・相谷里山会の方が地域の方とともに、学校の前庭にある樹木の剪定や伐採を行った。
- ・地域の方に校地まわりの除草作業を自主的に取り組んでいただいた。

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・日頃より、管理職、労務員、事務職員、地域学校協働活動推進員が連携し、校地内の環境整備について話し合い、主に労務員が整備をしているが、学校の内外に向けて校長より情報発信をしている。
- ・活動の実施に際して、目的の共有や、配慮を要すること、当日までの準備等について事前の打合せを丁寧に行うことで、充実した取組となった。
- ・企画の段階からできるだけ、学校と地域の両方に有益なものとなるように配慮している。

### ■ 事業の成果

学校の教職員のみでは円滑に行うことができない活動が実施できた。特に広い校地内に生い茂っている樹木の中には、立ち枯れしていて危険なものや、校舎に接して光を遮ってしまうものがあるため、技術や機械が必要となり、学校だけでは処理することができなかつた。

今回も相谷里山会の御協力を得るとともに地域の方も御協力いただき、以前とは全く異なるような光差し込む明るい校舎、きれいな校地となった。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

展望について、校長の方針により具体的な活動が変わることは、致し方ないと思う。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 教 頭 地域連携担当教職員 その他



【校地内環境整備】

報告書記入者（ 校長 ）

## 地域とともに育む読書活動

東近江市	五個荘中学校 地域学校協働本部	五個荘中学校 学校運営協議会 : □有 ■無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 28 年度	地域学校協働活動推進員数：1人	ボランティア登録数：16人
□学習支援（授業補助、学力補充等）	■ 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■ 学校行事支援
□子どもの安全確保、見守り	■ 部活動支援	□学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり □ボランティア・体験活動
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	□地域行事への参加	
□郷土学習	□その他 [ ]	

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### ・図書館開放支援

本校は、平成 27 年度の校舎改築により、学校図書館を兼ねた公立図書館（東近江市立五個荘図書館）が併設される全国的にもめずらしい施設である。原則として週3日、昼休みに図書館を開館している。休館日である月曜日・火曜日以外は、一般利用者とともに子どもたちが図書館で過ごすことから、図書館の利用マナーをはじめ、生徒と一般利用者が自然なかたちでふれあい、多くの本に親しめるようにボランティアの方々に見守りを続けていただいている。

#### ・読み語り

本校では、年間を通して毎朝 10 分間の朝読書を実施している。その時間帯に月 1 回（第3月曜日）のペースでボランティアの方々に読み語りを実施していただいている。月ごとに学年を変え、クラス数に応じて 1 回につき 3 ~ 4 名の方に来校していただいている。

#### ・部活動支援

剣道部の指導をお願いしている。専門的な技術をはじめ、礼儀、作法等も指導してくださり、生徒たちは意欲的に取り組んでいる。本年度は個人ではあるが近畿大会出場も果たしており、よい結果につながっている。



【 2年生 読み語りの様子 】

### ■ 実施に当たっての工夫

図書館の開放支援に関しては、地域学校協働活動推進員のアレンジにより、毎学期、市立図書館の職員（館長・ 司書）、学校図書館司書、中学校管理職、図書館担当教諭と図書館ボランティアからなる開放支援のための会議をもち、日程調整や支援の仕方等について共通理解を図っている。

部活動支援についても、中学校顧問と指導者代表とが密に連絡を取りながら、指導方法や練習日程について調整を行っている。



【 剣道部指導の様子 】

### ■ 事業の成果

図書館スタッフに加えて多くのボランティアの方々に、温かく見守っていただけたおかげで、マナーよく、けじめある態度で図書館が利用できている。また本の貸出冊数も増加傾向にある。本校は、「朝読書」の取組をはじめて 16 年目であり、各クラスでの朝読書達成率も 90% を越え、生活の中に読書が定着している。さらに学校支援地域本部設立以前からお世話になり、この事業で継続していただいている読み語りについては、子どもたちが心を落ち着けて一日をスタートさせる「朝読書」のアクセントとして貢献していただいている。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

地域学校協働活動推進員の的確な運営により目立った課題もなく、本校生徒にとってたいへん有意義な事業となっている。部活動指導においても必要に応じてお願いしているところであり、今後とも学校、推進員、ボランティアの三者で、しっかりと情報交換し、コミュニケーションをとりつつ、さらに事業を進めていきたい。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

五個荘地区は、「地域の子どもは地域で育てる」をキャッチフレーズに、青少年育成に関して熱心な地域であり、地域学校協働活動推進員をはじめ、多くの地域の方々に支えながら、日常活動や防災学習等の行事に協力していただいている。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 □その他

報告書記入者（ 教頭 ）

## 地域の力で、ふるさと愛東が好きな愛東中生を育てよう！

東近江市	愛東中学校 地域学校協働本部	愛東中学校 学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 29 年度	地域学校協働活動推進員数：1人	ボランティア登録数：7人
<input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等）	<input type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	<input type="checkbox"/> 学校行事支援
<input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り	<input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援	<input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり
<input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	<input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動
<input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習	<input type="checkbox"/> その他 [ ]	<input type="checkbox"/> 地域行事への参加

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 行 政 その他 ( )

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

地域の素晴らしい自然、歴史、産業、取組、施設等を知り、ふるさと愛東が好きな子どもたちを地域と学校が協力して育てていく取組を進めた。

- ・「総合的な学習の時間」において、地域の人、もの、事業所、施設を活かした地域学習、環境学習、平和学習、職場体験学習、福祉体験学習を全学年で実施した。
- ・生徒会のボランティア活動として、地域の環境美化活動、保育園と幼稚園への訪問ボランティア活動を行い、地域活動の支援を行った。



【 生徒会花植えボランティア 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・「総合的な学習の時間」の実施に関しては、事前に会議を開き、学校の情報と地域の情報を交流し合い、スムーズに学習が進められるようにした。
- ・定期的に地域学校協働活動推進員と校長が話合いを持ち、学校の困っていること、地域が学校に望んでいることの情報交換を行った。
- ・1学期に校区の小中学校と校区の地域学校協働活動推進員が集まり、情報交換を行った。

■ 事業の成果

- ・全学年で、ふるさと愛東に関わる「総合的な学習の時間」の授業実施により、生徒たちに郷土愛が芽生えるとともに、地域の方々に生徒の様子を見ていただいたり、学校の学習内容を理解していただけた。
- ・学校やP T A活動ではできない環境整備ができた。
- ・生徒も地域の一員としてボランティア参加し、地域活動の意義を学ぶことができた。



■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・学校行事や部活動との関係から、日程調整が難しい。
- ・地域学校協働活動推進員と連携し、また学校HP等で学校の活動について発信・周知し、部活指導やゲストティーチャーなどに携っていただける地域の人材を発掘していきたい。
- ・学校職員と地域学校協働活動推進員、ボランティアの方々との交流が進むと、地域学校連携・協働活動が充実する。

■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 その他

報告書記入者（地域連携担当教職員）

## 地域と連携した学校作り

東近江市	湖東中学校 地域学校協働本部	湖東中学校 学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 29 年度	地域学校協働活動推進員数：1人 ボランティア登録数：12人	
<input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等）	<input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	<input type="checkbox"/> 学校行事支援
<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り	<input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援	<input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり
<input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	<input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備	<input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加
<input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習	<input type="checkbox"/> その他 [ ]	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学 校 地域学校協働活動推進員 行 政 その他 ( )

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- (1) 図書ボランティアによる絵本の読み語りを行っている。毎月1回、木曜日に3年生→2年生→1年生→特別支援学級という順に各学級に出向いていただき、絵本の読み語りをしていただいた。また、3年生については、地域学習を取り入れていただいた。
- (2) 行政(青少年育成市民会議・保護司会・PTA)と連携し、登校時の見守りを支援していただいた。
- (3) 部活動支援として、卓球・吹奏楽部・バスケットボールの3つの部活動で地域の方に来ていただき指導していただいた。
- (4) 湖東ふるさと祭り等に、中学生ボランティアとして、オープニングセレモニーを担当したり、防災食レシピを振る舞ったり等、ふるさと祭りを盛り上げる機会を提供していただいた。
- (5) コトナリエのLEDの飾り付けに、参加させていただいた。



【読み語りボランティア活動の様子】

### ■ 実施に当たっての工夫

- (1) 地域学校協働活動推進員の方に、地域からボランティアを募っていただき、「読み語りについて」の運営会議を行った。
- (2) 地域学校協働活動推進員とまちづくり協議会が連動し、生徒会と懇談しながら防災の意識向上につなげた。



【地域行事で防災食を振る舞う生徒会役員】

### ■ 事業の成果

- (1) 絵本の読み語り活動では、心温まる話を通じて一日を温かい気持ちでスタートでき、読書活動への関心を高めることができた。また、地域学習では、地域の歴史についての学びを深め、地域への関心を深めることができた。
- (2) 地域行事に参加することで、地域を支える多くの方々と接し、楽しみながら地域への貢献について考える機会を持てた。
- (3) 部活動の支援をいただくことで、技術的にも仲間との協力関係においても生徒の良い成長につなげることができた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- (1) 生徒会との連携により、地域の要望と学校での活用を上手く連携すること
- (2) 様々な要望に添った地域人材の掘り起こしと確保
- (3) 開かれた学校を目指し、定期的な運営会議の開催等

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校 長 教 頭 地域連携担当教職員 その他

報告書記入者（ 校長 ）

## 「地域の力で豊かに育まれる蒲生の子どもの笑顔」

東近江市	朝桜中学校 地域学校協働本部	朝桜中学校 学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度 平成 20 年度	地域学校協働活動推進員数：1人	ボランティア登録数：2人
<input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等）	<input type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	<input type="checkbox"/> 学校行事支援
<input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り	<input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援	<input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備
<input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	<input type="checkbox"/> 地域行事への参加	<input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり
<input type="checkbox"/> 郷土学習	<input type="checkbox"/> その他 [ ]	<input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学 校 地域学校協働活動推進員 行 政 その他（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・部活動支援  
外部コーチ（教育活動推進員）の方に剣道部とサッカーチームの指導をしていただいた。
- ・地域人材育成  
職場体験の実施にともない、事前指導の講師選び等について、地域学校協働活動推進員との打合せを行った。



【 部活指導の様子 1】

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・部活動支援  
外部コーチ（教育活動推進員）と担当の部活動顧問が相互に連絡調整を綿密に行い、円滑に部活指導が実施されるようにした。
- ・地域人材育成  
職場体験学習の内容に沿った支援ができるように、講師選び等について、細かな意見交換を行った。

### ■ 事業の成果

- ・部活動支援  
外部コーチ（教育活動推進員）の優れた指導により、技術面・精神面において、生徒の能力が向上した。
- ・地域人材育成  
次年度の職場体験実施に向けて、地域学校協働活動推進員との打合せを通して地域人材活用の計画を立てることができた。



【 部活指導の様子 2】

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・部活動支援
  - (1) 指導の時間がさらに確保できると望ましい。
  - (2) 働き方改革を踏まえて、さらに多くの部活動において同様の指導が実施されることが望まれる。
- ・地域学校協働活動推進員の方とは、職場体験のマナー講師等について相談にのっていただいた。今後は、部活動の支援だけにとどまらず、多くの教育活動において、地域と連携協力していきたい。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校 長 教 頭 地域連携担当教職員 その他（ 部活動顧問 ）

報告書記入者（ 教頭 ）

## 地域学校協働活動推進員の活躍で増加した地域人材 地域人材の増加で深まった地域との連携

東近江市	能登川中学校 地域学校協働本部	能登川中学校 学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 29 年度 地域学校協働活動推進員数：1人 ボランティア登録数：16人		
<input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等）	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	<input type="checkbox"/> 学校行事支援
<input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り	<input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援	<input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり
<input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	<input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備	<input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動
<input type="checkbox"/> 郷土学習	<input type="checkbox"/> その他 [ ]	<input type="checkbox"/> 地域行事への参加

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学 校      地域学校協働活動推進員      行 政      その他 ( )

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- (1) 能登川地区まちづくり協議会が主催している、駅前に設置されているプランターの花植活動に、例年、本校生徒も参加している。花植は春と秋の2回行い、その後の水やり等の世話は、生徒が当番を決め、学校への登校前に行っている。夏休みや冬休み中も欠かさず行っている。本校では、この取組を「フラ輪一・プロジェクト」と称し、今では、生徒会事業の一つに位置づけ、引き継がれているイベントとなっている。  
昨年から、この取組に地域学校協働ボランティアの方々も加わり、一緒に作業を行った。その結果、地域学校協働活動推進員の提案により、この取組を中学生だけではなく、中学校校区の小学校や高等学校にも呼びかけ、地域全体の取組に広げていく方向で進行している。
- (2) 生徒会図書委員会が、昼休みの図書室運営を行っている。図書室を開けたり、閉めたりするのに時間を費やし、生徒が図書室を利用できる時間は10分程度であった。そこで、本年度からボランティアの方が運営に参加し、委員の生徒と共に本の貸し出しや図書室の開閉を行っている。その結果、15分間の昼休み時間をフルに活用して、本の貸し出しを行うことができた。



【 駅前での花植活動 】

### ■ 実施に当たっての工夫

- (1) まちづくり協議会のメンバーが、地域学校協働ボランティアを兼ねることで、連携を密にして取組を行う。
- (2) 小学校と中学校の地域学校協働活動推進員が連携することで、地域全体に広げて取組を行う。
- (3) 図書委員会担当教員とボランティアさんとの連携を密に行い、運営時間の変更や閉室日の確認を行うことで、円滑な取組にする。



【 図書室運営活動 】

### ■ 事業の成果

- (1) まちづくり協議会と学校との間に、地域学校協働活動推進員が入ったことで、きめ細かい打合せが効率的に行えた。また、中学校だけの協力体制から小学校や高校を巻き込む事業へと広がりを見せた。
- (2) 短い昼休み時間の全15分間を本の貸出時間に充てることができた。また、委員の生徒と共に運営することで、生徒自身も地域とのつながりを感じることができた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- (1) どの事業の、どの場面で、どのようなボランティアさんが必要なのか。学校行事等を見直すこと。
- (2) 専門的な知識を有するボランティアの場合、人材発掘に時間がかかったり困難であったりすること。

### ■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校 長      教 頭      地域連携担当教職員      その他

報告書記入者（ 教頭 ）

## ふるさとは笑顔いっぱい！ 元気いっぱい！ 「はびろの里コミュニティ」

米原市	活動名 : 柏原学区学校協働本部	柏原小学校 柏原中学校 柏原保育園	学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<b>地域学校協働本部概要</b>			
開始年度 : 平成27年度	地域学校協働活動推進員等数 : 2人（兼務1人）	ボランティア登録数 : 30人	
□学習支援員を配置した学習支援（本部内地域未来塾）	□地域未来塾以外の学習支援（授業補助、学力補充等）		
□図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援	■子どもの安全確保、見守り	■部活動支援
■学校周辺環境整備	□学びによるまちづくり	□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	
■地域行事への参加	■ボランティア・体験活動	■郷土学習	□その他 [ ]

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校 ■地域学校協働活動推進員 □行政 ■その他

### ■ 地域と学校が連携・協働した活動（特徴的な活動）

#### ① 小中連携・児童生徒の交流の促進

- ・柏原中学校の体育大会に小学生を招待

中学生との交流や中学校のよいところを知ってもらうことを目的に、柏原小学校の児童4年生から6年生を対象に希望をとり、100m競争や生徒会種目を中学生に混じって参加。（今年度は10名の参加）地域学校協働活動推進員の方には、会場周辺のパトロールや写真撮影を担当してもらった。

- ・保育園でのクリスマスコンサート

保育園に吹奏楽部が出向いてコンサートを開いた。園児だけでなく小学生や保護者も参加し演奏を楽しんだり、一緒に歌を歌ったりした。部活動の支援員の方も演奏に参加。

#### ③ 地域との交流の推進

- ・柏原小学校では1,2年が自治会館で地域のお年寄りの方達と一緒に歌、レク交流を深めた。この交流の世話役を地域学校協働活動推進員が担当した。また全校児童が地域探訪「はびろウォーク」に参加し縦割りの班で地域を探訪し、地域にまつわるお話を聞くだけでなく、歩いている途中で出会った地域の方と握手をして交流する取り組みを実施した。地域学校協働活動推進員は、ポイントごとに立哨を担当した。

- ・柏原中学校「はびろの里未来プロジェクト」

学校と地域が連携し3つのプロジェクトを実施した。

プロジェクトX 「お寺DE live」地域のお寺をお借りして中学生が企画、運営したライブ（よさこい、マジックショー、ヒップホップダンス）を実施し地域の方に参加してもらった。

プロジェクトY 「かまどベンチを活用した炊き出し防災訓練」中学校のかまどベンチ2基を使用し、炊飯とカレー作りを実施し地域の方に試食してもらった。

プロジェクトZ 「中山道コスプレウォーク」学区内の中山道を中心に8キロのコースを子どもたちが作成した衣装で保護者、地域の方とウォーキングを楽しんだ。支援員、ボランティアの方に立哨をお願いした。



【柏原中学校 お寺 De Live の様子】

### ■ 実施に当たっての工夫

#### ① 「学校運営協議会」での熟議

本部事業の推進・実施にあたっては学校運営協議会で様々な議論を重ね合意形成を行うことでより中身の濃い取り組みができる。

#### ② 学校通信の全戸配布

毎月1回学校通信（A4裏表刷）を発行し、各校の様子を柏原学区全戸に発信し活動の情報提供を行っている。

### ■ 事業の成果

保育園、小学校、中学校の連携および地域との連携の要として、この事業を展開することで地域全体の風通しがよくなり、課題や成果が把握しやすく、同步調で取り組みを進めることができた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の連携・協働活動実施に向けて

将来を見据えて、地域学校協働活動推進員の組織をどのように再編成していくのか、また事業がマンネリ化しないようにするための方策を検討する必要がある。

### ■ その他（学校運営協議会との連携等）

コミュニティ・スクールを来年度から小中合同で展開することでさらなる小中の連携が図れるが、保育園との連携がおそらくにならないように配慮していかたい。

### ■ コーディネーターと協同する学校関係者（該当するすべてに■印）

■ 校長 ■ 教頭 ■ 地域連携担当教職員 □その他 ( )

報告書記入者 ( 校長 )

## 『子どもは地域の宝』～地域みんなでふるさとを愛する子どもを育てよう！～

米原市	活動名：河南学区地域学校協働本部	河南小学校、河南中学校 学校運営協議会：■有 □無 かなん認定こども園 有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 27 年度 地域学校協働活動推進員等数：4 人（兼務 2 人）ボランティア登録数：90 人		
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	■部活動支援	■学校周辺環境整備
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	□地域行事への参加	□学びによるまちづくり
■郷土学習	□その他 [ ]	■ボランティア・体験活動

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学 校 ■地域学校協働活動推進員
- 行 政 ■その他（河南学区学校運営協議会）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

本学区は、中山道の醒井宿と番場宿を含む宿場町であった地域のため、歴史や文化の史跡が多く、小中学校ともに地域学習に取り組んでいる。その活動を、地域活性化を目的に活動している「番場の歴史を知り明日を考える会」等の活動に支援をいただき実施していることや、小学校でのふれあい広場では、地域サロンの方々に協力をいただきながら様々な取組を行っている。また、本年度からは「河南学区教育フォーラム」を河南学区運営協議会が主催となり、その場で地域コーディネーターから学校へのボランティア参加の呼びかけなども行っている。

### ■ 実施に当たっての工夫

○講師やボランティアは、できるだけ河南学区にお住まいの方々にお願いするように、地域コーディネーターが人材発掘に努めた。  
○「まいばら教育フォーラム in 河南 2019」において、本事業の進捗状況を報告するとともに、実際にボランティアに参加された方々にインタビューをして、ボランティアスタッフの拡大につなげた。

### ■ 事業の成果

○かなん認定こども園の「農園の野菜栽培」においてボランティアの方から季節の野菜作りの助言をいただいたり、絵本の整理していただいたりした。  
○河南小学校の「ふれあい広場」では、地域のサロンの方々にご協力をいただき、子どもたちは折り紙や竹とんぼ、将棋、カラム等で楽しいひとときを過ごしている。ボランティアの方々からも、子どもたちと触れあうことで元気がもらえるなどの感想をいただいた。  
○河南中学校の「書き初め会」では、書道に長けた地域の方にご指導していただいた。また、家庭科のミシン縫いの授業では、教員 1 人では、なかなか目の届きにくいところを、数名のボランティアに学習支援をしていただくことができた。  
○11 月 6 日に開催した「まいばら教育フォーラム in 河南 2019」では、地域コーディネーターが取組内容について報告して地域学校協働本部事業の理解を深めてもらえた。また、ボランティアに参加した方にインタビューをして、教育フォーラムに参加されている地域の方々へのよいアピールとなった。さらに、地域コーディネーターからは、「読書」のよさを地域の方々にアピールすることができた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

○各校園とも地域コーディネーターとの窓口が校園長に偏りがちなところがある。校園の校務分掌等で「学校・地域コーディネート担当」にその職務をしっかりと任せるようにしなければならない。  
○地域からの支援だけでなく、中学校では「地域を愛し、地域から愛される生徒の育成」を重点目標にし、できるだけ地域行事等へのボランティア活動に重点を置いている。今後も進んでボランティア活動に参加できる呼びかけを進めたい。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

昨年度、河南中学校で立ち上げた学校運営協議会をもとに、本年度は河南学区学校運営協議会を立ち上げた。昨年度からの「花いっぱい」の活動を「かなん学区・笑顔いっぱい花いっぱい活動」として引き継ぎ、河南学区学校運営協議会と協力して進めることができた。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員
- その他 ( )



【河南小学校 ふれあい広場】



【河南中学校 家庭科学習支援】

## ふるさと伊吹とともに歩み、ふるさとを愛する心を育てる地域協働活動

米原市	活動名：伊吹山学区学校支援地域本部	伊吹山中学校 春照小学校 伊吹小学校 学校運営協議会：■有 □無 いぶき認定こども園 有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 28 年度 地域学校協働活動推進員等数：4 人 ボランティア登録数：60 人		
■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り ■部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり □地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他〔 〕		

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）  
 ■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他（ ）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1) 地域と連携・協働して実施した総合的な学習の時間の取組

昨年度から、中学校の学校運営協議会と連携・協働して、「北国脇往還ふるさとウォーク」を計画・実施している。この取組は、生徒が、地域の名勝や史跡が並ぶ魅力的な道「北国脇往還」を通った昔の人たちが、どのような景色を眺めながら歩いたのか、過去に思いをはせながら、ふるさと伊吹のよさを体感する目的で行うものである。



【北国脇往還ふるさとウォーク】

学校運営協議会では、計画の段階から、生徒が安全に活動できるよう慎重に内容を検討するとともに、より多くの地域の方々に生徒を応援していただけるよう検討を重ねた。

これらの検討の結果、事前には、のぼり旗の設置やポスターの掲示等、地域の方々への広報活動及び協力要請、危険箇所の確認や下草刈り、PTA や関係機関、報道機関との連絡・調整などに協働して取り組むことができた。当日は、気持ちのよい秋晴れのもと、学校運営協議会委員の皆さんに随行していただき、安全確認、生徒への励ましの声かけ、広報用動画の撮影をしていただいた。また、今年度は学校運営協議会の発案で、PTA や健康推進員伊吹支部の皆さんに協力していただき、生徒の昼食を用意していただいた。街道を利用した昔の人の気持ちに寄り添うために、おにぎりの炊き出しをしていただいた。昼食時には、健康推進員の皆さんから、バランスのとれた食事の大切さについて教えていただくことができた。

ふるさと伊吹の大切な名勝や史跡が並ぶ魅力的な道「北国脇往還」の記憶を伝承していくためにも、今後も、地域の方々の応援をいただきながら推進していきたいと考えている。



【伊吹小学校での伊吹フェスティバル】

(2) 学習・活動支援

小学校では、地域コーディネーターが、ゲストティーチャーとして総合的な学習の時間の学習に参画し、薬草の歴史の説明や薬草づくり体験等の児童参加型の学習プログラム「伊吹フェスティバル（地域の部）」を計画・実施及び活動支援を行った。中学校では、地域の大学生が、学校行事の運営ボランティアとして生徒の学習・活動支援を行った。また、地域の元教員が、中学3年生を対象に小論文対策講座の講師を務め、学習支援を行った。

(3) 環境整備・栽培ボランティア

自然豊かな各校園の敷地は草木がよく茂り、除草作業が大変であることから、地域コーディネーターが中心となって、地域の有志者に声をかけていただき、複数回、各校園すべての校地の除草作業を行った。また、地域の人と児童・生徒が協働し、花壇やプランターに花の植えつけ等の栽培活動を行った。このように、季節ごとに花が咲き、整備された美しい学校環境づくりに貢献していただいた。

(4) 伊吹地区教育フォーラム

伊吹中学校区では、毎年、園及び小中連携事業の一環として、校種を超えて教員がともに学び合う「伊吹地区教育フォーラム」を実施している。今年度は、「地域と学校でともに子どもを育てていこう」というテーマにそって、春照小学校で授業公開を行い、こども園や小・中学校教員が参観した。続いて、園及び小中学校教員がともに学校・園防災意識を高めるため、社会福祉協議会伊吹支部の協力のもとで「避難所運営ゲーム」を行った。そして、東日本大震災での学校・園の被害や災害に対する対応について意見交流を行い、非常災害に備える具体的方策について検討した。

### (5) 読書、安全ボランティア

小学校では、毎週水曜に読書ボランティアに来ていただき、「本とのすてきな出会い」になるような読み聞かせや図書館整理をしていただいた。また、子どもたちの登下校の安全を見守っていただいた。

#### ■ 実施に当たっての工夫

各活動の計画段階から、学校と地域が協働して実施できるよう、地域コーディネーターや地域コーディネーターを担当する教員が中心になって内容を検討している。また、学校と地域双方にメリットが生まれるよう配慮しながら行っている。

#### ■ 事業の成果

これらの活動から、地域との連携による「豊かな心」と「ふるさと愛」を育む取組の充実が図られている。こども園の発達段階から、小学校、中学校段階へと継続して、ふるさと伊吹を愛する気持ちの醸成を図る取組を進めてきたことにより、中学校では、ふるさと伊吹を愛する気持ちが年々生徒に浸透してきている。生徒アンケートにおいても、「ふるさと伊吹への愛着や関心は高まった」と肯定的に回答した生徒は、1年生で79.1%、2年生で76.8%、3年生で81.5%にのぼった。また、地域行事や地域の福祉施設等のボランティア活動に積極的に参加する生徒は、中学校全校生徒150名に対して延べ460名を超え、地域の人々に支えられて学んでいくことで、地域への愛着が一層深まってきたのではないかと考えている。また、多様な地域の人々と協働する中で、子どもの社会性が育まれていくのではないかと期待している。今後は、学校での学びを地域で活用したり、地域での学びを学校生活の中で活用したり、学校を含めた地域社会全体で子どもを育てようという意識が高まっていくことを期待している。

#### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- 地域と連携・協働した活動の中で、中学校区の園・小中学校の連携をさらに推進していく。
- 地域コーディネーター、学校と地域を結ぶコーディネート担当の資質向上をはかり、学校・地域双方にとってよりよい活動になるよう仕組んでいく。
- 中学校区の実情に応じた取組を円滑に推進するとともに、今後に向けて、学校と地域が互いにパートナーとして双方向に連携・協働する関係づくりの構築をめざす方向性を学校として明確に示していく。
- 子どもたちが、学校での学びを地域で活用したり、地域での学びを学校生活の中で活用したりなど、学校を含めた地域社会全体で子どもを育てようという意識が高まっていけるよう学校が主体となって地域に働きかけていく。

#### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

- 既存の行事においても、学校運営協議会で協議しながら進めていく予定である。

#### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長      ■教頭      ■地域連携担当教職員      □その他（ ）

報告書記入者（ 教頭 ）

## 地域人材を生かした特色ある活動によって、米原を愛し米原に貢献できる生徒の育成

米原市	活動名：米原学区地域学校協働本部	米原中学校 米原小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 まいばら認定こども園 有の場合 → 学校運営協議会との協働： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 28 年度	地域学校協働活動推進員等数：2 人（兼務〇人）	ボランティア登録数：90 人
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	■部活動支援	■学校周辺環境整備
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		□学びによるまちづくり
■郷土学習	□その他 [ ]	□地域行事への参加
		□ボランティア・体験活動

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
  - 学 校    ■地域学校協働活動推進員    □行 政    □その他（ ）
- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
  - (1) 防災かまどベンチの活用
 

平成 29 年度設置した 6 基の防災かまどベンチを令和元年 10 月 20 日に開催された米原市総合防災訓練で活用した。本訓練では、本校生徒も支援をする側に回り、市の職員に混じってトイレを作ったり、オクタゴンを作ったり、食事のお世話などをしたりした。その中で、かまどベンチで防災カレーを温めたり、農園で収穫した芋を焼いたりして、避難者にふるまつた。また、各学年が農園で野菜等を育てているが、かまどベンチを活用した収穫祭ではお世話になっている地域の人にも参加いただいた。
  - (2) 総合的な学習の時間での指導
 

各学年の総合的な学習の時間に、地域学習として、さつまい、ネギ、ショウガ、ダイコン、タマネギ等の栽培を行った。農業指導員をしておられる方や地域で農業をしておられる方に来ていただき、トラクターで畑を耕してもらったり、植え付けや収穫の指導をお願いしたりした。また、収穫祭では調理、試食を通して、生徒間の相互交流ができた。
  - (3) 中庭テーブル・椅子づくり
 

12 月 7 日には中庭で生徒や生徒と地域住民が交流するためのテーブル 3 台と椅子 24 脚を地域ボランティア 9 名、保護者 2 名、生徒 20 名、職員 9 名で製作した。新生徒会は、そこを「HAPPY PLACE」と名付け、今後中庭での交流の場として利用する予定である。
  - (4) 米中フェスティバル文化の部での地域作品展を開催
  - (5) 夏休みの親子愛校作業への参加と環境整備作業
- 実施に当たっての工夫
  - 2 名のコーディネーターをそれぞれ中学校担当、こども園・小学校担当として分担し、学校との連絡調整を密にした。
  - 中学校内に地域支援本部室を設置し積極的に活用するとともに、コーディネーターと地域ボランティアと学校職員との食事会を 2 回開催し、意見交換を行った。
- 事業の成果
  - 前年度のかまどベンチに引き続き、中庭に交流用のテーブル・椅子を製作することで、学校・家庭・地域が協働して学校運営を行う機運が高まった。
  - 生徒や職員が地域の方と接する機会が増え、お互いのふれあい、交流が自然に行える雰囲気が醸成されるとともに、地域に根ざした教育の推進や「社会に開かれた教育課程」の実現につながった。
- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
  - 様々な活動が展開でき充実しているのは、地域コーディネーターの人柄と尽力による部分が大きい。この活動が持続発展するためにも、コーディネーターの役割を理解して行動してくださる方をお願いしたい。
  - 地域ボランティアの固定化・高齢化が課題であり、新規ボランティアを学校とコーディネーターが連携して発掘していく必要がある。
  - コーディネーター含めボランティアの謝金は予算化されているが、食料費等の予算措置がないので困っている。
- その他（学校運営協議会との協働等）
  - 昨年度コミュニティ・スクールの指定を受け、今年度が 2 年目である。本校では、地域学校協働本部と学校運営協議会が学校教育を推進する上では両輪となって、うまく機能している。
- コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）
  - 校 長    ■教 頭    □地域連携担当教職員    ■その他（ 学年主任 ）

報告書記入者（ 教 頭 ）

## 校区内の縦のつながりと横のつながりを大事にした大東学区の取組

米原市	活動名 : 大東学区地域学校協働本部	大東中学校 山東小学校 大原小学校 山東幼稚園 大原保育園	学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要			
開始年度：平成 29 年度	地域学校協働活動推進員等数：4 人（兼務 0 人）	ボランティア登録数：30 人	
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	□学校行事支援	
■子どもの安全確保、見守り	■部活動支援	□学校周辺環境整備	□学びによるまちづくり
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		□地域行事への参加	■ボランティア・体験活動
□郷土学習	□その他 [ ]		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 地域学校協働活動推進員 行 政 その他 ( )

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### (1) 大東中学校区教育フォーラム

大東中学校区の地域の人々、保護者、教員が一堂に集まり、当学区における学校と地域のあり方や今年度は特に「防災」をテーマとして災害時の対応について理解を深める活動をした。

#### (2) 地域の中学生が小学校の運動会にボランティアとして参加

大東中学校生徒が大原小学校、山東小学校の運動会の運営ボランティアとして参加した。



【 中学生の小学校運動会への  
ボランティア参加 】

### ■ 実施に当たっての工夫

#### ○大東中学校区教育フォーラム

社会福祉協議会伊吹地域ソーシャルワーカーをお招きし、避難所運営ゲームのアクティビティを通して地域と連携しながら、災害時に自分事として何ができるかを考える機会をもった。

#### ○地域の中学生が小学校の運動会にボランティアとして参加

運営だけでなく、競技に参加する生徒も募集することで、小中学校が一体となった運動会にすることができた。



【 夏休み補充学習会で学ぶ 】

### ■ 事業の成果

地域の人々、保護者、教師が「防災」というテーマで災害時における対応を考える機会をもつことや、地域のボランティア活動を通して、児童、生徒と地域の方との交流ができたことで地域住民の学校教育に対する理解が深まった。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

○地域と学校の連携・協働について具体的な活動目標を定めていく必要がある。  
○学期末や長期休業中の学力補充についても充実させていくことを考えている。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

○大東中学校では、次年度より、コミュニティ・スクールを実施することも視野に入れて、事業を進めていく必要があると考えている。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 その他 ( )

報告書記入者 ( 地域連携担当者 )

## 地域の子どもたちの健やかな育成をめざす「おうみネット支援ボランティア」の取組

米原市	活動名 : 双葉学区学校支援地域本部	息長小学校 坂田小学校 双葉中学校 おうみ認定こども園	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要			
開始年度 : 平成 29 年度	地域学校協働活動推進員等数 : 1 人（兼務 1 人）	ボランティア登録数 : 38 人	
□学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援	
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備	□学びによるまちづくり
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		□地域行事への参加	■ボランティア・体験活動
■郷土学習	□その他 [ ]		

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）  
学 校    地域学校協働活動推進員    行 政    その他 ( )

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1) クラブ活動や学習活動等への支援

版画やミシンの学習、新体力テスト等で支援をいただき、手が足りない部分を補つてくださったことで、学習に支障なく効率よく活動ができた。

(2) 読み聞かせボランティアの方による音読発表会

結成 10 周年を記念して、昼休みに音読発表会を図書室で開いてくださいました。たくさんの子どもたちが集まり、熱心に見ていました。また、6 年生を送る会でも素敵な音読発表を毎年披露していただいている。

(3) 学校花壇の環境整備

「花いっぱいの学校運動」の一環として、春と秋の花づくりに支援をいただいている。

学校支援ボランティアの方が、仮植作業をしてくださった花の苗が成長し、環境委員会の子どもたちと一緒にその苗を花壇に植えてくださいました。また、今年度よりその苗を活用して、一人一鉢運動として全校で取り組んでいます。



【結成 10 周年記念音読発表会】

■ 実施に当たっての工夫

○学校花壇の整備や花の仮植作業は、事前の準備を学校側でしっかりとおき、当日の作業がスムーズにいくよう配慮した。

○活動内容の打ち合わせや読み聞かせ日の設定等については、地域連携担当教員や司書教諭が中心となり、連絡調整を行った。

○人材確保については、地域学校協働活動推進員の方が中心となり、学校の様々な活動の中で自分が興味関心のある活動に参加していただけるような募集の形をとっていただけた。そのおかげで、参加者が大変参加しやすく積極的に活動していただけた。



【環境委員会の子どもたちとの苗植え】

■ 事業の成果

○以前は、学校花壇の花の仮植作業は学校職員で行っていたが、学校支援ボランティアの方の協力のおかげで、作業を早く終えることができた。また、環境委員会の子どもたちと一緒に作業することを喜んでくださいり、子どもたちも学校支援ボランティアの方々の花づくりのお話を熱心に聞き入っていた。

○図書の読み聞かせや図書室の整備に定期的に来ていただき、新書の本の紹介や季節に合わせたおすすめの本コーナーを作つてくださいましたことで、子どもたちの本に対する関心や興味が高まった。また、音読発表会も工夫を凝らしたもの披露してくださいり、子どもたちがとても楽しみにするようになった。

○ボランティアの方が、学校に来てくださる機会が増え学校職員との交流も多くなり、気づかれたことや思っておられることなどを気楽に話してくださるようになった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

○特に中心となってくれる方々の活動が多くなり、負担がかかっていないかが心配。

○ボランティアのメンバーが限られ、なかなか新たな方の募集が回りにくい。

○今年度活動していただいたことをもとに、他の学校・園に広がりを見せ地域全体の取組となっていけるとよい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校 長    教 頭    地域連携担当教職員    その他 ( )

報告書記入者（ 教 頭 ）

## 地域との連携・協働を深め、学習活動のさらなる充実を目指して

日野町	活動名 : 日野・鎌掛地域学校協働本部	日野小学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成29年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：50人		
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> □部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> □学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> □地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> □地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ■ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> ■郷土学習 <input type="checkbox"/> □その他 [ ]		

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）  
学校 地域学校協働活動推進員 行政 その他（ ）
- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
- (1) 3年生社会科「地域学習」および総合的な学習の時間におけるふるさと学習  
 3年生では、地域学習として日野町の伝統ある祭り「日野祭り」について学んだ。綿向神社の宮司さんや日野祭りの曳山保存会の方から曳山や日野祭囃子のお話を聞き、充実した学習を行うことができた。また、日野の伝統野菜である日野菜について地域の方々のご協力を得て学習を進めてきた。日野菜を栽培するだけでなく、その歴史や流通、料理について詳しく調べた。そして、グループごとに調べたことを地域の方に発表し、学習のまとめとした。
- (2) 3・4・5・6年生の総合的な学習の時間における福祉学習  
 本校では、4年間を見通し、系統立てた福祉学習を行っている。3年生では、視覚障害のある方からお話を聞いた。実際に間近で盲導犬を見せていただくことができ、児童の心に残る貴重な学習の機会となった。また、4年生では、地域にある福祉施設の施設長さんにお越しいただき、障害者理解についてのお話を聞いていただいた。さらに、5年生では、障害のある方から直接お話を聞いたり、車いす体験をしたりして、学習を深めた。6年生では、これまでの学習を踏まえ、実際に地域の福祉施設へ行き、そこで働いておられる方の様子を見せてもらったり、お話を聞いたりして学習を深めた。
- (3) クラブ活動（お囃子クラブ・かるたクラブ）への地域の指導者の招聘  
 日野町の伝統ある祭り「日野祭り」の際に演奏する「お囃子」をやりたいという児童の強い思いから発足した「お囃子クラブ」。その指導のために、地域の方のご協力を得ている。地域の演奏会にも、大人の方々に交じって出演させていただいている。また、かるたクラブにおいても、地域の方にご指導をいただき、大変活発な活動となっている。
- 実施に当たっての工夫
- 見通しを持った計画を立て、早目に知らせ依頼をする。
  - 事前に綿密な打ち合わせをし、相互理解を図ることで、効果的な学習活動が実現するようにする。
  - 子どもの実態や目指す姿を共有化し、適切な助言や支援がいただけるようにする。
  - 参画いただく方々の自由な発想や願いを知り、実現化に努める。
- 事業の成果
- いろいろな活動を繰り返し続けてきたことで、取組に広がりや深まりが出てきた。また、複数回参加いただいた方から、支援の工夫などの声を聞かせていただけるようになり、よりよい活動へと改善、発展させていくことができた。
  - 参加された方が他の方へ参加を呼びかけてくださる「人が人をよぶ広がり」が出てきた。
  - 気軽に学校へ足を運んでくださる雰囲気や参加の広がりが出てきた。また、参加者の中から、「今年もこんなことをしたい」、「今年は、こんなことをしたらどうか」といった願いや思いを伝えてくださる方が出てきた。
  - 児童と地域の方とのふれあいの機会が増え、お互いに顔なじみとなり、地域の中で出会ったときにも気軽に声をかけていただけることが増えてきた。
- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
- 現在、団体（日赤さん）を通じての呼びかけを行っているが、より多くの方へ呼びかける方法はないか、検討していきたい。また、団体に属しておられない方へ呼びかけていく方法についても検討していきたい。
  - 新たな地域学習、地域教材の発掘、教材研究を進めたい。
  - その他（学校運営協議会との協働等）  
 ○今後のコミュニティ・スクール導入に向けて組織体制の検討を行っている。  
 ○ホームページにより、学校の取組を広く発信している。
- コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）  
校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）



【お囃子クラブの活動】



【伝統野菜である日野菜の収穫】

報告書記入者（ 教頭 ）

## ～学校・家庭・地域の きずな・つなぐ・むすぶ～

日野町	活動名 : 西大路地域学校協働本部	西大路小学校 学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度 : 平成 29 年度	地域学校協働活動推進員等数 : 1 人	ボランティア登録数 : 20 人
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等）	<input type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	<input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援
<input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り	<input type="checkbox"/> 部活動支援	<input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備
<input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		<input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり
<input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習	<input type="checkbox"/> その他 [ ]	<input type="checkbox"/> 地域行事への参加
		<input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）  
学 校    地域学校協働活動推進員    行 政    その他 ( )

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- (1) 総合学習  
 3年生では地域の産業であるお茶について、茶摘み～お茶の入れ方までを地域の方の協力のもとで行っている。茶摘み体験では、保護者や地域の方にも参加してもらい、児童の体験学習の様子を見ていた。摘んだお茶の葉は地域の方が天ぷらにして児童に届けてくださり、お茶の葉の料理を味わう事が出来た。
- (2) 環境整備  
 長休みに児童が行っている除草作業に児童と一緒に除草していただいた。



【 茶摘み体験の様子 】

■ 実施に当たっての工夫

3年生が体験する学習は、地域の産業や歴史に係ることが多く、地域の方のお力を借りることが多いのですが、茶摘み体験などは地域の方にも声をかけて児童とともに地域の産業であるお茶に関心を持ってもらえるようにした。  
 環境整備では、児童と一緒に除草作業をしながらお互いが顔見知りになり、親しんでもらえるようにした。

■ 事業の成果

体験学習や環境整備などでは、できるだけ多くの地域の方々に協力をお願いして児童とふれあう機会を増やしたこともあり、小学校に関心をもってくれる地域の方が増えたように感じた。

音楽会やふれあい学習会などに訪れる地域の方が少しずつ増えている。



【 運動場除草作業の様子 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

小学校に 관심を持って下さる方は、増えているとはいえ、同じ顔ぶれが多い。  
 昨年から昼休みを利用してミニコンサートを実施している。児童も地域の方も自由に楽しめるコンサートなので、このコンサートがひとつのきっかけとなり、地域に開かれた小学校になることを期待している。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

年に数回会議を持ち、様々な意見を交換して現状についてお互い理解を深めるようにしている。

■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校 長    教 頭    地域連携担当教職員    その他 ( 各学年担任 )

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

## 「なんぴが大好き」～地域の良さを学校に取り入れ郷土を愛する心を育てる～

日野町	活動名 : 南比都佐地域学校協働本部 ふるさと絆事業（なんぴっこ支援事業）	南比都佐小学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度 : 平成 29 年度	地域学校協働活動推進員等数 : 1人 ボランティア登録数 : 10人	
■学習支援（授業補助、学力補充等）	□図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	■学校周辺環境整備
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	□地域行事への参加	□学びによるまちづくり
■郷土学習	□その他 [ ]	■ボランティア・体験活動

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他 ( )

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

南比都佐小学校区は、自然に囲まれた田園地帯が広がる地域にあり、地域住民の学校に寄せる期待は大きく協力的である。ふるさと絆事業を通して、地元の特産物を守り広めていく活動や近接する特別養護老人ホームとの交流、また、地域の歴史を学ぶ活動等で地域の方々に支援をいただいている。

本校の特徴的な活動として、地域の特産物である日野菜を地域素材とした学習に全校的に取り組んでいることがあげられる。年間を通じた日野菜栽培には専門的な知識と技能を必要とするため、「南比都佐地区日野菜原種保存会」の方に指導に来ていただいている。日野菜学習は子ども主体の探求的な学習をめざし、各学年の段階に応じた計画を立てている。子どものつぶやきや疑問を大切にして課題を設定しており、従来の肥料と琵琶湖の水草を使った肥料の両方の育ち具合を比較した栽培活動、また、日野菜以外の野菜との比較から日野菜の特徴を考える活動などを行い、児童は意欲的に学習に取り組んでいる。

また、地域の日野菜工場の見学、日野菜を扱ったレシピ作り、日野菜の歴史についての調査など、関連づけた学習も行っている。さらに、栽培した日野菜の種を地域の方に広く販売することも行っている。日野菜学習を通して地域の人々と関わり、地域への関心を深め地域への愛着がもてるようになればと考えている。

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・子どもたちの学習に必要な支援を教頭とふるさと絆支援員が共同で集約し、地域の方々に協力を呼びかけた。地域の支援者は、初めての方にも来ていただくよう心がけ、より多くの方に学校に来ていただき、子どもたちと交流できるようにした。
- ・隣接する公民館との連携を密にすることにより、地域の人材の掘り起こしに努めた。

### ■ 事業の成果

- ・地域の方との毎年の積み重ねの協働学習により、日野菜学習は子どもたちの探求的な学習として定着している。
- ・担任の声を集約することで、支援が必要な授業に地域の適切な人材にきていただくことができた。今年度から新たに家庭科でのミシン学習の指導補助に地域の方が来て下さり、1つのテーマで最初から完成まで継続して支援いただいた。来ていただいた支援者も児童との関わりを喜んでいただいた。



【日野菜の種取り（5年生）】

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・子どもたちの学習支援に必要な地域人材を確保し、地域住民による学校を支援する体制をさらに充実させたい。
- ・今年度は、主に担任からの要望を受けて活動していたが、今後は公民館と連携して地域からの支援者の掘り起こし及び提案をしていきたい。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 □地域連携担当教職員  
□その他 ( )



【ミシン指導補助（5年生）】

報告書記入者（教頭）

## 地域ぐるみで子どもを見守り、学校を支援する協働活動のために

日野町	活動名 : 必佐地域学校協働本部	必佐小学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度 : 平成 29 年度	地域学校協働活動推進員等数 : 1人	ボランティア登録数 : 35 人
■学習支援（授業補助、学力補充等）	■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	□部活動支援	□学校周辺環境整備
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）		□学びによるまちづくり
■郷土学習	□その他 [ ]	□地域行事への参加
		■ボランティア・体験活動

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
  - 学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他 ( )
- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
  - (1) 見守りあいさつ運動
    - ※朝の登校時間帯に、必佐小見守り応援隊やPTA有志の皆さんのが交代で校門付近に立ち、見守りあいさつ運動に取り組んだ。
  - (2) 体験的な学習への支援
    - ※実習などの指導や支援を経験豊かな方にお願いし、きめ細かな支援を必要とする学習でアドバイスや手助けなどの支援をお願いした。（家庭科の裁縫・ミシン縫い、焼き芋、3学期の伝統的な暮らいや遊び、そろばん等）
  - (3) ふるさと学習支援
    - ※特産品や伝統行事など、ふるさとをテーマにした総合的な学習で、地域の方に指導をお願いした。（日野菜学習、ホイノボリ等）
  - (4) 学校生活を豊かにする活動
    - ※昼休みコンサート（歌やオカリナ）を開催した。
  - (5) 校内音楽会における伴奏や学習支援
- 実施に当たっての工夫
  - ※事業の広報とボランティア募集のためにチラシを全戸配布し、事業に対する理解と協力を得られるようにした。
  - ※本事業の質の向上と改善のため、見守り応援隊の全体会議を年間2回行っている。
- 事業の成果
  - ※見守りあいさつ（声かけ）運動を3年近く続けてきたことで、地域の方々と子どもたちのつながりが増してきた。元気にあいさつをするということだけでなく、子どもたちの登校のリズムが整ってきて、余裕を持って登校が完了でき、スムーズな学校生活のスタートに結びついている。
  - ※本年度から民生委員会、日赤奉仕団など、子どもの生活に関わる団体を「必佐小学校見守り応援隊」として組織化できた。そのことで見守りあいさつ運動の他、学習ボランティアや支援者として参加してくださる方も増えた。
  - ※ボランティアの方々が適切に支援をしてくださるおかげで、子どもたちは技能を習得できただけなく、「苦労したけどいいのができた」という達成感を味わうことができている。
  - ※たくさんの方に支援してもらえることで、教師は積極的な学習計画を立てることができ、地域教材や人材を活かした授業づくりに努めるようになってきている。
- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
  - ※見守り応援隊の方々を中心にボランティアや指導者をお願いしているが、地域にたくさんおられる適任の方がまだ把握できていない。今後も引き続き人材の開拓に努めていく必要がある。
  - ※指導者（担任）の願いや指導方針を尊重しながら、若い先生の経験にもなるように、活動推進員からの提案も織り交ぜながら打ち合わせを綿密に行う必要がある。
- その他（学校運営協議会との協働等）
  - 支援ボランティアの活動だけではないのですが、学校運営の様子や子ども達の学習の様子を右に記載のURLで紹介しています。 <https://hissa.shiga-saku.net>
- コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）
  - 校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 □その他 ( )



【 1年・5年交流活動「竹ぼっくり作り」】



【 昼休みコンサート 】

報告書記入者（地域学校協働活動推進員）

## 桜谷の子どもでよかつた～地域の温かい支援で学校教育活動を豊かに～

日野町	活動名： 桜谷地域学校協働本部 愛称：桜谷学区ふるさと絆事業（さくらっ子事業）	桜谷小学校 学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成 29 年度	地域学校協働活動推進員等数：14 人（兼務〇人）	ボランティア登録数：100 人
■学習支援（授業補助、学力補充等）	□図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）	□学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り	■部活動支援	■学校周辺環境整備
□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）	□地域行事への参加	□学びによるまちづくり
■郷土学習	□その他 [ ]	■ボランティア・体験活動

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他の（ ）

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

地域ふれあいDAY：地域のいろいろな技術を持った方々を学校にお越しいただき、1、2年生には昔遊び体験を、3年生以上には様々な技術を「弟子入りしよう」という形で体験活動を行った。地域の方と直接触れあう良い機会になったことと、「すごい方がたくさんいらっしゃる！」と、自分たちの地域に誇りが持てるような活動となった。

森のレストラン：さつまいも植えや田植え・稻刈りなどの栽培活動の支援に来ていただいたり、中庭や裏山を整備していただいたりした方々を招待して、昼食を共にした。招待状を出すのは中学年、調理するさつまいもを洗うのは低学年、かまどベンチで収穫物を使って調理するのが高学年というように役割分担し、全校体制で感謝の気持ちを届けた。昼食を共にすることで、地域の方々により親しみを感じられる時間となった。



【 地域ふれあいDAY：竹細工 】

### ■ 実施に当たっての工夫

ボランティアとして参加されるのは、「HOT けん桜谷隊」、老人会を中心とする地域の方々である。活動の種類や日程によって参加いただける方を地域コーディネーターが中心となり、呼びかけや調整を行った。コーディネーターが毎年ボランティアと教職員にふり返りのアンケートを実施し、年間の活動を見直したり改善したりする事に役立てている。

### ■ 事業の成果

本校は、自然に恵まれた環境に位置する学校であり、その良さを体験活動を通して味わわせたいと考えている。学校のすぐそばにある畑で1・2・6年生はいも植えを、近くの地域の方の田んぼで3・4・5年生は田植えを行っている。また、2年生は生活科で夏や冬に収穫する野菜を、3年生は、郷土野菜の「日野菜」を栽培している。地域の方々に教えていただいたり、支援していただきたりすることで、子どもたちには、上手に育てる方法を教えていただくことに加えて、食材としての作物の大切さや、自然の偉大さ、地域のあたたかさを体感できる機会となっている。地域の方から直接教えていただくことで、より地域を身近に、そしてその素晴らしさに気づく事ができる。

地域の方からは、「子どもが喜んでくれると、元気をもらえる」「この学校の子どもたちの成長に関われることがうれしい」などの感想をいただき、あたたかく支えてくださっている。



【 森のレストラン：かまどベンチで 】

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

年間計画を立てる段階での見直しと、実施後のふり返りは必要である。例年行っている活動が多いが、改善を加えることも大切であり、学校も支援に来てくださる方も双方の考えを聞くことがこの事業では大事である。地域コーディネーターが昨年度末に、学校と地域に向けてアンケート調査を行ったので、振り返ることができた。

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

どの学年も体験活動を中心に地域の方に支援をいただいている。特に自然の良さや地域をよく知るための学習には、地域の方が共に学習の場についてくださることで、子どもたちに地域をもっと身近に、そして地域に誇りを持てるような活動となっている。「森のレストラン」という活動で、その日頃の支援に感謝し気持ちを伝えている。3・4年生が招待状を書き、1・2年生は収穫した芋を洗い、5・6年生がその芋を使ってみそ汁を作り、収穫した米を給食室で炊き込みご飯に調理していただき、食事を共にしている。教えていただいた地域の方の支えに対して、感謝の気持ちを忘れないことと、地域の方にも学校へ行くことが心から喜んでいただけるよう時間にしたい。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（ 教頭 ）

## 自分を想像し、仲間や地域との絆を結べる日野中生徒の確立を目指して。

日野町	活動名 日野中学校地域学校協働本部	日野中学校 学校運営協議会 : □有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : □有 □無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成30年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：個人 25人 団体 7団体		
<p>■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） □学校行事支援</p> <p>■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり</p> <p>□地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動</p> <p>□郷土学習 □その他 [ ]</p>		

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
  - 学 校 ■地域学校協働活動推進員 □行 政 □その他（ ）
- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
  - (1) 家庭科実技支援
    - ・1年生被服学習における「ブックカバー」の制作で、「手縫い」「ミシン縫い」等個別対応が非常に重要な場面で、多くの方々の支援を受け、個々の生徒に技能を定着する事ができた。また、生徒達も遠慮なく質問ができた。
    - ・2年生調理実習では、包丁を使う際の安全確保ができた。
  - (2) 敷地内環境整備作業
    - ・約100m近くの花壇の手入れや周囲に植わっている木々の剪定をして頂いた。
    - ・中庭ウッドデッキの老朽化が進んでいたので、地域の塗料会社に協力を頂き、塗り直すことができた。
    - ・校庭のサツキが多くの部分で枯れていいたため、地域のボランティア団体にご指導をいただきながら、植え直しを行った。
  - (3) 読書活動推進事業
    - ・1・2年生を対象に毎週火曜日に、各学年1クラスずつではあるが、地域の読み聞かせグループの協力を得ながら、読み聞かせ活動を実施した。
    - ・1年生「外国語の本や言葉に触れよう」2年生「ブックトーク」3年生「帯バトル」と銘打って、各学年、全クラスを対象に図書館司書等の協力を得ながら、読書活動推進の授業を行った。
  - (4) 家庭科・保育実習での校舎外移動についての交通立番・見守り
    - ・3年生・家庭科の保育実習で「あおぞら園」まで自転車での往復路の安全を支援して頂いた。
- 実施に当たっての工夫
  - (1) については、教科の特質や時間割の関係で長期に渡る日程調整が必要であったが、丁寧に連絡を取り合い実施できた。
  - (2) については、作業当日に現場にてご指導いただけたことで、地域とのつながりをより深めることができた。
  - (3) については、今年度初めての取組ではあったが、4つの読み聞かせグループと図書館司書の協力を取り付けたこと、クラス単位で行うことで、より読書を身近に感じられる取組になった。
  - (4) については、教員だけでは回りきれない立番を行うため、各方面の協力を頂いた。
- 事業の成果
 

地域にある様々な得意分野をお持ちの方々に、ご協力を頂くことで、多方面にわたる活動が可能となった。また、本年度2年目を迎えるにわたり活動の基礎を築くことができた。
- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
 

事業実施上の課題は、地域の中にあるマンパワーを見つけ出すことに大変な労力と費用がかかってしまうことである。行政単位での、人材バンクなどがあると助かる。今後の協議活動の工夫や展望では、本年度、取り組んだ新しい事業を軌道に乗るとともに新たな方面の人材を確保しながら、新しい事業開発を積極的に行っていきたい。
- その他（学校運営協議会との協働等）
 

本校には、地域学校協働活動推進協議会が設置されており、学期ごとに実施報告や今後についての報告書を出している。
- コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）
 

□校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（ 用務員 ）



【中庭ウッドデッキの塗装】



【外国の本や言葉に触れよう】

## ひとりひとりの学びを支える学校・地域・家庭の融合による学校支援活動

竜王町	活動名：竜王町地域学校協働本部	竜王小学校・竜王西小学校・竜王中学校・ 竜王幼稚園・竜王西幼稚園 学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 ■無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成22年度 地域学校協働活動推進員等数：6名（兼務 1名） ボランティア登録数：502名（平成22年度～）		
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他 [ ]		

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
  - 学 校 地域学校協働活動推進員 行 政 その他（ ）
- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
  - (1) 学習支援
    - ・小・中学校の家庭科のミシンや裁縫等の学習で常時5名程度のボランティアが授業に参加し、担任だけでは個別に行き届かない指導をボランティアが補った。
    - ・小学校の体育では、スポーツテストの測定補助やプール授業の安全監視支援を行った。
    - ・竜王小学校の秋から冬にかけて利用されていない学級園を利用して、家族単位で冬野菜（大根）を栽培し、創立記念式典時に「浅漬け」を提供したり、大規模商業施設において販売を行った。
    - ・竜王西小学校のアートクラブ（クラブ活動）で、年間を通じてクラブ活動の支援を行った。（水鉄砲、バルーンアート 他）
  - (2) 託児支援
    - ・幼稚園や小学校で授業参観やP T A行事等に子育て中の保護者も参加できるように託児所を開設して託児支援を行った。
  - (3) 学校行事支援
    - ・竜王幼稚園で、夏の流しそうめんや冬の餅つき大会を行った。
    - ・両小学校のスキー教室は、例年15名程度のボランティアにより充実した指導が行えている。今年度は、雪不足により残念ながら中止となった。
- 実施に当たっての工夫
  - ・統括マネージャーとコーディネーターが月1回程度、定期的に会議を開催することにより、円滑な支援推進ができた。
  - ・支援時には、統括マネージャーやコーディネーターが積極的に学校（園）へ出向き、先生をはじめ、支援ボランティアと話し合いを行い、よかった点、改善すべき点など、今後につながる情報交換を行った。
- 事業の成果
  - ・小学生の児童からは、たくさんの感謝の手紙などをいただき、それを暑中見舞
  - ・年賀状としてボランティアに郵送した。ボランティアからは、「子どもたちから元気をもらった、参加してとても満足している」などの声を聞き、生きがいの場を提供することができた。同時に、地域では子どもとの顔見知りも増え、コミュニケーション面でも拡がりが見られた。
- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
  - ・双方向性のある展望を持った「連携・協働活動」となるためには、いかに社会に開かれた教育課程を実現するかが重要な鍵となる。そのためには、地域連携の年間活動計画を作り、お互いが全体を見据えながら事業を展開する必要がある。
- その他（学校運営協議会との協働等）
  - ・学校運営協議会で熟議した内容（どんな子どもに育ってほしいか、子どもの健やかな成長に地域はどう関わるかなど）を地域学校協働本部でいかに具現化していくか検討を加えたい。
- コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）
  - 校 長 教 頭 地域連携担当教職員 その他（ 学年主任、学級担任 ）



【 スポーツテストの測定支援 】



【 スクール農園 大根の販売 】

報告書記入者（ 公民館 公民館係 係長 ）

## 「地域とともに多賀の子を育てよう」多賀町地域学校協働本部事業の取組

多賀町	活動名 : 多賀町地域学校協働本部	町内6校園 学校運営協議会 : □有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : □有 ■無
<b>地域学校協働本部概要</b>		
開始年度：平成20年度 地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務0人）ボランティア登録数：132人		
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> □部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> □学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> □地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> □地域行事への参加 <input type="checkbox"/> □ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> ■郷土学習 <input type="checkbox"/> □その他 [ ]		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学 校 ■地域学校協働活動推進員 ■行 政 □その他 ( )

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### (1) 読み聞かせ（小・中・幼・保・こども園）

小学校や保育園・幼稚園以外にも、中学校全校集会で道徳に関する絵本の読み聞かせを実施。生徒が改めて人権等を考えるきっかけ作りとなった。また、学校図書関係の業者と連携し、読み聞かせとともに本に関するクイズ・ゲームなどを取り入れ、子どもたちがさらに本に親しむ機会となっている。

#### (2) 琴・福祉・環境学習

小学校では、地域のサークルにより琴の演奏と爪を付けての体験、パネルシアターによるユニバーサルデザイン・点字の学習など教科書に沿った学習をおこなっている。また、環境委員会や特別支援学級での生活単元学習の中で野菜を育てる際の指導、イチゴ苗植えの指導など、先生と連携して実施。ボランティアの方が、日々の土作りなども率先して行っている。



【 環境委員会での花植え指導 】

### ■ 実施に当たっての工夫

校園からの依頼だけでなく、地域コーディネーターから校園・ボランティアへ話題を投げかけ実施することで、早めからの準備ができた。ボランティアの情報を常に収集し、活動可能な曜日や内容等を把握するよう努め、急な対応に備えた。また、行政内の連携の結果、町内業者から木材（端材）をいただいてキーホルダー作りなどの学習等に利用できた。

### ■ 事業の成果

「一緒に活動でき、とても楽しい」「元気がもらえる」など、やりがいをもって参加していただく活動が増えている。子どもたちは、様々な体験をすることで地域の方々とのふれあいができる。



【 運動会当日は、準備等に大忙し 】

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

6校園でのボランティア活動を推進するため、各校園での活動に際し、空き教室を利用してボランティア専用の「集いの部屋」を設置している。未設置の校園についても徐々に設置をすすめ、ボランティア活動の幅を広げていくこととしている。

### ■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 □その他 ( )

報告書記入者（ 地域コーディネーター ）